

# ガスヒートポンプエアコン

室内ユニット

**技術資料** 天井埋込形4方向吹出し（GT）

本資料は室内ユニットに関する事項を記載しております。  
室外ユニットについては、4-570-1-D（XairⅢシリーズ）をご覧ください。

# 総目次

## 1 概要編の目次

1. 室内ユニット仕様	1-2
1-1 仕様	1-2
1-2 外形図	1-5
1-3 塗装色	1-12
1-4 運転音	1-13
1-5 電気配線図	1-14
1-6 防振設計用参考資料	1-16
1-7 気流分布	1-17

## 2 特性・機能編の目次

1. 機能	2-2
1-1 室内マイコン運転制御機能	2-2
1-2 リモコン機能	2-21

## 3 故障診断編の目次

1. トラブル項目と診断	3-2
1-1 故障診断の内容	3-2
1-2 室内ユニット基板交換要領	3-26
2. リモコンによる異常運転データの確認	3-28

## 4 据付編の目次

1. 室内ユニットの据付	4-2
1-1 室内ユニット本体の据付	4-2
1-2 パネルの据付	4-10
2. リモコンの取付	4-18
2-1 ecoタッチリモコン (RC-DX3C)	4-18
2-2 標準リモコン (RC-D4G)	4-22
3. 電気配線工事	4-25
4. リモコンによる設定と操作	4-35
4-1 リモコンによる機能設定	4-35
4-2 主な設定操作	4-59

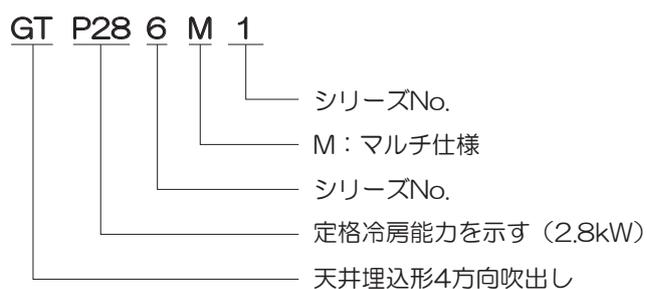
## 5 別売部品編の目次

1. ワイヤレスキット	5-2
2. ワイヤレスキット (別置) (RCN-KIT4)	5-12
3. 人感センサキット (別置) (LB-KIT2)	5-22
4. コンパクトリモコン (RCH-D3)	5-32
5. ラクリーナ用リモコン (CRC-L)	5-36
6. スーパーリンクアダプタ (SC-ADNA)	5-36
7. お掃除ラクリーナパネル (T-PSCLS-5BW)	5-38

# 1 概要編の目次

1. 室内ユニット仕様	1-2
1-1 仕様	1-2
1-2 外形図	1-5
1-3 塗装色	1-12
1-4 運転音	1-13
1-5 電気配線図	1-14
1-6 防振設計用参考資料	1-16
1-7 気流分布	1-17

## ・形式名称の見方



# 1. 室内ユニット仕様

## 1-1 仕様

相 当 馬 力	1.0	1.25	1.6	2.0	2.5	2.8		
機 種	天井カセット形 (4方向吹出し)							
形 式	GTP286M1	GTP366M1	GTP456M1	GTP566M1	GTP716M1	GTP806M1		
定 格 冷 房 能 力(kW)	2.8	3.6	4.5	5.6	7.1	8.0		
定 格 暖 房 標 準 能 力(kW)	3.2	4.0	5.0	6.3	8.0	9.0		
定 格 冷 房 時 の 顕 熱 比	0.93	0.81	0.73	0.91	0.86	0.80		
電 源	単相200V 50/60Hz							
電 気 特 性	消 費 電 力 (kW)	冷 房	0.023	0.025	0.040	0.065		
		暖 房	0.023	0.025	0.040	0.065		
	運 転 電 流 (A)	冷 房	0.25	0.28	0.40	0.60		
		暖 房	0.25	0.28	0.40	0.60		
熱 交 換 器 形 式	アルミフィン&銅チューブ式							
空 気 吸 込 口	下面							
空 気 吹 出 口	下面4方向							
エ ア フ ィ ル タ	プラスチックネット (洗浄可能)							
運 転 音	パワ- レベル (dB(A))	P急	48	48	49	54	61	61
		急	46	46	48	48	50	54
		強	45	45	46	46	46	51
		弱	42	42	42	43	44	46
	音 圧 レベル (dB(A))	P急	33	34	35	39	47	47
		急	31	31	33	33	35	38
		強	29	29	31	31	32	35
		弱	25	25	25	27	28	30
送 風 機 形 式	ターボ式 (モーター直結) × 1							
	風 量 (m³/min)	P急	13.5	14.5	15.5	20	28	28
		急	12.5	13	14	15	17	19
		強	11	11.5	12	13	13	16
		弱	9	9	9	11	12	13
機 外 静 圧 (Pa)	0							
電 動 機 定 格 出 力 (W)	58							
配 管 関 係	冷 媒 ガ ス 管 (mm)	φ9.52 (フレア接続)	φ12.7 (フレア接続)			φ15.88 (フレア接続)		
	冷 媒 液 管 (mm)	φ6.35 (フレア接続)				φ9.52 (フレア接続)		
	冷 媒 配 管 位 置	右側						
	ド レ ン 配 管 口 (mm)	VP25 (I.D.25, O.D.32) の排水管接続可能						
オ- ト ス イ ン グ (有・無)	オ- ト ス イ ン グ 付							
ド レ ン ア ッ プ	ド レ ン ポ ン プ		標準装備					
	ア ッ プ 高 さ (mm)	ド レ ン 口 よ り	662以下					
		天 井 面 よ り	850以下					
外 装 塗 装 色 (本 体)	-							
外 装 塗 装 色 (パ ネ ル)	1-12ページ参照							
外 形 寸 法	高 さ (mm)	236						
	幅 (mm)	840						
	奥 行 (mm)	840						
パ ネ ル 寸 法	高 さ (mm)	35						
	幅 (mm)	950						
	奥 行 (mm)	950						
本 体 質 量 (kg)	22			23				
パ ネ ル 質 量 (kg)	5(標準パネル), 6(エアフレックスパネル), 7(ラクリーナパネル), 12(お掃除ラクリーナパネル)							
リ モ コ ン	ワイヤードリモコン: RC-DX3C (RC-D4G)							
I P コ- ド	IPX0							

- 注(1) 冷房・暖房能力および電気特性は日本工業規格 (JIS B 8627:2015) 条件により運転した値です。  
(2) 運転音 (パワーレベル) は、日本工業規格 (JIS B 8627:2015) に基づいた音響パワーレベルの数値です。  
(3) 運転音 (音圧) は日本工業規格 (JIS B 8627:2006) に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。  
実際に据付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。  
(4) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し天井内部分は本体高さに含まれます。  
(5) エアフレックスパネル・ラクリーナパネル・お掃除ラクリーナパネルには、ドラフト防止機能・人感センサを搭載しています。  
(6) お掃除ラクリーナパネル使用時、外形寸法の本体高さはプラス110mm高くなります。(詳細は外形図をご覧ください。)  
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時、運転音は弱でプラス1dB (A) 高くなります。

PJF000Z785
PJF000Z786
PJF000Z787
PJF000Z788

相当馬力	3.2		4.0		5.0		6.0	
機種	天井カセット形 (4方向吹出し)							
形式	GTP906M1		GTP1126M1		GTP1406M1		GTP1606M1	
定格冷房能力(kW)	9.0		11.2		14.0		16.0	
定格暖房標準能力(kW)	10.0		12.5		16.0		18.0	
定格冷房時の顕熱比	0.82		0.81		0.72		0.68	
電気特性	電源		単相 200V 50/60Hz					
	消費電力(kW)	冷房	0.080		0.130			
		暖房	0.080		0.130			
	運転電流(A)	冷房	1.0		1.20			
暖房		1.0		1.20				
熱交換器形式		アルミフィン&銅チューブ式						
空気吸込口		下面						
空気吹出口		下面4方向						
エアフィルター		プラスチックネット (洗淨可能)						
運転音	パワーレベル(dB(A))	P急	60	64	64	64		
		急	54	54	57	57		
		強	51	52	53	55		
		弱	47	47	47	48		
	音圧レベル(dB(A))	P急	47	49	49	49		
		急	39	39	42	42		
		強	36	37	39	39		
		弱	31	31	32	33		
送風機	送風機形式		ターボ式 (モータ直結) ×1					
	風量(m³/min)	P急	31	37	37	37		
		急	24	25	26	27		
		強	21	21	23	24		
		弱	15	15	16	18		
機外静圧(Pa)		0						
電動機定格出力(W)		105						
配管関係	冷媒ガス管(mm)		Φ15.88 (フレア接続)					
	冷媒液管(mm)		Φ9.52 (フレア接続)					
	冷媒配管位置		右側					
	ドレン配管口(mm)		VP25 (I.D.25, O.D.32) の排水管接続可能					
オートスイング(有・無)		オートスイング付						
ドレンアップ	ドレンポンプ		標準装備					
	アップ高さ(mm)	ドレン口より	662以下					
		天井面より	850以下					
外装塗装色(本体)		-						
外装塗装色(パネル)		1-12ページ参照						
外形寸法	高さ(mm)		298					
	幅(mm)		840					
	奥行(mm)		840					
パネル寸法	高さ(mm)		35					
	幅(mm)		950					
	奥行(mm)		950					
本体質量(kg)		28						
パネル質量(kg)		5(標準パネル), 6(エアフレックスパネル), 7(ラクリーナパネル), 12(お掃除ラクリーナパネル)						
リモコン		ワイヤードリモコン: RC-DX3C (RC-D4G)						
IPコード		IPX0						

- 注(1) 冷房・暖房能力および電気特性は日本工業規格 (JIS B 8627: 2015) 条件により運転した値です。  
(2) 運転音 (パワーレベル) は、日本工業規格 (JIS B 8627: 2015) に基づいた音響パワーレベルの数値です。  
(3) 運転音 (音圧) は日本工業規格 (JIS B 8627: 2006) に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。  
実際に据付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。  
(4) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し天井内部分は本体高さに含まれます。  
(5) エアフレックスパネル・ラクリーナパネル・お掃除ラクリーナパネルには、ドラフト防止機能・人感センサを搭載しています。  
(6) お掃除ラクリーナパネル使用時、外形寸法の本体高さはプラス 110mm 高くなります。(詳細は外形図をご覧ください。)  
(7) お掃除ラクリーナパネル使用時、運転音は弱でプラス 1dB (A) 高くなります。

PJF000Z785
PJF000Z786
PJF000Z787
PJF000Z788

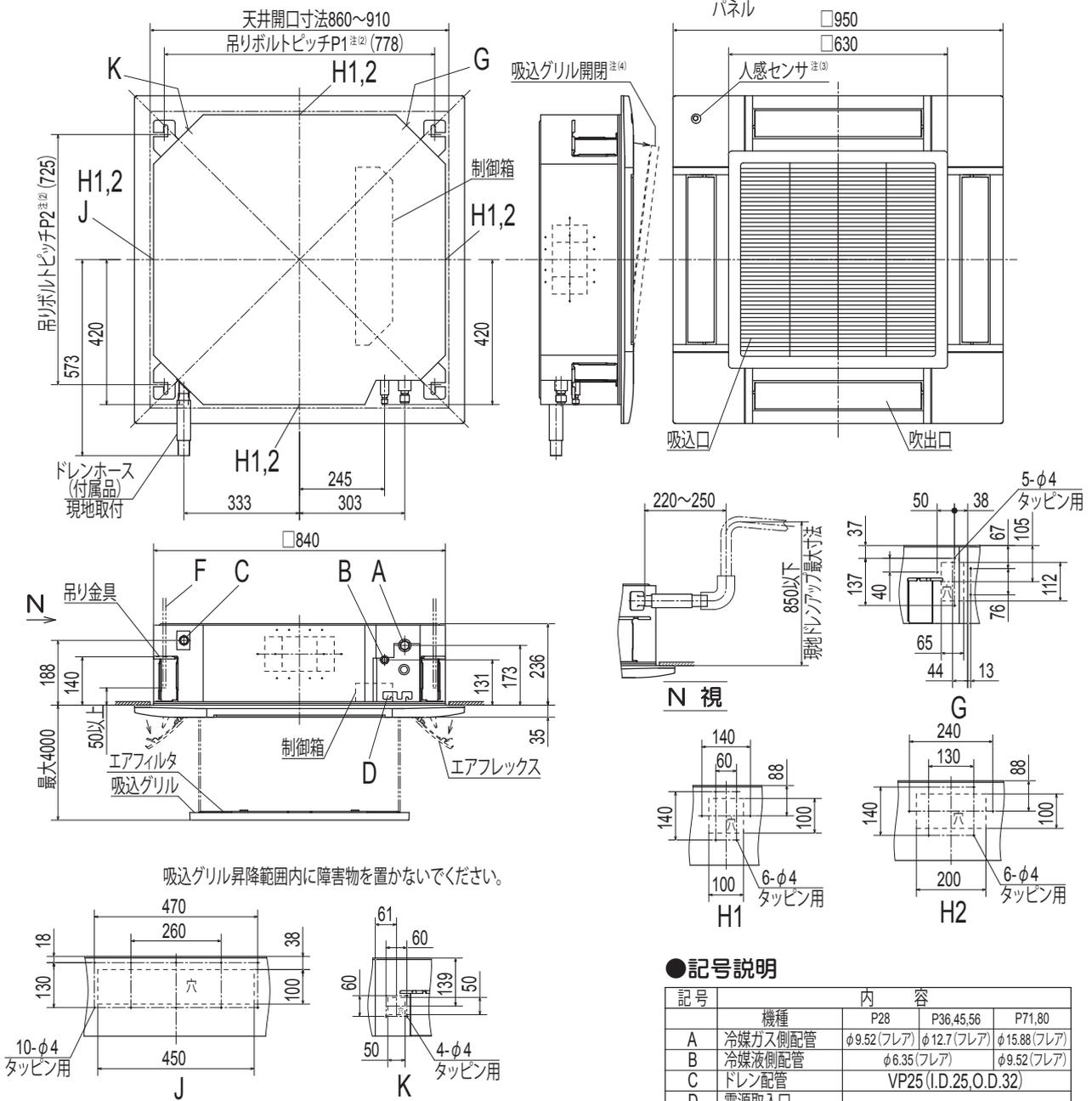
## 別売品

区 分	パネル形式	ワイヤレス受信部形式	ワイヤレスリモコン	専用ワイヤレスリモコン
標準パネル	T-PSA-5BW/D	LA-T-5BW1	RCN-D5	-
	T-PSA-5ASB/D	LA-T-5SB1		
	T-PSA-5AC/D	-	-	
エアフレックスパネル	T-PSAE-5BW/D	LA-T-5BW1	RCN-D5	-
	T-PSAE-5ASB/D	LA-T-5SB1		
ラクリーナパネル	T-PSCL-5BW/D	LA-T-5BW1	RCN-D5	ラクリーナパネル専用 CRC-L
	T-PSCL-5ASB/D	LA-T-5SB1		
お掃除ラクリーナパネル	T-PSCLS-5BW/D	LA-T-5BW1		

# 1-2 外形図

## (1) 室内ユニット

(a) 標準パネル・エアフレックスパネル・ラクリーナパネル仕様  
GTP286M1, 366M1, 456M1, 566M1, 716M1, 806M1



### ●記号説明

記号	機種	内容		
		P28	P36,45,56	P71,80
A	冷媒ガス側配管	φ9.52(フレア)	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管	VP25 (I.D.25,O.D.32)		
D	電源取入口			
F	吊りボルト	M10またはM8		
G	OA取入口			
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125		
H2	吹出分岐ダクト接続口	φ200		
J	加湿器接続口			
K	加湿器余剰水接続口			

注(1) 装置銘板は制御箱の蓋に付いてます。

注(2) 吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

吊りボルトピッチ範囲表

吊りボルトピッチ範囲	P1	P2
1	770	725~770
2	770~800	725

注(3) 人感センサは標準パネルには

付属していません。

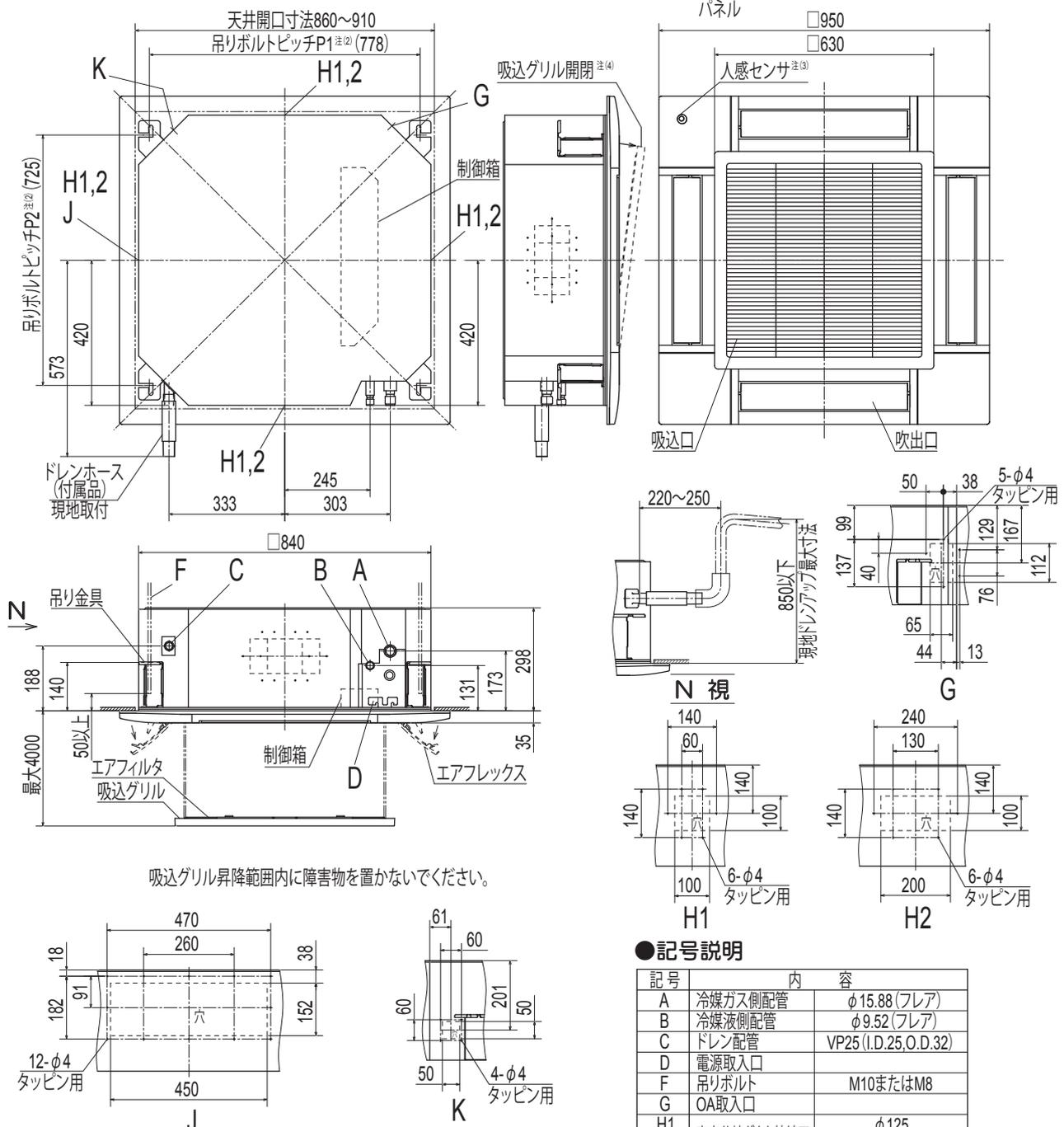
注(4) 標準パネルとエアフレックスパネルの場合を示します。

PJF000Z789

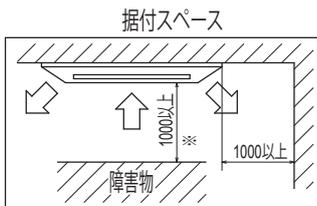
PJF000Z791

PJF000Z793

GTP906M1, 1126M1, 1406M1, 1606M1



吸込グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。



隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。  
ラクリーナパネル仕様の場合、※寸法は1400です。

●記号説明

記号	内 容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管	VP25(I.D.25,O.D.32)
D	電源取入口	
F	吊りボルト	M10またはM8
G	OA取入口	
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125
H2	吹出分岐ダクト接続口	φ200
J	加湿器接続口	
K	加湿器余剰水接続口	

注(1) 装置銘板は制御箱の蓋に付いています。  
注(2) 吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

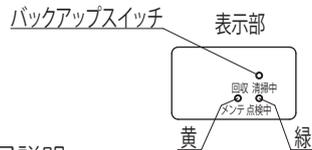
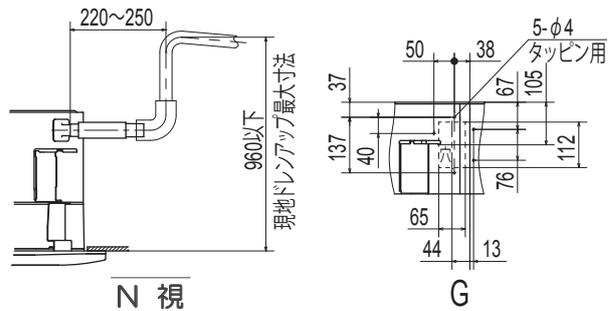
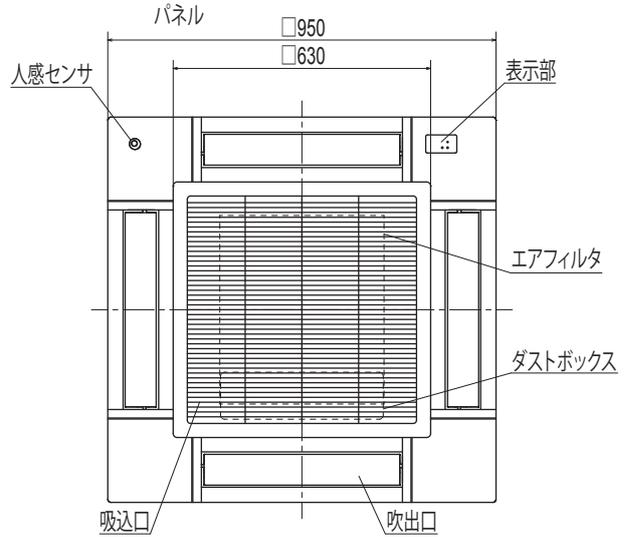
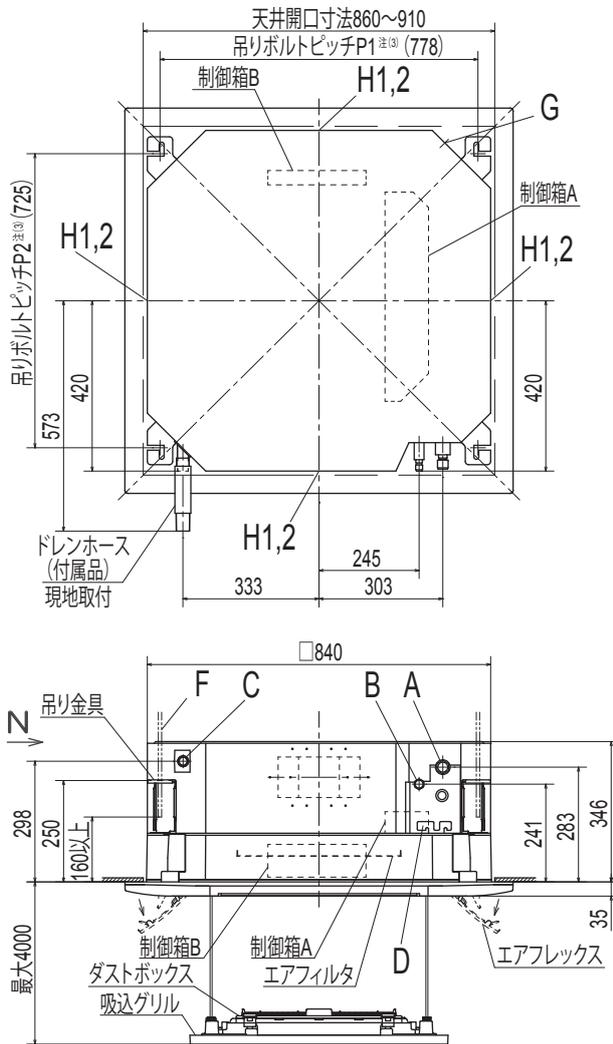
パターン	記号	P1	P2
1		770	725~770
2		770~800	725

(3) 人感センサは標準パネルには付属しておりません。  
(4) 標準パネルとエアフレックスパネルの場合を示します。

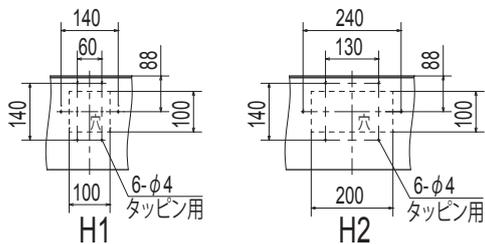
PJF000Z790  
PJF000Z792  
PJF000Z794

(b) お掃除ラクリーナパネル仕様

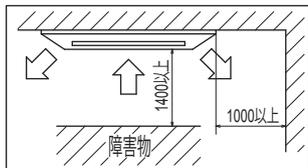
GTP286M1, 366M1, 456M1, 566M1, 716M1, 806M1



吸込グリル昇降範囲内に障害物を置かないでください。



据付スペース



●記号説明

記号	機種	内容		
		P28	P36,45,56	P71,80
A	冷媒ガス側配管	φ9.52(フレア)	φ12.7(フレア)	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35(フレア)	φ9.52(フレア)	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管	VP25(I.D.25,O.D.32)		
D	電源取入口	M10またはM8		
F	吊りボルト	M10またはM8		
G	OA取入口			
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125		
H2		φ200		

注(1) 装置銘板は制御箱Aの蓋に付いています。

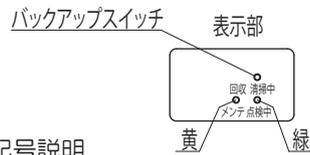
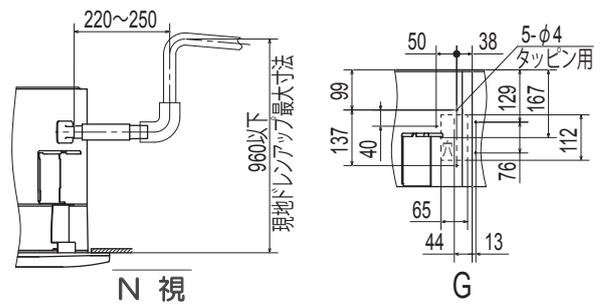
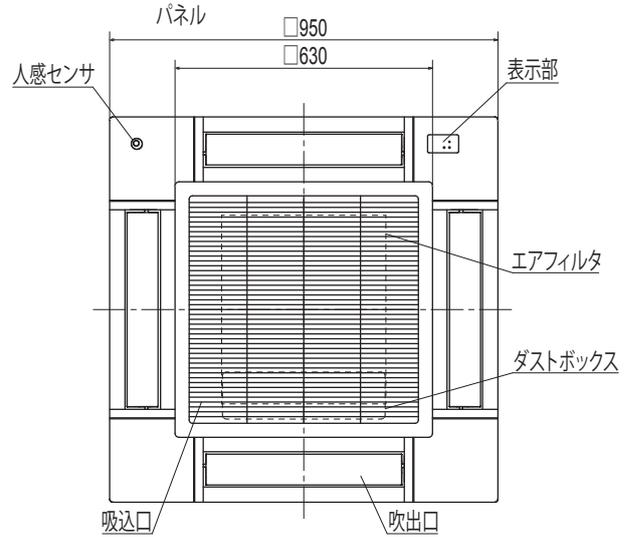
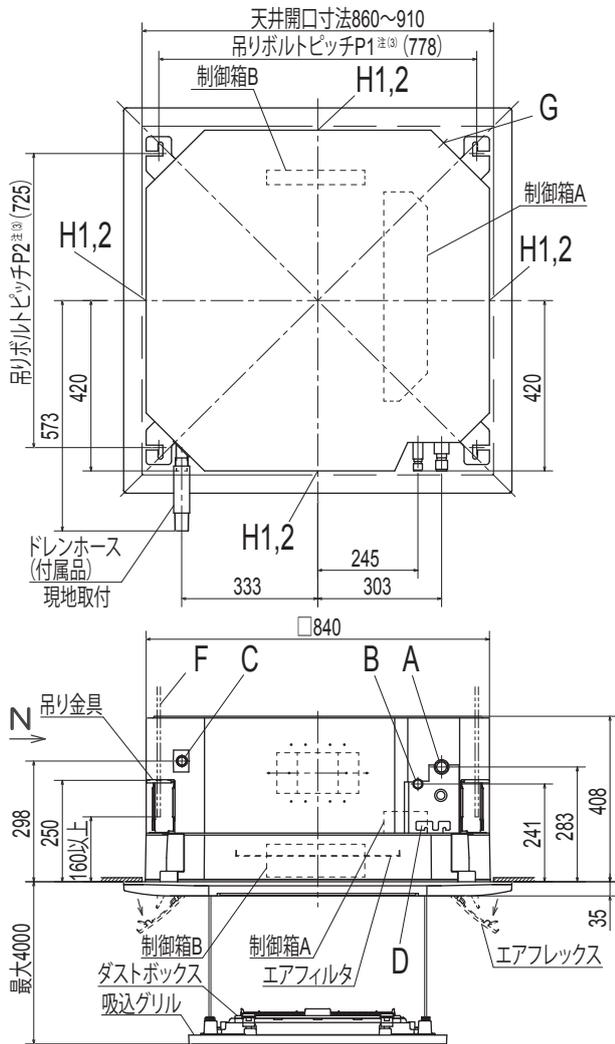
(2) 吸込グリルには方向性があります。

(3) 吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

吊りボルトピッチ範囲表

バリエーション	記号	P1	P2
1		770	725~770
2		770~800	725

GTP906M1, 1126M1, 1406M1, 1606M1



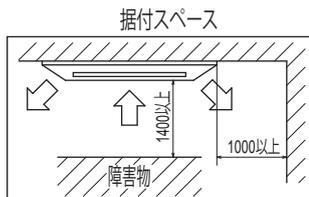
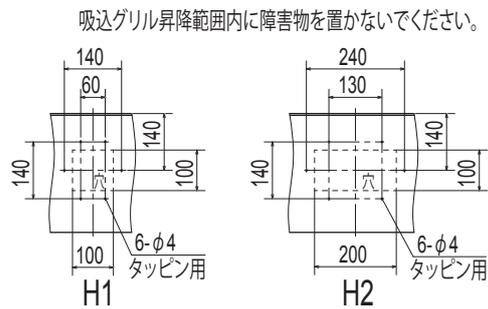
●記号説明

記号	内 容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88(フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52(フレア)
C	ドレン配管	VP25(I.D.25,O.D.32)
D	電源取入口	
F	吊りボルト	M10またはM8
G	OA取入口	
H1	吹出分岐ダクト接続口	φ125
H2		φ200

- 注(1)装置銘板は制御箱Aの蓋に付いています。  
 (2)吸込グリルには方向性があります。  
 (3)吊りボルトピッチP1,P2は下表のパターンで調整可能です。

吊りボルトピッチ範囲表

パターン	記号	P1	P2
1		770	725~770
2		770~800	725



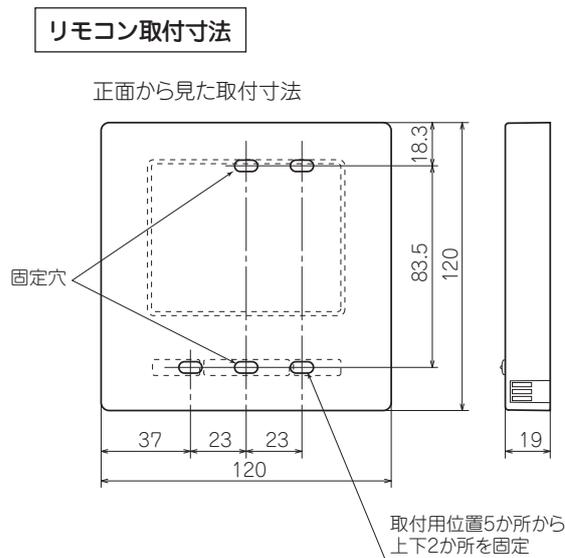
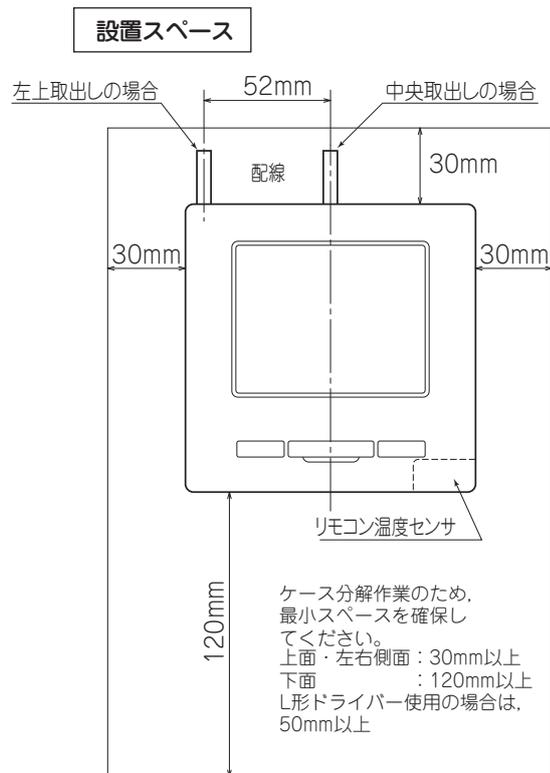
隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

## (2) リモートコントローラ

### (a) ワイヤードリモコン (別売品)

#### (i) RC-DX3C

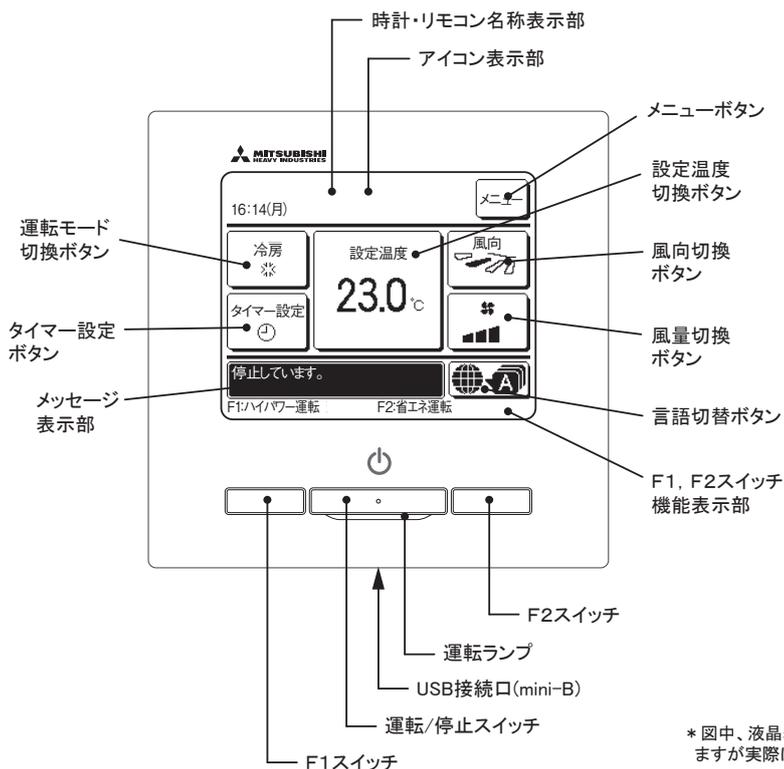
(単位：mm)



### リモコンコードを延長する場合の注意 最大総延長600m

- リモコンコードは $0.3\text{mm}^2 \times 2\text{心}$ です。
- 延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大 $0.5\text{mm}^2$ 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しないような処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のないように確実に行ってください。
- 100～200m以内… $0.50\text{mm}^2 \times 2\text{心}$
- ～300m以内… $0.75\text{mm}^2 \times 2\text{心}$
- ～400m以内… $1.25\text{mm}^2 \times 2\text{心}$
- ～600m以内… $2.00\text{mm}^2 \times 2\text{心}$

### ●操作部 (フルドット表示, タッチパネル操作)

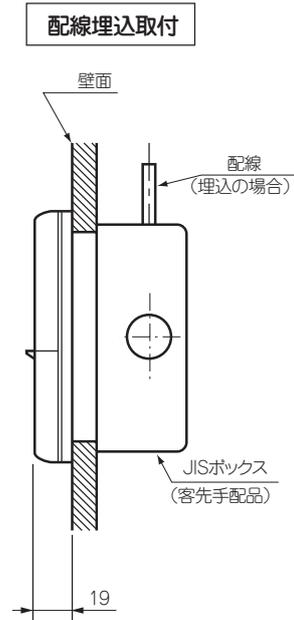
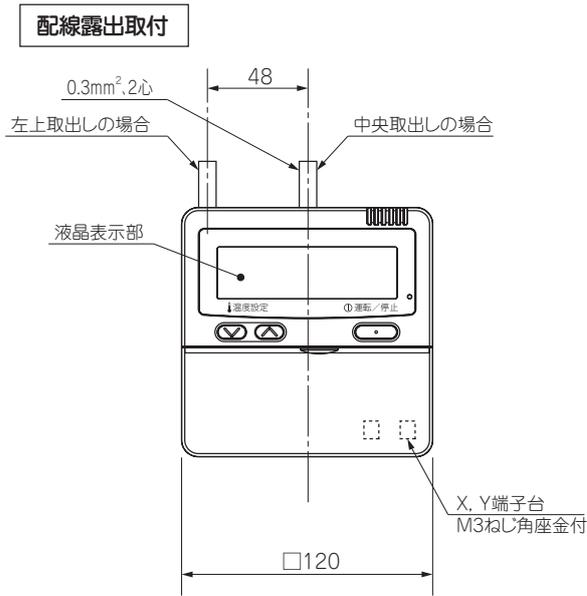


\* 図中、液晶表示部は説明のため全部同時に表示してありますが実際には該当部分にのみ表示されます。

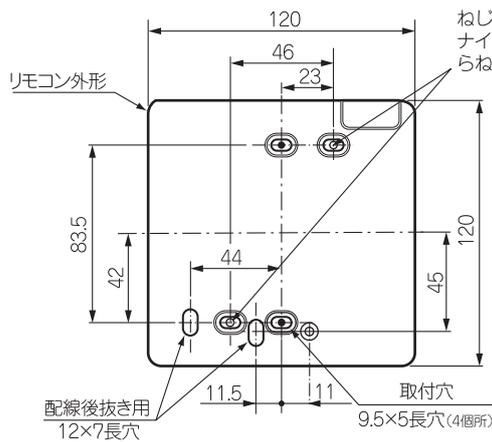
PJZ000Z342

(ii) 標準リモコン：RC-D4G

(単位：mm)



**リモコン取付寸法**



- 注 (1) 使用可能JISボックス JIS C 8340  
 ▶1 個用スイッチボックス (左図 ● 印穴使用)  
 ▶2 個用スイッチボックス (左図 ○ 印穴使用)  
 (2) リモコン用取付ねじ M4×2本

**リモコンコードを延長する場合の注意**

最大総延長600m

- リモコンコードは0.3mm<sup>2</sup>×2心です。

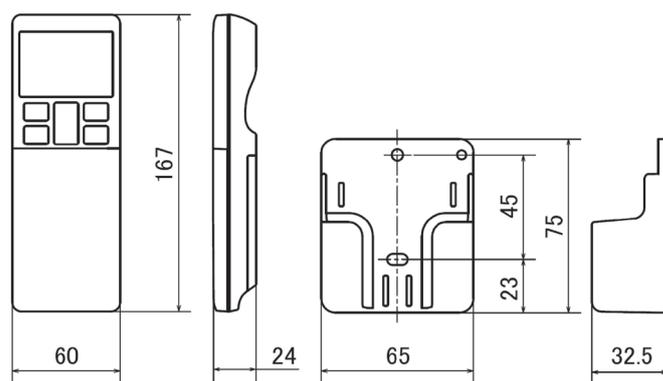
延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm<sup>2</sup>以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しないような処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のないように確実に行ってください。

- 100～200m以内…0.50mm<sup>2</sup>×2心
- ～300m以内…0.75mm<sup>2</sup>×2心
- ～400m以内…1.25mm<sup>2</sup>×2心
- ～600m以内…2.00mm<sup>2</sup>×2心

(b) ワイヤレスリモコン (別売品) : RCN-D5

(i) リモコン

(単位 : mm)



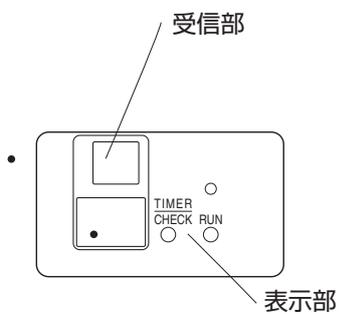
リモコン

リモコン用ホルダー

PJZ000Z324 

(ii) 本体受信・表示部 : (別売品) ワイヤレスキット LA-T-5BW1, LA-T-5SB1 (5-2 ページ参照)

■天井埋込形 (GT)

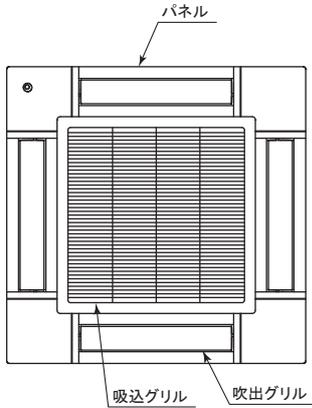


# 1-3 塗装色

## (1) 室内ユニット

### (a) パネル

(商品ご注文時パネル形式)  
を指定してください。



### (b) パネル形式 (オートスイング付)

区 分	パネル形式	降下長	パネル色
標準パネル	T-PSA-5BW/D	—	ファインスノー(マンセル8.0Y9.3/0.1近似)
	T-PSA-5ASB/D	—	シャドウブラック(マンセル7.2BG2.9/0.6近似)
	T-PSA-5AC/D	—	ウッドベージュ(マンセル6.8Y7.9/3.9近似)
エアフレックスパネル	T-PSAE-5BW/D	—	ファインスノー(マンセル8.0Y9.3/0.1近似)
	T-PSAE-5ASB/D	—	シャドウブラック(マンセル7.2BG2.9/0.6近似)
ラクリーナパネル	T-PSCL-5BW/D	~ 4.0m	ファインスノー(マンセル8.0Y9.3/0.1近似)
	T-PSCL-5ASB/D	~ 4.0m	シャドウブラック(マンセル7.2BG2.9/0.6近似)
お掃除ラクリーナパネル	T-PSCLS-5BW/D	~ 4.0m	ファインスノー(マンセル8.0Y9.3/0.1近似)

### (c) ワイヤレスキット, ワイヤレス受信部

(標準・エアフレックス・ラクリーナパネル・お掃除ラクリーナパネル共通)

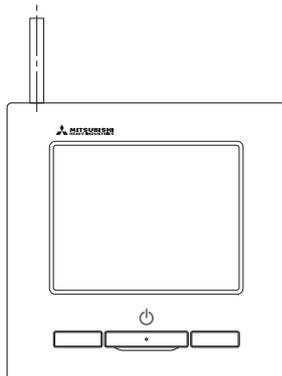
形 式	塗 装 色
LA-T-5BW1	ファインスノー(マンセル8.0Y9.3/0.1近似)
LA-T-5SB1	シャドウブラック(マンセル7.2BG2.9/0.6近似)

注(1) ワイヤレスキットおよびワイヤレス受信部の取付方法は、5-2ページをご覧ください。

(2) ワイヤレス受信部は取付位置に制限があり取付位置によっては別売のハーネスセット(RCN-T-HA6G)が必要です。

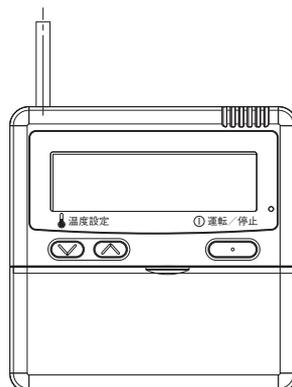
## (2) リモートコントローラ

### (a) RC-DX3C



パールホワイト  
(DSC-0006)

### (b) RC-D4G

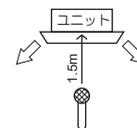


パールホワイト  
(マンセルN8.5近似)

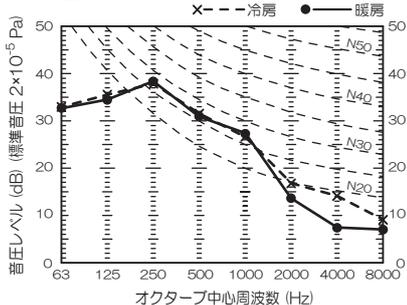
# 1-4 運転音

運転音は、JIS 規格に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

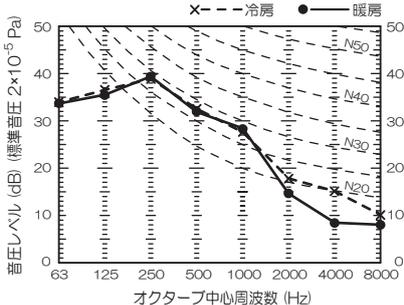
(測定条件：JIS B 8627 測定場所：無響室)  
 (マイク位置：ユニット中央下方 1.5m)



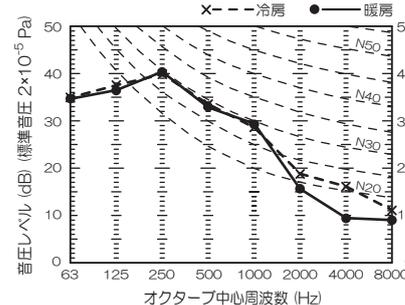
GTP286M1



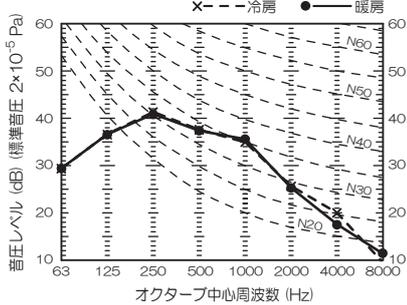
GTP366M1



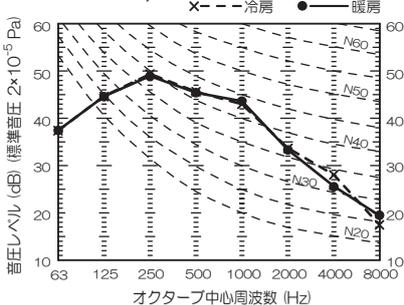
GTP456M1



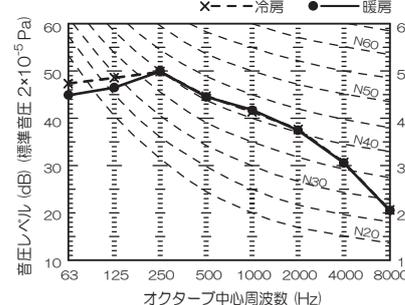
GTP566M1



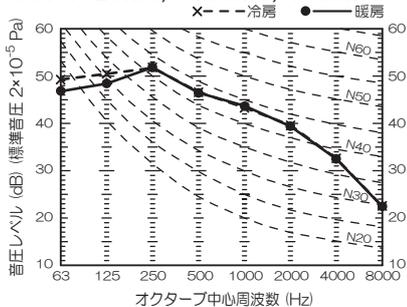
GTP716M1, 806M1



GTP906M1

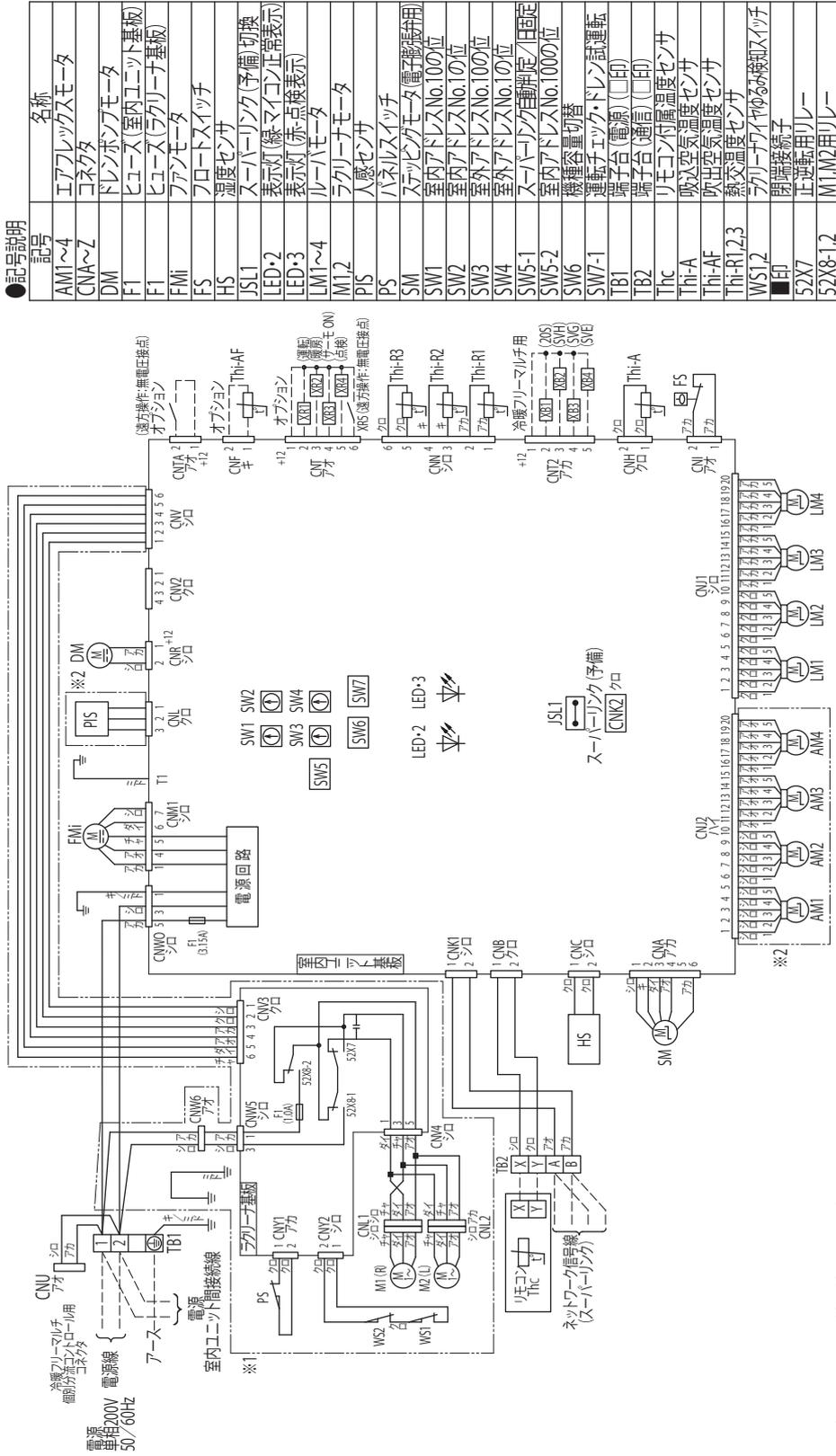


GTP1126M1, 1406M1, 1606M1



# 1-5 電気配線図

GTP286, 366, 456, 566, 716, 806, 906, 1126, 1406, 1606M1  
 (注) 本図はエアコン本体部分について示しています。お掃除パネル部分については、次ページをご覧ください。



●記号説明

記号	名称
AM1~4	エアフレックスモータ
CNA~Z	コネクタ
DM	ドレンポンプモータ
F1	ヒューズ(室内ユニット基板)
F1	ヒューズ(ラクリーナ基板)
FMI	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
HS	湿度センサ
JSL1	スーパージョイント(予備)切換
LED-2	表示灯(緑)マイコン正常表示
LED-3	表示灯(赤)点検表示
LM1~4	ルーバモータ
M1,2	ラクリーナモータ
PI5	入感センサ
PS	パナシススイッチ
SM	ステッピングモータ(電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW3	室外アドレスNo.10の位
SW4	室外アドレスNo.1の位
SW5-1	スーパージョイント(予備)日設定
SW5-2	室内アドレスNo.100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転子エック・ドレン試運転
TB1	端子台(電源)(L印)
TB2	端子台(通信)(L印)
Thc	リモコン付属温度センサ
Thi-A	吸込空気温度センサ
Thi-AF	吹出空気温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
WS1,2	ラクリーナワイヤゆるみ検知スイッチ
■印	閉端接線子
52X7	正逆転用リレー
52X8-1,2	M1,M2用リレー

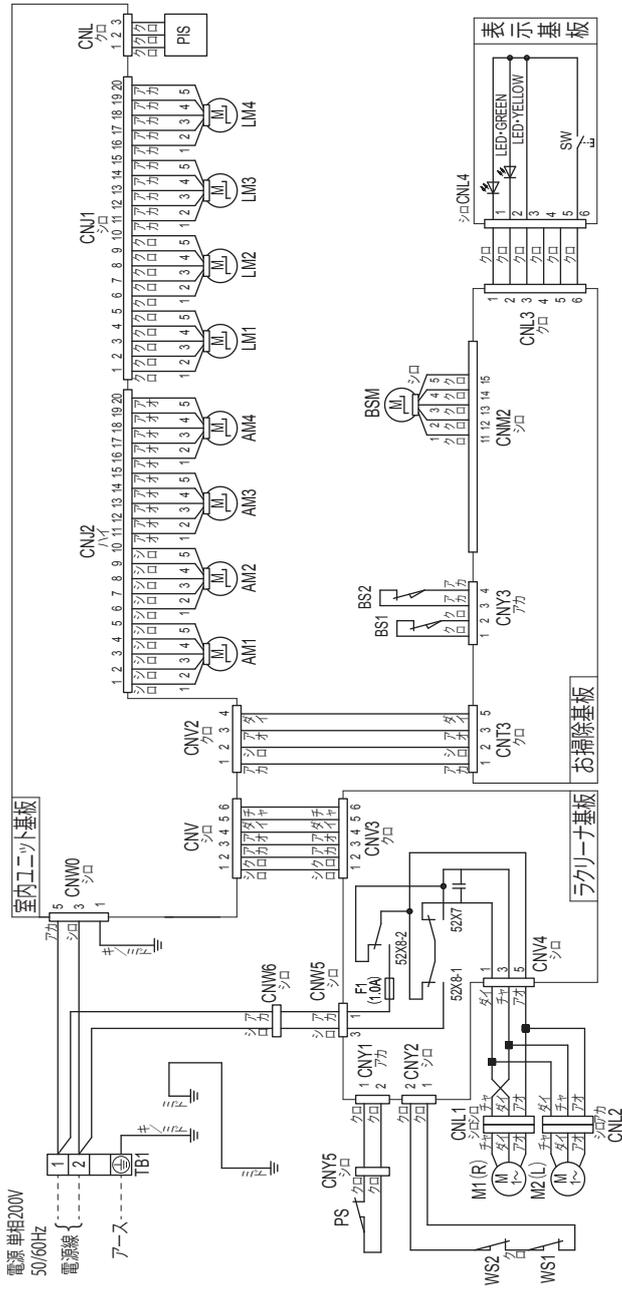
- 記事 1. ---は現地配線を示します。  
 2. TB1は強電用端子台(電源線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、ネットワーク信号線)です。  
 3. リモコン配線は0.3mm<sup>2</sup> X 2心を使用してください。  
 延長距離が100mを超える場合はリモコン用仕様の仕様に準拠して配線してください。  
 4. ネットワーク(スーパージョイント)信号線は、  
 ・シールド線、太さ0.75mm<sup>2</sup>を使用する場合は1500mまで  
 ・シールド線、太さ1.25mm<sup>2</sup>を使用する場合は1000mまで  
 ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm<sup>2</sup>とし、2000mまで  
 5. リモコン配線、ネットワーク信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

6. 標準パネルまたはエアフレックスパネルの場合は、※1のラクリーナ基板および配線等はありません。  
 7. 標準パネルの場合は、※2箇所の配線等はありません。

PJF000Z797  
 PJF000Z798  
 PJF000Z799

# GTP286, 366, 456, 566, 716, 806, 906, 1126, 1406, 1606M1

注(1) 本図はお掃除パネル部分について示しています。エアコン本体側部分については、前ページをご覧ください。



## ●記号説明

記号	名称
AM1~4	エアフレックスモータ
BS1,2	ブラシ位置検知スイッチ
BSM	シャフト駆動モータ
CNA~Z	コネクタ
F1	ヒューズ(ラクリーナ基板)
LED・GREEN	表示灯(緑)右表参照
LED・YELLOW	表示灯(黄)右表参照
LM1~4	ルーバモータ
M1,2	ラクリーナモータ
PIS	人感センサ
PS	パネルスイッチ
SW	バックアップスイッチ
TB1	端子台(電源)□印
WS1,2	ラクリーナワイヤゆるみ検知スイッチ
■印	閉端接線子
52X7	正逆転用リレー
52X8-1,2	M1,M2用リレー

パネル表示部	内容
緑の点灯	お掃除運転中
黄の点灯	タスト回収表示
緑の1回点滅	ブラシ移動不良
緑の2回点滅	ブラシ移動不良
緑の3回点滅	位置検知スイッチ異常
緑の4回点滅	位置検知スイッチ異常
緑の5回点滅	吸込グリル収納不良
緑の6回点滅	位置検知スイッチ同時ON異常

# 1-6 防振設計用参考資料

## (1) 耐震データ

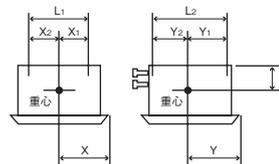
単位 : mm

形式		項目 製品外形寸法 <sup>(1)</sup> 幅×奥行×高さ	<sup>(1)</sup> 製品 質量 (kg)	重心位置 <sup>(2)</sup>								
				幅方向				奥行方向				高さ Z
				X	X <sub>1</sub>	X <sub>2</sub>	L <sub>1</sub>	Y	Y <sub>1</sub>	Y <sub>2</sub>	L <sub>2</sub>	
GT	P286M1	950×950×271	27	457.8	371.8	406.2	778	491.9	379.4	345.6	725	133
	P366M1											
	P456M1											
	P566M1											
	P716M1	950×950×333	28	454.7	368.7	409.3	778	493.2	380.7	344.3	725	124.5
	P806M1											
	P906M1											
	P1126M1	950×950×333	33	454.8	368.8	409.2	778	491.4	378.9	346.1	725	153.7
	P1406M1											
P1606M1												

注(1) GTシリーズは標準パネル使用時を示します。

(2) L<sub>1</sub>(X<sub>1</sub>, X<sub>2</sub>), L<sub>2</sub>(Y<sub>1</sub>, Y<sub>2</sub>)寸法は据付ボルトの位置を示します。

### GT形



## (2) 防振データ

(50/60Hz)

形式		項目 送風機回転数 <sup>(1)</sup> (min <sup>-1</sup> )
GT	P286M1	340
	P366M1	360
	P456M1	380
	P566M1	455
	P716M1	610
	P806M1	
	P906M1	665
	P1126M1	780
	P1406M1	
P1606M1		

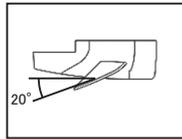
注(1) P急運転時の値です。

# 1-7 気流分布

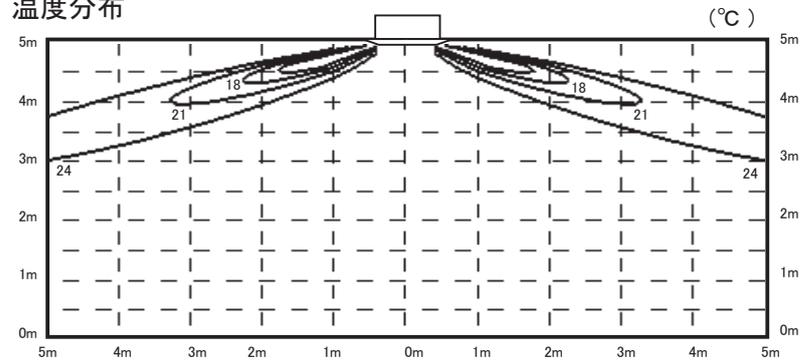
GTP286, 366, 456M1

(a) 冷房 風量：P急

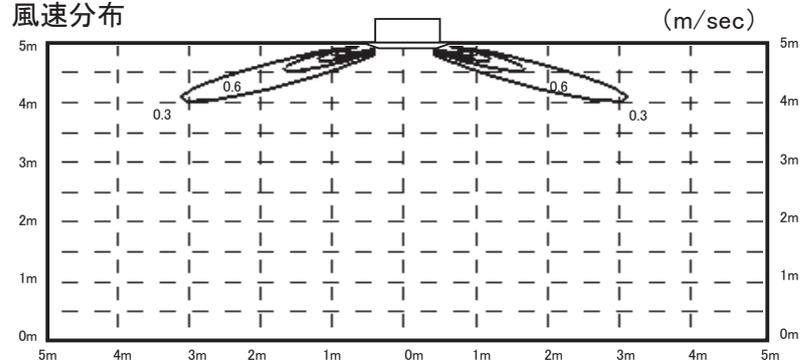
ルーバ位置



温度分布

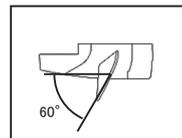


風速分布

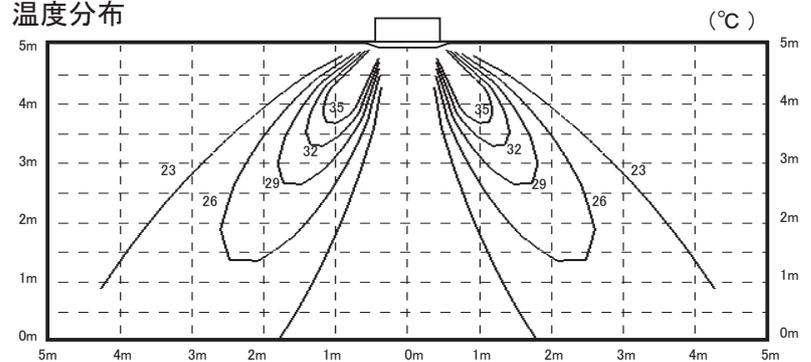


(b) 暖房 風量：P急

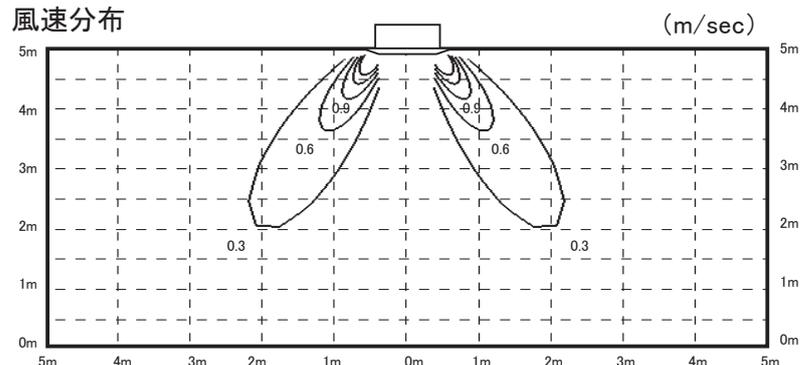
ルーバ位置



温度分布

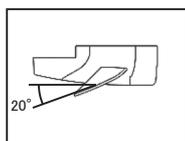


風速分布

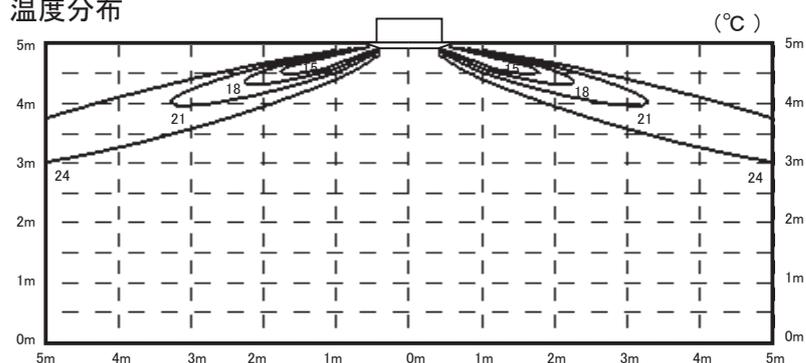


GTP566M1

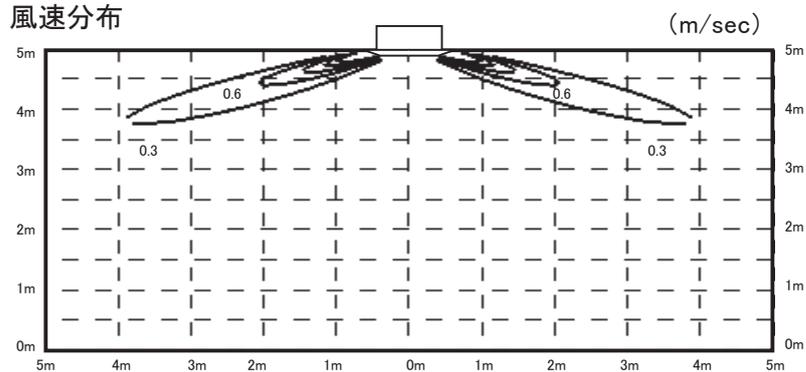
(a) 冷房 風量：P急  
ルーバ位置



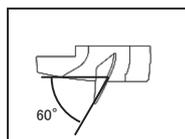
温度分布



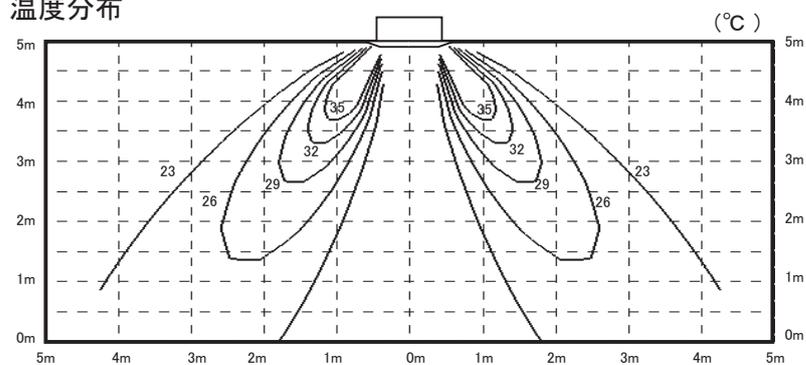
風速分布



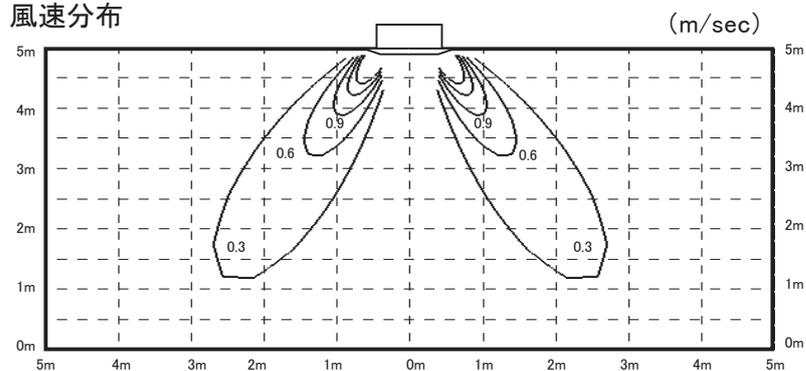
(b) 暖房 風量：P急  
ルーバ位置



温度分布

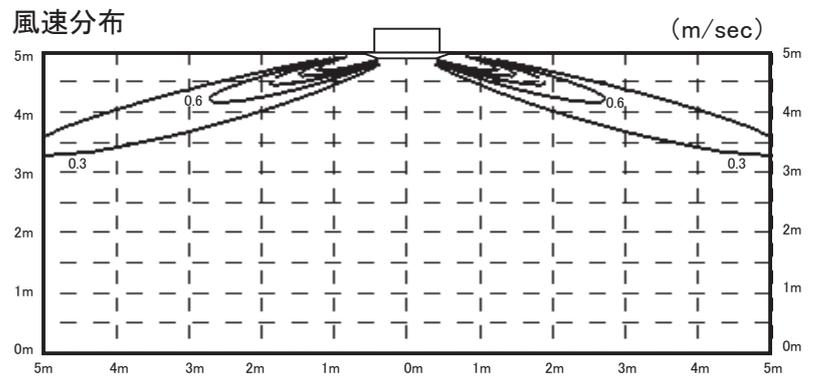
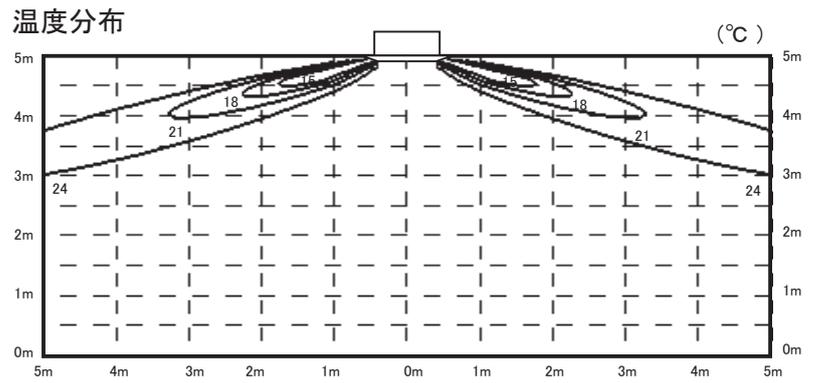
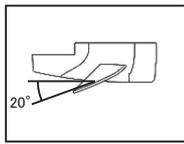


風速分布

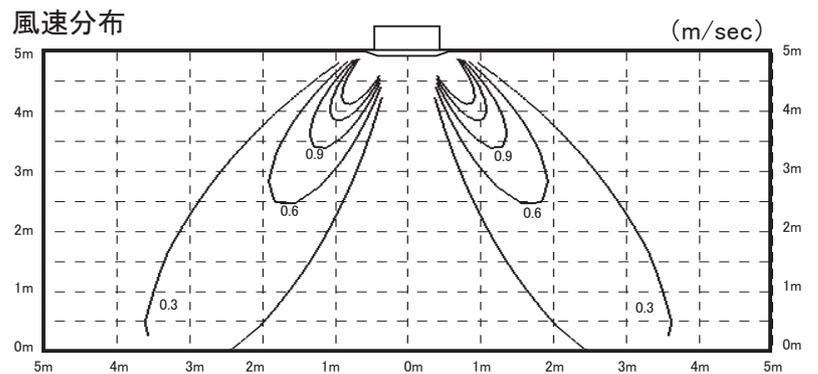
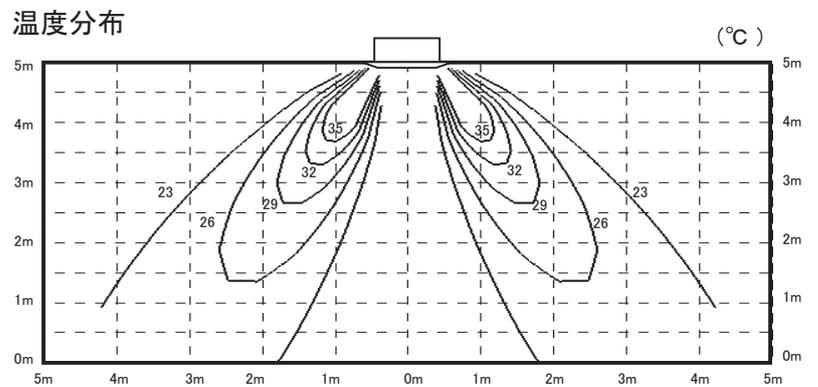
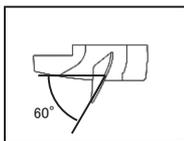


GTP716, 806M1

(a) 冷房 風量：P急  
ルーバ位置



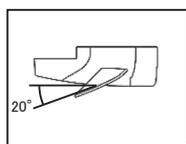
(b) 暖房 風量：P急  
ルーバ位置



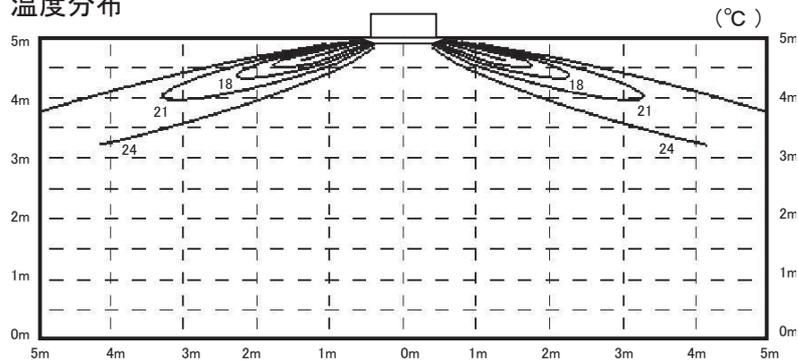
# GTP906M1

(a) 冷房 風量：P急

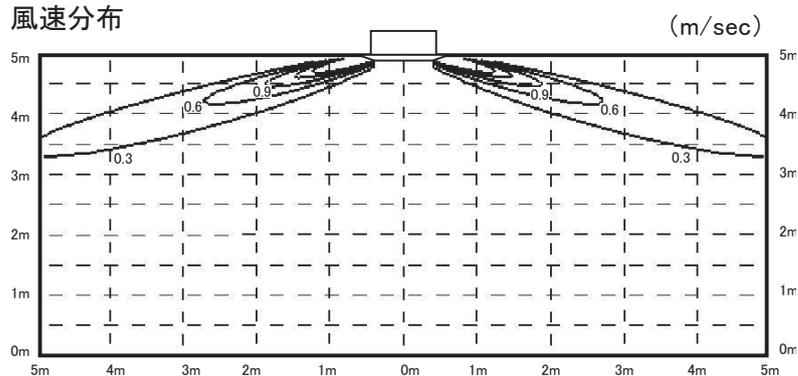
ルーバ位置



温度分布

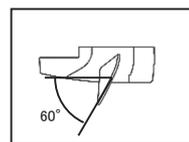


風速分布

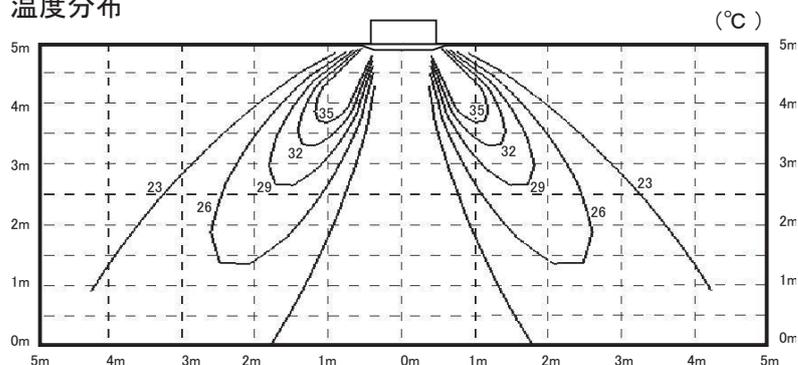


(b) 暖房 風量：P急

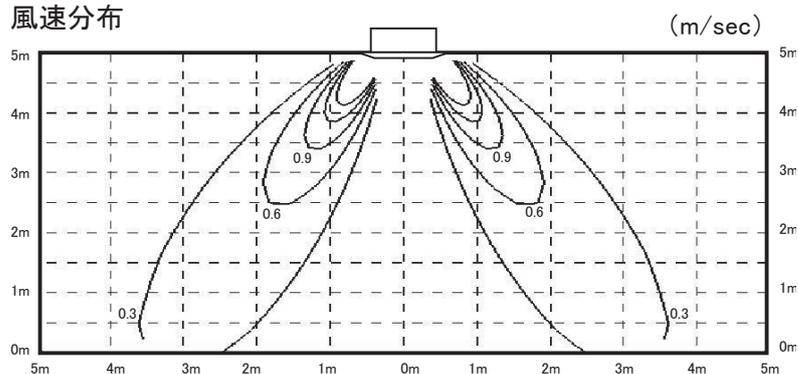
ルーバ位置



温度分布



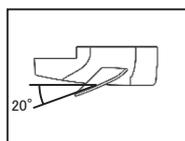
風速分布



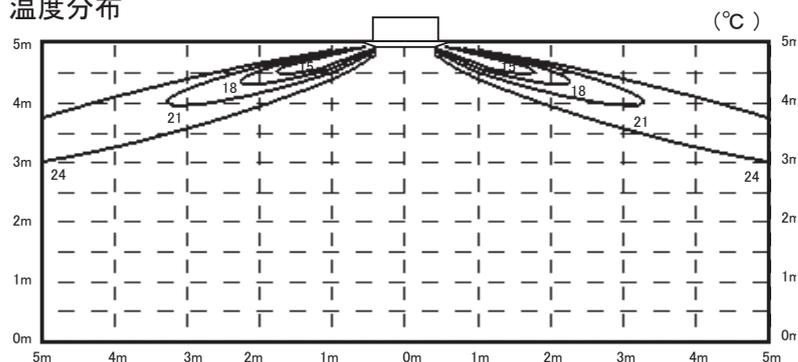
GTP1126, 1406, 1606M1

(a) 冷房 風量：P急

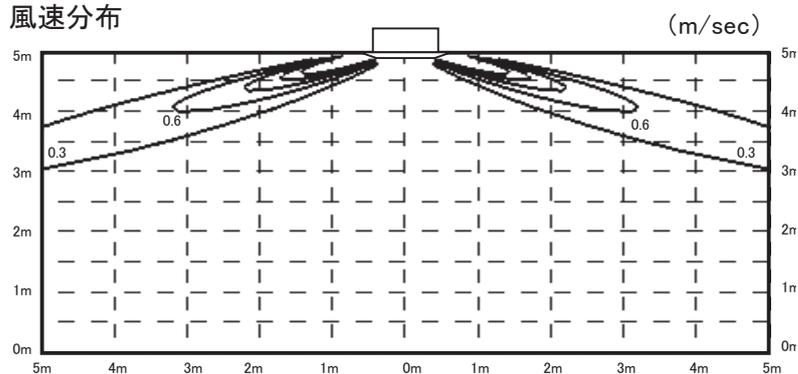
ルーバ位置



温度分布

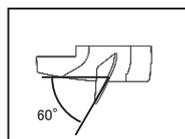


風速分布

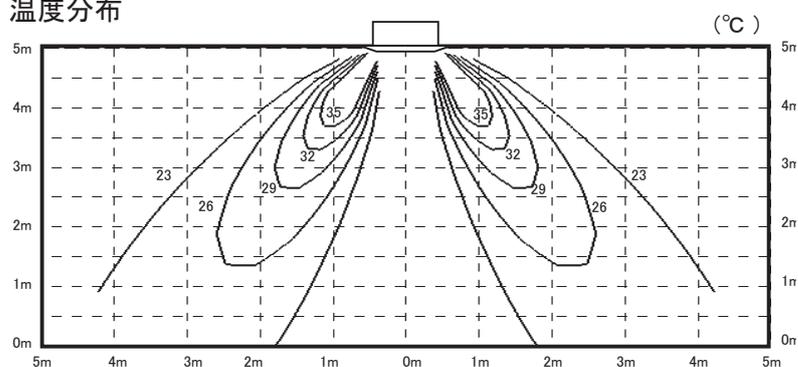


(b) 暖房 風量：P急

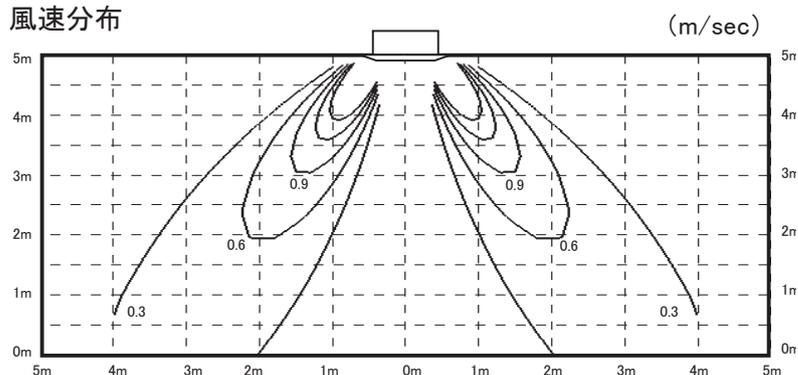
ルーバ位置



温度分布



風速分布



## 2 特性・機能編の目次

1. 機能 .....	2-2
1-1 室内マイコン運転制御機能 .....	2-2
1-2 リモコン機能 .....	2-21

# 1. 機能

## 1-1 室内マイコン運転制御機能

### (1) 冷房・暖房運転時の機能品動作

機能品	冷 房		送 風	暖 房			除 湿
	サーモ ON	サーモ OFF		サーモ ON	サーモ OFF	ホットスタート (デフロスト)	
圧 縮 機	○	×	×	○	×	○	○/×
四 方 切 換 弁	×	×	×	○	○	○(×)	×
室 外 送 風 機	○	×	×	○	×	○(×)	○/×
室 内 送 風 機	○	○	○	○/×	○/×	○/×	○/×
ル ー バ モ ー タ	○/×			○/×	○/×	○/×	○/×
ド レ ン ポ ン プ <sup>(1)</sup>	○	× <sup>(2)</sup>	× <sup>(2)</sup>		○/×		サーモON:○ サーモOFF:×
加 温 器	×				○/×		×

注(1) ○：運転 ×：停止 ○/×：室温制御以外の制御により運転/停止します。

(2) ドレンポンプ遅延制御中はON。

(3) ワイヤードリモコンの室内機能設定によりドレンポンプON設定の選択が可能です。

(4) 加温器ドレン連動制御中はON。

### (2) 除湿運転

吸込口に設置された相対湿度センサ[HS]および吸込温度センサ[Thi-A(リモコンセンサ有効時はリモコン温度センサによる)]により、室内の温湿度環境を同時に制御します。

- (i) 冷房運転で運転を開始し、吸込温度と設定温度の差が2℃以内の場合は、室内ファンタップを1タップダウンします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。
- (ii) 上記成立後、吸込温度と設定温度の差が3℃以下、かつ、相対湿度が目標相対湿度より高い場合は、室内ファンタップを1タップダウンします。吸込温度と設定温度との差が3℃より大きい場合、室内ファンタップを1タップアップします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。
- (iii) 相対湿度センサの検知湿度が目標相対湿度以下になった場合、室内ファンタップを保持します。
- (iv) 上記制御中にサーモOFFが成立した場合、サーモON時の室内ファンタップを保持します。

### (3) タイマー運転

#### (a) RC-DX3Cリモコンの場合

##### (i) 切忘れタイマー

運転開始してから停止するまでの時間を設定します。設定時間は30～240分（10分単位）まで選択可能です。

注(1) リモコンより「切忘れタイマー」設定を有効にしてください。有効の場合、毎回タイマーが作動します。

##### (ii) 時間切タイマー

運転後、停止させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。

##### (iii) 時間入タイマー

停止後、運転させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。また、同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効/無効の設定が可能です。

##### (iv) 時刻入タイマー

運転開始時刻を設定します。設定時刻は5分単位で設定可能で、1回のみ/毎日の切換えが可能です。また、同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効/無効の設定が可能です。

注(1) 時刻入タイマーを使用するには、時刻設定が必要です。

##### (v) 時刻切タイマー

運転停止時刻を設定します。設定時刻は5分単位で設定可能で、1回のみ/毎日の切換えが可能です。

注(1) 時刻切タイマーを使用するには、時刻設定が必要です。

##### (vi) ウィークリータイマー

1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。1日最大8パターンまでの設定が可能です。祭日および臨時休業など休日設定が可能です。

注(1) ウィークリータイマーを使用するには、時刻設定が必要です。

##### (vii) タイマー運転の併用設定可能な組合せ

	切忘れタイマー	時間切タイマー	時間入タイマー	時刻切タイマー	時刻入タイマー	ウィークリータイマー
切忘れタイマー		×	×	○	○	○
時間切タイマー	×		×	×	×	×
時間入タイマー	×	×		×	×	×
時刻切タイマー	○	×	×		○	×
時刻入タイマー	○	×	×	○		×
ウィークリータイマー	○	×	×	×	×	

注(1) ○：可，×：不可

(b) RC-D4Gリモコンの場合

(i) 時間タイマー

現在よりエアコンOFFの時間を設定します。

「1時間後切」から「10時間後切」の10段階での選択が可能です。時間タイマー設定後は、現在時刻の経過とともに1時間単位で残り時間の表示を行います。

(ii) 時刻切タイマー

エアコンOFF時刻を10分単位で設定が可能です。

(iii) 時刻入タイマー

エアコンON時刻を10分単位で設定が可能です。また、同時に室内温度も1℃単位で設定が可能です。

(iv) ウィークリータイマー

各曜日毎に、一日最大4回タイマー運転(入タイマー、切タイマー)の設定が可能です。

(v) タイマー運転の併用設定可能な組合せ

	時間タイマー	時刻切タイマー	時刻入タイマー	ウィークリータイマー
時間タイマー		×	○	×
時刻切タイマー	×		○	×
時刻入タイマー	○	○		×
ウィークリータイマー	×	×	×	

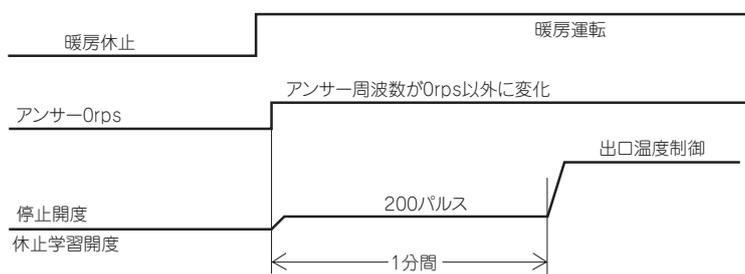
注(1) ○：可，×：不可

(2) 時刻入タイマーと時間タイマーおよび時刻切タイマーが併用設定されており、タイマー入時刻とタイマー切時刻(または切時間)が同時刻に設定された場合は、タイマー切設定が優先されます。

(4) ホットスタート(暖房時コールドドラフト防止)

(a) 開始条件

暖房運転開始時、アンサー周波数が0rpsから0rps以外に変化した時、1分間は膨張弁開度を200パルスに固定します。



(b) 制御内容

(i) ホットスタート時の室内ファンモータ制御

1) 暖房運転開始後7分以内、サーモ状態(暖房サーモOFF時のファン制御)によりファンモードを決定します。

a) サーモOFFの場合

- i) 暖房サーモOFF時の室内ファン制御設定により運転します。
- ii) サーモOFFからサーモONに変化してもファンは室内熱交温度センサ(Thi-R1, R2の何れか高い方)が35℃以上になるまでサーモOFF時のファン制御で運転を続けます。
- iii) 室内熱交温度センサ(Thi-R1, R2の何れか高い方)が35℃以上になった時、設定風量で運転します。

b) サーモONの場合

- i) 室内熱交温度センサ(Thi-R1, R2の何れか高い方)が25℃以下の時ファンは運転しません。
- ii) 室内熱交温度センサ(Thi-R1, R2の何れか高い方)が25℃以上になった時、暖房サーモOFF時ファン制御で運転します。
- iii) 室内熱交温度センサ(Thi-R1, R2の何れか高い方)が35℃以上になった時、設定風量で運転します。

c) ワイヤードリモコン室内機能設定から「暖房ファン制御」を「設定風量」に設定している場合は、サーモON / OFFに関わらずファンは設定風量で運転します。

- 2) サーモON中に1度ファンモータがOFFからONとなると、室内熱交温度センサが25℃以下となっても室内ファンモータをOFFしません。  
(注) デフロスト制御受信時はデフロスト時のファン制御に従います。
- 3) 一旦ホットスタートを終了すると室内熱交温度センサの温度が低下してもホットスタートを再開しません。
- (ii) ホットスタート作動時はルーバは水平位置となります。
- (iii) デフロスト終了後、連続7分間室内ファンがOFFの場合は、室内熱交温度センサ (Thi-R1, R2) の検知温度に係わらずONします。

**(c) 終了条件**

- (i) ホットスタート制御中に下記の何れかの条件が成立した時、本制御を終了し室内ファンは設定風量で運転します。
  - 1) 室内熱交温度センサ (Thi-R1, R2の何れかが高い方) が35℃以上のとき。
  - 2) ホットスタート制御開始7分経過したとき。

**(5) ホットキープ**

デフロスト制御開始時にホットキープ制御を行います。

**(a) 制御内容**

- (i) 室内熱交温度(Thi-R1またはR2で検知)が35℃未満となった場合、室内ファンはサーモOFF時のファン設定に従います。
- (ii) ホットキープ時は、ルーバは水平位置となります。

**(6) フィルターサイン (お掃除パネル対応機は 2-18 ページ参照)**

運転時間(運転/停止スイッチが ON となっている時間)が 180 時間<sup>(1)</sup>になるとリモコン上の「フィルター清掃」を表示します。(運転/停止に関係なく、故障時、集中制御時也表示します。)

注(1) フィルターサインの時間設定はワイヤードリモコン室内機能「フィルターサイン設定」により下表の様に設定可能です。(工場出荷時は、設定1に設定されています)

フィルターサイン設定	機 能
設定 1	設定時間：180 時間(工場出荷時)
設定 2	設定時間：600 時間
設定 3	設定時間：1,000 時間
設定 4	設定時間：1,000 時間(ユニット停止) <sup>(2)</sup>

(2) 設定 4 では、設定時間経過後フィルター清掃を表示させ更に 24 時間(停止中もカウント)経過後ユニットを停止します。

**(7) オートスイング制御**

**【注意】** RC-DX3Cリモコンは、機能設定で「ドラフト防止設定」が有効の時、オートスイングを選択してもドラフト防止設定が有効なルーバはスイングせず水平位置となります。オートスイングさせる場合は「ドラフト防止設定」を解除してください。

**(a) RC-DX3Cリモコンの場合**

**(i) ルーバ制御**

- 1) エアコンが運転している時に、ルーバを動かすときは、リモコンのTOP画面の「風向」ボタンをタッチすると風向切換画面が表示されます。
- 2) ルーバをスイングさせる場合は「オートスイング」ボタンをタッチしてください。ルーバが上下に連動して動きます。  
ルーバ位置を固定する場合は [1] ~ [4] ボタンをタッチしてください。ルーバが指定の位置でとまります。
- 3) ルーバ4位置制御機の電源投入時のルーバ動作  
電源投入時、ルーバは自動的に(リモコン操作なし)1回スイングします。  
これは、ルーバ位置をマイコンが確認するため、ルーバモータ(LM)の位置をマイコンに入力させるための動作です。

**(ii) 暖房時のルーバ自動水平セット**

ホットスタートおよび暖房サーモ時は、(コールドドラフトを防ぐため)オートスイング操作(オートスイングまたはルーバ停止)に関わらずルーバは水平位置となります。またルーバ位置の液晶は本制御に入る前の表示を継続します。

(iii) ルーバフリー停止制御

リモコンのTOP画面より「メニュー」→「サービス設定」→「リモコン設定」→「サービスパスワード」→「リモコン設定メニュー#2」順にボタンをタッチして行くと「上下ルーバ制御」画面が表示されます。この画面にてフリー停止を選択するとリモコンより停止信号があった場合ルーバモータを停止します。さらにリモコンよりオートスイング信号があった場合、停止前の位置よりオートスイングを始めます。

(b) RC-D4Gリモコンの場合

(i) ルーバ制御

- 1) エアコンが運転している時に、スイングルーバを動かすときは、**風向調整** ボタンを押します。「スイング」表示し、スイングルーバが上下に連続して動きます。
- 2) スイングルーバの位置を固定するときは、スイングルーバが動いているときに、**風向調整** ボタンを一度押すと、4位の停止位置が1秒ごとに順番に表示されます。停止させたい位置が表示がきたときに、再度**風向調整** ボタンを押します。表示が停止し、「ルーバ停止」表示を5秒間表示し、スイングルーバが停止します。
- 3) ルーバ4位置制御機の電源投入時のルーバ動作  
電源投入時、ルーバは自動的に（リモコン操作なし）1回スイングします。これは、ルーバ位置をマイコンが確認するため、ルーバモータ（LM）の位置をマイコンに入力させるための動作です。

(ii) 暖房時のルーバ自動水平セット

ホットスタートおよび暖房サーモOFF時はオートスイングスイッチの操作（オートスイングまたはルーバ停止）に関わらずルーバは水平位置となります。（コールドドラフトを防ぐため）またルーバ位置表示のLCDは本制御に入る前の表示を継続します。

(iii) ルーバフリー停止制御

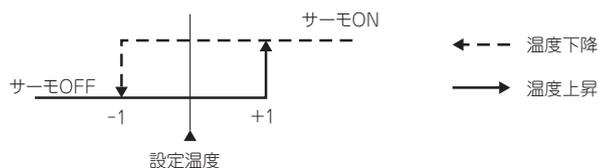
ワイヤードリモコン室内機能「ルーバ制御設定」でルーバフリー停止を選択した場合、リモコンより停止信号があった場合ルーバモータを停止します。さらにリモコンよりオートスイング信号があった場合、停止前の位置よりオートスイングを始めます。

注(1) ワイヤードリモコン室内機能「ルーバ制御設定」を切替えた場合は、リモコン機能「ルーバ制御設定」も同様に切替えてください。

(8) サーマ動作

(a) 冷房

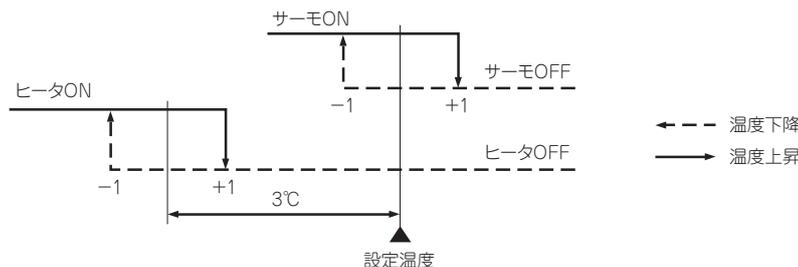
- (i) 室温制御（ファジー制御）によりサーモを動作させます。
- (ii) 設定温度に対し、サーモONとOFFは次の通りです。



- (iii) 冷房運転開始時（暖房から冷房も含む）室温が $-1 < \text{設定温度} < +1$ の間はサーモONとします。

(b) 暖房

- (i) 室温制御（ファジー制御）によりサーモを動作させます。
- (ii) 設定温度に対し、サーモONとOFFは次の通りです。



- (iii) 暖房運転開始時（冷房から暖房も含む）室温が $-1 < \text{設定温度} < +1$ の間はサーモONとします。

### (c) 暖房サーモOFF中のファン制御

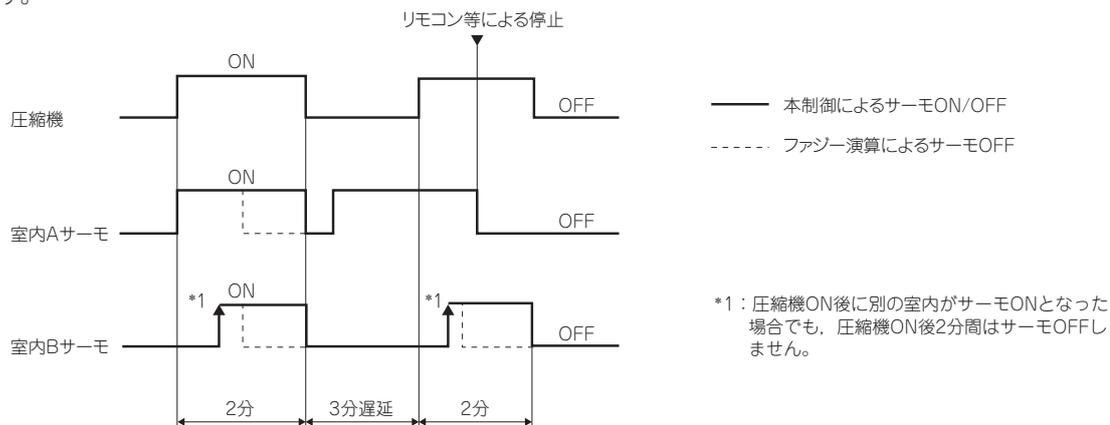
- (i) 暖房サーモOFF時のファン制御は下記がワイヤードリモコンの室内機能設定から選択が可能です。
- ① ULoタップ (工場出荷時), ② 設定風量, ③ 間欠, ④ 停止
- (ii) 「設定風量」を選択した場合, サーモOFF時も設定風量で運転します。
- (iii) 「間欠」を選択した場合, 下記の制御を行います。
- 1) 暖房運転中にサーモOFFした室内ユニットは, 室内ファンをOFFします。
  - 2) 室内ファンOFFを5分間固定とし, 5分後に室内ファンULo運転を2分間行い, この間ルーバは水平制御となります。
  - 3) 室内ファンULo運転2分後に1) 項へ移行します。
  - 4) サーモONであれば, ホットスタート制御へ移行します。
  - 5) 暖房サーモOFFとなった場合, リモコンに表示する温度は室内ファンが停止となった時点とし, 以後, ファンがULo→停止のタイミングで更新します。  
リモコンでは運転データ表示操作により温度表示を行い, ファンOFF中も値を更新します。
  - 6) 暖房サーモOFF中にデフロストに入った場合, またはデフロスト中にサーモOFFした場合の室内ファンはOFFとします。(ホットキープ, ホットスタート制御を優先する) ただし, 吸込温度の更新は7分毎に行います。
  - 7) 暖房サーモONとなった場合, または他の運転モード(含む停止)に切替えた場合は, その時点で本制御を中止し, その後運転状態に復帰します。
- 注(1) 本項のサーモOFF中とは暖房運転で要求周波数=0rpsとなった時点から要求周波数≠0, かつアンサーバック周波数≠0となるまでの間をいいます。従って室外ユニットの制御による圧縮機OFF, または要求周波数≠0でアンサーバック周波数=0の場合は本制御せず室内ファンはホットスタートによります。
- (iv) 「停止」を選択した場合, サーモOFFした室内ユニットのファンをOFFします。

### (d) 冷房サーモOFF中のファン制御

- (i) 冷房サーモOFF中のファン制御は下記に示す内容が, ワイヤードリモコンの室内機能設定から選択が可能です。
- ① ULoタップ ② 設定風量 (工場出荷時) ③ 間欠 ④ 停止
- (ii) 「設定風量 (工場出荷時)」を選択した場合は, サーモOFF時も設定風量で運転します。
- (iii) 「間欠」を選択した場合は, 下記の制御を行います。
- 1) 冷房運転中にサーモOFFした室内ユニットは, 室内ファンをOFFします。
  - 2) 室内ファンOFFを5分間固定とし, 5分後に室内ファンをULoで運転を2分間行います。
  - 3) 室内ファンをULoで運転2分後に1) 項に移行します。
  - 4) サーモONであれば, 室内ファンは設定風量で, 冷房運転を行います。
  - 5) 冷房サーモOFFとなった場合, リモコンに表示する温度は室内ファンが停止となった時点とし, 以降室内ファンがULoから停止のタイミングで更新します。  
リモコンでは運転データ表示操作により温度表示を行い, 室内ファンがOFF中も値を更新します。
  - 6) 冷房サーモONとなった場合, または他の運転モード(含む停止)に切替えた場合は, その時点で本制御を中止し, その後通常運転に復帰します。
- (iv) 「停止」を選択した場合は, 冷房運転中にサーモOFFした室内ファンをOFFします。

## (9) 圧縮機インチング防止制御

- (a) 室内ユニットは一旦サーモONとなった場合は、(8)項でサーモOFFとなっても圧縮機ON後2分間<sup>(\*)</sup>は、サーモOFFしません。圧縮機ON後2分以内にサーモOFFとなる場合は、その機種に定められた0rps以外の最低要求周波数を出力します。



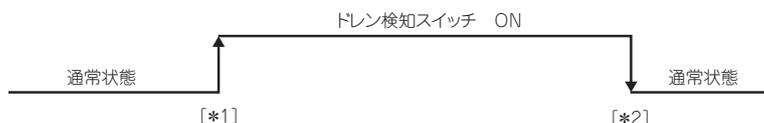
- (b) 室内ユニットは一旦サーモONとなった場合は、(8)項でサーモOFFとなってもサーモON後2分間は、サーモOFFしません。サーモON後2分以内にサーモOFFとなる場合は、その機種に定められた0rps以外の最低要求周波数を出力します。
- (c) サーモON中に油戻し制御を開始したユニットは油戻し制御中にサーモOFF条件になってもサーモOFFしません。

## (10) ドレンポンプ制御

- (a) 冷房運転、自動の冷房および除湿運転にてインバータ周波数が0rps以外の場合に作動します。
- (b) ドレンポンプがONし(a)項によりOFFの領域となってから、5分間ドレンポンプONを継続し、その後停止します。また異常停止の場合も5分間遅延を継続します。
- (c) 圧縮機ON→OFF時にドレンポンプを5分間遅延運転させます。
- (d) 上記以外の状態（暖房、送風、停止、冷房サーモOFF）でもドレン検知によりドレンポンプ制御を行います。
- (e) 油戻し制御の(a)(i)項の冷房時において、そのユニットのドレンポンプを油戻し制御時間+5分遅延の間ONします。
- (f) ワイヤードリモコン室内機能設定により下記設定が可能です。
- (i) 標準：冷房時ドレンポンプON（出荷時）
  - (ii) 暖房：(i)+暖房時ドレンポンプON
  - (iii) 暖房 送風：(i)+暖房時、送風時ドレンポンプON
  - (iv) 送風：(i)+送風時ドレンポンプON

## (11) ドレン異常検知

- (a) フロートスイッチ（FS）とタイマによりドレン検知スイッチをON-OFFします。



[\*1] ドレン検知可能区間においてフロートスイッチ「開」を3秒間連続検知した時、ドレン検知スイッチを「ON」にします。

[\*2] フロートスイッチ「閉」を10秒間連続検知した時、ドレン検知スイッチを「OFF」にします。

- (i) 電源ON後30秒以降降常時検知します。
  - (ii) ドレンポンプOFF後10秒間はドレン異常検出を行いません。
  - (iii) ドレン検知スイッチ「ON」により、ドレンポンプを強制ONにします。
  - (iv) ドレン検知スイッチ「OFF」により、ドレンポンプ強制ONを解除します。
- (b) 室内ユニットは、各運転状態によりA制御またはB制御を行いません。

	室内ユニットの運転モード				
	停止 <sup>(1)</sup>	冷房	除湿	送風 <sup>(2)</sup>	暖房
圧縮機ON中		A 制御			
圧縮機OFF中		B 制御			

注(1) 冷房、除湿、送風、暖房からの停止、異常停止を含む  
(2) 運転モード不一致による「送風」運転を含む

(i) **A制御**

- 1) フロートスイッチがドレン異常を検知すると異常停止 (E9 表示) します。異常検知後、ドレンポンプモータは ON を継続します。
- 2) フロートスイッチがドレン異常を検知している間は運転します。

(ii) **B制御**

フロートスイッチがドレン異常を検知するとドレンポンプモータを5分間ONしドレンポンプモータOFF後10秒の時点でフロートスイッチをチェックし正常ならば通常の停止、異常ならばE9を表示しドレンポンプモータをONします。(ドレン検知中はONのまま。)

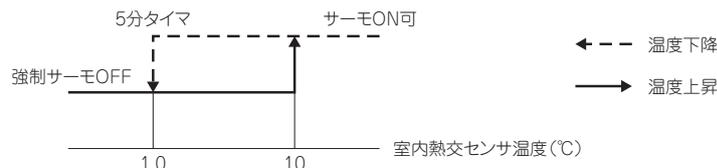
(12) **運転チェック／ドレンポンプ試運転モード**

- (a) 室内基板上のディップスイッチ (SW7-1) をON状態で電源を投入することにより運転チェック／ドレンポンプ試運転モードに入ります。なお、電源投入後の切換は無効 (禁止) です。
- (b) ディップスイッチ (SW7-1) がONで電源投入後60秒以内にリモコン通信が確定した場合は、運転チェックモードに入ります。また、リモコン通信が確定しない場合は、ドレンポンプ試運転モードに入ります。  
注(1) ドレンポンプ試運転モードを選択する場合は、室内基板上的リモコン用コネクタ (CnB) を抜きリモコン通信を断ってください。
- (c) 運転チェックモード  
室外ユニットとの通信は行われず、リモコン操作により各運転モードを行います。
- (d) ドレンポンプ試運転モード  
ドレンポンプ試運転確定後ドレンポンプのみ運転を行い、運転中は、室内ユニットのマイコンによる保護機能は無効となります。

(13) **室内熱交アンチフロスト (凍結防止制御)**

**サーモOFF制御**

- (a) 「冷房」「除湿」運転中、熱交センサ (Thi-R1, 2) の検知温度により、強制サーモOFFを行います。



- (b) サーモON後4分間は、凍結防止保護の強制サーモOFF制御を動作させません。サーモON4分経過時点で、室内熱交温度センサ (Thi-R1, R2) の検知温度が強制サーモOFF温度 (1.0°C) 以上の場合は、サーモON可の状態から検知を開始します。
- (c) サーモONから4分経過後、室内熱交温度センサ (Thi-R1, R2) の何れかが5分連続して強制サーモOFF温度 (1.0°C) 以下となると強制サーモOFFさせます。  
また、室内熱交温度センサ (Thi-R1, R2) の温度が10°C以上になるとサーモONさせます。
- (d) 室外ユニットへ『アンチフロスト』信号を送ります。
- (e) 相対湿度が50% RH以下を連続3分間検知した場合、強制サーモOFF温度は下記となります。  
温度 低: -0.5°C (工場出荷時)  
温度 高: 1.0°C

(14) **加湿器対応制御 (オプション加湿器組込時の対応)**

- (a) ワイヤードリモコン室内機能設定で下記を設定し加湿器対応制御を行います。

- (i) ドレンポンプ連動設定
- (ii) 暖房ファン残留運転
- (iii) 暖房ファン間欠運転

注) 「残留運転」「間欠運転」両方を実施する場合は「残留運転」終了後「間欠運転」を行います。

(b) **開始条件**

- (i) 暖房運転休止 (「暖房停止」または「暖房サーモ OFF」) になったとき。
- (ii) 室外ユニットが「冷房モード」から「暖房モード」に変わったとき。

(c) 優先度

- (i) ヒータ残留運転を優先します。
- (ii) 暖房モータ OFF 時のファン制御より本制御を優先します。  
ただし、暖房サーモOFF時のファン制御において、設定風量選択時は、設定風量を優先します。
- (iii) デフロスト中、室内熱交温度が 25℃以下の場合は、室内ファンを OFF します。
- (iv) 異常停止「E16」（ファンモータ異常）、「E20」（ファンモータ回転異常）「E63」（緊急停止）の場合はファンを停止します。
- (v) その他異常停止時は本制御を行います。  
(注) 熱交温度センサ（Thi-R3）が断線した場合は、温度条件が成立しないため停止します。温度情報に左右されない暖房ファン残留運転は行います。
- (vi) 室外ユニットからの膨張弁開度指令を優先します。

(d) ドレンポンプ連動制御

(i) 開始条件

リモコン設定により下記のいずれかの条件時にドレンポンプをONします。

- 1) 標準：冷房運転中〔冷房（圧縮機）ON〕
- 2) 暖房：①+暖房運転中〔冷房（圧縮機）ON、暖房（圧縮機）ON / OFF共〕
- 3) 暖房 送風：①+暖房運転中+送風運転中〔冷房（圧縮機）ON、暖房（圧縮機）ON / OFF共〕
- 4) 送風：①+送風運転中〔冷房（圧縮機）ON / OFF共〕

(ii) 制御内容

・ドレンポンプを運転

	冷房 (圧縮機) ON	冷房 (圧縮機) OFF	暖房 (圧縮機) ON	暖房 (圧縮機) OFF	送風
①標準	○	×	×	×	×
②暖房	○	×	○	○	×
③暖房 送風	○	×	○	○	○
④送風	○	○	×	×	○

(iii) 終了条件

下記のいずれかの条件が成立してから5分間ドレンポンプはONを継続します。

- 1) 運転停止（異常停止を含む）
- 2) 上表の○→×に切換えた場合

(e) 暖房ファン残留運転：0.5時間

(i) 開始条件

(b)開始条件から30分間

(ii) 制御内容

- 1) 風量弱で送風運転
- 2) ルーバ位置水平（フリー停止、4位置によらず）
- 3) 90パルスに固定
- 4) 圧縮機OFF時も有効

(iii) 終了条件

- 1) 30分経過後
- 2) 運転を開始

(f) 暖房ファン残留運転：2時間／6時間

30分間は、「暖房ファン残留運転：0.5時間」を行います。

(i) 開始条件（下記条件を全て満たした場合）

- 1) 『暖房ファン残留運転：0.5時間』終了後
- 2) (b)開始条件から120分間／360分間
- 3) 熱交温度センサ（Thi-R3）温度が40℃以上

(ii) 制御内容

- 1) 風量弱で送風運転
- 2) ルーバ位置水平（フリー停止、4位置によらず）
- 3) 90パルスに固定

(iii) 制御休止条件

- 1) 熱交温度センサ（Thi-R3）温度が35℃未満に下がった場合120分／360分タイマーのカウントを止めて送風運転を停止します。  
膨張弁は、『休止および停止ユニットの膨張弁制御』によります。

(iv) 終了条件

- 1) 積算で120分/360分経過後送風運転を停止します。  
膨張弁は、『休止および停止ユニットの膨張弁制御』によります。
- 2) 運転を開始した場合  
120分/360分タイマーをリセットして終了。

(8) 暖房ファン間欠運転

(i) 開始条件（下記条件が全て成立した場合）

- 1) (b)開始条件から
- 2) パネルスイッチ（CNV1-4）がONの時。
- 3) A分毎に温度判定する。前回判定からA分経過後、温度判定します。

制御	A
5休5風	10
20休5風	25

- 4) 熱交温度センサ（Thi-R3）検知温度が25℃以上の場合。  
（間欠送風運転開始の都度判定し、判定後は次判定まで保持）

(ii) 制御内容

- 1) ルーバ位置水平（フリー停止、4位置によらず）
- 2) 風量弱で送風 5分運転。

(iii) 休止条件（下記いずれかが成立した場合）⇒次回判定まで休みます。

- 1) パネルスイッチ（CNV1-4）がON→OFF
- 2) デフロスト信号受信

(iv) 終了条件

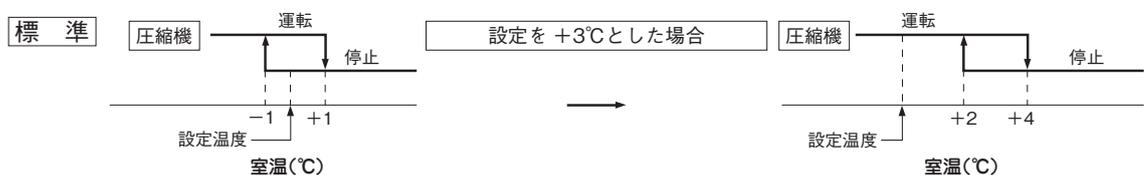
- 1) 送風運転を積算し、600分間経過後 タイムUP
- 2) 運転開始（停止→停止以外のモードへ変わった時）
- 3) 室外ユニットが暖房から暖房以外のモードに変更の時。

(15) ファンモータ異常

- (a) ファンモータ運転後、30秒間連続して回転数が200min<sup>-1</sup>未満を60分以内に4回検知した時は異常停止「E16」をします。
- (b) ファンモータが回転指令出力後、2分間連続して要求回転数-50min<sup>-1</sup>に達しないことを検出すると、ファンモータ異常として異常停止「E20」をします。

(16) 暖房時室温検知温度補正

標準仕様では、サーモの設定温度で圧縮機をON / OFFしていますが天井に暖気がこもり易い据付状態で早目にサーモOFFしてしまう場合、ワイヤードリモコン室内機能「暖房室温補正」により設定の変更が可能です。設定温度+3、+2、+1℃のいずれかの温度で圧縮機およびヒータをON / OFFさせ、暖房フィーリング向上させることができます。ただし、設定温度の上限を30℃とします。暖房モードのみ機能し、自動運転の暖房は無効とします。



(17) 吸込温度補正

吸込空気温度センサの検知温度とユニット据付後の計測温度との誤差が生じて、補正が必要となった場合に補正する機能です。

- (a) ワイヤードリモコン室内機能「吸込温度補正」により0.5℃単位で変更が可能です。  
・ +1.0℃, +1.5℃, +2.0℃,      ・ -1.0℃, -1.5℃, -2.0℃,
- (b) 補正後の温度をリモコンや室外ユニットに送信し、補正後の温度で制御を行います。  
注1) 検知温度補正は室内ユニットセンサのみ有効です。

## (18) 風速制御

高天井に設置された室内ユニットで風量が不足する場合にファンタップを変更することにより風量のアップが可能です。ワイヤードリモコン室内機能の「風速設定」によりファンタップが変更できます。

		室内風量設定			
		P急 - 急 - 強 - 弱	急 - 強 - 弱	急 - 弱	急 - 強
風速設定	標準	UHi2 - Hi - Me - ULo	Hi - Me - ULo	Hi - ULo	Hi - Me
	設定 1	UHi2 - UHi1 - Hi - Me	UHi1 - Hi - Me	UHi1 - Me	UHi1 - Hi
	設定 2	UHi2 - Hi - Me - Lo	Hi - Me - Lo	Hi - Lo	Hi - Me

注(1) 出荷時標準に設定されています。

(2) ホットスタートおよび暖房サーモOFF時等は室内ファンを各設定の低速タップで運転します。

## (19) 温度センサ（吸込・室内熱交）断線・短絡検知

### (a) 断線検知

吸込空気温度センサ（Thi-A）が断線を連続5秒間検知した場合は異常停止（E7）します。熱交温度センサ（Thi-R1, 2, 3）が、圧縮機ON2分後20秒間に断線を連続5秒間検知した場合は異常停止（E6）します。

### (b) 短絡検知

熱交温度センサが、冷房運転で圧縮機ON2分後20秒間に短絡を連続5秒間検知した場合は異常停止（E6）します。

## (20) 外部入力（遠方表示）／遠方操作

外部入出力端子CnTおよび入力端子CnTAにより、運転状態の出力およびエアコンの発停入力を行うことができます。

(a) 外部制御（遠方表示）用出力（オプションの遠方発停監視キットが利用できます。遠方発停監視キットの接続には別売りのCnTハーネスキット(CNT-HA)が必要です。）

### (i) 出荷状態の出力

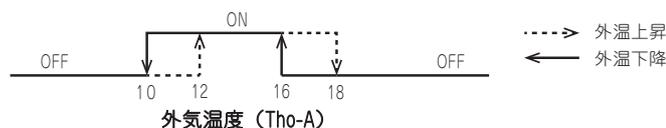
- 1) 室内制御基板上に下記の出力用コネクタ（CnT）を持っています。遠方発停監視キットを接続して各々の無電圧接点を取り出してください。
- 2) 出荷状態では、以下の4つの出力が割当てられています。
  - ・運転出力（CnT1-2）：運転中、リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
  - ・暖房出力（CnT1-3）：暖房運転中、かつサーモON時リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
  - ・サーモ ON 出力（CnT1-4）：圧縮機が運転中、リレー駆動用出力DC12Vを出力します。
  - ・異常出力（CnT1-5）：異常発生時、リレー駆動用出力DC12Vを出力します。GFの場合、ワイヤードリモコンで室内過負荷アラームを有効に設定すると、運転開始30分以降で、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度以上になった場合も出力します。

### (ii) 出力コネクタの変更

- 1) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、出力コネクタの変更および(iii)項の出荷状態以外の出力に変更することができます。ワイヤードリモコンRC-DX3Cでの設定は可能ですが、ワイヤードリモコンRC-D4Gでは設定できません。
- 2) 設定は、ワイヤードリモコンの室内機能「外部出力設定」で出力先を選択してください。ワイヤードリモコンでの設定名とコネクタは以下のようになります。  
①外部出力1：CnT1-2 ②外部出力2：CnT1-3 ③外部出力3：CnT1-4 ④外部出力4：CnT1-5

### (iii) 出荷状態以外の出力

- 1) 冷房出力：冷房モード中（自動の冷房運転、デフロスト、暖房油戻しを含む）に出力します。
- 2) ファン運転出力1：室内ファンの速度タップによらず、ファン運転中に出力します。
- 3) ファン運転出力2：室内ファンが、Hiタップ以上で運転中に出力します。
- 4) ファン運転出力3：室内ファンが、Hiタップ未満で運転中に出力します。
- 5) デフロスト、油戻し出力：室外ユニットからのデフロスト信号または、暖房油戻し信号を受信中に出力します。
- 6) 換気出力：ワイヤードリモコンからの換気指令により出力します。
- 7) ヒータ出力：8項の(b)条件により出力します。
- 8) フリークーリング出力  
運転モードが冷房または送風の場合、外気温度により出力します。（外気導入による温度調整用）



9) 室内過負荷アラーム出力

運転開始30分以降で、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上となった場合、出力します。

(b) 遠方操作入力 (CnT1-6 または CnTA1-2)

(i) リモコンによる設定方法

- 1) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、運転/停止モードおよび入力方式を設定します。出荷状態で、外部入出力1, 2の設定は、運転/停止、外部入力1, 2の方式は、レベル入力となっています。

	入力端子	室内機能設定	
		RC-DX3C (ワイヤードリモコン)	RC-D4G (ワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1設定: 運転/停止	運転許可/禁止: 無効
	CnTA	外部入力2設定: 運転/停止	設定項目はありませんが、出荷状態のままで使用可能です。
入力方式	CnT	外部入力1方式: "レベル入力" または "パルス入力"	外部入力切換え: "レベル入力" または "パルス入力"
	CnTA	外部入力2方式: "レベル入力" または "パルス入力"	設定項目はありませんが、出荷状態のままレベル入力です。

(ii) 外部入力による動作

- 1) 運転・停止の切換え

a) レベル入力の場合

外部入力ON (CnT1-6: 閉またはCnTA1-2は閉) の場合は運転となります。

外部入力OFF (CnT1-6: 開またはCnTA1-2は開) の場合は停止となります。

b) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) → ON (閉) のタイミングで運転と運転停止を反転します。

外部入力機能切換	外部入力方式	動作	
運転/停止	①レベル	外部端子入力 (CnT または CnTA)	OFF → ON → OFF → ON ↑ 運転指令エッジ ↑ 停止指令エッジ
		運転/停止	停止 → 運転 → 停止 → 運転
		運転/停止 (競合)	停止 → 運転 → 停止 → 運転 ↑ リモコン停止 ↑ リモコン運転
	②パルス	外部端子入力 (CnT または CnTA)	OFF → ON → OFF → ON 運転/停止反転 ONエッジ 運転/停止反転 ONエッジ
		運転/停止	停止 → 運転 → 停止
		運転/停止 (競合)	停止 → 運転 → 停止 → 運転 → 停止 ↑ リモコン停止 ↑ リモコン運転

(iii) 注意事項

- 1) ワイヤードリモコンは必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。
- 2) エアコンの操作が「センターモード」となっている時は、CnT または CnTA による遠方操作は無効となります。
- 3) ワイヤードリモコンRC-DX3Cの機能設定「外部入力設定: 全台」に設定することにより、1台の室内ユニットへの入力により、同じワイヤードリモコンに接続された複数の室内ユニットを同時に運転/停止します。「外部入力設定: 個別」の場合 (出荷時設定)、入力を入れる室内ユニットのみ運転/停止します。

(21) 運転許可・禁止 (コインタイマー用制御)

リモコンで設定を変更することで、(20)項の遠方制御/遠方操作用端子CnT, CnTAの機能切換えを行い、外部信号の入力によりエアコンの操作可能・操作不可を制御することができます。

市販のコインタイマーの信号等によりエアコン使用可能・使用不可を制御することが出来ます。

(i) リモコンによる設定方法

1) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、運転許可・禁止モードおよび入力方式を設定します。

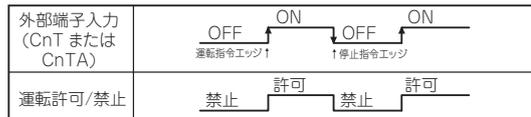
	入力端子	室内機能設定	
		RC-DX3C (ワイヤードリモコン)	RC-D4G (ワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1設定：許可/禁止	運転許可/禁止:有効
	CnTA	外部入力2設定：許可/禁止	設定できません。
入力方式	CnT	外部入力1方式：“レベル入力”または“パルス入力”	外部入力切換え：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2方式：“レベル入力”または“パルス入力”	設定できません。

(ii) 外部入力による動作

1) 運転許可・禁止の切換え

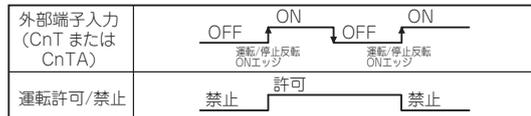
a) レベル入力の場合

外部入力ON (CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉) の場合は、運転許可となります。  
外部入力OFF (CnT1-6：開またはCnTA1-2:開) の場合は、運転禁止となります。



b) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) → ON (閉) のタイミングで運転許可と運転禁止を反転します。



2) 運転許可の場合の動作

- a) エアコンは、リモコンからの操作が可能です。
- b) 「センター」モード設定時は、センターからのみ操作可能となります。

3) 運転禁止時の場合の動作

- a) エアコンは、リモコンからの操作ができません。
- b) エアコン運転中に運転禁止となった場合は、エアコンは停止します。

(iii) 注意事項

1) ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

(22) 冷房・暖房外部入力機能切換え

リモコンで設定変更することで、(20)項の遠方制御/遠方操作用端子CnT, CnTAの機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを冷房/暖房に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、冷房/暖房モードおよび入力方式を設定します。

RC-DX3Cのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定 (RC-DX3Cワイヤードリモコン)
		モード設定
	CnTA	外部入力2設定：冷房/暖房
入力方式	CnT	外部入力1方式：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2方式：“レベル入力”または“パルス入力”

(b) 外部入力による動作

(i) 冷房/暖房の切換え

1) レベル入力の場合

- a) 外部入力ON (CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉) の場合は暖房となります。
- b) 外部入力OFF (CnT1-6：開またはCnTA1-2:開) の場合は冷房となります。

2) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) → ON (閉) のタイミングで冷房と暖房を反転します。

(c) 外部入力により冷房 / 暖房の切換えを受けた場合は、リモコンに運転モードを送信します。

外部入力機能切換	外部入力方式	動作
冷房/暖房切換	⑤レベル	外部端子入力 (CnT または CnTA) OFF ON OFF ON 冷房専用区間 暖房専用区間 冷房専用区間 暖房専用区間
		冷房/暖房 冷房 暖房 冷房 暖房
		冷房/暖房 (競合) 冷房 暖房 冷房 暖房 リモコン冷房、除湿、自動指令 ↑ ↑リモコン暖房、自動指令
	⑥パルス	外部端子入力 (CnT または CnTA) OFF ON OFF ON 暖房専用区間 冷房専用区間 ↑「冷/暖切換」設定後、現在の運転モードによって冷/暖切換を行う。 暖房時：暖房専用設定（冷房禁止区間）にする。 冷房、除湿、自動、送風時：冷房専用設定（暖房禁止区間）にする。
		冷房/暖房 自動 冷房 暖房 冷房
		冷房/暖房 (競合) 自動 停止 運転 停止 ↑「冷/暖」+「パルス」に設定 ↑リモコン冷房、除湿、自動指令 ↑リモコン暖房、自動指令

(d) 注意事項

(i) ワイヤードリモコンは必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと本制御は行えません。

## (23) 設定温度シフト入力

リモコンで設定変更することで、(20)項の遠方制御/遠方操作端子CnT、CnTAの機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを設定温度シフト入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、設定温度シフト入力モードおよび入力方式を設定します。RC-DX3Cのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定 (RC-DX3Cワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1 設定：制御が有効
	CnTA	外部入力2 設定：制御が有効
入力方式	CnT	外部入力1 方式：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2 方式：“レベル入力”または“パルス入力”

(b) 外部入力による動作

(i) 設定温度シフト入力の切換え

1) レベル入力の場合

a) 外部入力ON (CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉)の場合は設定温度シフトが有効となります。

b) 外部入力OFF (CnT1-6：開またはCnTA1-2:開)の場合は設定温度シフトが無効となります。

2) パルス入力の場合

外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) → ON (閉) のタイミングで制御の有効/無効を反転します。

(ii) 注意事項

1) ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

## (24) 強制サーモOFF 入力

リモコンで設定変更することで、(20)項の遠方制御/遠方操作端子CnT、CnTAの機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを強制サーモOFF入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

(i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、強制サーモOFF入力モードおよび入力方式を設定します。RC-DX3Cのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定 (RC-DX3Cワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1 設定：制御が有効
	CnTA	外部入力2 設定：制御が有効
入力方式	CnT	外部入力1 方式：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2 方式：“レベル入力”または“パルス入力”

(b) 外部入力による動作

(i) 強制サーモOFF入力の切換え

- 1) レベル入力の場合
  - a) 外部入力ON (CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉) の場合は強制サーモOFFが有効となります。
  - b) 外部入力OFF (CnT1-6：開またはCnTA1-2:開) の場合は強制サーモOFFが無効となります。
- 2) パルス入力の場合  
外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) → ON (閉) のタイミングで制御の有効/無効を反転します。

(ii) 注意事項

- 1) ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

(25) 一時停止入力

リモコンで設定変更することで、(20)項の遠方制御/遠方操作端子CnT, CnTA の機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを一時停止入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

- (i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、一時停止入力モードおよび入力方式を設定します。

RC-DX3Cのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定 (RC-DX3Cワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1設定：制御が有効
	CnTA	外部入力2設定：制御が有効
入力方式	CnT	外部入力1方式：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2方式：“レベル入力”または“パルス入力”

(b) 外部入力による動作

(i) 一時停止入力の切換え

- 1) レベル入力の場合
  - a) 外部入力ON (CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉) の場合は一時停止が有効となります。
  - b) 外部入力OFF (CnT1-6：開またはCnTA1-2:開) の場合は一時停止が無効となります。
- 2) パルス入力の場合  
外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) → ON (閉) のタイミングで制御の有効/無効を反転します。

(ii) 注意事項

- 1) ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

(26) 静音モード入力

リモコンで設定変更することで、(20)項の遠方制御/遠方操作端子CnT, CnTA の機能切換えを行い、外部信号の入力により運転モードを静音モード入力に切換えることができます。

(a) リモコンによる設定方法

- (i) ワイヤードリモコンの室内機能設定により、静音モードおよび入力方式を設定します。

RC-DX3Cのリモコンで設定可能です。RC-D4Gリモコンでは設定できません。

	入力端子	室内機能設定 (RC-DX3Cワイヤードリモコン)
モード設定	CnT	外部入力1設定：制御が有効
	CnTA	外部入力2設定：制御が有効
入力方式	CnT	外部入力1方式：“レベル入力”または“パルス入力”
	CnTA	外部入力2方式：“レベル入力”または“パルス入力”

(b) 外部入力による動作

(i) 静音モード入力の切換え

- 1) レベル入力の場合
  - a) 外部入力ON (CnT1-6：閉またはCnTA1-2:閉) の場合は静音モードが有効となります。
  - b) 外部入力OFF (CnT1-6：開またはCnTA1-2:開) の場合は静音モードが無効となります。
- 2) パルス入力の場合  
外部入力 (CnT1-6またはCnTA1-2) がOFF (開) → ON (閉) のタイミングで制御の有効/無効を反転します。

(ii) 注意事項

- 1) ワイヤードリモコンは、必ず接続してください。ワイヤードリモコンを接続しないと、本制御は行えません。

(27) 緊急停止信号処理

リモコンで設定変更することで、(20)項の遠方制御/遠方操作用端子CnT, CnTAの機能切替えを行い、外部信号の入力により、室外ユニットを緊急停止させます。

(a) リモコンによる設定方法

ワイヤードリモコンの室内機能設定により、緊急停止モードを設定します。

モード設定	入力端子	室内機能設定	
		RC-DX3C	RC-D4G
	CnT	外部入力1設定：緊急停止	緊急停止：有効
CnTA	外部入力2設定：緊急停止	設定できません	

(b) 緊急停止信号による動作

外部入力OFF(CnT1-6またはCnTA1-2：開)の場合、緊急停止します。

入力を入れた室内ユニットは停止し、接続している室外ユニットは[E-63]を発報して緊急停止します。

(28) 外部入力機能と優先順位

(a) CnTとCnTAの組合せ優先順位

■CnTとCnTAの組合せ優先順位

		CnTA						
		①運転停止レベル	②運転停止パルス	③運転許可/禁止レベル	④運転許可/禁止パルス	⑤冷暖切換レベル	⑥冷暖切換パルス	⑦緊急停止
CnT	①運転停止レベル	CnT①	CnT①	CnT①+CnTA③	CnT①	CnT①/CnTA⑤	CnT①/CnTA⑥	CnT①<CnTA⑦
	②運転停止パルス	CnT②	CnT②	CnT②+CnTA③	CnT②	CnT②/CnTA⑤	CnT②/CnTA⑥	CnT②<CnTA⑦
	③運転許可/禁止レベル	CnT③>CnTA①	CnT③>CnTA②	CnT③+CnTA③	CnT③	CnT③/CnTA⑤	CnT③/CnTA⑥	CnT③<CnTA⑦
	④運転許可/禁止パルス	CnT④	CnT④	CnT④+CnTA③※	CnT④	CnT④/CnTA⑤	CnT④/CnTA⑥	CnT④<CnTA⑦
	⑤冷暖切換レベル	CnT⑤/CnTA①	CnT⑤/CnTA②	CnT⑤/CnTA③	CnT⑤/CnTA④	CnT⑤	CnT⑤	CnT⑤/CnTA⑦
	⑥冷暖切換パルス	CnT⑥/CnTA①	CnT⑥/CnTA②	CnT⑥/CnTA③	CnT⑥/CnTA④	CnT⑥	CnT⑥	CnT⑥/CnTA⑦
	⑦緊急停止	CnT⑦>CnTA①	CnT⑦>CnTA②	CnT⑦>CnTA③	CnT⑦>CnTA④	CnT⑦/CnTA⑤	CnT⑦/CnTA⑥	CnT⑦+CnTA⑦

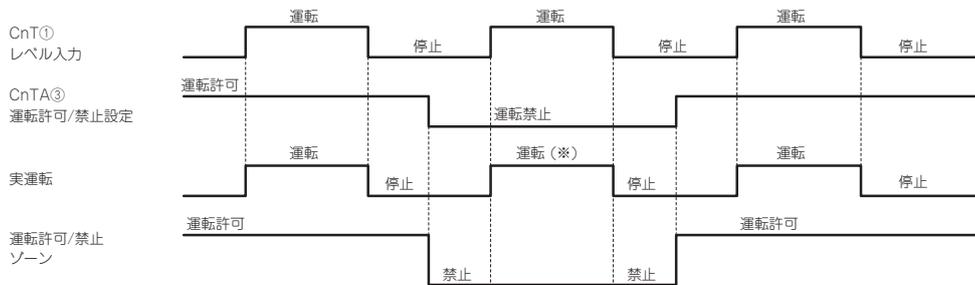
注(1) ※部のCnTAによる運転禁止設定中は、以下の運転指令を受け付けます。  
・リモコンからの個別運転指令、室外からの試運転指令およびオプションからの運転指令

参考：上記記号および組合せ記号の説明

1. CnT番号の場合、CnT番号採用し、CnTAを無効とする。
2. CnTA番号の場合、CnTA番号採用し、CnTを無効とする。
3. CnT番号/CnTA番号の場合、CnT番号とCnTA番号は共に独立した機能とする。
4. CnT番号+CnTA番号の場合、CnT番号とCnTA番号は競合機能
5. CnT番号>CnTA番号の場合、CnT番号はCnTA番号より機能の優先順位が高い。
6. CnT番号<CnTA番号の場合、CnTA番号はCnT番号より機能の優先順位が高い。  
(上記番号の部分には、①～⑥の番号が入ります)

(b) CnTとCnTA (GFの場合,CnZ) での優先順位例

(i) CnT①運転レベル>CnTA③運転許可/禁止レベルの場合



(※) CnTレベル入力をCnTA運転禁止よりも優先する。

(ii) CnT③運転許可/禁止レベル + CnTA③運転許可/禁止レベルの場合



(※) 運転禁止ゾーンはCnT運転禁止ゾーンとCnTA運転禁止ゾーンのOR判定とする。

## (29) グリル昇降制御

- ・子リモコンでは操作できません。親リモコンで操作してください。
- ・オートリフトモード中は、エアコンは運転可能です。(除く上昇・下降中)
- (a) **オートリフトモード**  
リモコンの「グリル自動昇降」を押すことにより、室内ユニットは停止し、オートリフトモードになります。
- (b) **グリル下降制御**  
リモコンの下降信号により、設定された長さに相当する時間分、グリルが下降します。  
設定された長さに相当する時間以上になった場合、それ以上グリルは下降しません。
- (c) **グリル上昇制御**  
リモコンの上昇信号により、グリルが上昇します。パネルスイッチが ON になるまでか、または、設定された長さに相当する時間分、グリルが上昇し、グリル収納制御を行います。
- (d) **グリル収納制御**  
グリル上昇制御でパネルスイッチが ON になるか、設定された長さに相当する時間になったら、グリル収納制御を行います。収納位置を補正するため、下降・上昇制御を2回繰り返します。
- (e) **ワイヤゆるみ検知機構**
  - (i) グリル停止中に、ワイヤ緩み検知スイッチが OFF の場合は、グリル上昇制御・下降制御を行いません。
  - (ii) グリル上昇制御・下降制御・グリル収納制御中に、ワイヤ緩み検知スイッチが OFF した場合は、1秒後にグリル昇降モータを OFF します。
  - (iii) (ii)でモータ停止後、ワイヤ緩み検知スイッチが ON になったら、再度リモコンにより上昇制御・下降制御を行います。
- (f) **グリル開時のエラー表示（お掃除パネル対応機のみ）**  
エアコン運転中に1秒以上パネルスイッチ(PS)が開を検知した場合エアコンを停止し、リモコンに M21 を表示します。  
注(1) リモコンによる自動下降制御で、自動昇降モードに入っている場合は除きます。

## (30) 複数台制御 —— 1リモコンによる16台グループ制御

- (a) **機能**  
1個のリモコンスイッチで複数台のユニット（室内ユニット・最大16台）をグループ制御できます。リモコンスイッチでセットした「運転モード」でグループの全ユニットは号機No.<sup>(1)</sup>順に順次運転・停止させることができます。  
各ユニットのサーモ、保護機能は独立して機能します。  
注(1) 号機No.は室内制御基板上のロータリースイッチSW1, SW2, ディップスイッチSW5-2で設定します。
- (b) **リモコンへの表示**
  - (i) **センタまたはリモート別、暖房準備**：運転中のユニットでリモートモードの（リモートモードが無い時は、センタモード）最若号機ユニットの表示
  - (ii) **点検表示、フィルターサイン**：いずれか初発のユニット対応で表示
- (c) **接続ユニットの確認**
  - (i) RC-DX3Cリモコンの場合  
リモコンのTOP画面より「メニュー」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード」入力→「エアコンNo.表示」の順にボタンをタッチして行くと接続室内ユニットが表示されます。
  - (ii) RC-D4Gリモコンの場合  
リモコンの「エアコンNo.」ボタンを押すと、室内ユニットアドレスが表示されます。その後▲▼ボタンを押すと最若号機から順に表示されます。
- (d) **異常時**
  - (i) グループの一部ユニットに異常が発生した場合（保護装置作動）当該ユニットは異常停止しますが、他の正常なユニットはそのまま運転を継続します。
  - (ii) **配線要領**  
各ユニットの室内・外接線は各ユニット毎に通常と同じ配線をしてください。グループ制御用にリモコンの端子台(X, Y)を使用し各室内ユニット間に渡り配線をしてください。  
リモコン信号用配線は電源電線または他の電気機械器具電線（AC100V以上）とは分離して配線してください。

(31) **お掃除パネル対応機能制御**

(a) **フィルターサイン**

(i) 運転時間（「運転／停止」スイッチがONとなっている時間）が下記設定時間になると、リモコンの液晶に「フィルター清掃」を表示します。（運転・停止に関係なく、故障時、集中制御時也表示します。）

注(1) フィルターサインの時間設定は、ワイヤードリモコン室内機能「フィルターサイン設定」により下表のように設定可能です。

フィルターサイン設定	機 能
設定 1	設定時間： 1,000時間
設定 2	設定時間： 2,000時間
設定 3	設定時間： 2,500時間
設定 4	設定時間： 2,500時間（ユニット停止）

注(1) 設定4では、設定時間経過後フィルター清掃を表示させ、更に24時間（停止中も含む）経過後ユニットを停止します。

(2) RC-D4Gリモコンは工場出荷時、設定3（2,500時間）に設定されていますが、RC-DX3Cリモコンについては工場出荷時の設定はされていません。

(ii) フィルターサインが点灯すると、お掃除パネルは、表示部に黄色を点灯します。RC-DX3Cリモコンは、「ホコリを回収してください」を表示します。

(32) **ハイパワー運転〔適用形式：RC-DX3Cリモコンのみ〕**

最大能力で、最長15分間運転します。

(33) **省エネ運転〔適用形式：RC-DX3Cリモコンのみ〕**

設定温度を冷房28℃、暖房22℃、自動25℃で固定して運転します。

ワイヤードリモコンの機能設定「冷房/暖房ファン制御：設定風量」で、サーモOFFする場合、室内ファンをULoで運転します。

(34) **ピークカットタイマー〔適用形式：RC-DX3Cリモコンのみ〕**

最大能力を制限することで消費電力を削減します。

(35) **ウォームアップ制御〔適用形式：RC-DX3Cリモコンのみ〕**

運転開始設定時間にお部屋が設定温度近くになるように、マイコンが運転開始時間を予測して、5～60分前から運転を開始します。

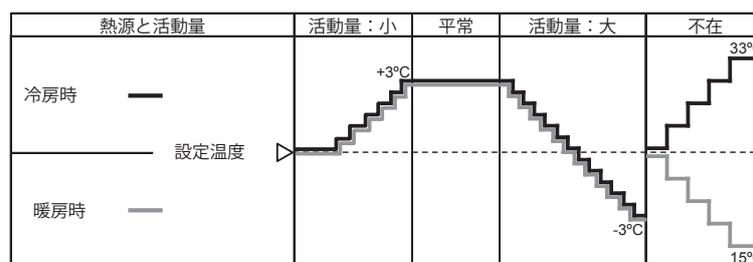
(36) **人感センサ制御**

人感センサにより人の有無および活動量をセンサで判定し、下記制御を行います。

① **パワーコントロール制御（省エネ制御/快適制御）**

赤外線センサにより人の活動量および人の有無を検知し、設定温度を補正します。

運転モード（自動／冷房／暖房）と制御



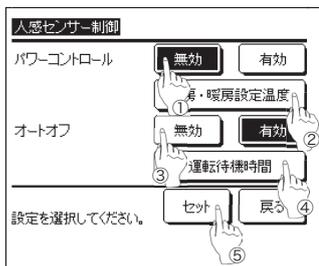
② **オートオフ制御**

1時間不在の場合は、運転を停止して運転待機状態となります。待機状態が12時間(RC-DX3Cは50時間)継続した場合は、運転を停止します。

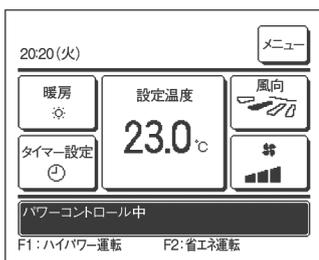
(a) RC-DX3Cリモコンから設定する場合

設定は、TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「据付設定」→「サービスパスワード」→「据付設定メニュー」→「人感センサー設定」の順に選択し、有効・無効の設定をしてください。

次に「メニュー画面」→「省エネ設定」→「人感センサー制御」を選択します。

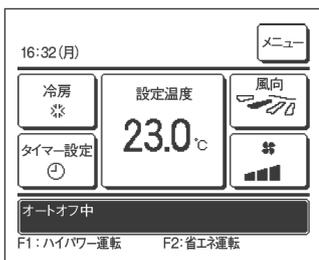


- ① パワーコントロールの有効 / 無効を設定します。
  - ② 冷房・暖房設定温度をタッチしてください。▲▼ボタンで設定温度を設定し、セットボタンをタッチしてください。設定温度が仮決定します。
  - ③ オートオフの有効 / 無効を設定します。
  - ④ 運転待機時間をタッチしてください。▲▼ボタンで待機時間を設定し、セットボタンをタッチしてください。運転待機時間が仮決定します。
  - ⑤ 各項目設定後、セットボタンをタッチしてください。人感センサー制御が決定し、省エネ設定メニュー画面に戻ります。
- ※②、④は RC-DX3C 以降のみ設定できます。  
 ※⑤を実施しないと本制御は実行されません。



- ・ パワーコントロール有効の場合  
 人感センサーにより人の活動量を検知し、設定温度を補正します。  
 (リモコンの設定温度は補正された温度で表示されます。)  
 冷房時 33°C、暖房時 15°Cまで設定温度を段階的に補正します。  
 設定温度を補正中はメッセージ表示部に「パワーコントロール中」を表示します。

- ・ 冷房暖房設定温度 (RC-DX3C)  
 上記設定温度を 1°Cきざみで設定することができます。  
 冷房: 25°C ~ 35°C (初期設定は 33°C)  
 暖房: 10°C ~ 20°C (初期設定は 15°C)



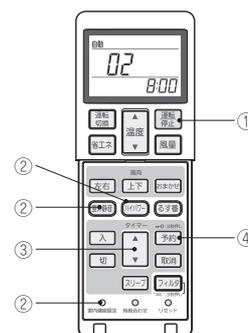
- ・ オートオフ有効の場合  
 人が不在となって、1時間経過すると『運転待機』状態となります。運転待機時間が 1 ~ 50 時間経過すると『完全停止』します。  
 『運転待機』…エアコンは停止しますが、人が戻ると運転を再開します。  
 メッセージ表示部に「オートオフ中」を表示します。  
 『完全停止』…エアコンを停止します。人が戻っても運転を再開しません。  
 メッセージ表示部の「オートオフ中」表示が消え、運転ランプが消灯します。

- ・ 運転待機時間 (RC-DX3C)  
 冷房時、暖房時の運転待機時間 (初期設定は 12 時間) は 1 ~ 50 時間 (1 時間きざみ) で設定することができます。

(b) ワイヤレスリモコンから設定する場合

(i) 室内機能設定のしかた

- ① 運転/停止を押し、停止状態にします。
- ② 室内機能設定スイッチを押しながら、(ii)項に示すボタンを押します。
- ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更します。
- ④ 予約ボタンを押します。  
 リモコン信号受信部より、ピピッと2回ブザーが鳴り、LEDは2秒毎に4回点滅します。



(ii) 設定内容

ボタン	番号表示部	機能設定
室外静音	00	人感センサー設定: 無効
	01	人感センサー設定: 有効
ハイパワー	00	人感センサー制御: 無効
	01	人感センサー制御: パワーコントロールのみ
	02	人感センサー制御: オートオフのみ
	03	人感センサー制御: パワーコントロール + オートオフ

### (37) 疑似異常発報制御

試運転などの異常時の信号確認を簡単に行います。

#### (a) 開始条件

- (i) 冷房試運転を行います。
- (ii) 冷房試運転開始30分以内に「フィルターサインリセット」を操作します。

#### (b) 制御内容

異常停止“E-80”を発信して運転停止します。

#### (c) 終了条件

異常表示は、運転/停止スイッチで復帰します。

注(1) エコタッチリモコンに異常履歴が記憶されます。確認終了後は異常履歴表示画面から消去してください。

## 1-2 リモコン機能

### (1) RC-DX3C リモコンの場合

#### (a) リモコンの運転モード選択

- (i) TOP画面上より「運転モード」ボタンをタッチしてください。
- (ii) 「運転モード」選択画面が表示されますので、ご希望の運転モードをタッチしてください。
- (iii) 運転モード選択後、TOP画面に戻ります。

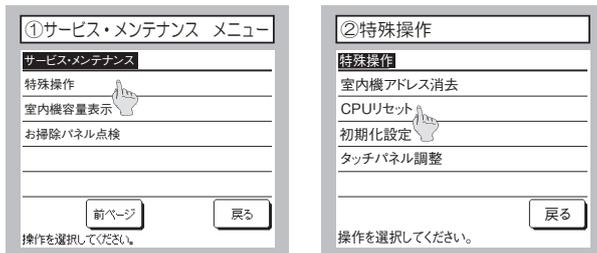


- 注(1) 室内ユニット-室外ユニットの組合せにより、選択できない運転モードは表示されません。  
(2) 自動を選択すると、室温と外温に応じて、冷房・暖房自動切替運転を行います。

#### (b) CPUリセット

下記手順にてリモコンよりCPUをリセットしてください。

- (i) TOP画面の「メニュー」より「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」を選択し、サービスパスワードを入力します。
- (ii) 「サービス・メンテナンス メニュー」より「特殊操作」→「CPUリセット」の順に選択すると接続している室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット(停電復帰状態)されます。



#### (c) 停電補償機能

下記手順にてリモコンより停電補償機能を有効設定してください。

- (i) TOP画面上の「メニュー」より「サービス設定」→「リモコン設定」を選択し、サービスパスワードを入力します。
- (ii) 「リモコン設定 メニュー」より「停電補償」を選択し「有効」に設定してください。運転中に停電した場合は、停電復帰(電源投入後の制御終了)後に、停電前の状態に戻ります。



- 常にリモコンの状態を記憶しており停電から復帰後、記憶内容により運転を再開します。ただしタイマーモードはキャンセルされますが、ウィークリータイマー、ピークカットタイマーおよび室外静音タイマーについては下記内容となります。

- ・時計機能が有効の場合：設定された内容により機能します。
- ・時計機能が無効の場合：時計機能を再設定し、リモコンの機能設定によりウィークリータイマー、ピークカットタイマーおよび室外静音タイマーの設定を「有効」にすると記憶された内容で機能します。

- 停電補償で記憶される内容は以下のとおりです。

注(1) ⑥、⑦項は停電補償有効・無効にかかわらず記憶されます。

- ① 停電時 運転中／停止中  
時刻切タイマーモード、時間タイマーモードで運転中は、停止中を記憶します。
- ② 運転モード
- ③ 風量モード
- ④ 室温設定
- ⑤ ルーバのオートスイング／停止  
ただし停止位置(4位置)はキャンセルされます。
- ⑥ 「お掃除パネル設定」「管理者設定」「据付設定」「室内設定」により設定された内容は、室内ユニットが記憶します。
- ⑦ ウィークリータイマー、ピークカットタイマー、室外静音タイマー
- ⑧ リモコン設定

#### (d) 注意喚起表示

下記(i)～(iii)が表示される場合、以下のとおり確認、処置してください。

##### (i) 室内機確認注意喚起



- リモコンと室内ユニット間の通信が確立できない場合に表示します。

システム（室内ユニット、室外ユニット、リモコン）として正しく接続されているか、室外ユニットの電源が接続されているかを確認してください。

##### (ii) タイマー時刻設定警告



- 時刻未設定でタイマー設定をしたときに表示します。

時刻設定を行ってください。時刻設定を行わないとタイマー設定が出来ません。

##### (iii) 誤接続



- リモコンに空調機以外のものが接続されたとき本表示を行います。

リモコンの接続先を確認してください。

## (e) 機能設定一覧

## 1) RC-DX3C リモコンの場合

●接続する機種により設定できる項目が異なります。

PJZ000Z342 

設定および表示項目	詳細内容
1.リモコンネットワーク	
1 複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内ユニットを接続制御できます。室内機側にアドレスを設定します。
2 親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスリモコン)を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。
2.TOP画面・SW操作	
1 メニュー	制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。
2 運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。
3 設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。
4 風向	風向を設定します。おまかせ気流の有効/無効を設定します(FDKの場合)。
5 風量	風量を設定します。
6 タイマー設定	タイマー運転を設定します。
7 運転/停止SW	運転を開始します。/停止します。
8 F1スイッチ	F1スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。
9 F2スイッチ	F2スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。
10 言語切換	リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語/日本語 ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/オランダ語/ トルコ語/ポルトガル語/ロシア語/ポーランド語/中国語
3.便利機能	
1 フリーフロー設定	各ルーバの可動範囲(上限位置-下限位置)を設定します。 FDKの場合は左限位置-右限位置も設定します。
2 エアフレックス(風よけ)設定	・ 詳細設定:各運転モード、各吹出口のエアフレックス(風よけ)機構動作の有効・無効を設定します。 ・ ON/OFF切換:詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF(作動中/停止中)を切換えます。
エアフレックスパネル組合せの場合	
3 タイマー設定	時間入タイマー
	時間切タイマー
	時刻入タイマー
	時刻切タイマー
	タイマー設定内容確認
4 おこのみ設定 管理者パスワード	おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定1、おこのみ設定2のそれぞれに設定が可能です。
5 ウィークリータイマー	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・ 1日最大8パターンまで設定可能です。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・ 運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
6 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温/低温にならないように温度を保ちます。 ・ 外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ・ 設定温度、風量の設定が可能です。
7 換気 換気機器組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・ 換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。
8 言語切換設定	リモコンに表示する言語を選択します。 ・ 選択できる言語は下記です。 英語/日本語 ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/オランダ語/ トルコ語/ポルトガル語/ロシア語/ポーランド語/中国語
9 室外静音設定	室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・ 室外静音運転の開始・停止を設定します。
10 見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・ 室内ユニット-室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。
11 消費電力量表示	今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・ 室内ユニット-室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。

設定および表示項目		詳細内容
4.省エネ設定		管理者パスワード
1	切忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・ 設定時間は30～240分(10分単位)まで選択可能です。 ・ 設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。
2	ピークカットタイマー	能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・ 1日最大4パターンまで設定可能です。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・ 能力制限率は0,40～80%(20%単位)から選択可能です。 ・ 祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。
3	設定温度自動復帰	設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・ 暖房モード/冷房モード他、各々設定可能です。 ・ 設定時間は20～120分(10分単位)まで設定可能です。 ・ 設定時刻は10分単位で設定可能です。
4	人感センサー制御	人感センサーを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効/無効を設定します。 パワーコントロールの冷房時/暖房時設定温度を設定します。
5.お手入れ		
1	フィルターサイン リセット	フィルターサインの解除 次回清掃日の設定 フィルターサインの解除を行います。 次回清掃日の設定を行います。
2	グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合 降下長設定 管理者パスワード ダスト回収リセット お掃除パネル組合 せの場合 ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作]の 設定が必要です。 グリル昇降長さを設定します。 ・ 0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ・ 設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ・ 接続室内ユニット毎に設定できます。 ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。
3	お掃除パネル設定 管理者パスワード	お掃除自動設定 清掃時間帯設定 清掃間隔設定 ダスト回収設定 ブラシ清掃回数設定 ブラシ移動速さ ブラシ往復数 自動清掃の有効/休止を設定します。 自動清掃を開始する時間帯を設定します。 自動清掃する最小の間隔を設定します。 ダストの回収時期を設定します。 ブラシの清掃回数を設定します。 ブラシ移動速さを設定します。 ブラシ往復数を設定します。
6.ユーザ設定		
1	初期設定	時刻設定 時刻表示設定 サマータイム補正 コントラスト調整 バックライト ブザー音 運転ランプ輝度 現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・ 80時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き 続けます。 時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。 現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。 液晶の濃度の調整を行います。 バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。 タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。 運転ランプの輝度の調整を行います。
2	管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定 室外静音タイマー 設定温度範囲 ・ 操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] [消費電力量表示] ・ 操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル降下長設定] [ウィークリータイマー設定] [言語切換設定] [ドラフト防止設定] 室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・ 静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・ 設定時刻は5分単位で設定可能です。 設定温度範囲を制限します。 ・ 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。

設定および表示項目		詳細内容
2	管理者設定	温度設定刻み切換 設定温度の刻み(0.5°C/1.0°C)を設定します。
		設定温度表示切換 設定温度の表示の仕方を切換えます。
	管理者パスワード	リモコン表示設定 リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり/なしを設定します。
		管理者パスワード変更 管理者パスワードの変更を行います。
		スイッチ機能変更 F1、F2スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 「エアフレックスON/OFF」 [ハイパワー運転][省エネ運転][室外静音制御][るす番運転] [おこのみ設定運転1][おこのみ設定運転2][フィルターサインリセット] [グリル昇降][消費電力量表示]
7.サービス設定		
1	据付設定	据付日登録 据付日を登録した場合、点検表示を行います。
	サービスパスワード	サービス情報入力 リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角26文字相当以内で登録できます。 ・連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。
		試運転 試運転の開始/停止を制御できます。
		冷房試運転 設定5°C 30分間運転します。
		ドレンポンプ試運転 ドレンポンプのみを運転します。
		お掃除試運転 フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。お掃除パネル組合せの場合
		ダクト機静圧補正 機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。
		自動アドレス変更 個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。
		親室内機アドレス設定 個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。
		バックアップ制御 1台のリモコンに室内ユニット2台(2グループ)が接続されている時にローテーション運転、キャパシティブックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効/無効が設定できます。
		人感センサー設定 リモコンに接続された室内ユニットの人感センサー検知の有効/無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサー制御を行うことができません。
		人感センサー付パネルの組合せの場合
		グリル昇降操作 ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合
	2	リモコン設定
サービスパスワード		吸込センサー制御 1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別/親機/平均の選択が可能です。
		リモコンセンサー リモコンセンサーに切替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切替可能です。
		リモコンセンサー補正 リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房/暖房 別々に補正可能です。
		運転モード選択 各運転モード毎に有効/無効を設定できます。
設定温度単位 設定温度の単位を設定します。 ・°C/°Fの選択が可能です。		
ファン速度 ファン速度の選択が可能です。		
外部入力設定 1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。		
上下ルーバ制御 上下ルーバの[4位置停止]/[フリー停止]の切換えができます。		
左右ルーバ制御 左右ルーバの[固定位置停止]/[フリー停止]の切換えができます。		
換気設定 換気ユニット組合せ制御が設定できます。		
停電補償 停電復帰した場合の制御内容を設定できます。		
設定温度自動設定 設定温度自動の有効/無効を選択できます。		
風量自動設定 風量自動の有効/無効を選択できます。		
3	室内設定	風速設定 室内ユニットの風量タップを設定します。
	サービスパスワード	フィルターサイン フィルターサイン点灯タイマーの設定が切換えられます。
		外部入力1設定 外部入力1の制御内容を切換えられます。
		外部入力1方式切換 外部入力1の信号方式を切換えられます。
		外部入力2設定 外部入力2の制御内容を切換えられます。
		外部入力2方式切換 外部入力2の信号方式を切換えられます。
暖房室温補正 暖房サーモ判定値を0~+3°Cの範囲で補正できます。		
吸込温度補正 吸込センサー検知温度を±2°Cの範囲で補正できます。		

設定および表示項目		詳細内容
3 室内設定 サービスパスワード	冷房ファン制御	冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
	暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
	フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。
	フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。
	ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。
	冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
	暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
	暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。
	送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。
	外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。
	運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を3種類から選択できます。
	サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。
	風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。
	室内過負荷アラーム	運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CnT-5)から過負荷アラーム信号を送信します。
外部出力設定	外部出力1~4に割当てする機能を切換えられます。	
4 サービス・メンテナンス サービスパスワード	エアコンNo. 表示	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。
	次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。
	運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。
	点検表示	
	異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。
	異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。
	異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。
	定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。
	室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。
	特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。
室内機容量表示	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	
お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	
8.困ったときは・・・		
1 連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	
2 サービスを依頼される前にQ&A	Q&Aが表示されます。	
9.点検表示		
点検表示確認	異常発生時の表示	
10.パソコン接続		
USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	

## (2) RC-D4G リモコンの場合

### (a) リモコンの運転モードスイッチ切換え順



### (b) CPU リセット

リモコンの「点検」/「グリル昇降」ボタンを同時に押した場合に機能します。電源リセットと動作は同じです。

### (c) 停電補償機能

- リモコン機能設定により「停電補償有効」の設定をすると有効となります。
- 常にリモコンの状態を記憶しており停電から復帰後、記憶内容により運転を再開します。ただしオートスイング停止位置、タイマーモードはキャンセルされますがウィークリータイマー設定は全曜日とも休日設定で復帰します。復電後、時刻合わせを行い、各曜日の休日設定を解除することにより、ウィークリータイマーの設定が有効となります。
- 停電補償で記憶される内容は以下のとおりです。

注(1) ⑥、⑦、⑧項は停電補償有効・無効にかかわらず記憶され、静音モード設定は停電補償有効・無効にかかわらずキャンセルされます。

#### ① 停電時 運転中／停止中

時刻切タイマーモード、時間タイマーモードで運転中は、停止中を記憶します。(復電時タイマーモードはキャンセルされますが、ウィークリータイマー設定は全曜日が休日設定となります。)

#### ② 運転モード

#### ③ 風量モード

#### ④ 室温設定

#### ⑤ ルーバのオートスイング／停止

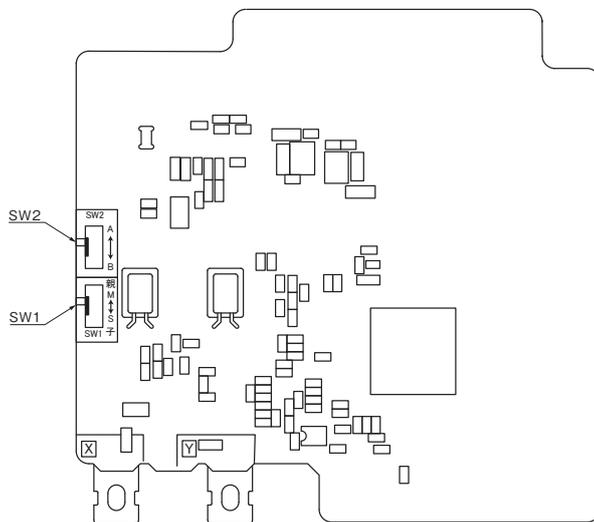
ただし停止位置(4位置)はキャンセルされます。

#### ⑥ リモコン機能設定により設定された「リモコン機能項目」(「室内機能項目」は室内ユニットが記憶します。)

#### ⑦ 温度設定制御で設定した上限値、下限値。

#### ⑧ 時間タイマー、ウィークリータイマー設定(その他のタイマー設定は記憶しません。)

### リモコン基板の部品配置



### ■制御切換スイッチ(SW1)

スイッチ	設定	機能内容
SW1	親	親リモコン
	子	子リモコン

注(1) SW2は、通常使用しませんので、切換えないでください。

### 3 故障診断編の目次

1. トラブル項目と診断 .....	3-2
1-1 故障診断の内容 .....	3-2
1-2 室内ユニット基板交換要領 .....	3-26
2. リモコンによる異常運転データの確認 .....	3-28

# 1. トラブル項目と診断

## 1-1 故障診断の内容

### (1) 点検表示一覧

リモコン表示	故障内容	記載ページ
なし	音・振動が非常に大きい（その1）	3-3
なし	音・振動が非常に大きい（その2）	3-4
なし	音・振動が非常に大きい（その3）	3-5
なし	ルーバモータが回らない	3-6
なし	ラクリーナパネルが動かない	3-7
なし	電源系統異常（室内基板への電源供給）	3-8
なし	電源系統異常（リモコンへの電源供給）	3-9
無表示	無表示	3-10
E1	リモコン通信回路不良	3-11
E2	室内アドレス重複	3-12
E3/5	室外・信号系統異常	3-13
E5	運転中に通信異常	3-14
E6	室内熱交温度センサ不良	3-15
E7	室内吸込温度センサ不良	3-16
E9	ドレン不良	3-17
E10	1リモコン複数台制御時接続台数オーバ（17台以上）	3-18
E11	室内ユニットアドレス設定不良	3-19
E12	室内ユニットでのアドレス設定不良	3-20
E16	室内ファンモータ異常	3-21
E18	親子室内アドレス設定不良	3-22
E19	運転チェックモード異常	3-23
E20	室内ファンモータ回転数異常	3-24
E28	リモコン温度センサ断線	3-25

(2) 故障診断

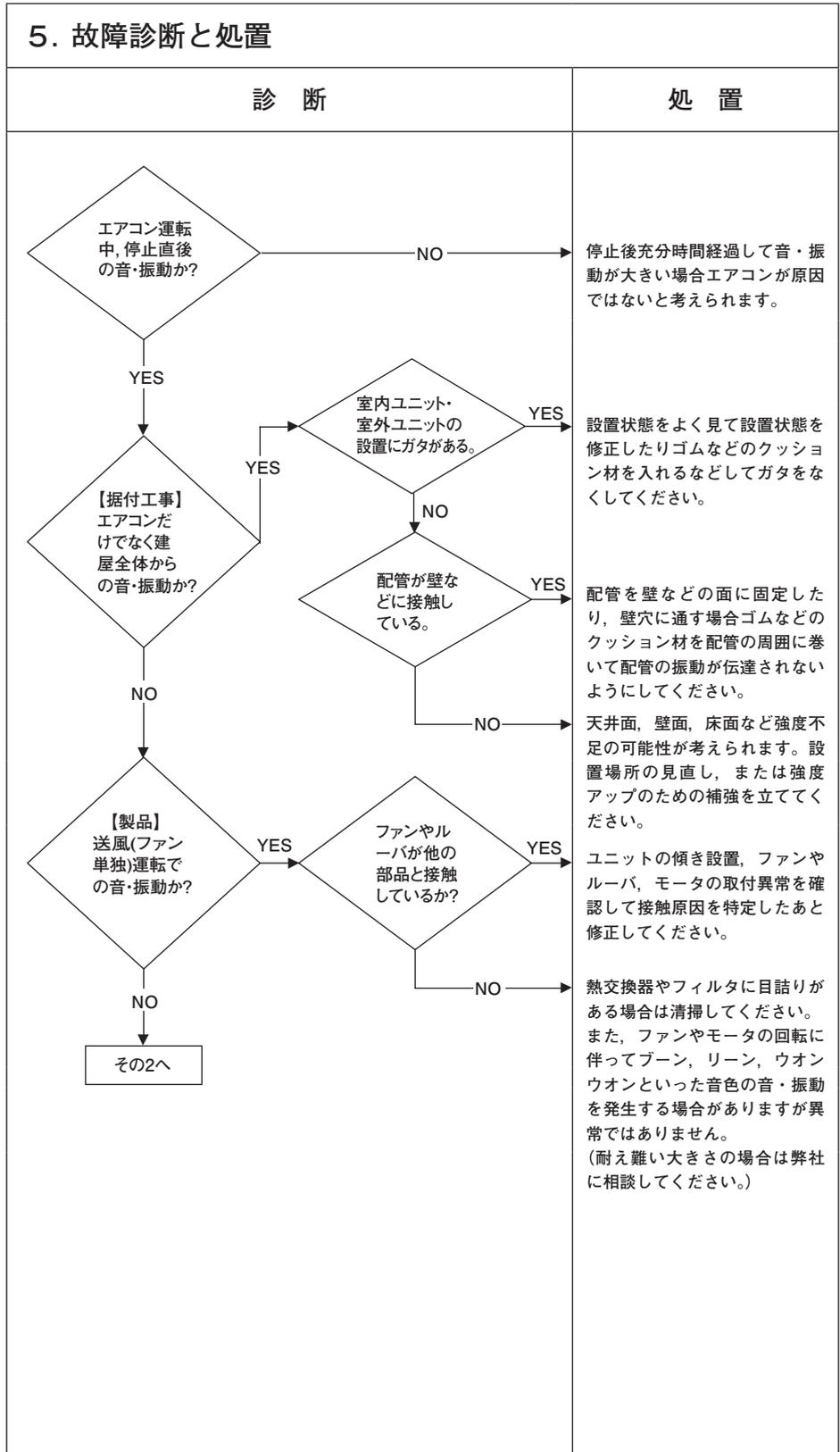
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい (その1)
	室内	—	—	
	室外	—	—	

1. 対象機種  
GT シリーズ

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因
- ①据付工事不良
    - ・設置時の防振対策不良
    - ・取付面の強度不足
  - ②製品不良
    - ・工場出荷前／後不良
  - ③運転調整不良
    - ・冷媒の過多／不足など



注記：

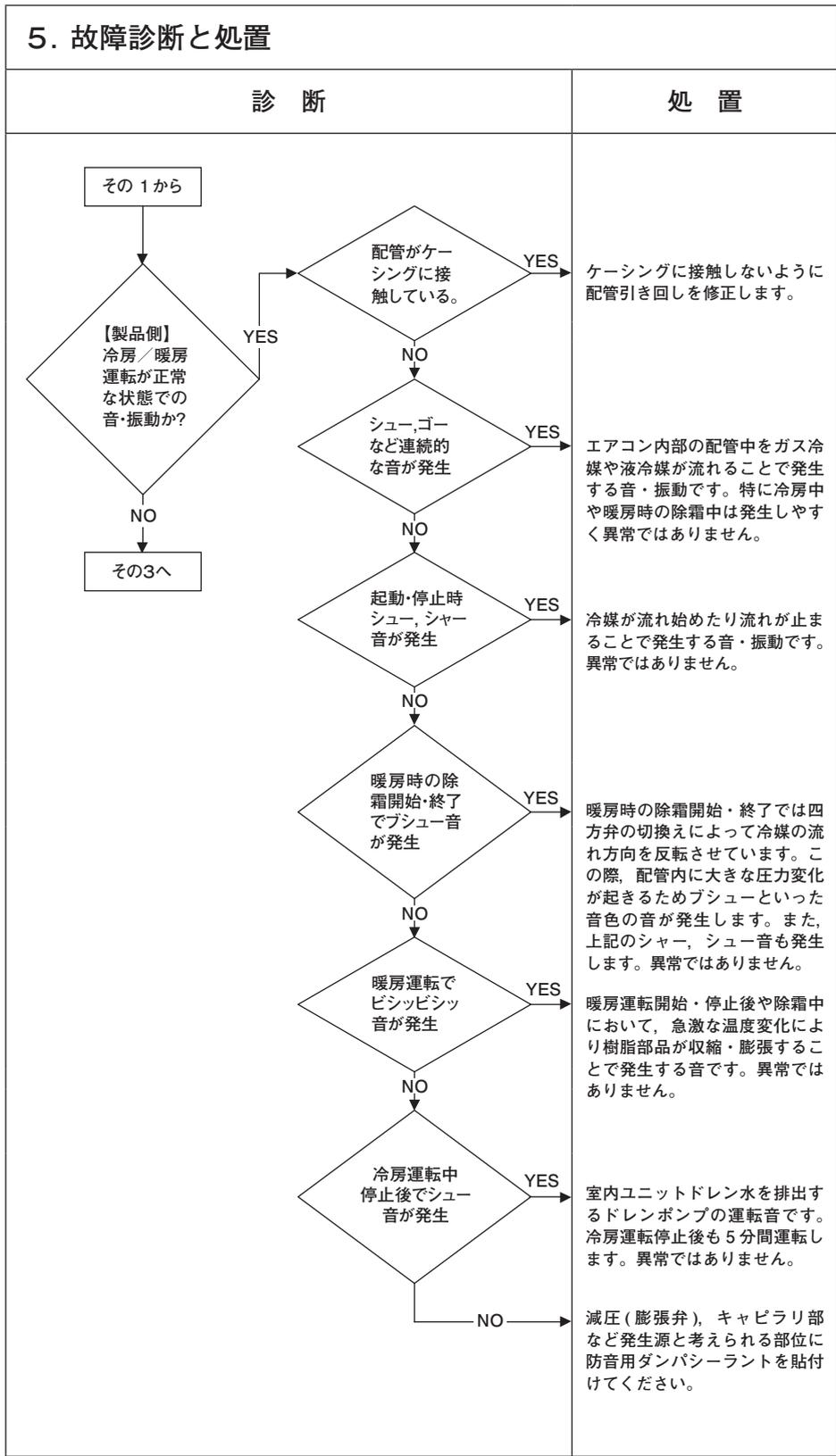
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい (その2)
	室内	—	—	
	室外	—	—	

1. 対象機種  
GT シリーズ

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因



注記：

表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 音・振動が非常に大きい (その3)
	室内	—	—	
	室外	—	—	

1. 対象機種  
GT シリーズ

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

5. 故障診断と処置

診 断	処 置
<p>その2から</p> <p>【運転調整】 冷房／暖房運転が不良な状態での音・振動か?</p> <p>YES</p>	<p>冷房／暖房運転で温度が適正でない不良な状態の場合、以下の懸念があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷媒の過多充填</li> <li>・冷媒の不足充填</li> <li>・空気、窒素などの混入</li> </ul> <p>このため、冷媒回収、真空乾燥、冷媒再充填を実施してください。</p> <p>※音・振動はさまざまなことが原因となって発生するため、上記の内容に当てはまらない場合があると思われれます。 その場合、以下の点を確認・メモした後弊社に相談願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内／室外ユニット</li> <li>・冷房／暖房／送風</li> <li>・起動／停止／運転中</li> <li>・運転状態 (室内外温度、圧力)</li> <li>・発生時間</li> <li>・圧縮機回転数、熱交センサ温度、電子膨張弁開度等のリモコンによる運転データ</li> <li>・音色</li> <li>・その他気付き事項</li> </ul>

注記：

表示 リモコンなし	LED	緑	赤	内容 <b>ルーバモーターが回らない</b>
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

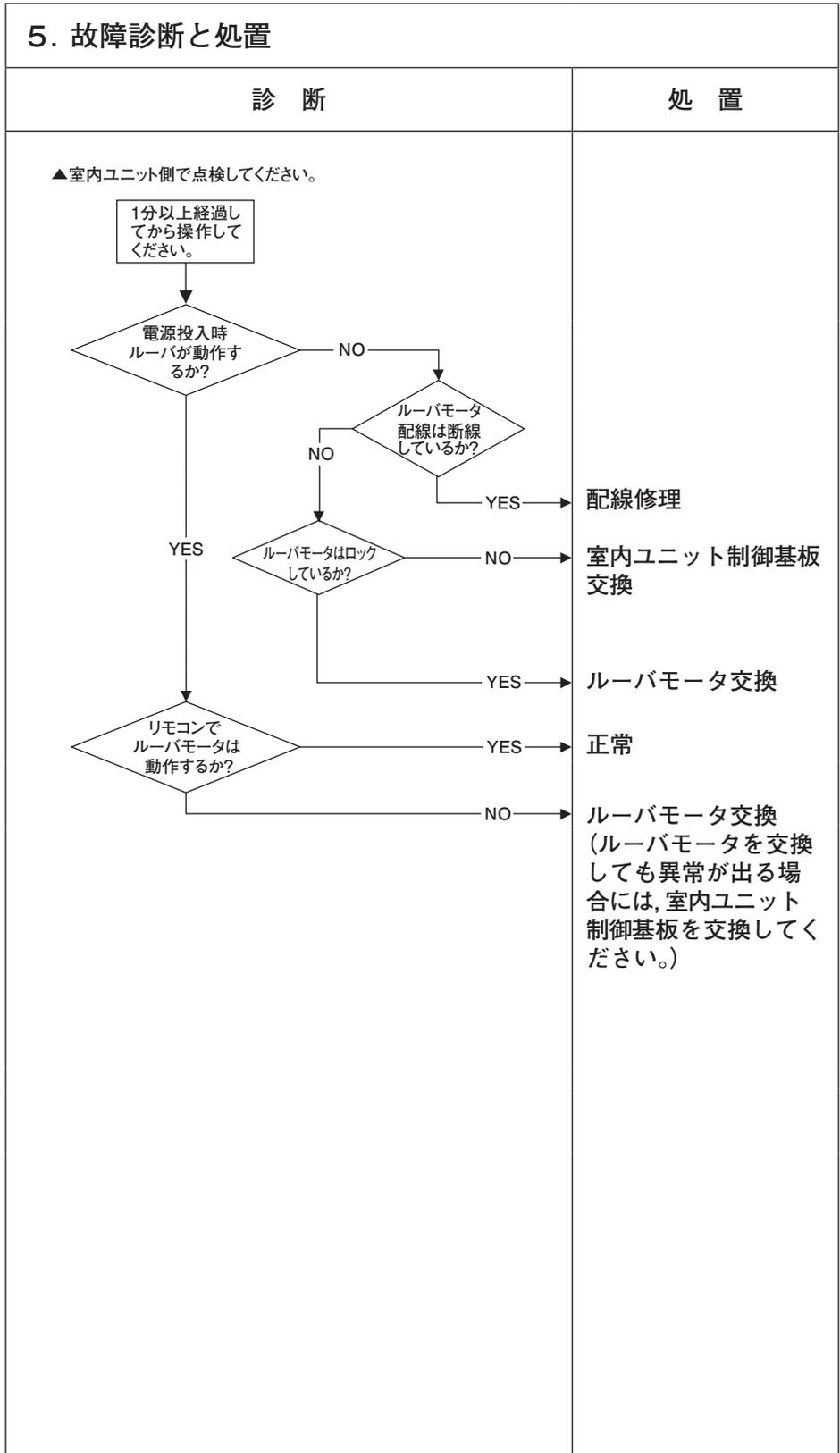
1. 対象機種  
GT シリーズ

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因

- ・ルーバモーター不良
- ・ルーバモーター配線断線
- ・室内ユニット基板不良



注記：

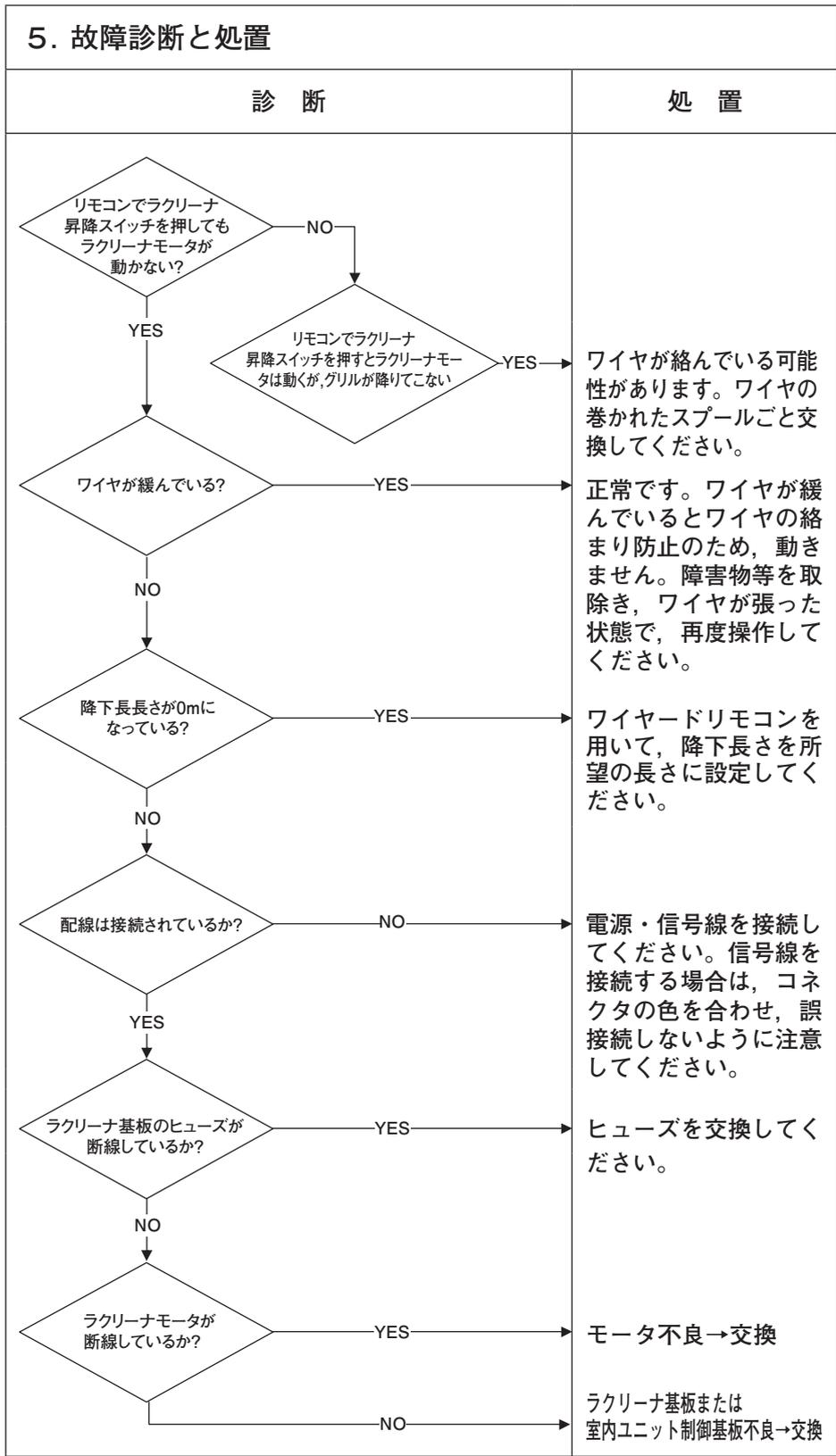
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 <b>ラクリーナパネルが動かない</b>
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	消灯	

1. 対象機種  
GT シリーズ

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因
- ・ワイヤゆるみ検知機構が働いている
  - ・誤配線
  - ・誤接続
  - ・ラクリーナモータ不良
  - ・ワイヤの絡まり
  - ・ヒューズ切れ



注記：

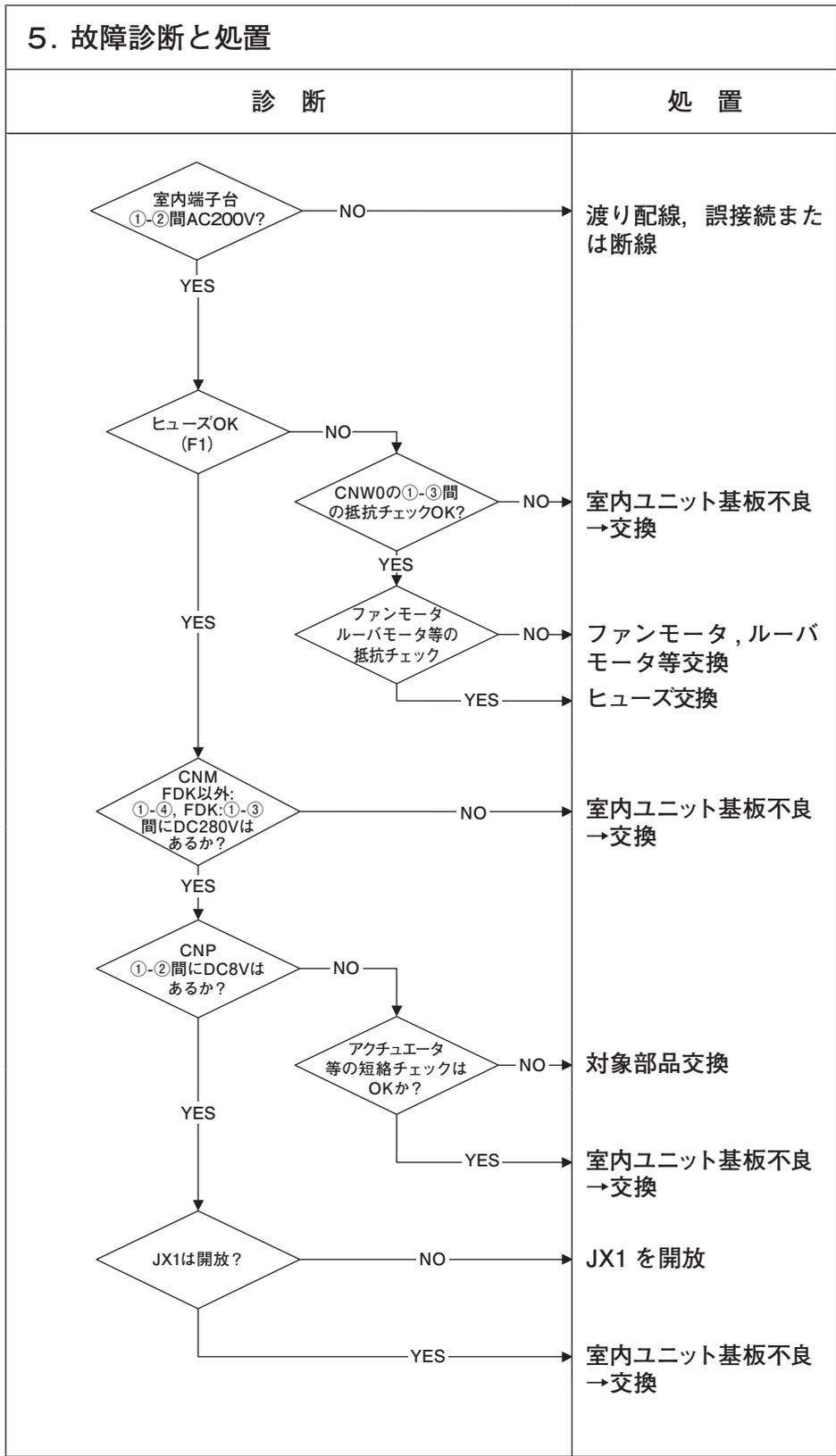
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 <b>電源系統異常</b> (室内基板への電源供給)
	室内	消灯	消灯	
	室外	連続点滅	2回点滅	

1. 対象機種  
GTシリーズ

2. 異常検出方法

3. 異常発生条件

4. 予想原因
- ・ 渡り配線, 誤接続または断線
  - ・ ヒューズの断線
  - ・ 室内ユニット基板故障
  - ・ ハーネス断線



注記:

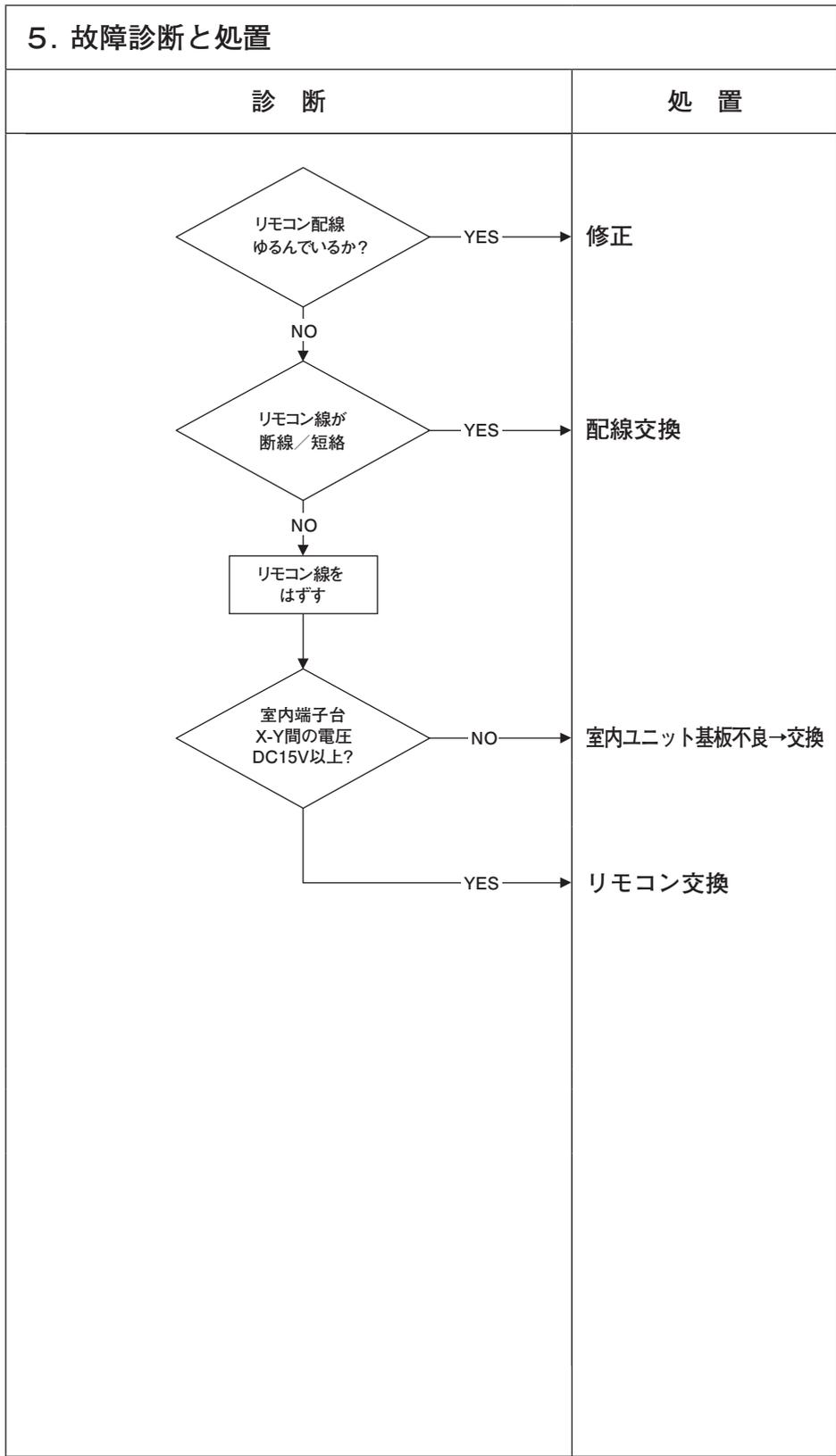
表示 リモコン:なし	LED	緑	赤	内容 <b>電源系統異常</b> (リモコンへの電源供給)
	室内	連続点減	3回点減	
	室外	連続点減	2回点減	

**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**

**3. 異常発生条件**

- 4. 予想原因**
- ・ リモコン線断線／短絡
  - ・ リモコン不良
  - ・ 室内ユニット基板故障
  - ・ ハーネス断線



注記：

表示 リモコン:無表示	LED	緑	赤	内容 〔無表示〕
	室内	消灯	消灯	
	室外	消灯	消灯	

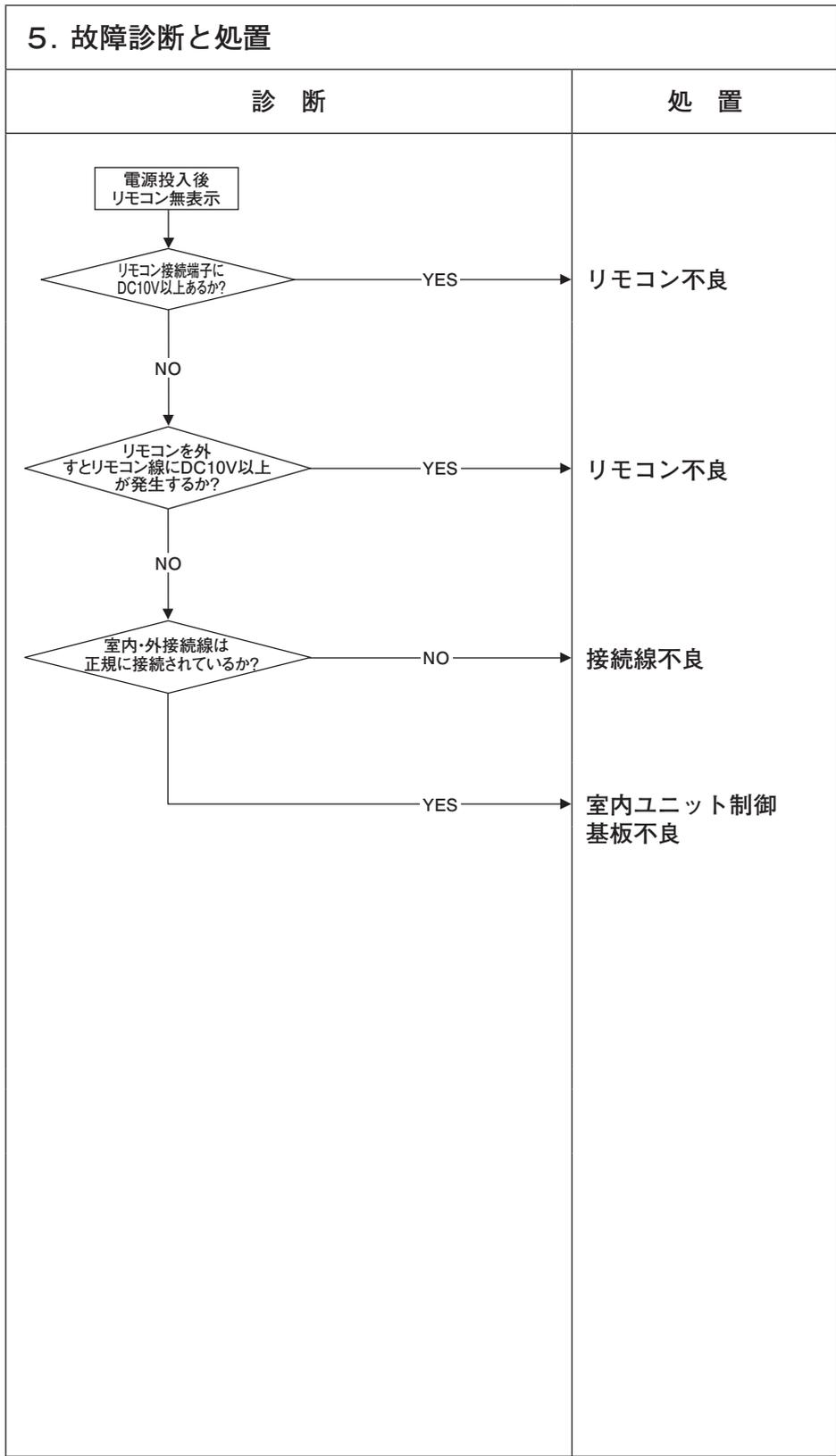
**1. 対象機種**  
全機種  
(電源投入後リモコン無表示の場合)

**2. 異常検出方法**

**3. 異常発生条件**

**4. 予想原因**

- ・基板間の接続
- ・室内ユニット制御基板故障
- ・リモコン不良
- ・リモコン線断線



注記：

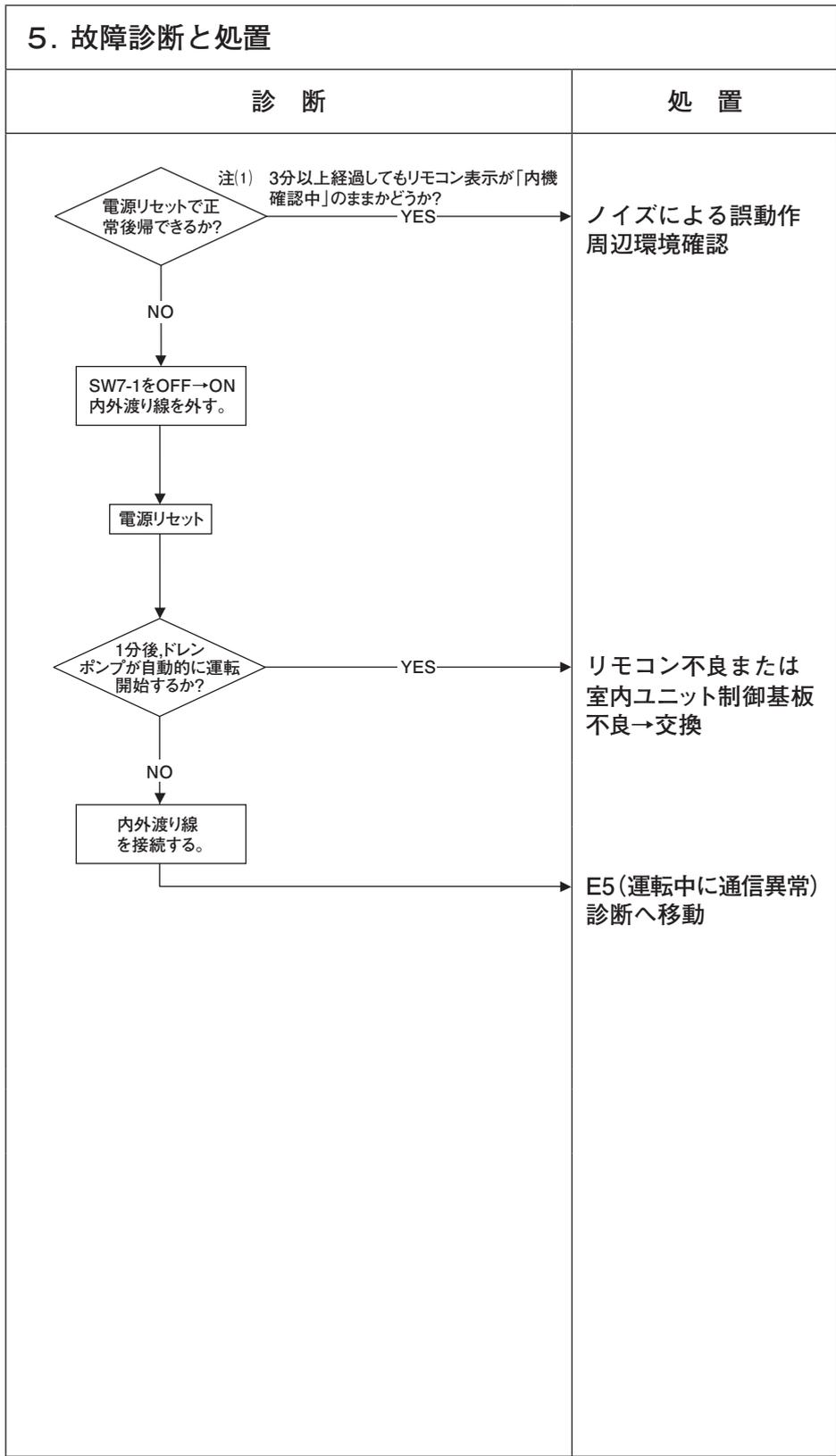
表示 リモコン:E1	LED	緑	赤	内容  <b>リモコン通信回路不良</b>
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**  
リモコンー室内ユニット間の通信が運転中に2分以上正常にできない場合(リモコンでのみ検出)

**3. 異常発生条件**  
同上

**4. 予想原因**  
・リモコンー室内ユニット間通信回路不良  
・ノイズ



注記：室内側ではリモコンと180秒間正常に通信できない場合、室内ユニットの基板は自動的にリセットスタートします。

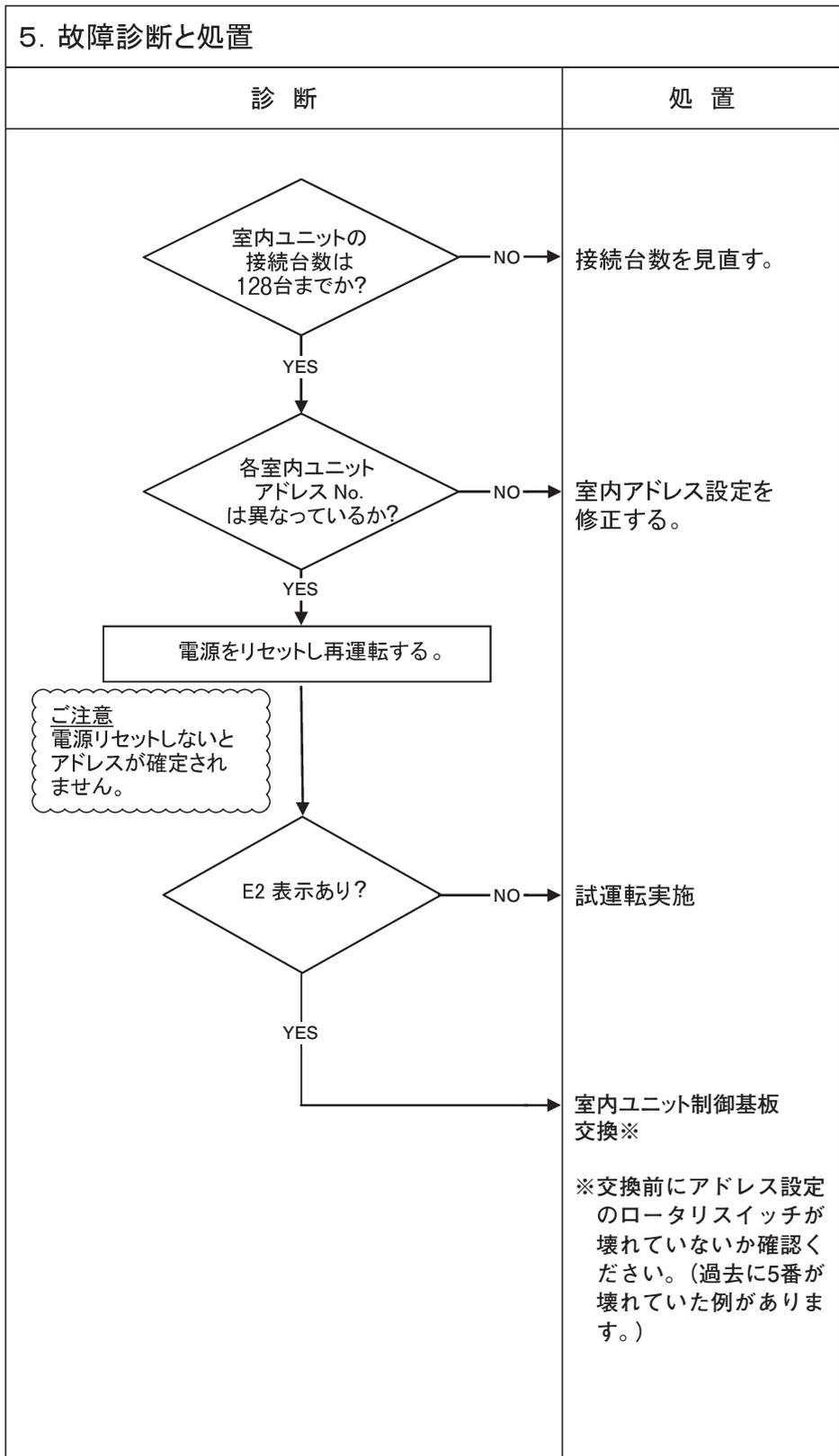
表示 リモコン:E2 7セグメント:-	LED	緑	赤	内容  <b>室内アドレス重複</b>
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種  
GTシリーズ

2. 異常検出方法  
同一系統内で室内ユニットが129台以上接続  
室内アドレス重複

3. 異常発生条件  
同上

4. 予想原因  
①室内接続台数制限オーバー  
②室内アドレスNo.重複  
③室内ユニット制御基板不良



注記:

表示 リモコン:E3/5 7セグメント:-	LED	緑	赤	内容 <b>室外・信号系統異常</b>
	室内	連続点滅	2回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

<b>1. 対象機種</b> GTシリーズ	<b>5. 故障診断と処置</b>	
<b>2. 異常検出方法</b> 同一系統内に室外ユニットがない	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           E3は室内外の通信が一度も成立しない時に発生する通信エラーです。一旦室内外の通信が成立すればE5となります。共に、現地通信用配線を確認してください。         </div> <pre>           graph TD             Start[電源リセットし再運転する。] --&gt; D1{E3/E5発生}             D1 -- NO --&gt; A1[ノイズによる一過性の誤動作, ノイズ源あれば修正]             D1 -- YES --&gt; D2{スーパーリンク回路の保護ヒューズ切れ}             D2 -- YES --&gt; A2[予備回路に変更]             D2 -- NO --&gt; D3{室内ユニット制御基板LED OKか?}             D3 -- NO --&gt; A3[室内ユニット制御基板交換]             D3 -- YES --&gt; D4{室外ユニット電源確認OKか?}             D4 -- NO --&gt; A4[修正]             D4 -- YES --&gt; D5{室内に設定した室外アドレスはOKか?}             D5 -- NO --&gt; A5[修正]             D5 -- YES --&gt; D6{スーパーリンク信号線接続はOKか?}             D6 -- NO --&gt; A6[修正]             D6 -- YES --&gt; A7[室外ユニット制御基板交換]           </pre>	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"><b>診 断</b></div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"><b>処 置</b></div>
<b>3. 異常発生条件</b> 同上		
<b>4. 予想原因</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 室外ユニットの電源未投入</li> <li>・ 室内・外ユニットのペアリング不適合</li> <li>・ 室内ユニット制御基板不良</li> <li>・ 室外ユニット制御基板不良</li> <li>・ 現地配線未接続</li> </ul>		

注記：

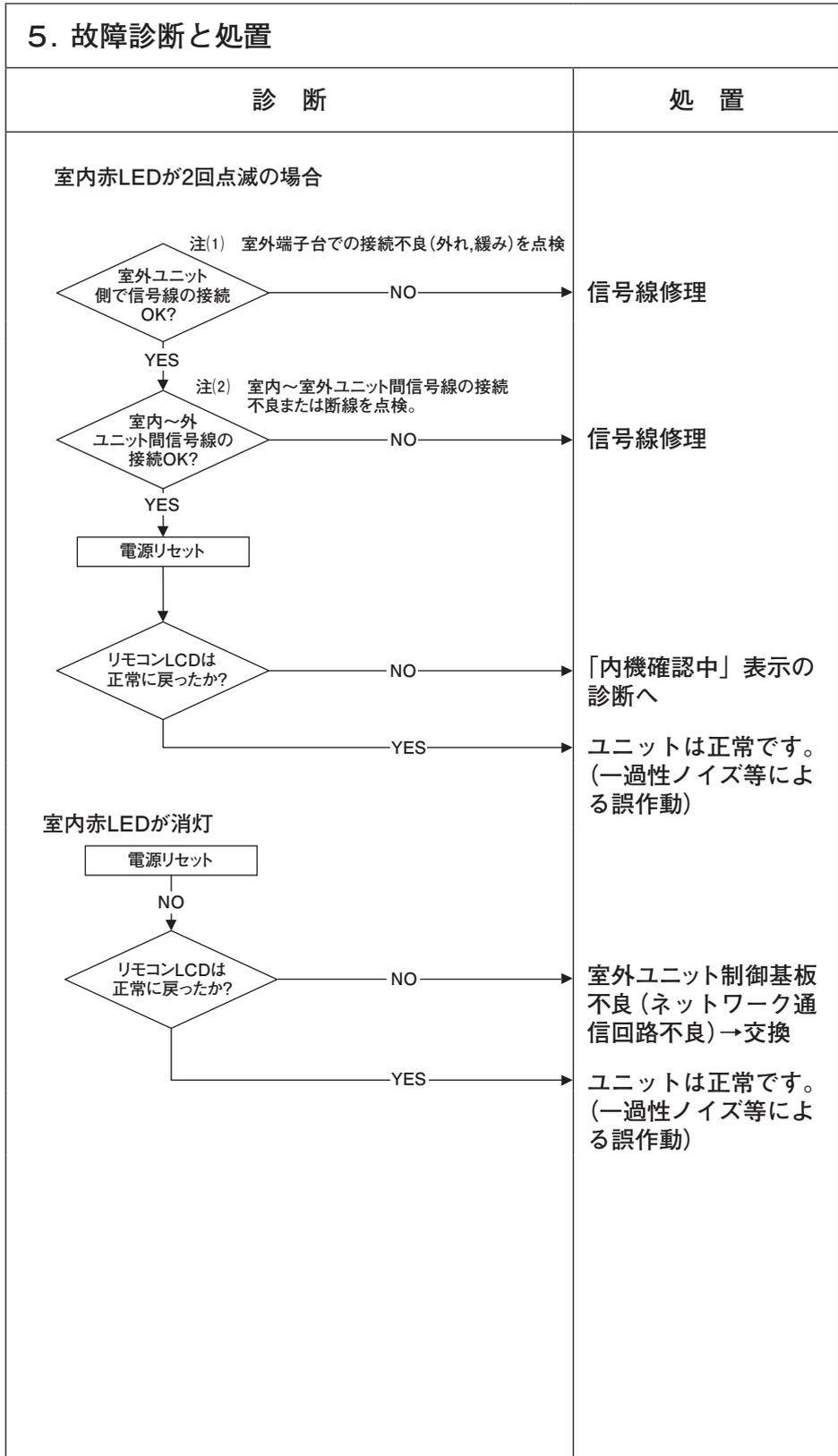
表示 リモコン:E5	LED	緑	赤	内容  <b>運転中に通信異常</b>
	室内	連続点滅	下記参照	
	室外	連続点滅	2回点滅	

**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**  
室内～室外が2分以上正常に通信ができない場合

**3. 異常発生条件**  
運転中に同上を検知

- 4. 予想原因**
- ・号機設定ミス
  - ・リモコン配線断線
  - ・リモコン配線接続不良
  - ・室外ユニット制御基板不良
  - ・ノイズによる誤作動



注記：ポンプダウンスイッチを押すと、室内ユニットとの通信をキャンセルするため、リモコンには“伝送異常・E5”が表示されますが異常ではありません。

表示 リモコン:E6	LED	緑	赤	内容 <b>室内熱交温度センサ不良</b>
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**  
室内熱交温度センサ (Thi-R1, R2, R3) の異常低温および異常高温 (抵抗) を検知

**3. 異常発生条件**

- ・温度センサが, 圧縮機ON2分後20秒間に断線を連続5秒間検知
- ・冷房運転で圧縮機ON2分後20秒間に短絡を連続5秒間検知

**4. 予想原因**

- ・室内熱交温度センサコネクタ不良
- ・室内熱交温度センサ不良
- ・室内ユニット制御基板故障

**5. 故障診断と処置**

診 断	処 置																
<pre> graph TD     A{室内熱交温度センサコネクタの接続はOKか?} -- NO --&gt; B[修正→コネクタ接続]     A -- YES --&gt; C{室内熱交温度センサの特性はOKか?}     C -- NO --&gt; D[室内熱交温度センサ不良→交換]     C -- YES --&gt; E[室内ユニット制御基板不良→交換 (室内熱交温度センサ入力回路不良)]           </pre>																	
<p>室内熱交温度センサ (Thi-R1,R2,R3) 温度-抵抗特性</p> <table border="1"> <caption>室内熱交温度センサ (Thi-R1,R2,R3) 温度-抵抗特性</caption> <thead> <tr> <th>温度 (°C)</th> <th>温度センサ抵抗 (kΩ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>15</td></tr> <tr><td>10</td><td>10</td></tr> <tr><td>20</td><td>7</td></tr> <tr><td>25</td><td>5</td></tr> <tr><td>30</td><td>4</td></tr> <tr><td>40</td><td>3</td></tr> <tr><td>50</td><td>2.5</td></tr> </tbody> </table>	温度 (°C)	温度センサ抵抗 (kΩ)	0	15	10	10	20	7	25	5	30	4	40	3	50	2.5	
温度 (°C)	温度センサ抵抗 (kΩ)																
0	15																
10	10																
20	7																
25	5																
30	4																
40	3																
50	2.5																

注記：

表示 リモコン:E7	LED	緑	赤	内容 <b>室内吸込温度センサ不良</b>
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

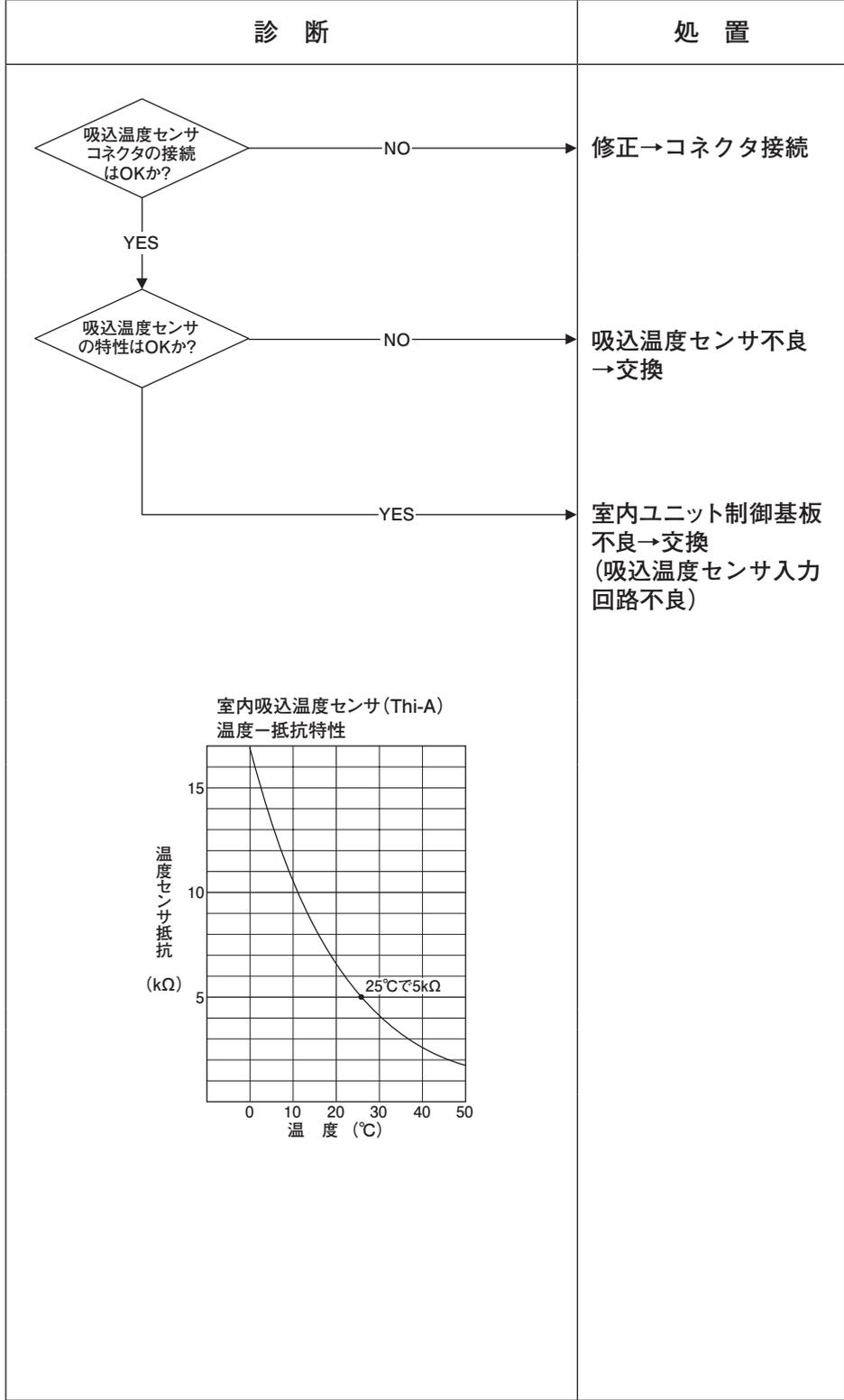
**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**  
室内吸込温度センサ (Thi-A) の異常低温および異常高温 (抵抗) を検知

**3. 異常発生条件**  
・温度センサが断線を連続5秒間検知

**4. 予想原因**  
・吸込温度センサコネクタ不良  
・吸込温度センサ不良  
・室内ユニット制御基板故障

**5. 故障診断と処置**



注記：

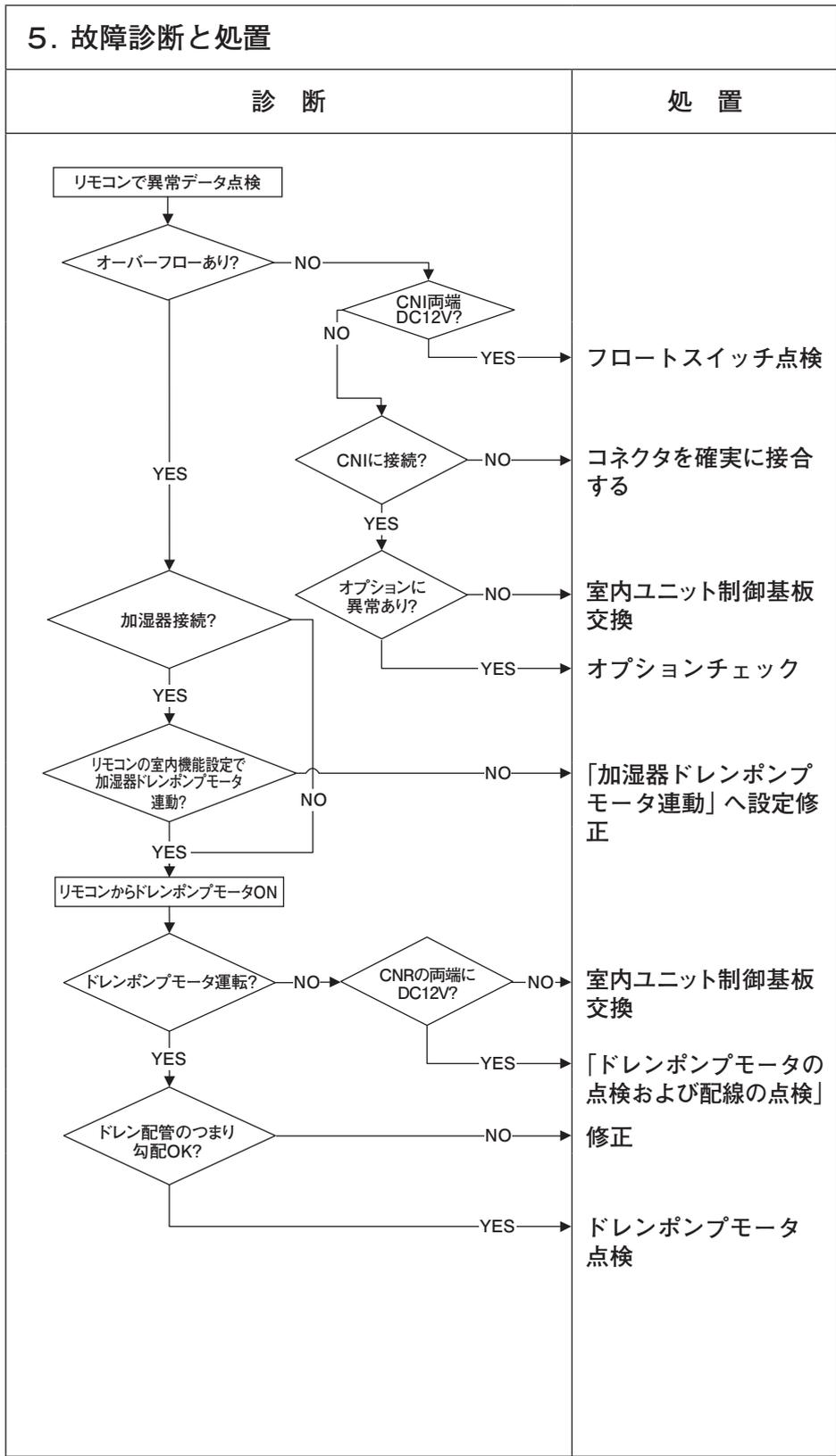
表示 リモコン:E9	LED	緑	赤	内容 <b>ドレン不良</b>
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**  
フロートスイッチ作動

**3. 異常発生条件**  
フロートスイッチ開を3秒間連続検知したとき、またはフロートスイッチの未接続時・断線時。

- 4. 予想原因**
- ・室内ユニット制御基板不良
  - ・フロートスイッチ設定ミス
  - ・加湿器ドレンポンプモータ連動設定ミス
  - ・オプション設定ミス
  - ・ドレン配管ミス
  - ・ドレンポンプモータ不良
  - ・ドレンポンプモータ配線不良



注記：電源投入時に発生した場合は、フロートスイッチの断線・接点不良が考えられます。点検修正（交換）してください。

表示 リモコン:E10	LED	緑	赤	内容 1 リモコン複数台制御時 接続台数オーバ (17台以上)
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

<b>1. 対象機種</b>
GT シリーズ

<b>2. 異常検出方法</b>
1 リモコンで室内ユニット17台以上を検知したとき

<b>3. 異常発生条件</b>
同上

<b>4. 予想原因</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接続台数オーバ</li> <li>・ リモコン不良</li> </ul>

<b>5. 故障診断と処置</b>	
診 断	処 置
<pre> graph TD     A{1個のリモコンに17台以上接続しているか?} -- NO --&gt; B[リモコン不良→交換]     A -- YES --&gt; C[16台以下に変更]   </pre>	

注記：
-----

表示 リモコン:E11 7セグメント:-	LED	緑	赤	内容 <b>室内ユニットアドレス設定不良</b>
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

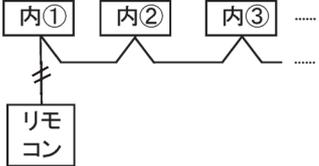
1. 対象機種  
GTシリーズ

2. 異常検出方法  
複数室内ユニットを1リモコンで結線し、リモコンでアドレス設定した場合

3. 異常発生条件  
同上

4. 予想原因  
アドレス設定方法の間違い  
1リモコンで複数の室内ユニットを制御する場合、リモコンアドレス設定はできない。手動または自動アドレス設定のみ（冷媒系統を信号線がまたがない場合のみ）

5. 故障診断と処置

診断	処置
<p>E11表示</p> <p>室内ユニットアドレス設定をリモコンアドレスで設定したか</p> <p>YES</p> <p>下図リモコンの結線で、リモコンアドレス設定するとE11発生。</p> 	<p>室内ユニット制御基板上のロータリスイッチSW1, 2およびディップスイッチSW5-2でアドレス設定を行う。</p>

注記:

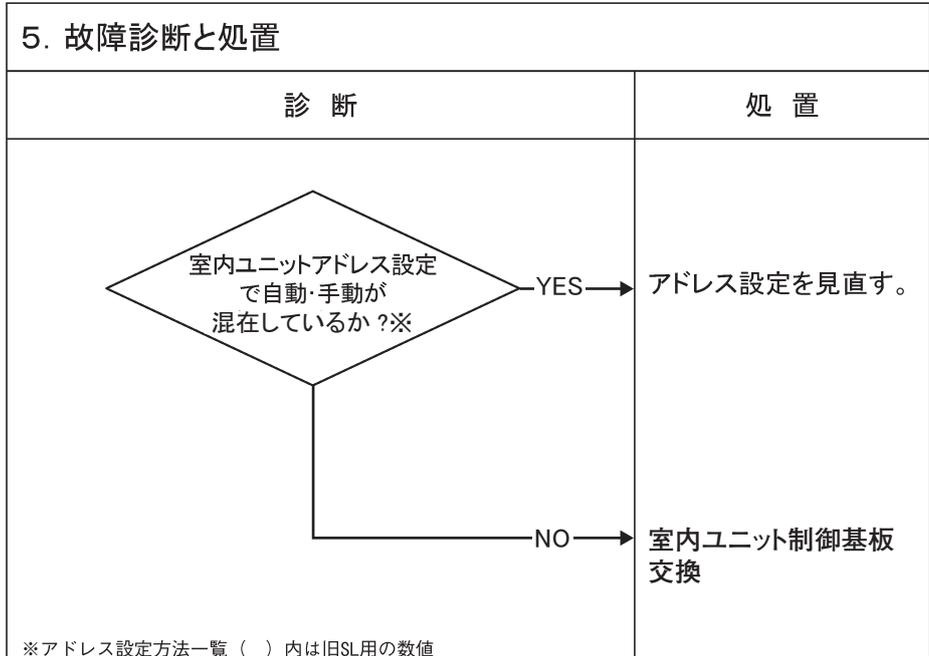
表示 リモコン:E12 7セグメント:-	LED	緑	赤	内容 室内ユニットでのアドレス設定不良
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

1. 対象機種  
GT シリーズ

2. 異常検出方法  
室内ユニットでのアドレス設定時に自動と手動が混在

3. 異常発生条件  
同上

4. 予想原因  
室内ユニットでのアドレス設定間違い



※アドレス設定方法一覧（ ）内は旧SL用の数値

	新SL対応機			新SL未対応機		
	室内ユニットアドレス設定	室外ユニットアドレス設定	室外No.スイッチ	室内ユニットアドレス設定	室外ユニットアドレス設定	室外No.スイッチ
	室内No.スイッチ	室外No.スイッチ	室外No.スイッチ	室内No.スイッチ	室外No.スイッチ	室外No.スイッチ
手動アドレス (旧SL/新SL)	000-127 (47)	00-31 (47)	00-31 (47)	00-47	00-47	00-47
1冷媒系統自動アドレス (旧SL/新SL)	000	49	49	49	49	49
複数冷媒系統自動アドレス (新SLのみ)	000	49	00-31	不可	不可	不可

注記:

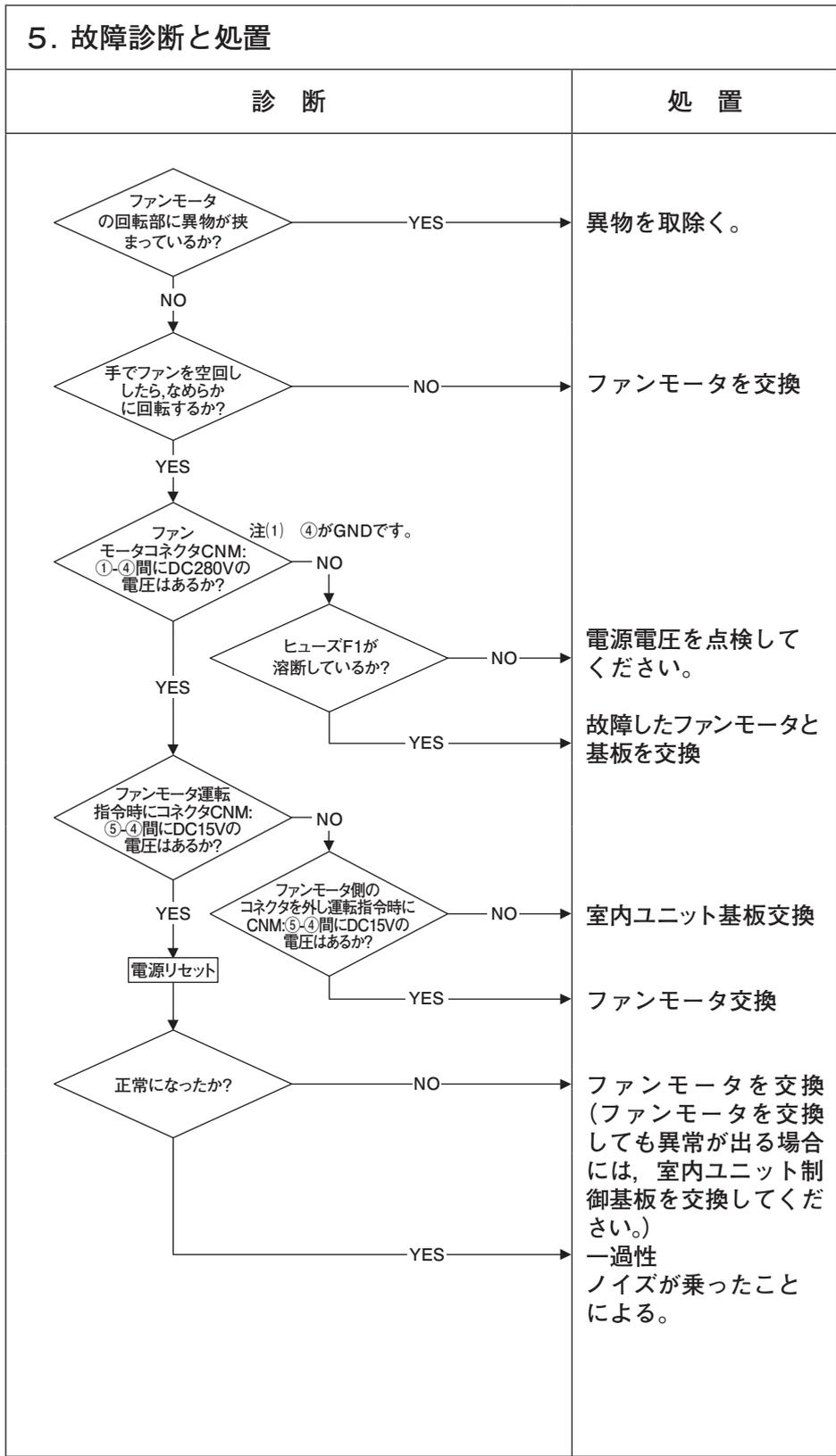
表示 リモコン:E16	LED	緑	赤	内容 室内ファンモータ異常
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**  
室内ファンモータ回転数

**3. 異常発生条件**  
室内ファンモータの実回転が 30 秒連続して  $200\text{min}^{-1}$  以下になると圧縮機、室内ファンモータを停止します。2 秒遅延後自動復帰しますが 60 分以内に 4 回作動した場合は、異常停止します。

- 4. 予想原因**
- ・室内ユニット制御基板不良
  - ・ファンモータの回転部の異物
  - ・ファンモータ不良
  - ・基板の塵埃
  - ・ヒューズ溶断
  - ・外来ノイズ, サージ



注記：

表示 リモコン:E18	LED	緑	赤	内容 <b>親子室内アドレス設定不良</b>
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

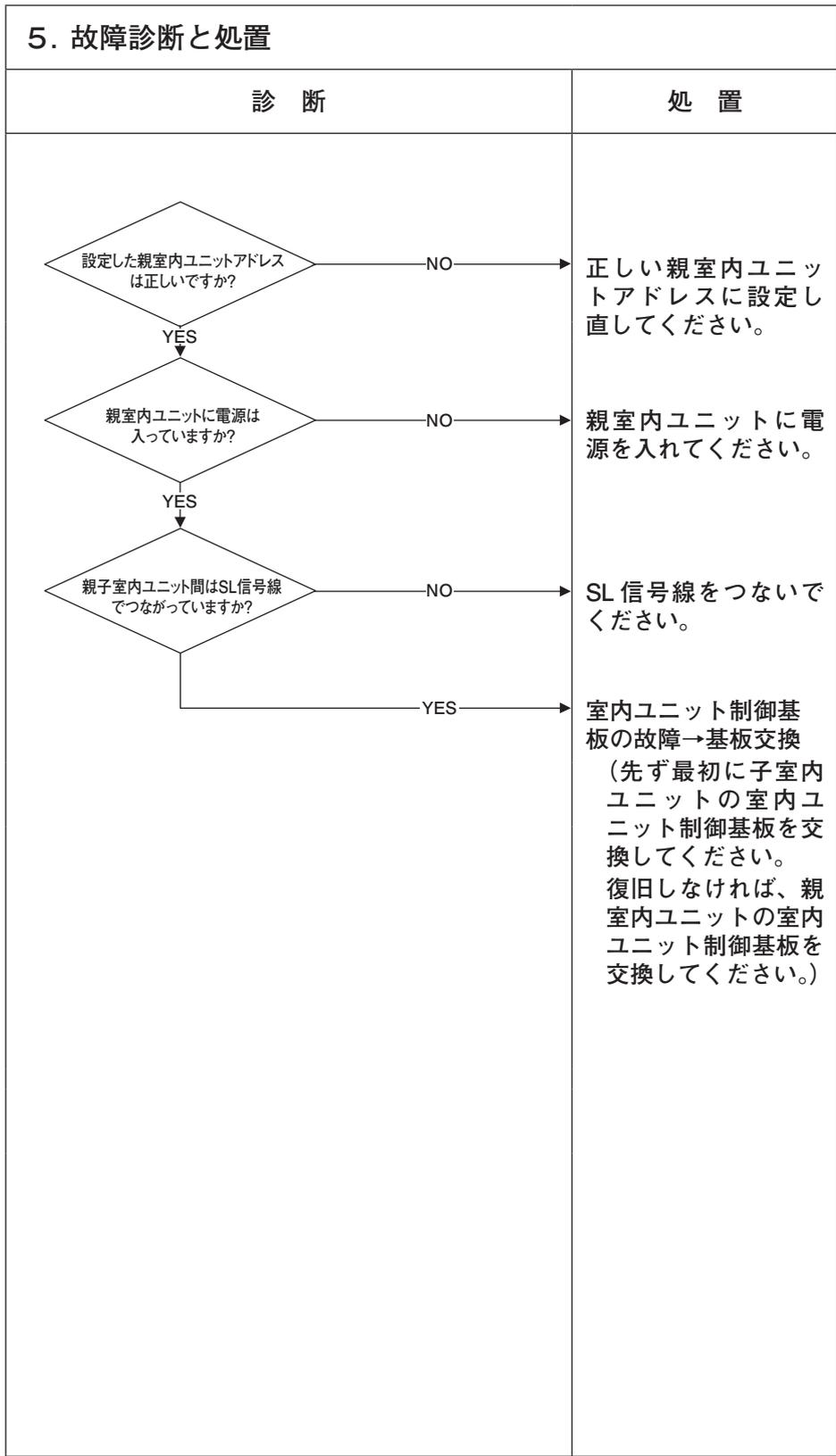
**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**  
(1)設定した親室内ユニットアドレスが、同一のSL信号線のネットワーク上に存在しない場合。  
(2)子室内ユニットアドレスとして設定したアドレスを親室内ユニットアドレスとして重複して設定した場合。

**3. 異常発生条件**  
同上

**4. 予想原因**

- ・親室内ユニットアドレスの設定ミス
- ・親室内ユニットの電源が入っていない。
- ・親子室内ユニット間にSL信号線が繋がっていない。
- ・子室内ユニットまたは親室内ユニットまたは両方の室内ユニット制御基板が故障。



注記：

表示 リモコン:E19	LED	緑	赤	内容 <b>運転チェックモード異常</b>
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

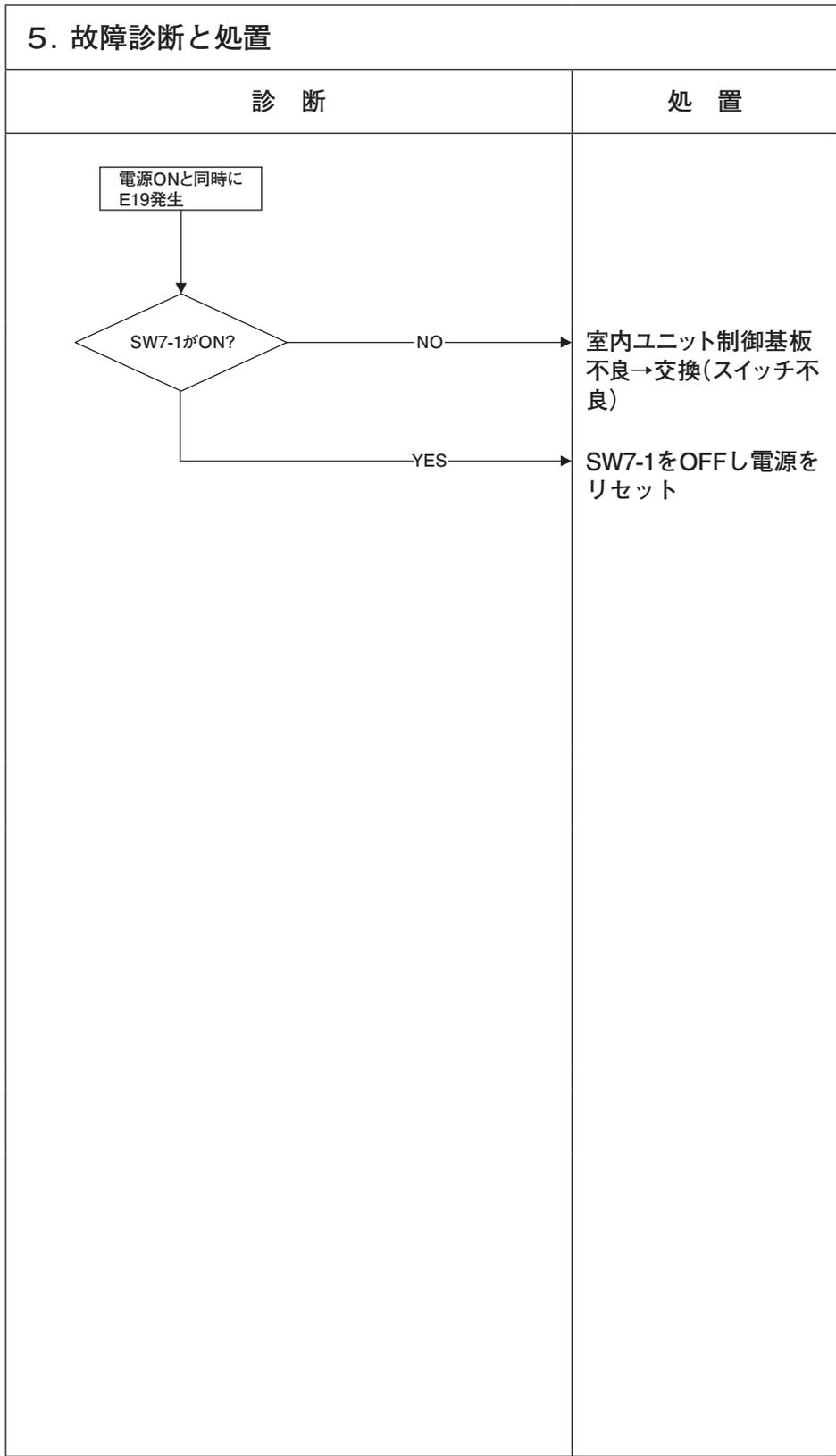
**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**  
E19 発生

**3. 異常発生条件**  
同上

**4. 予想原因**

- ・ スイッチ SW7-1 設定間違い(スイッチSW7-1の戻し忘れ)
- ・ 室内ユニット制御基板不良(スイッチ SW7-1 不良)



注記：

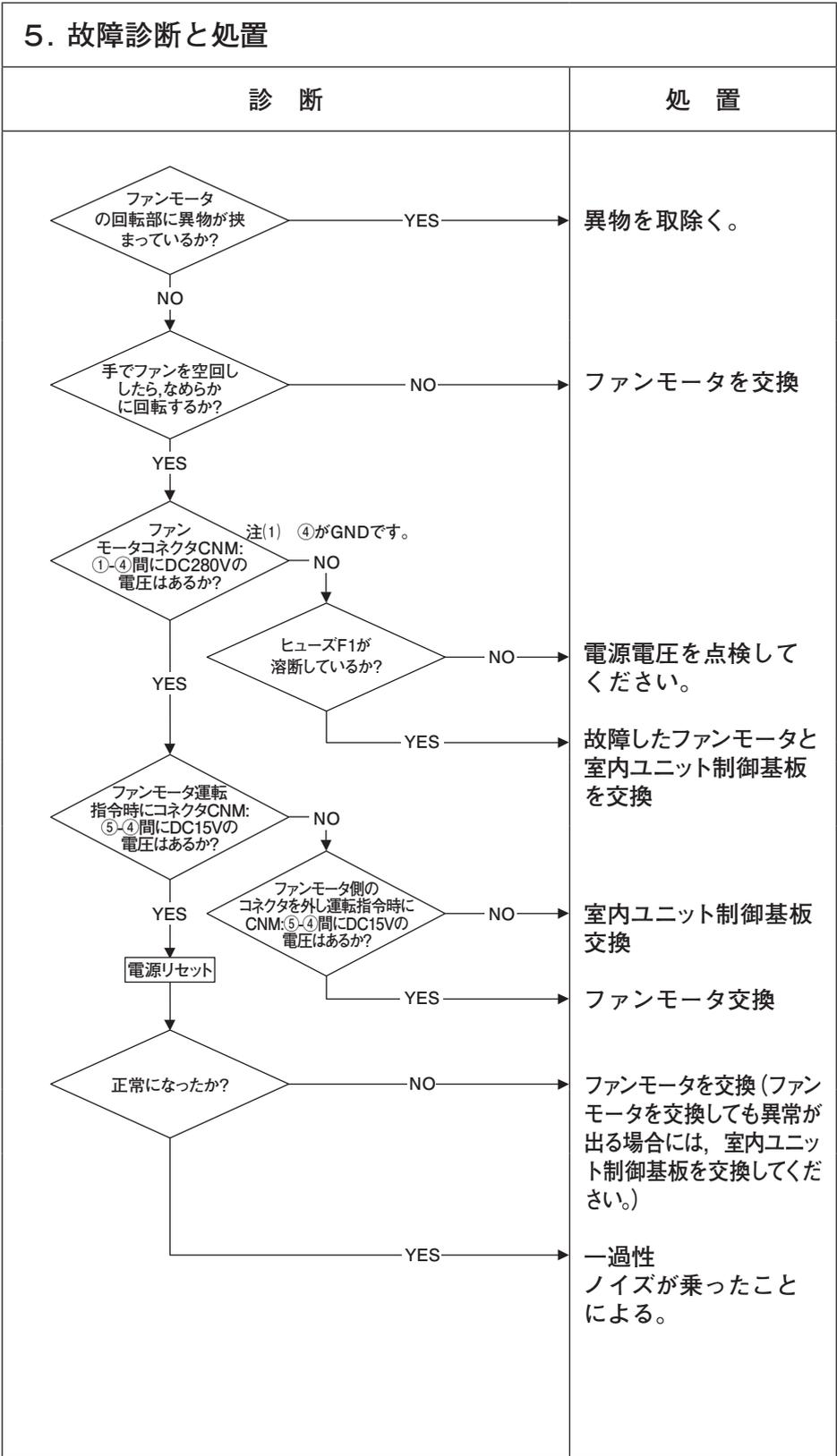
表示 リモコン:E20	LED	緑	赤	内容 室内ファンモータ回転数異常
	室内	連続点滅	1回点滅	
	室外	連続点滅	消灯	

**1. 対象機種**  
GT シリーズ

**2. 異常検出方法**  
室内ファンモータ回転数

**3. 異常発生条件**  
ファンモータ回転数指令が出力された後、2分経過しても実回転数〔要求回転数 -50 min<sup>-1</sup>〕に達しないときはファンモータ異常を検出し停止します。

- 4. 予想原因**
- ・室内ユニット制御基板不良
  - ・ファンモータの回転部の異物
  - ・ファンモータ不良
  - ・室内ユニット制御基板の塵埃
  - ・ヒューズ溶断
  - ・外来ノイズ, サージ



注記：

表示 リモコン:E28	LED	緑	赤	内容 リモコン温度センサ断線
	室内	連続点滅	消灯	
	室外	連続点滅	消灯	

**1. 対象機種**  
全機種

**2. 異常検出方法**  
リモコン温度センサ (Thc) の異常低温 (抵抗) を検知

**3. 異常発生条件**  
温度センサが -50℃以下を連続 5 秒間検知した場合は圧縮機を停止します。3 分遅延後に圧縮機を再起動させ、1 回目の検知から 60 分以内に再検知した場合。

**4. 予想原因**

- ・ リモコン温度センサ接続不良
- ・ リモコン温度センサ不良
- ・ リモコン基板不良

**5. 故障診断と処置**

診 断	処 置																																																																								
<pre> graph TD     A{リモコン温度センサの接続はよいか?} -- NO --&gt; B[修正]     A -- YES --&gt; C{リモコン温度センサの特性は良いか断線は無い?}     C -- NO --&gt; D[リモコン温度センサ不良→交換]     C -- YES --&gt; E[リモコン基板不良→交換 (リモコン温度センサ入力回路不良)]           </pre>																																																																									
<p>リモコン温度センサ温度-抵抗特性 (Thc)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>温度 (°C)</th> <th>抵抗値 (k Ω)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>65</td><td>14</td><td>33</td><td>30</td><td>16</td><td>46</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>1</td><td>62</td><td>16</td><td>30</td><td>32</td><td>15</td><td>48</td><td>7.8</td></tr> <tr><td>2</td><td>59</td><td>18</td><td>27</td><td>34</td><td>14</td><td>50</td><td>7.3</td></tr> <tr><td>4</td><td>53</td><td>20</td><td>25</td><td>36</td><td>13</td><td>52</td><td>6.7</td></tr> <tr><td>6</td><td>48</td><td>22</td><td>23</td><td>38</td><td>12</td><td>54</td><td>6.3</td></tr> <tr><td>8</td><td>44</td><td>24</td><td>21</td><td>40</td><td>11</td><td>56</td><td>5.8</td></tr> <tr><td>10</td><td>40</td><td>26</td><td>19</td><td>42</td><td>9.9</td><td>58</td><td>5.4</td></tr> <tr><td>12</td><td>36</td><td>28</td><td>18</td><td>44</td><td>9.2</td><td>60</td><td>5.0</td></tr> </tbody> </table>	温度 (°C)	抵抗値 (k Ω)	0	65	14	33	30	16	46	8.5	1	62	16	30	32	15	48	7.8	2	59	18	27	34	14	50	7.3	4	53	20	25	36	13	52	6.7	6	48	22	23	38	12	54	6.3	8	44	24	21	40	11	56	5.8	10	40	26	19	42	9.9	58	5.4	12	36	28	18	44	9.2	60	5.0							
温度 (°C)	抵抗値 (k Ω)	温度 (°C)	抵抗値 (k Ω)	温度 (°C)	抵抗値 (k Ω)	温度 (°C)	抵抗値 (k Ω)																																																																		
0	65	14	33	30	16	46	8.5																																																																		
1	62	16	30	32	15	48	7.8																																																																		
2	59	18	27	34	14	50	7.3																																																																		
4	53	20	25	36	13	52	6.7																																																																		
6	48	22	23	38	12	54	6.3																																																																		
8	44	24	21	40	11	56	5.8																																																																		
10	40	26	19	42	9.9	58	5.4																																																																		
12	36	28	18	44	9.2	60	5.0																																																																		

注記：リモコンセンサ無効→有効切替えの 10 秒間以降は、断線しても E28 は表示しません。同時に使用するセンサをリモコン→室内吸込温度センサに変更します。リモコンセンサを有効にしても点検表示の吸込温度表示は室内吸込温度センサの値となります。

# 1-2 室内ユニット基板交換要領

**お願い** ワイヤードリモコン使用機種は制御基板交換後、電源を投入した後に「リモコンによる機能設定」を参照し室内ユニットの機能や用途に合わせて設定を行ってください。

## 安全上のご注意

- 交換工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
  - ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。
- |  |           |   |
|--|-----------|---|
|  | <b>警告</b> | 誤った作業を行った時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。 |
|  | <b>注意</b> | 誤った作業を行った時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。  |
- 基板交換完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。

## 警告

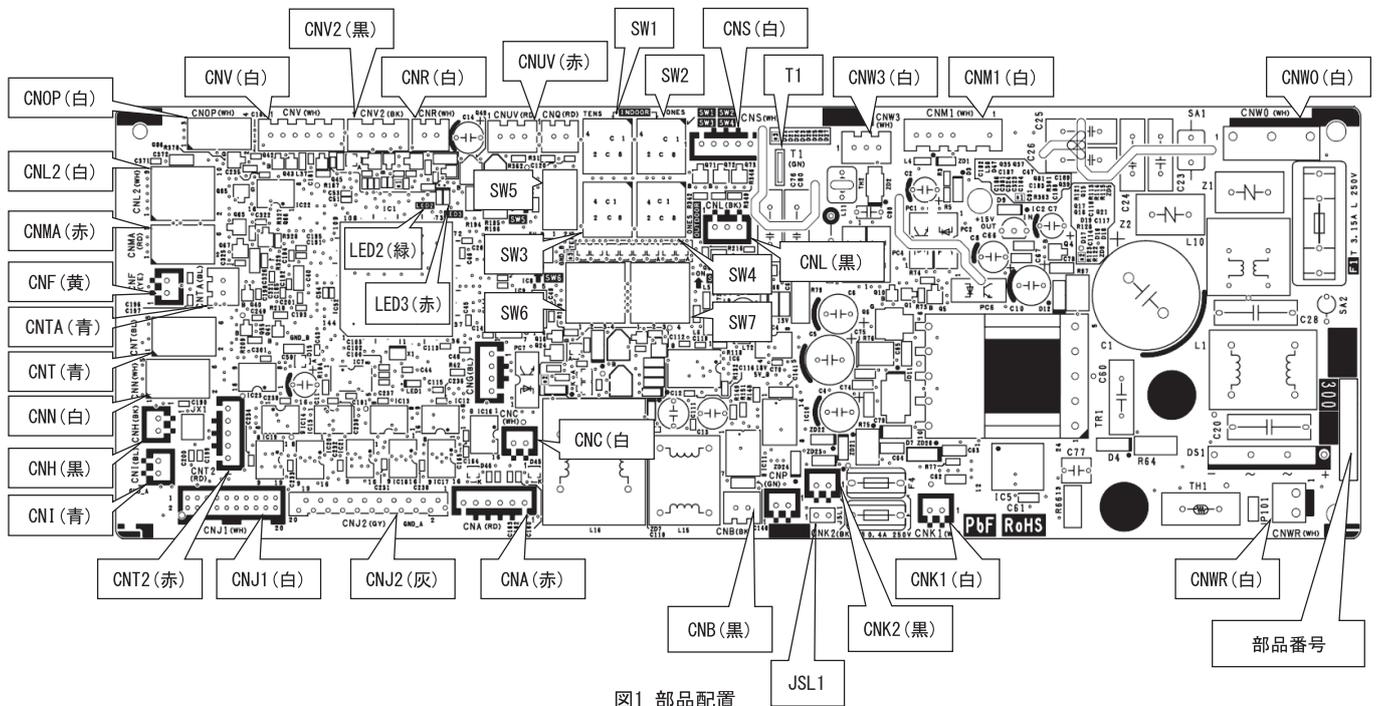
- 交換作業は、販売店または専門業者に依頼する。ご自分で作業をされ不備があると、感電や火災の原因になります。
- 作業は、この交換要領書に従って確実にを行う。作業に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 元電源を切った後、交換工事をする。(電源を切って1分以上経過後に実施してください。) 通電状態での基板交換は、感電・故障・動作不良の原因になります。ファンモータ他の接続機器破壊の原因になります。
- 配線は確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災の原因になります。
- 基板交換の作業終了後、電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認する。交換作業に不備があると、感電や火災の原因になります。

## 注意

- 基板にコネクタを接続する際は、基板が変形しないように接続する。破損・故障の原因になります。
- コネクタは、確実に挿入しストッパを掛ける。火災・動作不良の原因になります。
- 配線は、かみ込んだり、つっぱらないように結束する。断線・変形して不具合・感電の原因になることがあります。

本品は、共通基板です。基板の種類により部品実装が異なります。本要領書にて設定を行って基板交換してください。

1. 基板にコネクタ接続されている配線を全て取外した後、基板を交換してください。
2. 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。
3. スイッチ設定は、交換する基板と同一設定としてください。
4. 基板へコネクタを接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。



■制御切替スイッチ（交換する基板と設定を同一にしてください。）

1. アドレス設定・仕様切替スイッチ設定をしてください。  
交換する基板と同一設定としてください。

項目	スイッチ	制御内容内容
アドレス	SW1,2 (青)	室内アドレス 00~99
	SW5-2	OFF 室内アドレス 100未満
		ON 室内アドレス 100以上
	SW3,4 (緑)	室外アドレス

項目	スイッチ	制御内容内容
新旧	SW5-1	OFF 新旧SL通信自動判定
		ON 旧SL通信に固定
試運転	SW7-1	OFF 通常運転
		ON 運転チェック/ドレンポンプ試運転

2. 容量切替スイッチ (SW6) により容量を設定してください。  
交換する基板と同一になります。

機種 設定	SW6			
	-1	-2	-3	-4
P28	○	-	-	-
P36	-	○	-	-
P45	-	-	○	-

機種 設定	SW6			
	-1	-2	-3	-4
P56	-	○	○	-
P71	-	-	-	○
P80	○	-	-	○
P90	-	○	-	○

機種 設定	SW6			
	-1	-2	-3	-4
P112	○	○	-	○
P140	-	-	○	○
P160	○	-	○	○



(P56の場合)

## 2. リモコンによる異常運転データの確認

異常発生時の運転データを記憶し、リモコンから異常運転データの確認ができます。

### (1) RC-DX3Cリモコンの場合

[操作手順]

①TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面」→「サービス設定」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード入力」→「点検表示」→「異常時運転データ表示」の順に選択します。

②リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合は、以下の表示となります。

1. 異常がある場合：「データ読み込み中」の後、異常時の運転データが表示されます。

表示内容

- ・異常コード
- ・番号およびデータ項目

2. 異常がない場合：「異常なし」を表示し、本モードを終了します。

③リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は、以下の表示となります。

1. 異常がある場合：「室内機選択」画面で対象室内ユニットを選択→「データ読み込み中」の後、異常時の運転データが表示されます。

表示内容

- ・室内機 No.
- ・異常コード
- ・番号およびデータ項目

2. 異常がない場合：「異常なし」を表示し、本モードを終了します。

注①「室内機選択」画面で接続台数が1ページを超える場合は、「次ページ」を選択してください。

④ **運転/停止** ボタンを押すと、TOP画面に戻ります。

◎設定の途中で、「戻る」をタッチすると、一回前の設定画面に戻ります。

注① 異常運転データの確認は、リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

### ■異常運転データ(機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。)

33 圧縮機保護ステータスNo. (左記異常運転データ) 詳細

番号	データ項目	表示内容	No
01	運転モード	正常	"0"
02	設定温度	吐出管温度保護	"1"
03	吸込空気温度	吐出管温度異常	"2"
05	室内熱交温度(Thi-R1)	カレントセーフ	"3"
06	室内熱交温度(Thi-R2)	高圧保護	"4"
07	室内熱交温度(Thi-R3)	高圧異常	"5"
08	室内ファン速調	低圧保護	"6"
09	要求周波数	低圧異常	"7"
10	アンサー周波数	アンチフロストまたは露付き保護	"8"
11	室内膨張弁開度	カレントカット	"9"
12	室内運転積算時間	パワートランジスタ保護	"10"
13	吹出温度	パワートランジスタ異常(過熱)	"11"
21	外気温度	圧力比制御	"12"
22	室外熱交温度(Tho-R1)	出力カットオフ(ノイズ停止)	"13"
23	室外熱交温度(Tho-R2)	露付き保護	"14"
24	圧縮機周波数	2次CTセーフ	"15"
25	高圧	圧縮機ロック停止または脱調停止	"16"
26	低圧	起動不良停止	"17"
27	吐出管温度	アクティブフィルタ異常	"18"
28	ドーム下温度		
29	CT電流		
30	SH制御値		
31	実SH		
32	実TDSH		
33	圧縮機保護ステータスNo.		
34	室外ファン速調		
35	63H1ON/OFF		
36	デフロスト ON/OFF		
37	圧縮機運転積算時間		
38	室外膨張弁開度(EEVVC)		
39	室外膨張弁開度(EEVH)		

### ■メンテナンスコード

コード	内容
M1	お掃除パネル異常
M7	室内過負荷アラーム
M9	ドレンポンプ過電流検知

## (2) RC-D4Gリモコンの場合

### [操作手順]

- ① **点検** ボタンを押します。表示が「運転データ表示▼」となります。
- ② **▼** ボタンを一度押して、「エラーデータ表示▲」に切替えます。
- ③ **セット** ボタンを押すと、異常運転データ表示モードに入ります。
- ④ リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合は、以下の表示となります。
  1. 異常履歴がある場合：エラーコードと「データ確認中」を表示します。  
 「例」 「E8」（エラーコード）  
 「データ確認中」（データを読み込む間点滅表示）  
 続いて、データが表示されます。⑧へお進みください。
  2. 異常履歴がない場合：「異常なし」を3秒間表示し、本モードを終了します。
- ⑤ リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は、以下の表示となります。
  1. 異常履歴がある場合：接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレス番号とその室内ユニットのエラーコードを表示します。  
 「例」 「E8」「内000▲」（点滅）
  2. 異常履歴がない場合：アドレス番号表示のみとなります。
- ⑥ **▲ ▼** ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
- ⑦ **セット** により確定します。（室内アドレスが点滅から点灯に変わります。）  
 「例」 「E8」  
 「内000」（選択した室内アドレスを2秒間点灯） → 「E8」  
 「データ確認中」（データを読み込む間点滅表示） 続いて、データが表示されます。  
 異常履歴がない室内ユニットを選択した場合は、「異常なし」を3秒間表示し、室内アドレス表示に戻ります。
- ⑧ **▲ ▼** ボタンにより、異常運転データを確認できます。データ項目は下表をご覧ください。  
 注(1) 機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。
- ⑨ 室内ユニットを変更する場合は、**エアコンNo.** ボタンを押すことにより、室内ユニット選択表示に戻ります。
- ⑩ **運転/停止** ボタンを押すと、終了します。  
 ◎ **設定の途中で、リセット ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。**  
 注(1) 異常運転データの確認は、リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。（子リモコンからの操作はできません。）

### ■異常運転データ

33 圧縮機保護ステータスNo.（左記異常運転データ）詳細

番号	データ項目	表示内容	No
01	運転モード	正常	"0"
02	設定温度	吐出管温度保護	"1"
03	吸込空気温度	吐出管温度異常	"2"
05	室内熱交温度 (Thi-R1)	カレントセーフ	"3"
06	室内熱交温度 (Thi-R2)	高圧保護	"4"
07	室内熱交温度 (Thi-R3)	高圧異常	"5"
08	室内ファン速調	低圧保護	"6"
09	要求周波数	低圧異常	"7"
10	アンサー周波数	アンチフロストまたは露付き保護	"8"
11	室内膨張弁開度	カレントカット	"9"
12	室内運転積算時間	パワートランジスタ保護	"10"
21	外気温度	パワートランジスタ異常 (過熱)	"11"
22	室外熱交温度 (Tho-R1)	圧力比制御	"12"
23	室外熱交温度 (Tho-R2)	出力カットオフ (ノイズ停止)	"13"
24	圧縮機周波数	露付き保護	"14"
25	高圧	2次CTセーフ	"15"
26	低圧	圧縮機ロック停止または脱調停止	"16"
27	吐出管温度	起動不良停止	"17"
28	ドーム下温度	アクティブフィルタ異常	"18"
29	CT電流		
30	SH制御値		
31	実SH		
32	実TDSH		
33	圧縮機保護ステータスNo.		
34	室外ファン速調		
35	63H1 ON/OFF		
36	デフロスト ON/OFF		
37	圧縮機運転積算時間		
38	室外膨張弁開度 (EEVC)		
39	室外膨張弁開度 (EEVH)		

## 4 据付編の目次

1. 室内ユニットの据付 .....	4-2
1-1 室内ユニット本体の据付 .....	4-2
1-2 パネルの据付 .....	4-10
2. リモコンの取付 .....	4-18
2-1 ecoタッチリモコン (RC-DX3C) .....	4-18
2-2 標準リモコン (RC-D4G) .....	4-22
3. 電気配線工事 .....	4-25
4. リモコンによる設定と操作 .....	4-35
4-1 リモコンによる機能設定 .....	4-35
4-2 主な設定操作 .....	4-59

# 1. 室内ユニットの据付

## 1-1 室内ユニット本体の据付

PJF012D066

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。

電気配線（室内ユニット）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。

ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。

室外ユニットの据付方法、電気配線（室外ユニット）および冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。

また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。

本室内ユニットは必ずパネルを取付けてご使用ください。

この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外においてはアフターサービスもできません。This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

### 安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確실히行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**、に区分していますが、誤った据付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**△警告**の欄にまとめて記載しています。しかし、**△注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**⊘** 絶対に行わない **⚠** 必ず指示に従い行う
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

#### △警告

- |   |   |
|---|---|
| ●据付は、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。<br>ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、室内ユニット落下によるケガの原因になります。                                    | ⚠ |
| ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。<br>据付に不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。   | ⚠ |
| ●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13)<br>限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。  | ⚠ |
| ●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。<br>当社指定の部品を使用しないと、室内ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。   | ⚠ |
| ●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。<br>冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。   | ⚠ |
| ●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。<br>強度が不足している場合は、室内ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。  | ⚠ |
| ●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。<br>据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。  | ⚠ |
| ●室内ユニットの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒以外の空気などを入れない。<br>空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。                            | ⊘ |
| ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。<br>電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。          | ⚠ |
| ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。<br>接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。                               | ⚠ |
| ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。<br>カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。                          | ⚠ |
| ●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。<br>冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。                                | ⚠ |
| ●配管、フレアナット、工具はR32用またはR410A用を使用する。<br>既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。                           | ⚠ |
| ●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。<br>フレアナットの締付過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。  | ⚠ |
| ●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。<br>室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内ユニットを腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。                 | ⊘ |
| ●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。<br>冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。      | ⚠ |
| ●ボンパダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。<br>圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。 | ⚠ |
| ●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取付は専門業者に依頼する。<br>ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。                                    | ⚠ |
| ●改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。<br>修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。  | ⊘ |
| ●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。<br>据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。  | ⚠ |
| ●エアコンの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。<br>点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。                        | ⚠ |
| ●パネルやガードを外した状態で運転しない。<br>機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。  | ⊘ |
| ●元電源を切った後に電気工事を行う。<br>感電、故障や動作不良の原因になります。   | ⚠ |

## ⚠注意

- アース（接地）を確実に行う。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。 ⚡
- 漏電しゃ断器は必ず取付ける。  
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。 !
- 正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。  
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。 !
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。  
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ⊘
- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。  
万一ガスが室内ユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。 ⊘
- 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、スプレー類がかかる所、揮発性引火物を取扱う所での据付、使用は行わない。  
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。 ⊘
- 工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。  
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。 !
- 洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。  
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。 ⊘
- 食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。  
保存物の品質低下などの原因になることがあります。 ⊘
- 病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付、使用しない。  
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。 ⊘
- 直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。  
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。 ⊘
- 次の場所への据付は避ける。  
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所  
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所  
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）  
・高周波を発生する機械を使用する所  
・海浜地区等塩分の多い所  
・煙突の煙がかかる所  
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所  
・車両・船舶等移動するものへの設置  
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所  
・積雪の多い所  
・標高1000m以上の所  
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。 ⊘
- 次の場所への室内ユニットの据付は避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。  
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所  
・強度が不十分で振動が発生する所  
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所  
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）  
・ドレンの排水がとれない所  
・人感センサー搭載パネルは次のような場所への設置はしないでください。誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。  
・長時間振動が加わる状態  
・静電気や強い電磁波のある場所  
・長時間高温、多湿になる場所  
・塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所  
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。 ⊘
- 室内ユニットの下部には、濡れて困るものは置かない。  
湿度が80%以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。 ⊘
- 長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。  
傷んだ状態で放置すると室内ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。 ⊘
- 室内ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、室内ユニット内へのスパッタの進入を防止する。  
溶接作業時に発生するスパッタが室内ユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。室内ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。 !
- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。  
記載に従って施工しない場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。 !
- GHP（ガスヒートポンプ）の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。  
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。 ⊘
- 冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。  
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となる場合があります。 !
- ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。  
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。 ⊘
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。  
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。 !
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。  
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。  
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。 ⊘
- 製品の運搬は十分注意して行う。  
20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。  
素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。 !
- 梱包材の処理は確実にを行う。  
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをする場合があります。 !
- フィルタをはずしたまま運転しない。  
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。 ⊘
- 濡れた手でスイッチを操作しない。  
感電の原因になることがあります。 ⊘
- 運転中の冷媒配管を素手で触れない。  
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。 ⊘
- エアコンを水洗いしない。また、除菌剤等のスプレー類をエアコンに直接吹きかけない。  
感電や部品が腐食したりする原因になることがあります。 ⊘
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。  
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 ⊘
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。  
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 ⊘

## ①据付前に

- 据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
- 次の項目を確認してください。

○機種・電源仕様      ○配管・配線・小物部品      ○付属品

室内ユニットを移動させるときは吊金具(4か所)を持ち、他の部分(特に冷媒配管、ドレン配管および樹脂部品)には、力を加えないでください。

### 付属品

室内ユニット吊り込み用		冷媒配管用			ドレン配管用				
平座金 (M10)	レベルゲージ および 平座金仮固定	パイプ カバー(大)	パイプ カバー(小)	バンド	パイプ カバー(大)	パイプ カバー(小)	ドレン ホース	ホース クランプ	抗菌材
8 個	1 個	1 個	1 個	4 本	1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
吊りボルト用	室内ユニットの位置調整および吊り込み時の補助用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用	ドレンパン防汚用

## ②室内ユニットの据付場所の選定

①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

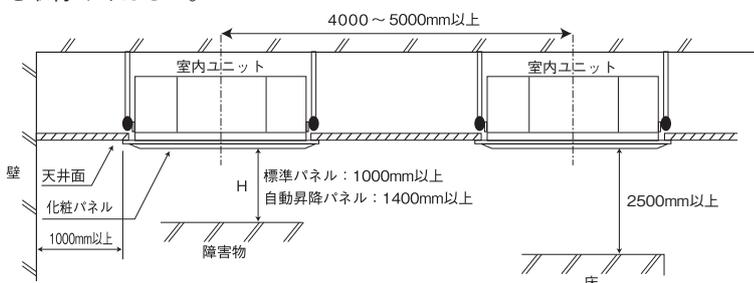
- ・冷風または温風が十分に行きわたる所。  
据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
  - ・人感センサを使用する場合、据付高さは4m以内としてください。センサー感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
  - ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
  - ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
  - ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
  - ・侵入外気の影響のない所。
  - ・直射日光の当たらない所。
  - ・周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。
- 〔室内ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態では運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する場合、室内ユニットの全ておよび配管、ドレン配管にさらに10~20mmの断熱材を取付けてください。〕
- ・テレビ、ラジオより1m以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
  - ・室内ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器など濡れて困るものを置かない所。
  - ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
  - ・フライヤーの真上など油・粉・蒸気などを直接吸込まない所。
  - ・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。

ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。

- ②据付ようとする場所が室内ユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付け作業を行ってください。強度不足の場合は、室内ユニット落下によるケガの原因になります。
- ③ワイヤレス機種を2台以上据付ける場合は、混信による誤動作を防止するため室内ユニット間を6m以上離してください。
- ④室内ユニットを隣接して設置する場合は、室内ユニット間距離を4~5m以上離して設置してください。

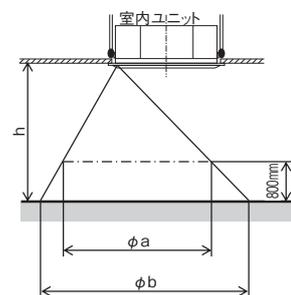
### 室内ユニット据付スペース

- 室内ユニットー壁、室内ユニットー室内ユニット間など、間隔がとれない場合は、そちら側の吹出口を遮風しショートサーキットしないことを確認してください。
- 据付高さは2.5m以上としてください。2.5m未満となる場合はファンガード(別売)を取付けてください。



埋設配管途中に配管継手がある場合は、接続か所の点検が可能なように点検口などを設けてください。

### 人感センサ検知範囲の目安



天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①	φ a [m]	約 4.5	約 6.4	約 7.6
検知範囲②	φ b [m]	約 6.4	約 8.3	約 9.5

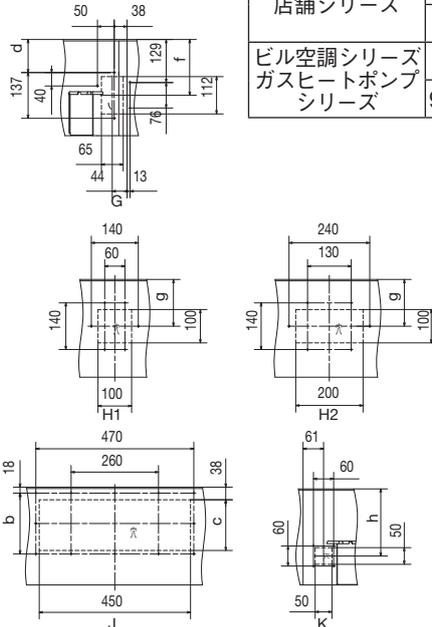
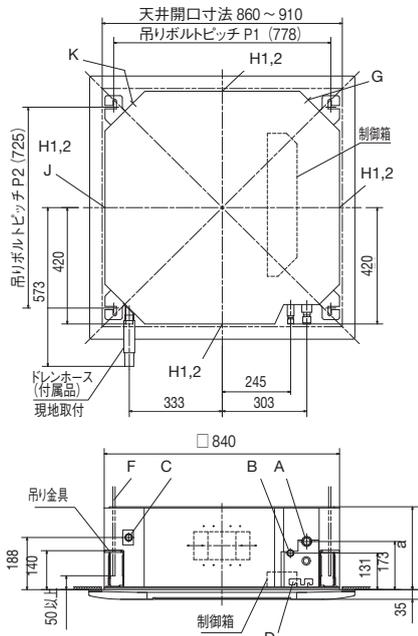
### 吹出パターンの設定

- 部屋の形や据付位置に最適な吹出方向を4方向・3方向・2方向から選定してください。(1方向はできません。)
- 吹出口数を変更する場合は、別売のしゃ風材を手配してください。
- 2方向・3方向吹出の場合は風量「弱」での使用は避けてください。
- 高温・多湿環境での2方向吹出は行わないでください。(結露・水漏れの原因になります。)
- 吹出ルーバの上下位置の設定などによりさまざまな吹出パターンが設定できます。設定方法は取扱説明書をご覧ください。

### ③据付準備

- 吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
  - システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合  
吊り長さ（吊りボルト長さ）500mm以上または天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
  - 強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合  
吊り長さ（吊りボルト長さ）1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置してください。
- 吊りボルト・ナット・バネ座金（M10 or M8）を4組現地にて手配してください。（mm）

#### 天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置



シリーズ	機種	a	b	c	d	f	g	h
店舗シリーズ	63,71 形	236	130	100	37	105	88	139
	80,160 形	298	182	152	99	167	140	201
ビル空調シリーズ ガスヒートポンプ シリーズ	28~80 形	236	130	100	37	105	88	139
	90~160 形	298	182	152	99	167	140	201

記号	内容
A	冷媒ガス側配管
B	冷媒液側配管
C	ドレン配管
D	電源取入口
F	吊りボルト
G	OA取入口
H1	吹出分岐ダクト接続口
H2	吹出分岐ダクト接続口
J	加湿器接続口
K	加湿器余剰水接続口

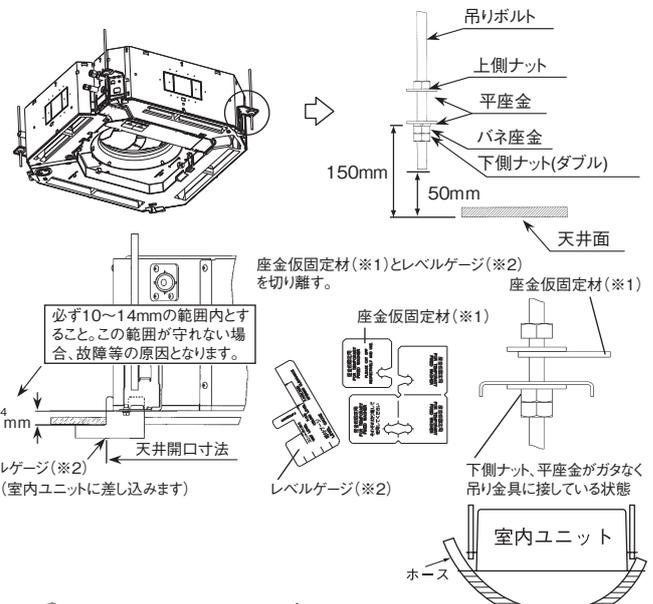
※吊りボルトピッチ P1、P2 は下表の  
パターンで調整可能です。

パターン	記号	P1	P2
1		770	725~770
2		770~800	725

### ④室内ユニットの据付

#### 作業手順

1. 梱包材（天面ダンボール）の吊りボルトピッチを目安に吊りボルト位置を選定してください。
2. 吊りボルト長さは、天井面より50mm程度としてください。
3. 吊りボルトの下側ナット(4か所)は、天井面から150mm程度に仮止めしてください。
4. 吊りボルトの上側ナット(4か所)は、室内ユニット吊り込みおよび高さ調整時に支障のないよう、下側ナットから十分距離を取った位置に仮止めしてください。
5. 吊りボルトの上側ナットと上側座金(各4か所)を下側ナットから十分な距離をとった状態で、座金仮固定材(※1)を吊りボルトに挿しこんでください。上側座金が落下してきません。
6. 室内ユニットを吊り込んでください。
7. 室内ユニット吊り込み後、付属のレベルゲージ(※2)を室内ユニットの吹出口に取付け、室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。高さ調整は上側ナット(4か所)を緩めた状態で、下側ナット(4か所)で調整してください。室内ユニット吊り金具(4か所)が下側ナット、平座金にガタなく接していることを確認してください。
8. 座金仮固定材(4か所全て)を取外してください。
9. 室内ユニットの水平度を確認してください。水平度は水準器または透明ホースに水を入れたものを使用して確認してください。（室内ユニットの両端での高さ許容差は3mm以内）
10. 吊りボルトの上側ナット(4か所)を締付けてください。

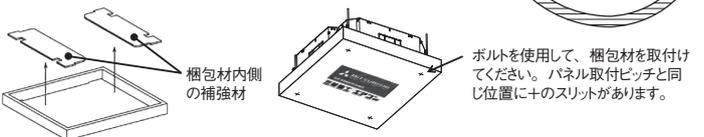


#### 室内ユニットの養生

- パネルをしばらくの間取付けられない場合、または室内ユニットを据付け後に天井材を貼る場合は、梱包材（天面ダンボール）を使用して、室内ユニットを養生してください。

#### 室内ユニット据付時のお願い

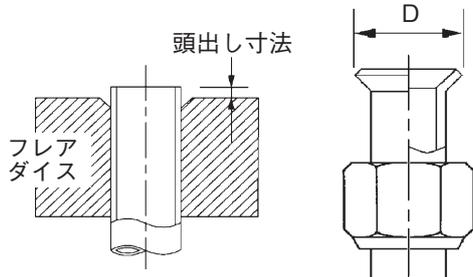
- 上側ナットで高さ調整を行わないでください。室内ユニットに無理な力がかかり変形し、パネルが組付けできなかつたり、ファン干渉音が発生することがあります。
- 室内ユニットは必ず水平に据付け、室内ユニット下面と天井面の高さを正しく設置してください。据付に不備があると風漏れ、結露・水漏れ、騒音の原因になります。
- パネルを据付後、室内ユニット高さの微調整ができます。詳細はパネルの据付説明書をご覧ください。
- パネルと天井面、およびパネルと室内ユニットとの接触部は確実に密着させてください。隙間があると風漏れ、結露・水漏れの原因になります。



## ⑤ 冷媒配管

### 冷媒配管時の注意事項

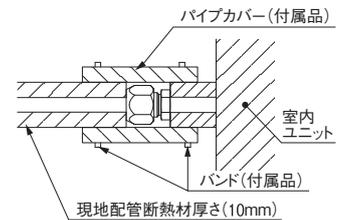
- 冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のものまたはJIS B 8607 2種適合品をご使用ください。他のフレアナット(1種)を使用すると冷媒漏れの原因となります。既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの据付説明書またはカタログ・技術資料で確認してください。
- 1) 再利用する場合、フレアナットは流用せず室内ユニットに付属のものまたはJIS B 8607 2種適合品を使用してください。
- 2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R32用またはR410A用のフレア加工をしてください。



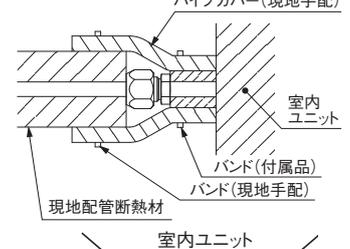
配管径 d mm	配管の 最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット 締付トルク N·m
		リジッド (クラッチ式)			
		R32用 R410A用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ~ 0.5	0.7 ~ 1.3	8.9 ~ 9.1	14 ~ 18
9.52	0.8			12.8 ~ 13.2	34 ~ 42
12.7	0.8			16.2 ~ 16.6	49 ~ 61
15.88	1			19.3 ~ 19.7	68 ~ 82
19.05	1.2			23.6 ~ 24.0	100 ~ 120

- 冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管(C1220T, JIS H 3300)をご使用ください。また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等(コンタミ)の付着がないことを確認してください。冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
- 指定冷媒以外は使用しないでください。指定冷媒以外を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。指定冷媒は室外ユニットの形式ラベルをご覧ください。
- 据付に使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
- 工具はR32用またはR410A用の工具を使用してください。

<断熱材厚さ10mmを使用する場合>

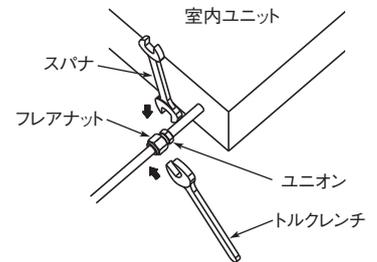


<断熱材を強化する場合>



### 作業手順

1. 室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取出してください。  
※室内ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。(このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。)
- フレアナット飛びに注意してください。(内部に圧力がかかっている場合があります。)
2. 液管・ガス管をフレア加工し、右図に示すように冷媒配管を接続してください。  
※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。  
また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。  
※フレア接続は、以下のように行ってください。  
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで表の締付力で締めてください。
3. 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締付けてください。  
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。  
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。  
●ガス側配管の断熱材は耐熱120℃以上のものを使用してください。  
●高湿度雰囲気を使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
4. 冷媒は室外ユニットに充填されています。  
室内ユニットおよび接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。



注意

同一締付トルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、またはフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しません。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとしてください。

## ⑥ ドレン配管

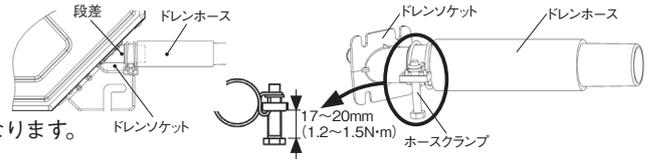
### ドレン配管時の注意事項

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。  
記載に従って施工しない場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
- ドレン工事は付属のドレンホースを必ず使用してください。使用しないとドレンソケットに力がかかり破損し、水が漏れることがあります。
- ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。  
室内に有害ガスおよび可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
- 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- 水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
- 施工後、ドレンが排水されていることを、室内ユニットのドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。
- ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けしないでください。  
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

## ⑥ ドレン配管

### ドレンソケットとドレンホースの接続

- ドレンソケットの周囲温度が50℃以上となる場合は、ドレンソケットとドレンホースを接着してください。
- 接着剤とホースクランプは併用しないでください。水漏れの原因となります。

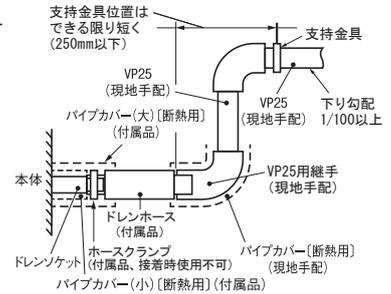


#### 〈ホースクランプを使用する場合〉

1. 付属のドレンホースの軟質側にホースクランプを通し、ドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。その際、ホースクランプのねじが室内ユニットの外側になる位置にし、ボルトが鉛直方向になるようにしてください。
2. ホースクランプはドレンホースの断熱材に接触する位置で、ねじを締付けてください。
3. ねじを数回回転させて締付けが固くなる位置まで締付け、それ以上に締付けしないでください。ねじの締め代の目安は17~20mm (参考:1.2~1.5N·m) です。

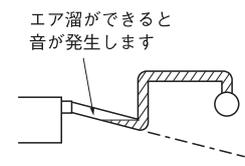
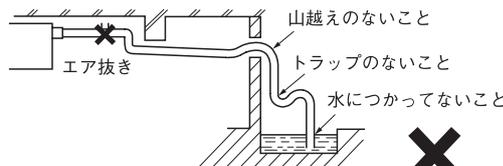
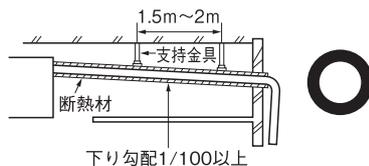
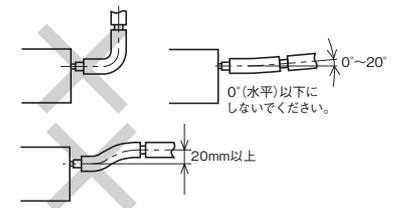
#### 〈接着する場合〉

1. 塩ビ系接着剤を使用して、ドレンホースの軟質側とドレンソケットを接着してください。その際、ドレンホースをドレンソケットの段差部まで確実に挿入してください。
2. 接着方法は接着剤の使用方法に従ってください。  
接着剤推奨品：積水化学工業製エスロン No73S, クボタケミックス製タフダイ青  
※フタル酸エステル類が含有している接着剤は使用しないでください。水漏れの原因となります。  
●ドレンホースやドレンソケットの内部に接着剤が流れ込まないようにしてください。

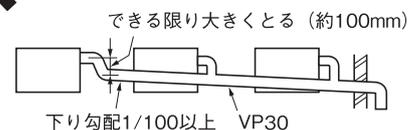


### ドレンホースと配管の接続

1. VP25用継手やエルボ、配管 (いずれも現地手配) を接続してください。  
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP25を使用してください。  
●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。  
乾燥後、フレキシ部に力が加わった場合、フレキシ部が破損することがあります。  
●ドレンホースは、室内ユニットあるいはドレン配管の据付け時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。
2. ドレン配管を接続する場合、ドレンソケットやドレン配管に力が加わらないようにしてください。できる限り室内ユニット近傍 (現地手配の継手先端から250mm以内) でドレン配管を支持してください。
3. ドレン配管は下り勾配(1/100以上)としてください。不可能な場合はドレンアップしてください。途中山越えやトラップを作らないように施工してください。  
●エア抜きは絶対に設けないでください。



- 複数台のドレン配管の場合、室内ユニットドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はVP30以上を使用してください。



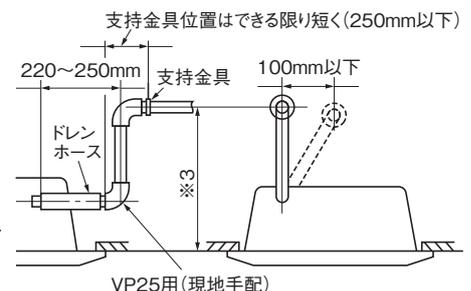
4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。

- 結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。  
※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー(小)をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー(大)にてパイプカバー(小)、ホースクランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

### ドレンアップする場合

- ドレン配管の出口高さは、天井面より850mmまたは960mm(※3)まで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長くと、運転停止時におけるドレン逆流が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

- ※3：お掃除ラクリーナパネルの場合：960mm以下、かつ天井に接触しない高さ以上  
お掃除ラクリーナパネル以外の場合：850mm以下、かつ天井に接触しない高さ以上



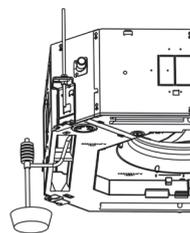
### ドレン排水テスト

- ドレン配管工事後の完了後に、排水が確実に実行されていることを、接続部および室内ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。このとき、ドレンポンプのモータ音に異常がないことも確認してください。

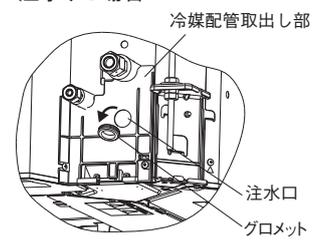
- 暖房期の据付けの際にも必ず実施してください。
- 新築の場合には天井を張る前に実施してください。

1. 室内ユニットドレンパンの中へ水を約1000cc注水してください。注水時は、ドレンポンプなどの電機部品に水をかけないようにしてください。注水は、吹出口から給水ポンプなどを使用するか、冷媒配管取出し部の注水口から行ってください。
2. ドレン排水が確実に実行されること、ドレン配管接続部から水漏れのないことを確認してください。  
ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。ドレン排水の確認は、ドレンソケット部(透明)より確認できます。
3. 排水テスト後は、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。水抜き確認後は、ドレンプラグを外して水抜きにはめ込んでください。ドレン配管の断熱を室内ユニット部まで完全に行ってください。リッドを外して注水した場合は、リッドを装着しなおしてください。

- 吹出口から注水する場合



- 冷媒配管取出し部の注水口から注水する場合



## ⑥ ドレン配管のつづき

### ドレンポンプ運転方法

- 電気配線工事が完了している場合  
ドレンポンプの運転がリモコン(ワイヤード)操作により可能です。運転操作方法は、電気配線工事説明書の「ドレンポンプ運転操作」をご覧ください。
- 電源が供給されている場合  
室内ユニット基板上的SW7-1をONにし、かつ、基板上的のコネクタCNBを抜いた後、電源ON(端子台①、②へAC200V)すると、ドレンポンプのみ連続運転します。ドレン排水確認後は、必ずSW7-1を元の状態(OFF)に戻し、かつ、基板上的のコネクタCNBを差込んでください。
- 電源が供給されていない場合  
ドレンポンプ試運転用チェッカ(別売)でドレンポンプを運転することが可能です。操作方法はドレンポンプ試運転チェッカに付属の取扱説明書をご覧ください。

## ⑦ 電気配線取出位置および電気配線接続

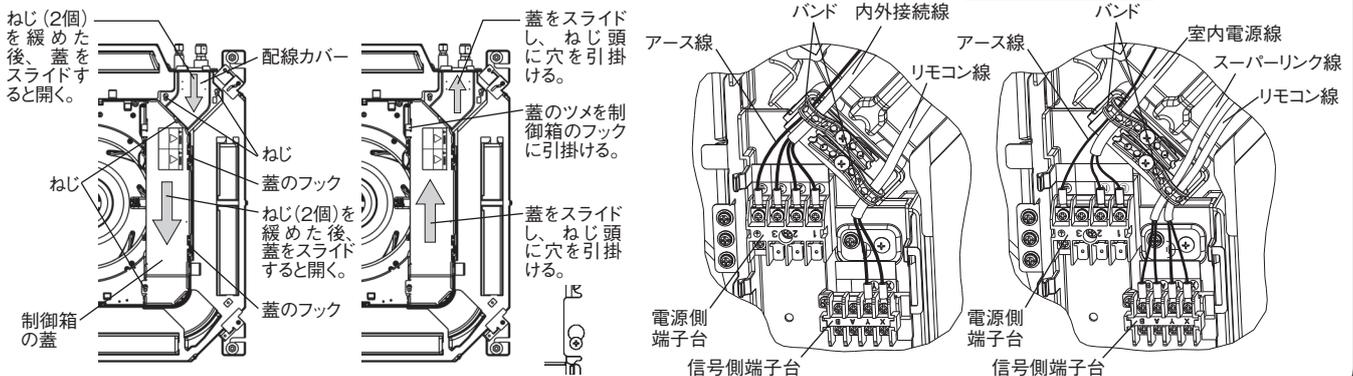
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
  - 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定してください。
  - 電源線と信号線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
  - D種接地工事を必ず行ってください。
  - 電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。
1. 制御箱の蓋のねじ(2個)を緩め、蓋を図の矢印の方向にスライドしてください。蓋を開くことができます。
  2. 蓋のフックを制御箱の穴から外して、蓋を取外してください。
  3. 配線カバーのねじ(2個)を緩めて、配線カバーを取外してください。
  4. 各配線を制御箱内に入れ、端子台に確実に接続してください。
  5. 各配線をバンドで固定してください。
  6. 配線カバー、制御箱の蓋を取付けてください。

制御箱の蓋を開ける場合

制御箱の蓋を閉める場合

店舗シリーズ

ビル空調シリーズ  
ガスヒートポンプシリーズ

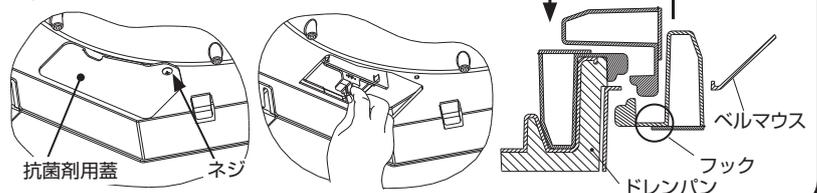


## ⑧ 抗菌剤の取付

- 付属の抗菌剤ケースをドレンパン内に取り付けてください。抗菌剤ケースの中に抗菌剤が入っています。
- 抗菌剤ケースの取付けは室内ユニットを吊った後に実施してください。室内ユニットが天地逆では取付けられません。

### 作業手順 (付属抗菌剤の交換目安: 冷房1シーズン)

1. 抗菌剤用蓋のねじ(1個)を取外し、抗菌剤用蓋を取外してください。
2. 取出し口から抗菌剤を取付けてください。抗菌剤ケースのフックの奥まで、ドレンパンが達するように取付けてください。
3. 抗菌剤用蓋を取付けてください。風漏れや異常音の原因となります。



## ⑨ パネルの取付

- パネルは、電気配線工事完了後に、室内ユニットに取り付けてください。
- パネルの取付方法は、パネル付属の据付説明書をご覧ください。

## ⑩ 室内ユニット据付工事完了後のチェック項目

- 室内ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良の場合	チェック欄
室内外ユニットの取付はしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は室内ユニットの銘板と同じですか。	運転不能・焼損	

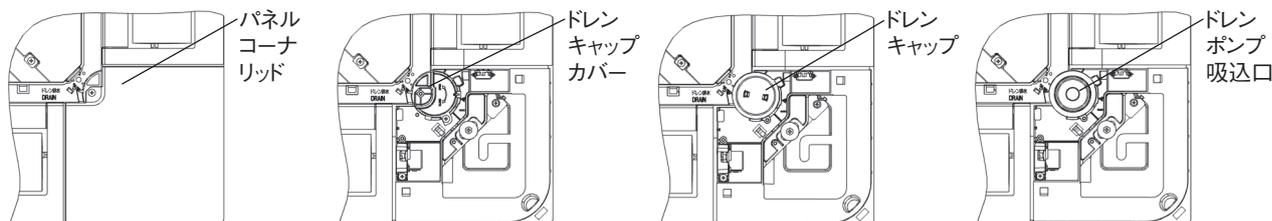
## ⑩室内ユニット据付工事完了後のチェック項目のつづき

チェック項目	不良の場合	チェック欄
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

## ⑪ドレンパン汚れ確認、ドレンポンプ吸込口清掃（メンテナンス）

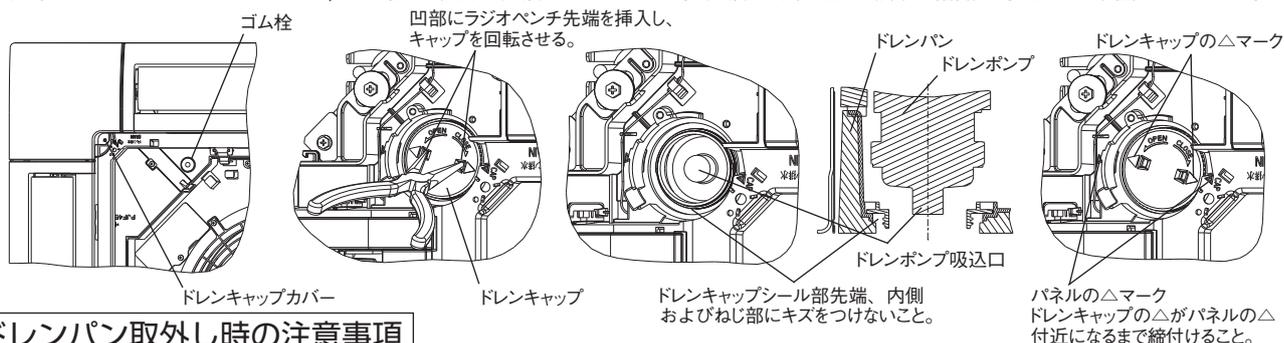
### ドレンパン汚れ確認方法

- パネルを取外さずに、ドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口の状況を確認できます。  
(高性能フィルタなどのオプションスペースやお掃除パネルの取付時は確認できません。)
- 1. パネル吸込グリルを開け、ドレンポンプ側のパネルコーナリッドを取外してください。
- 2. パネルコーナにあるドレンキャップカバー（ねじ1個）を取外してください。
- 3. ドレンキャップからドレンパンの汚れやドレンポンプ吸込口を確認してください。汚れが多い場合はドレンパンを取外し、清掃してください。
- 4. 取外したドレンキャップカバーは確実に装着してください。  
装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



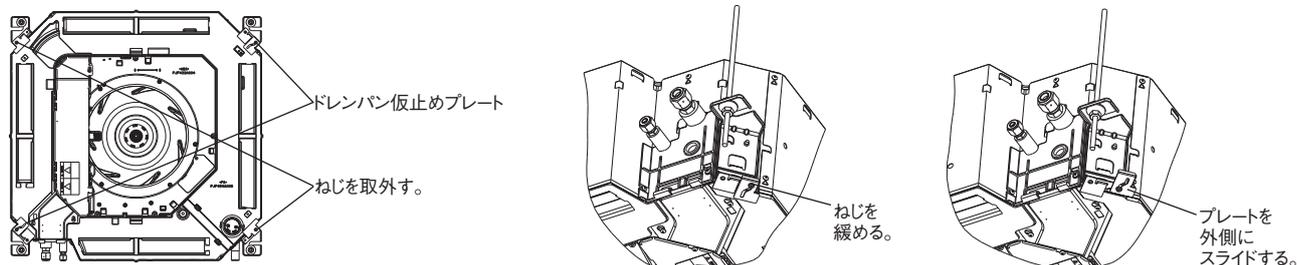
### ドレンポンプ吸込口の清掃

- パネルやドレンパンを取外さず、ドレンキャップを取外することでドレンポンプ吸込口及びその付近の清掃ができます。  
(高性能フィルタなどのオプションスペースやお掃除パネルの取付時は確認できません。)
- ドレンキャップを取外す前に、ゴム栓を取外してドレンパン内のドレンを排水してください。
- 1. 前述のようにドレンキャップカバーを取外してください。
- 2. ドレンキャップの凹部（2か所）にラジオペンチの先を挿入し、反時計回りに約1回転するとドレンキャップを取外せます。
- 3. ドレンポンプ吸込口を清掃する場合はプラスチック製の道具を使用してください。金属製の道具を使用するとドレンキャップ取付け部をキズつけ、水漏れの原因になります。
- 4. ドレンキャップを取付ける前に、流水で水洗いし、**ドレンキャップ内側の異物を取除いてください。**異物が付着したままドレンキャップを取付けると水漏れの原因になります。
- 5. ドレンキャップの取付は、ラジオペンチでドレンキャップの凹部を使用して取付けてください。時計回りに約1回転させ、**キャップが回転しなくなるまで締付けてください。**キャップが1回転以上回転しない場合は正しく取付けられていません。一度、ドレンキャップを取外し、改めて取付直してください。
- 6. ドレンキャップ締付後、ドレンキャップの△マークがパネルの△マーク付近にあることを確認してください。ドレンキャップの△マークがパネルの△マーク付近にない場合は、増し締めてください。
- 7. 取外したドレンキャップカバー、ゴム栓は確実に装着してください。装着が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。



### ドレンパン取外し時の注意事項

- ドレンパンを取外す前に、ドレンパン内のドレンを排水してください。ゴム栓を取外して排水してください。
- ドレンパンは仮止めプレートで仮止めされています。ドレンパン取付ねじ(2個)を取外し、仮止めプレートのねじ(2個)を緩めてください。仮止めプレートをドレンパンの外側にスライドしてください。ドレンパンを取外せます。
- ドレンパン取付時は、仮止めプレートを内側にスライドし、ドレンパンを仮止めしてください。その後、ドレンパン取付ねじ(2個)と仮止めプレートのねじ(2個)を締付けてください。また、取外したゴム栓は確実に取付けてください。



## 1-2 パネルの据付

標準パネル,エアフレックスパネル,ラクリーナパネル

パネル形式：標準パネル；T-PSA-5BW/D, T-PSA-5ASB/D, T-PSA-5AC/D

エアフレックスパネル；T-PSAE-5BW/D, T-PSAE-5ASB/D

ラクリーナパネル；T-PSCL-5BW/D, T-PSCL-5ASB/D

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

PJF012D032 

### 警 告

●配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



●元電源を切った後に電気工事をする。  
感電、故障や動作不良の原因になります。



### 機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

エアフレックス：ドラフト防止機能

ラクリーナ：エアフィルタ自動昇降機能

### お願い <ラクリーナパネルの場合>

- ・吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
- ・電源投入前にパネルを取付けた場合は吸込グリルの昇降動作はできません。
- ・電源投入前に吸込グリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定する事ができます。
- ・電源投入後は付属のクランプを外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
- ・吸込グリル取付後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、吸込グリルを正規位置に収納してください。  
(マイコンが収納位置を記憶します。)
- ・ワイヤは、折曲げ、ねじり、噛込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

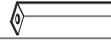
### ① 据付の前に

- ・据付けはこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・次の項目を確認してください。

パネル・リモコンのタイプ

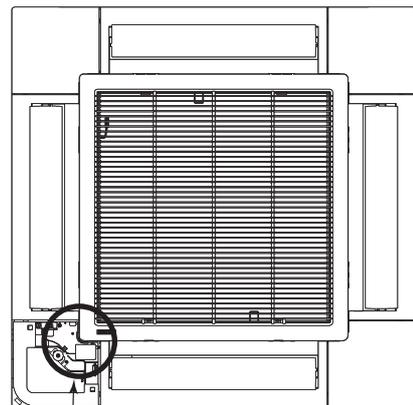
付属品

付属品

ボルト		4本	パネル取付用
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用
クランプ		4本	吸込グリル仮止用 (ラクリーナパネル)
ねじ		4本	コーナリッド固定用*1

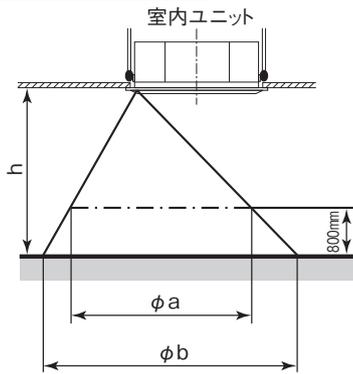
注1：\*1 ラクリーナパネルの場合、吸込グリル仮止クランプ固定用にも使用します。

注2：付属品はコーナリッドを外した位置にあります。



付属品収納位置

人感センサ検知範囲の目安 <エアフレックスパネル、ラクリーナパネル>



天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①	φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②	φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

## ② 室内ユニットの取付レベルの確認

- 室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
- 室内ユニットに付属されているレベルゲージで室内ユニット高さおよび天井開口寸法が正しいことを確認してください。
- 室内ユニットと天井材との取付レベルを確認してください。
- 室内ユニット付属のレベルゲージを吹出口にセットし、室内ユニットの吊り込み高さを調整してください。
- レベルゲージはパネル取付前に取外してください。

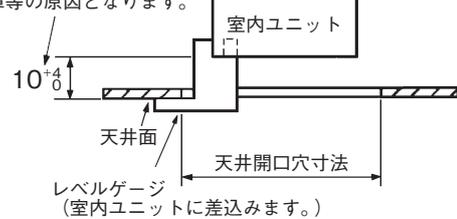
### ご注意

室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。パネルが変形し破損の恐れがあります。

- 室内ユニットの取付高さはパネル取付後、コーナ開口部より微調整ができます。

(詳細は ⑥ パネルの取付 をご参照ください。)

必ず10~14の範囲内とすること。  
この範囲が守れない場合、故障等の原因となります。

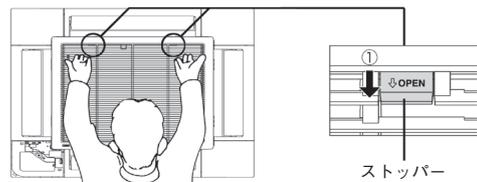


## ③ 吸込グリルの取外し

<標準パネル、エアフレックスパネルの場合>

- 吸込グリルのストッパー(2か所)に指をかけて「OPEN」の方向(矢印①)に押したまま吸込グリルを下方へ引くと吸込グリルが開きます。
- 吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネルから外します。

(取外し)

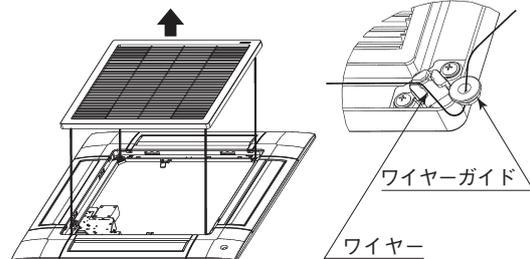


<ラクリーナパネルの場合>

- 吸込グリルを少し持ち上げて、吸込グリルを開けます。
- 吸込グリルの4コーナーに取付けてあるワイヤーガイドを外側にスライドさせて外してください。

### ご注意

吸込グリルはゆっくり持ち上げてください。ワイヤーおよびワイヤーガイドが破損する恐れがあります。



#### ④ コーナリッドの取外し

- ・ コーナリッドを矢印の方向へ引上げて取外してください。(4コーナとも)

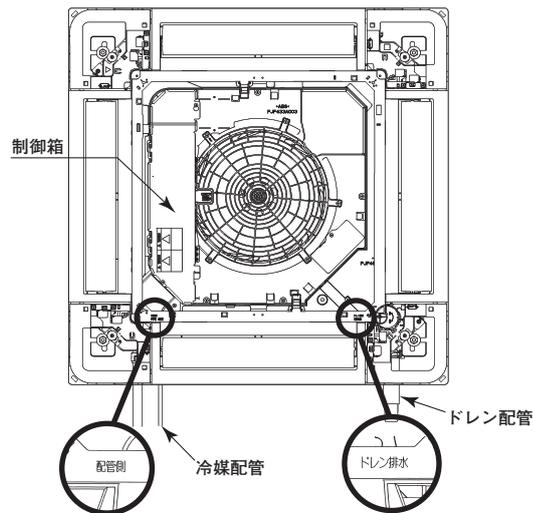


#### ⑤ パネルの取付方向

- ・ パネルの取付方向は室内ユニットに対し方向性があります。
- ・ パネルは、右図に示す方向で取付けてください。
- ・ パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。
- ・ パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷媒配管の位置を合わせてください。

##### ご注意

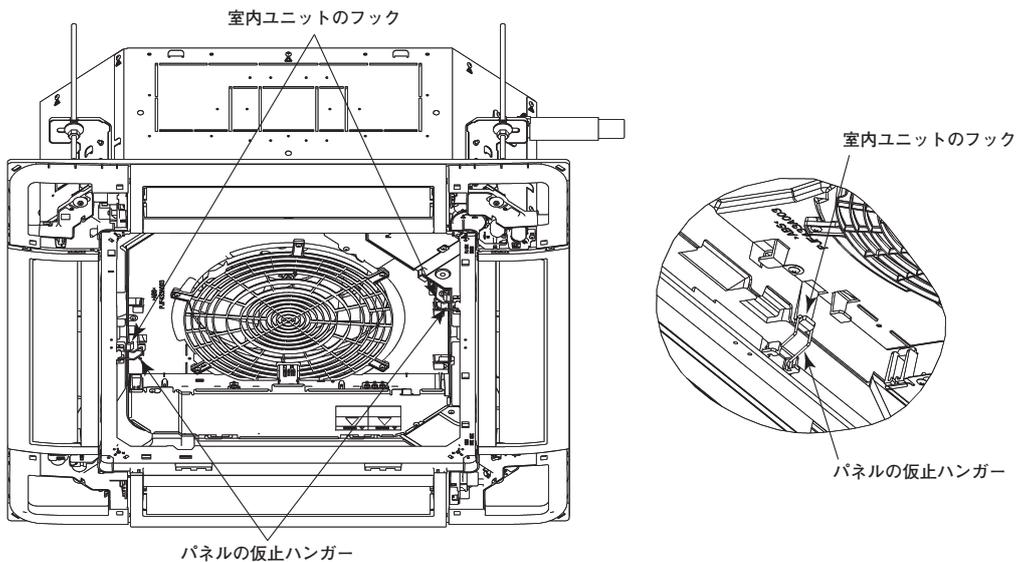
- ・ 右図以外の方向で取付けると、風漏れの原因となり、また電気配線の接続ができません。

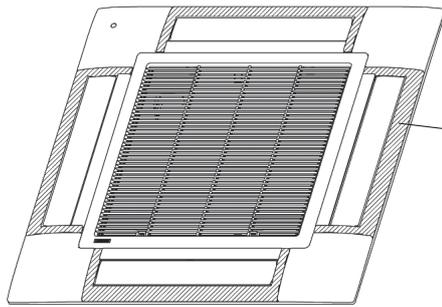


#### ⑥ パネルの取付

##### 1. パネルの仮止

- ・ パネルの仮止用ハンガーを起こします。(2か所)
- ・ パネルの仮止用ハンガーを室内ユニットのフックにかけて、パネルを室内ユニットに吊ります。





標準パネル以外の場合、斜線部(4か所)は可動します。手で無理に動かすと破損します。標準パネルの場合もパネル本体とは別部品ですが、取外すことはできません。

**ご注意**

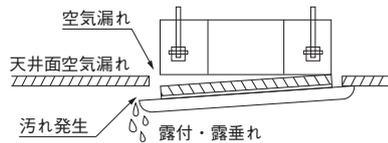
- ・パネルの吹出口周囲のエアフレックス(斜線部)は別部品です。パネルを持つ際は取扱いに注意してください。特に、エアフレックスパネル、ラクリーナパネルの斜線部は可動します。手で無理に動かすと破損します。

2. パネルの室内ユニットへの固定

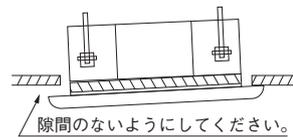
- ・付属のパネル取付用ボルト4本を用いて、室内ユニットに締付けてください。

**ご注意**

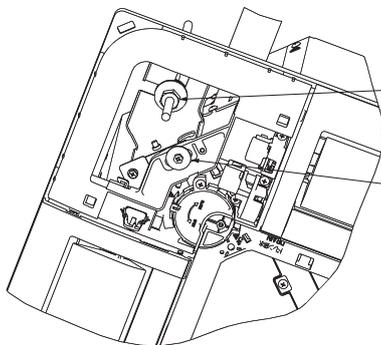
- ・吊りボルトの締込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



- ・吊りボルトを締んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。



- ・室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であればパネルを取付けたまま、室内ユニットの据付高さを微調整できます。



コーナ開口部よりスパナ等の一般工具にて室内ユニットのナットを微調整してください。

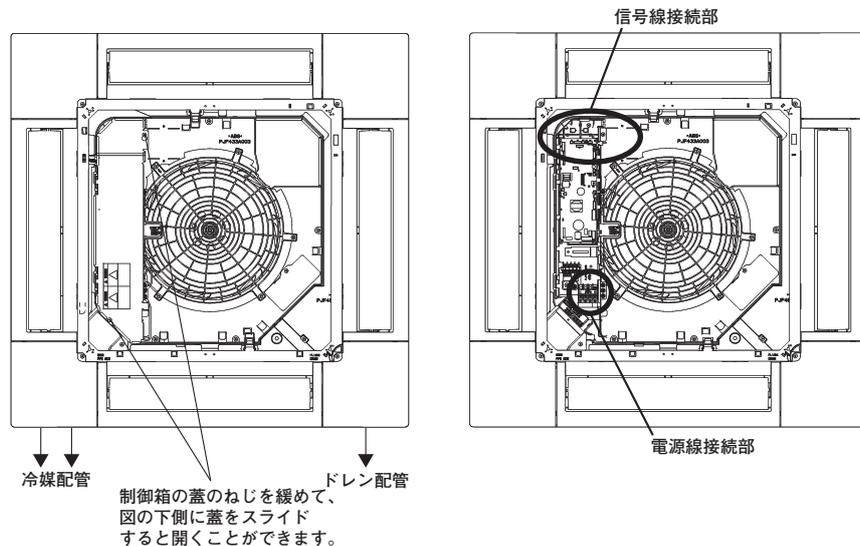
パネル取付用ボルト

**ご注意**

- ・パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからないよう、室内ユニット据付高さを調整してください。パネルが変形し、吸込グリル、エアフレックス部品が収まらないおそれがあります。

## ⑦ 電気配線

パネルの種類により、配線処理が異なります。パネルの種類にあわせて配線処理を行ってください。  
室内ユニットの接続位置はパネルの種類によらず下図のとおり同じです。

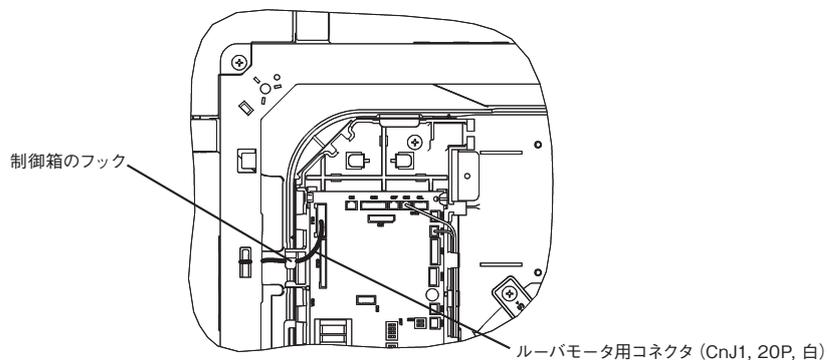


### <標準パネルの場合>

1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ1（20P,白）を接続してください。
3. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ（2本）を締付けてください。

#### 標準パネルの場合

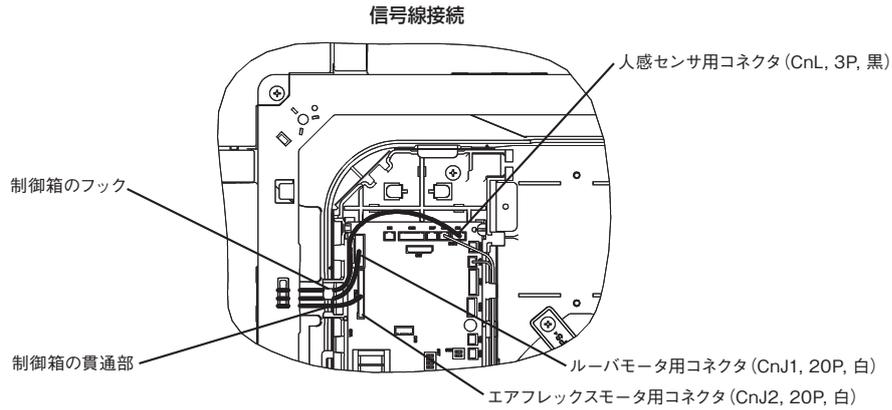
##### 信号線接続



### <エアフレックスパネルの場合>

1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ（2本）を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ1（20P,白）を接続してください。
3. エアフレックスモータ線（20線）を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ2（20P,白）を接続してください。
4. 人感センサ線（3線）を制御箱の貫通部に通し、コネクタCnL（3P,黒）を接続してください。
5. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ（2本）を締付けてください。

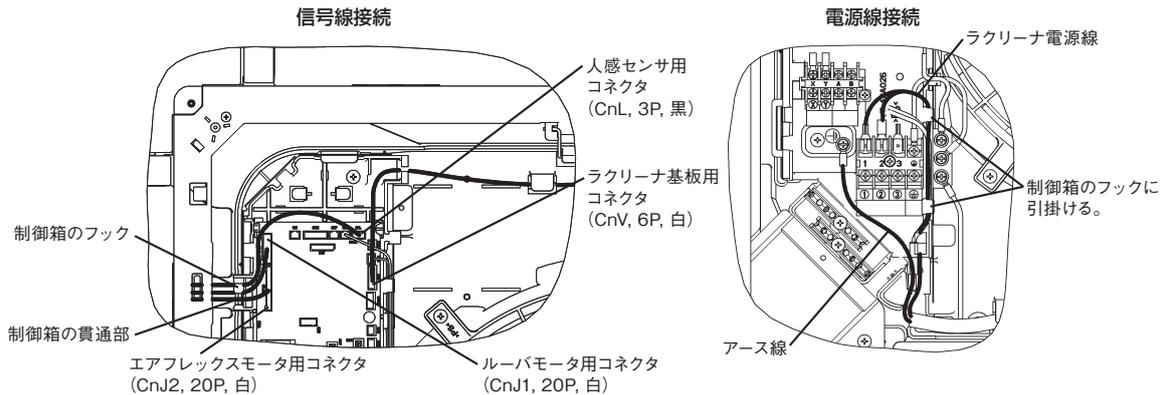
### エアフレックスパネルの場合



### <ラクリーナパネルの場合>

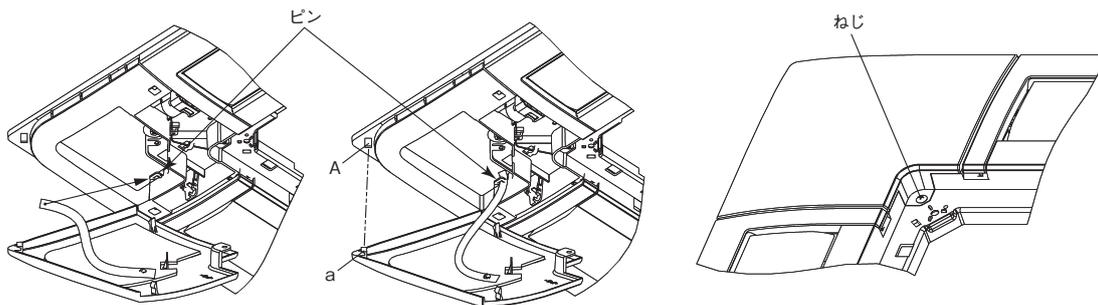
1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ(2本)を緩め、蓋をスライドして取外してください。
2. ルーバモータ線(20線)を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ1(20P,白)を接続してください。
3. エアフレックスモータ線(20線)を制御箱のフックに通し、コネクタCnJ2(20P,白)を接続してください。
4. 人感センサ線(3線)を制御箱の貫通部に通し、コネクタCnL(3P,黒)を接続してください。
5. 電源線のファストン端子を室内ユニットの電源端子台の1番,2番に挿入してください。  
電源線の赤を端子台の1番に、白を2番に挿入してください。
6. アース線[緑]を室内ユニット制御箱のⓄに接続してください。
7. ラクリーナ基板用信号線(6線)を室内ユニット制御箱内の基板のコネクタCnV(6P,白)に接続してください。  
コネクタCnVにショートコネクタが接続されている場合は取外しの上、信号線を接続してください。
8. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)を締付けてください。

### ラクリーナパネルの場合



## ⑧ コーナリッドの取付

1. 付属のコーナーリッド落下防止用ストラップをコーナーリッドのピンに折返して引掛けてください。
2. コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネルのピンに引掛けてください。
3. コーナリッドのa部をパネルのA部に挿入してから、コーナーリッドのつめ2か所をはめてください。
4. 付属のねじで固定してください。



## ⑨ 吸込グリルの取付

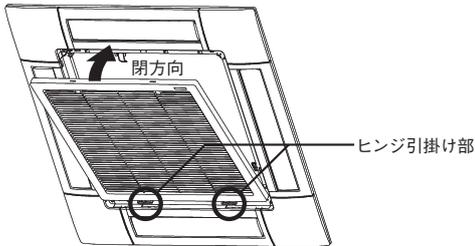
パネルと吸込グリルには方向性がありません。

### <標準パネル、エアフレックスパネルの場合>

吸込グリルの取付方法は③吸込グリルの取外しの手順を逆に作業してください。

1. 吸込グリルのヒンジをパネルのヒンジ挿入穴に取付けてください。(吸込グリルのヒンジは4辺どこでも取付可能です。)
2. 吸込グリルのヒンジを取付後、ストッパー(2か所)を「OPEN」の方向へ押したまま、閉じてください。両方のストッパーから「カチッ」と音がしたことを確認してください。

### <取付け>



### ご注意

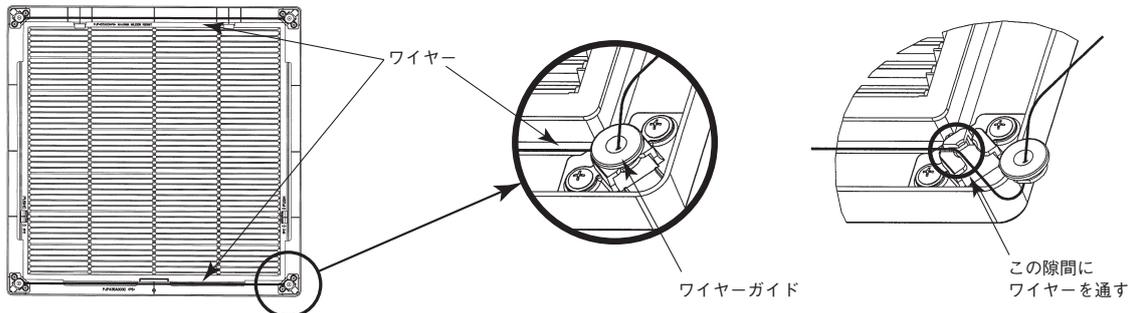
- ・吸込グリルの取付は、必ずヒンジ側から行ってください。
- ・吸込グリルは確実に取付けてください。取付が不十分ですと落下する恐れがあります。
- ・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼し、交換してください。吸込グリルが落下する恐れがあります。

### <ラクリーナパネルの場合>

1. 吸込グリルの方向を決定してください。
2. ワイヤーを通してあるワイヤーガイドを吸込グリルの4コーナの取付部に固定して装着します。
3. ワイヤーガイドを吸込グリルに外側から内側にスライドさせながら装着してください。装着の際、取付部の隙間をワイヤーが通過するようにワイヤーの向きに注意して確実に取付けてください。
4. ワイヤーガイド装着後、ワイヤーの曲がり、ねじり、噛み込みがないことを確認してください。

### ご注意

ワイヤーガイドは確実に装着してください。確実に装着されていないと、吸込グリルを昇降できなくなったり、吸込グリルが落下する恐れがあります。



## ⑩ パネルの設定

### <ルーバの動作範囲設定(フリーフロー設定)>

ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると、ルーバは設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

### <エアフレックスの設定(ドラフト防止設定)>

エアフレックスパネル、ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけではエアフレックスは作動しません。エアフレックスを作動させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、ドラフト防止設定を有効にしてください。(ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。)本モードで有効に設定すると運転開始時にエアフレックスが作動し、運転中は常時エアフレックスが開いています。また、停止時にエアフレックスは閉じます。各吹出口毎に有効/無効の設定が可能です。設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

### <人感センサの設定(赤外線センサー設定)>

エアフレックスパネル、ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけでは人感センサは機能しません。人感センサを機能させるために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、赤外線センサー設定を有効にしてください。(ワイヤードリモコンRC-DX2、RC-D4G以前、ワイヤレスリモコンRCN-D3G以前のリモコンでは設定できません。) 設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

### <吸込グリル昇降の設定(グリル昇降操作)>

ラクリーナパネルを取付け、配線接続をするだけでは吸込グリルの昇降はできません。吸込グリルの昇降を可能にするために、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリル昇降を有効にしてください。設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

### <吸込グリル下降長さの設定(降下長設定)>

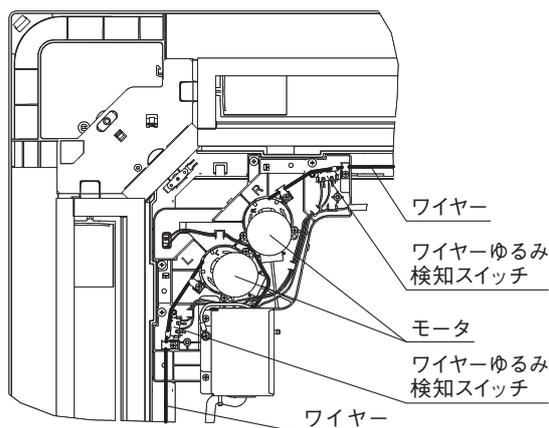
吸込グリルの下降長さをお好みの下降長さに設定することができます。工場出荷時は2mに設定されています。お好みの下降長さにしたい場合は、ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンを使用して、吸込グリルの下降長さを設定してください。設定方法はリモコンの取扱説明書を参照してください。

#### ご注意

##### <ワイヤゆるみ検知機構について>

ラクリーナパネルには、ワイヤーの絡まり防止のため、「ワイヤゆるみ検知機構」を装備しています。吸込グリルを吊ったワイヤがゆるんだ場合、ワイヤーゆるみ検知スイッチが働き、自動昇降用モータが自動停止します。

パネル据付後、グリルが動かない場合、「ワイヤーゆるみ検知機構」が作動している可能性がありますので、据付時にワイヤーの噛み込み、絡まり等が無いが、ワイヤー経路をご確認ください。



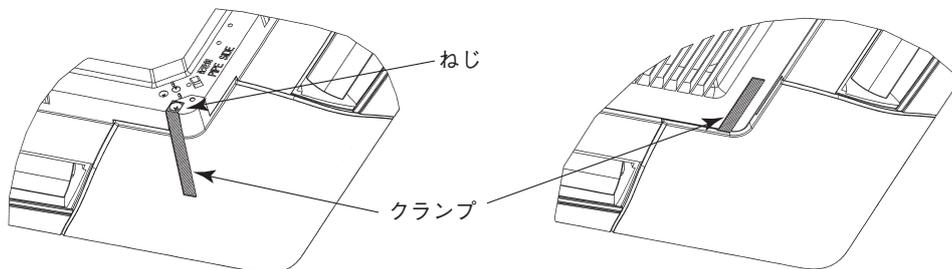
## ⑪ 電源投入前の吸込グリルの仮固定 <ラクリーナパネル>

電源投入前は吸込グリルの自動昇降はできません。

1. 電源投入前に吸込グリルを収納したい場合は、付属のクランプで吸込グリルを仮止めすることができます。
2. パネルの4コーナーに付属のクランプを図のようにねじ止めしてください。(4コーナーとも)
3. ワイヤーを折曲げたり、かみ込んだりしないように注意しながら、持ち上げパネルに収納してください。
4. 取付けたクランプを図のように吸込グリル側に折曲げ、吸込グリルを固定してください。

#### ご注意

クランプを装着したまま昇降動作を行った場合、吸込グリルの昇降装置が故障する恐れがあります。



5. 仮固定が終わったら、クランプを取外した上で、コーナリッドをねじ止めしてください。

# 2. リモコンの取付

## 2-1 eco タッチリモコン (RC-DX3C)

この据付説明書は、リモコン関連の据付方法・注意事項を記載しております。  
室内ユニット・室外ユニット・他に付属の説明書と合わせてご覧ください。  
正しく工事していただくために、工事前に、必ずこの説明書をよくお読みください。

PJZ012D135

### 1. 安全上のご注意

●工事前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ **警告** 誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

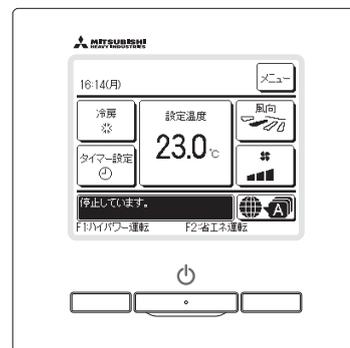
⚠ **注意** 誤った取扱をしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。

状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

●本文中に用いられる「絵表示」の意味は次の通りです。

⊘ 絶対にしないでください。      ⚠ 必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。



### ⚠ 警告

- ⚠ ● **据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**  
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
- ⚠ ● **据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**  
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
- ⚠ ● **据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**  
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
- ⚠ ● **据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**  
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。
- ⚠ ● **電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- ⚠ ● **据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**  
感電、故障や動作不良の原因になります。
- ⊘ ● **改造は絶対にしない。**  
感電、火災、故障の原因になります。
- ⚠ ● **修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**  
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。
- ⊘ ● **特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**  
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス(アンモニア・硫黄化合物・酸など)の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● **大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**  
感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● **洗濯室など水のかかる所では使用しない。**  
感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● **ぬれた手で操作しない。**  
感電の原因になることがあります。

## ⚠ 警告



●**本機を水洗いしない。**  
感電、火災、故障の原因になります。



●**配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。**  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



●**リモコンケーブル引込口をパテでシールする。**  
水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。  
また、水分が浸入すると画面表示不良の原因になります。



●**病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。**  
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。  
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。



●**リモコンの上ケースおよび USB 端子カバーを取外したまま放置しない。**  
水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

## ⚠ 注意



- リモコンを下記場所に設置しない。**
- (1) リモコンの変形・誤動作・故障の原因になる場合があります。
    - ・直射日光のあたる場所。
    - ・周囲温度が 0℃以下、40℃以上になる場所。
    - ・取付面に凹凸のある場所。
    - ・取付部が強度を有しない場所。
  - (2) リモコン内部部品へ水分が付着し、画面表示不良の原因になります。
    - ・リモコンが結露する湿度の高い場所。
    - ・水がかかる場所。
  - (3) リモコンの温度センサを使用して室内温度を検知する場合、正確な室温を検知できない場合があります。
    - ・部屋の平均的な温度を検知できない場所。
    - ・熱源の影響を受ける場所。
    - ・ドアの開閉による室外空気の影響を受ける場所。
    - ・直射日光やエアコンから吹出した風が直接当たる場所。
    - ・壁面温度と室内温度の差が大きい場所。
  - (4) 室内ユニットにラクリーナパネルを使用する場合、昇降動作を確認できない場合があります。
    - ・室内ユニットが見えない場所。



●**パソコンに USB で接続する場合、専用のソフトウェアを使用する。**  
**パソコンに他の USB 機器とリモコンを同時に接続しない。**  
リモコン・パソコンの誤動作・故障の原因になります。

## 2. 部品確認

下記が付属されています。

付属品	リモコン本体、木ねじ(φ 3.5 × 16)2本、取扱説明書・据付工事説明書
-----	--

現地手配部品は、以下です。各々の据付方法に従い準備してください。

品名	所要量	記事
スイッチボックス 1個用 または 2個用(JIS C 8340)	1	壁面に直接据付ける場合は不要です。
薄鋼電線管 (JIS C 8305)	必要量	
ロックナット・ブッシング(JIS C 8330)	必要量	
モール(JIS C 8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です。
パテ	適量	隙間シール用
モリーアンカー	必要量	
リモコンケーブル(0.3mm <sup>2</sup> ×2線)	必要量	100mを超える場合は右表

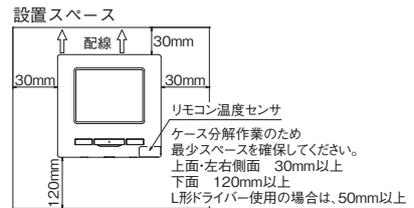
延長距離が100mを超える場合  
リモコンケース内を通る配線は  
最大0.5mm<sup>2</sup>以下とし、リモコン  
外部の近傍で配線接続により、  
サイズ変更してください。配線  
する際は水分等が浸入しないよ  
うな処置を行ってください。

200m 以内	0.5mm <sup>2</sup> × 2心
300m 以内	0.75mm <sup>2</sup> × 2心
400m 以内	1.25mm <sup>2</sup> × 2心
600m 以内	2.0mm <sup>2</sup> × 2心

### 3. 据付場所

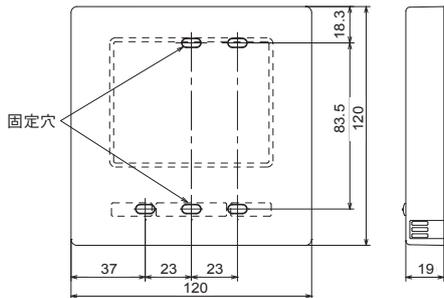
図の設置スペースを確保してください。  
 また、据付方式は「スイッチボックスを使用」の場合、「壁面に直接据付」の場合の選択が可能です。  
 配線取出方向は「背面」、「上面中央」または「上面左」の場合の選択が可能です。  
 据付方式と配線取出場所を考慮のうえ、据付場所を決めてください。

室内ユニットにラクリーナパネルを採用される場合は、グリルの昇降が確認しやすい場所としてください。

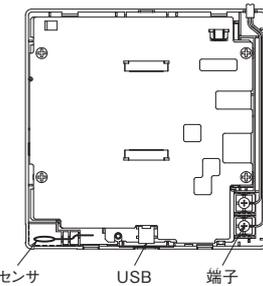


### 4. 据付・配線工事

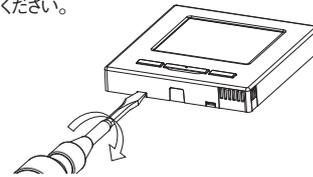
リモコンの据付・配線工事は下記に従って実施ください。  
 正面から見た取付寸法図



裏面から見た基板面

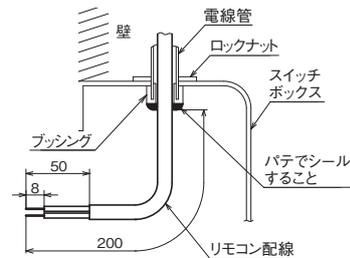
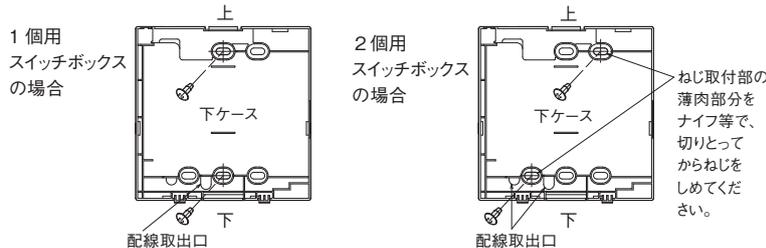


リモコンの上下ケースを組立て後、再度取外す場合・リモコン下面の凹部にマイナスドライバー等を挿込んで軽くねじって外してください。  
 ケースを傷つけないよう、ドライバー先端にテープなどを貼ることをおすすめします。  
 取外した上ケースは、水分・ゴミが付かないようにしてください。



#### スイッチボックスを使用する場合 (配線方向「背面」の場合)

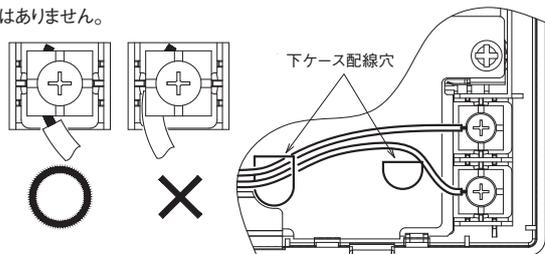
- ①スイッチボックスとリモコン配線をあらかじめ埋込んでおきます。  
 リモコン配線引込口はパテでシールしてください。
- ②下ケースに配線を通した後、スイッチボックスに2箇所固定してください。



- ③リモコン端子X、Yと室内ユニットの端子X、Yを接続してください。配線X、Yの極性はありません。  
 リモコン上ケース端子ねじで配線を固定してください。
- ④リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。

#### 配線接続時のご注意

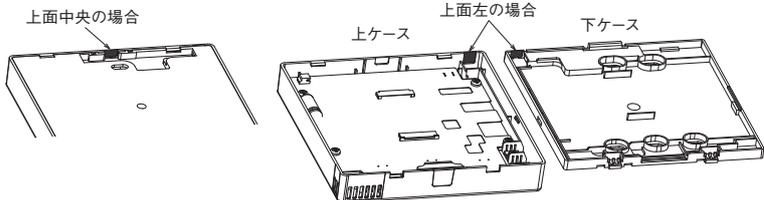
リモコンケース内を通る配線は0.5mm以下とし、シースをかみこまないように接続してください。  
 配線接続は、手締め (0.7N・m以下) で行ってください。  
 電動ドライバーを使用すると、故障や変形の原因になることがあります。



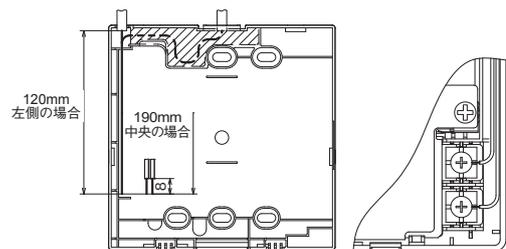
#### スイッチボックスを使用しない場合 (配線取出「上面中央」「上面左」の場合)

- ①ケース薄肉部を配線太さに合わせ切り取ってください。

上面中央の場合は、上下ケース分解前に切り取ってください。基板内部への影響が少なく作業がやり易くなります。  
 上面左の場合は、基板内部への影響を与えないように切り取ってください。破片が内部に残らないように注意してください。



- ②リモコン下ケースを付属の木ねじ2本で平らな面に固定してください。
- ③上面中央の場合はケース背面に配線を通してください。(斜線部分)
- ④リモコン端子X、Yと室内ユニットの端子X、Yを接続してください。配線X、Yの極性はありません。リモコン上ケース端子ねじで配線を固定してください。
- ⑤リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。
- ⑥①で切り取った部分をパテでシールしてください。

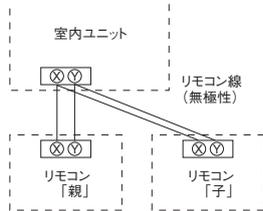


## 5. 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台または1グループに対して最大2個までのリモコンを接続できます。

片側が親リモコン、反対側が子リモコンになります。

右表のように子リモコンは操作できる機能に制限があります。



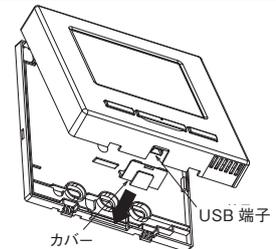
6項の操作で「親」「子」の設定をしてください。

リモコン操作		親	子	リモコン操作		親	子	
運転 / 停止、設定温度切換、風向切換・オートスイング、風量切換 操作		○	○	サービス設定	据付設定	据付日登録	○ ×	
エアフレックス ON/OFF		○	×	サービス情報入力		サービス情報入力	○ ○	
ハイパワー運転、省エネ運転		○	○	試運転		試運転	○ ×	
室外静音制御		○	×	ダクト機静圧補正		ダクト機静圧補正	○ ×	
便利機能	フリーフロー設定	○	×	自動アドレス変更		自動アドレス変更	○ ×	
	エアフレックス (風よけ) 設定	○	×	親室内機アドレス設定		親室内機アドレス設定	○ ×	
	タイマー設定	○	○	バックアップ制御		バックアップ制御	○ ×	
	おこのみ設定	○	○	人感センサー設定		人感センサー設定	○ ×	
	ウィークリータイマー	○	×	グリル昇降操作		グリル昇降操作	○ ○	
	るす番運転	○	×	リモコン親子設定		リモコン親子設定	○ ○	
	換気	○	○	吸込センサー制御		吸込センサー制御	○ ×	
	言語切換設定	○	○	リモコンセンサー		リモコンセンサー	○ ×	
	室外静音制御	○	×	リモコンセンサー補正		リモコンセンサー補正	○ ×	
	見てみて	○	×	運転モード選択		運転モード選択	○ ×	
	消費電力量表示	○	×	温度設定単位		温度設定単位	○ ×	
省エネ設定		○	×	ファン速度		ファン速度	○ ×	
お手入れ	フィルターサインリセット	○	○	外部入力設定		外部入力設定	○ ×	
	グリル昇降	○	○*	上下ルーバ制御		上下ルーバ制御	○ ×	
	お掃除パネル操作	○	×	左右ルーバ制御		左右ルーバ制御	○ ×	
ユーザー設定	初期設定	○	○	換気設定		換気設定	○ ×	
	管理者設定	○	×	停電補償		停電補償	○ ×	
	操作制限設定	○	×	設定温度自動設定		設定温度自動設定	○ ×	
	室外静音タイマー	○	×	風量自動設定		風量自動設定	○ ×	
	設定温度範囲	○	×	室内設定		室内設定	○ ×	
	温度設定刻み切換	○	×	サービス・メンテナンス		エアコン No. 表示	○ ○	
	設定温度表示切換	○	○			次回点検日	○ ×	
	リモコン表示設定	○	○			運転データ表示	○ ×	
	管理者パスワード変更	○	○			点検表示	異常履歴表示	○ ○
	スイッチ機能変更	○	○			異常時運転データ表示・消去	○ ×	
						定期点検リセット	○ ○	
						室内設定保存	○ ×	
						特殊操作	室内機アドレス消去	○ ×
							CPU リセット	○ ○
							初期化設定	○ ×
							タッチパネル調整	○ ○
							室内機容量表示	○ ×
							お掃除パネル点検	○ ×

※リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、子リモコンから室内ユニットの選択はできません。全台同時に昇降します。

### お知らせ パソコン接続について

USBコネクタ (mini-B) を介してパソコンからの設定が可能です。  
上ケース下面カバーを外して接続してください。  
使用後はカバーを元の位置にはめてください。  
接続には、専用のソフトが必要です。  
詳細は、ホームページを参照してください。



### お知らせ パスワード初期化

管理者パスワード (日常使用する項目設定用) とサービスパスワード (据付・試運転・メンテナンス用) があります。  
○管理者パスワード初期値は、0000 です。設定変更ができます (取扱説明書参照)。  
管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で [F1] [F2] スイッチを同時に5秒長押しするとパスワードは初期化されます。  
○サービスパスワードは、9999 です。設定変更ができません。  
管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受け付けられます。



[F1] [F2] スイッチ

### おねがい

1つのリモコンに複数台のGTを接続する場合、パネルの種類をエアフレックス機能のあるパネルか、標準パネルのどちらかに統一してください。

## 2-2 標準リモコン (RC-D4G)

PJA012D729 

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

### 警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。  
感電、故障や動作不良の原因になります。

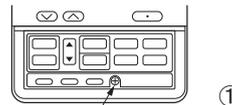
### 注意

- リモコンを下記場所に設置しない。  
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。  
 (1)直射日光の当たる場所 (4)取付面が発熱・結露する場所  
 (2)発熱器具の近く (5)油の飛沫や蒸気が直接触れる場所  
 (3)湿気の多い所・水の掛る所 (6)取付面に凹凸がある所
- リモコンの上ケースを取外したまま放置しない。  
上ケースを取外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱装箱或いは梱包袋に入れて保護してください。

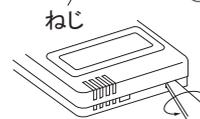
付属品	リモコン本体、 木ねじ (φ3.5×16) 2本
客先手配品	リモコンコード (2心) [埋込取付の場合] JIS ボックス、M4 ねじ (2本) [露出取付の場合] コードクランプ (適時)

### 取付要領

- ① リモコンの蓋を開け、スイッチ下部のねじを必ず外してください。

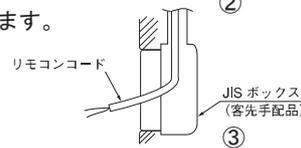


- ② リモコンの上ケースを外してください。  
リモコン上部の凹部にマイナスドライバ等を差込んで軽くねじると、容易にはずれます。

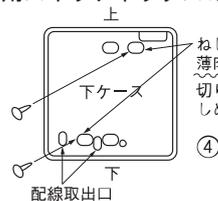


#### [埋込取付の場合]

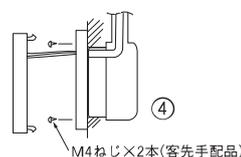
- ③ JIS ボックスとリモコンコードをあらかじめ埋込んでおきます。  
 [使用可能な JIS ボックス]  
 JIS C 8340 1個用スイッチボックス  
 2個用スイッチボックス



- ④ M4 ねじ 2本 (推奨長さ 12~16mm) を用意して、下ケースを JIS ボックスに取付けてください。  
 1個用スイッチボックスの場合      2個用スイッチボックスの場合

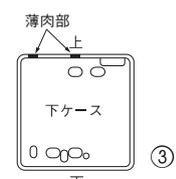


ねじ取付部の薄肉部分をナイフ等で、切りとってからねじをしめてください。



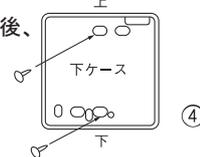
- ⑤ リモコンコードを端子台に接続してください。  
リモコンの端子 (X, Y) と室内ユニットの端子 (X, Y) とを接続してください。(X, Y の極性はありません。)

- ⑥ リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通り取付け、外したねじで固定してください。



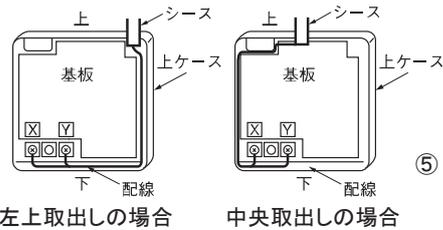
#### [露出取付の場合]

- ③ リモコンコードの取出方向は、上部左上または、中央から可能です。  
リモコン下ケースの上方の薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。



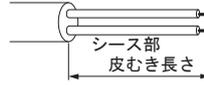
- ④ リモコンの下ケースを付属の木ねじ 2本 (付属) で平らな壁に取付けます。

- ⑤ リモコンコードを端子台に接続してください。  
 リモコンの端子 (X, Y) と室内ユニットの端子 (X, Y) とを接続してください。  
 (X, Y の極性はありません。)  
 取出し方向によって、配線経路は右図の通りとなります。



リモコン内部のリモコンコードは、 $0.3\text{mm}^2$  (推奨) ~最大  $0.5\text{mm}^2$  以下としてください。また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

左上取出しの場合	中央取出しの場合
X 配線 : 215mm	X 配線 : 170mm
Y 配線 : 195mm	Y 配線 : 190mm



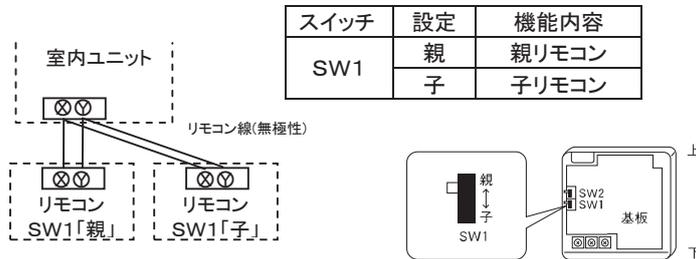
- ⑥ リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通り取付け、外したねじで固定してください。  
 ⑦ 露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないようにコードクランプ等で壁面に固定します。

**リモコンコードを延長する場合の注意** 最大総延長600m

- リモコンコードは  $0.3\text{mm}^2 \times 2$  心です。  
 延長距離が 100m を超える場合は、下記サイズに変更してください。  
 ただし、リモコンケース内を通る配線は最大  $0.5\text{mm}^2$  以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しない様な処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のない様確実に行ってください。
- 100~200m 以内..... $0.5\text{mm}^2 \times 2$  心  
 300m 以内..... $0.75\text{mm}^2 \times 2$  心  
 400m 以内..... $1.25\text{mm}^2 \times 2$  心  
 600m 以内..... $2.0\text{mm}^2 \times 2$  心

### 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台(または1グループ)に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



子リモコンの切換スイッチ SW1を「子」に設定してください。工場出荷時は「親」設定です。

(注)リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。

親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

リモコンの親子設定をした場合、後操作優先で運転されます。

### 電源投入時の表示

電源投入時、リモコンとエアコンの通信が確定する間、リモコンには、下記表示がでます。

親リモコンの場合:「内機確認中 親」

子リモコンの場合:「内機確認中 子」

室内ユニット1台(または1グループ)に、1個のリモコンを接続する場合は、必ず親リモコン(出荷時設定)としてください。子リモコンにすると、通信ができません。

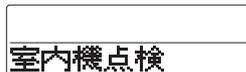
上記表示と同時に、最初の2秒間、記号又は数字が点灯いたします。

これらはリモコンのソフトウェアの管理番号を表示させているものであり、異常コードの表示ではありません。



※左記記号は一例です。  
別の記号が出る場合もあります。

リモコンと室内ユニットの通信ができない状態が30分程度続くと、下記表示がでます。室内ユニットおよび室外ユニットの配線および、リモコンの親子設定等をご確認願います。



# 3. 電気配線工事

PSC012D139A 

電気配線工事は電気設備技術基準および内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

## 安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。  
**安全のため必ずお守りください。**
- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「**図記号**」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- 「**△警告**」「**△注意**」の意味

 <b>警告</b>	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。
 <b>注意</b>	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

- ここで使われる“**図記号**”の意味は右のとおりです。  絶対に行わない  必ず指示に従い行う
- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電または過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

### 警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。 
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。  
カバーの取付が不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付は専門業者に依頼する。  
ご自分で取付をされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 
- 改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。  
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 
- 室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。  
据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。  
点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 
- 元電源を切った後に電気工事をする。  
感電、故障や動作不良の原因になります。 

### 注意

- アース（接地）を確実に行う。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。 
- 電源には必ず漏電しゃ断器（高調波対応品）を取付ける。  
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。 
- 正しい容量の全極しゃ断するブレーカ（漏電しゃ断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線しゃ断器）を使用する。  
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。 
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。  
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。  
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。 
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。  
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。  
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。 
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。  
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。  
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 

## 制御の切換

- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容
SW1	室内アドレス(10位)
SW2	室内アドレス(1位)
SW3	室外アドレス(10位)
SW4	室外アドレス(1位)
SW5-1	ON 旧SL通信仕様固定
(注1) SW5-1	OFF 新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW5-2	室内アドレス(100位)
SW6-1~4	機種容量
SW7-1	ON 運転チェック・ドレンポンプ運転試
	OFF 通常運転

注1：通信方式であるスーパーリンクの仕様を選択できます。  
旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前  
新 SL：ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降  
SW5-1 が OFF（工場出荷設定）の場合は、通信仕様（新 SL/旧 SL）を自動判別します。  
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は、SW5-1 を ON にしてください。  
各通信仕様の特徴、制限は室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

# ①電源・室内外配線の接続

●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。

- ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
- ②電源は、室外ユニット、室内ユニット各々別電源としてください。
- ③電気ヒータ（別売品）はなしにて記載してあります。

注：電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。

- ④同一系統内の室内ユニットの電源は、必ず全て同時 ON、同時 OFF になるようにしてください。

●アース線は室内外接続線および室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。

●電源は工事が完了するまで入れないでください。



●D種接地工事を必ず行ってください。

●端子台への接続は、丸型圧着端子を接続してください。

●専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。

●機種毎に設定された過電流および漏電しゃ断器を設置してください。

●室内外の信号線は途中接続しないでください。途中接続した場合に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。（万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。）

●天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線など）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。

●室内ユニットに接続する電源線は 3.5mm<sup>2</sup> まで使用可能です。5.5mm<sup>2</sup> 以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ分岐してください。

●信号線と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。

- ① A-B 信号線に誤って、200V 電源を接続しても初めの 1 回は保護します。
- ② 電源投入 15 分経過後リモコンからユニット No.( アドレス) が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
- ③ 焼損基板のジャンパー線 JSL1 を切る、またはコネクタ JSL1 を外し、コネクタ CnK1 (白) を CnK2 (黒) に差替える。
- ④ A-B 端子台から基板までの配線に異常があれば交換してください。

●室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。

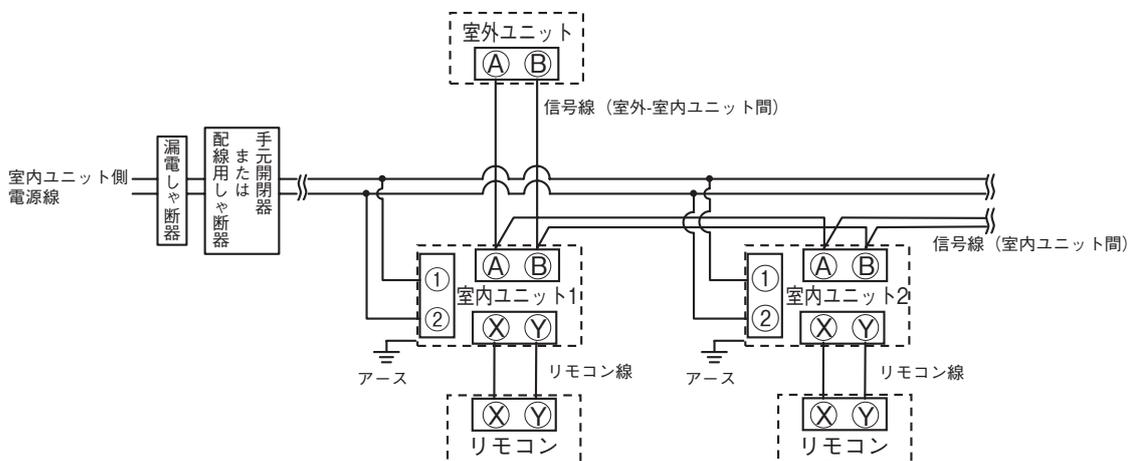
●リモコン用端子台には、200V 電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

●ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続

- ①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース線に接続してください。
- ②電源には必ず漏電しゃ断器を取付けてください。漏電しゃ断器は、インバータ回路用しゃ断器(三菱電機製 NV-C シリーズまたは、その同等品)を選定してください。
- ③漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に手元しゃ断器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用しゃ断器が必要となります。
- ④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。

●配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。

●補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。



## ① 電源・室内外配線の接続 (つづき)

### 電源仕様

#### ● 室内ユニットを個別に電源に接続する場合

① 室内ユニット電源使用 (②~③以外の機種)								
機種容量	漏電しゃ断器定格	開閉器容量	ヒューズ	電源線太さ	配線こう長	信号線	リモコン線	アース線
22-36形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm <sup>2</sup> ×2	298m	0.75~1.25mm <sup>2</sup> ×2	0.3mm <sup>2</sup> ×2心	2.0mm <sup>2</sup>
45-56形					275m			
71-90形					179m			
112-160形					123m			
② 高静圧ダクト、給気処理ユニット、加湿器付外気処理ユニット								
45-90形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm <sup>2</sup> ×2	149m	0.75~1.25mm <sup>2</sup> ×2	0.3mm <sup>2</sup> ×2心	2.0mm <sup>2</sup>
112-160形					85m			
224,280形					28m			
③ 床置形システムパッケージ								
112形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm <sup>2</sup> ×2	51m	0.75~1.25mm <sup>2</sup> ×2	0.3mm <sup>2</sup> ×2心	2.0mm <sup>2</sup>
140,160形					34m			
224,280形	20A 30mA 0.1sec		20A	3.5mm <sup>2</sup> ×2	32m			

注 1. 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。上記の配線こう長を越える場合は、内線規程に従い、配線太さを見直してください。

注 2. リモコン線の延長距離が100mを越える場合は、**③リモコンの取付** に従い、配線太さを見直してください。

#### ● 複数の室内ユニットを一つの電源に接続する場合

室内ユニット 合計電流	配線太さ (mm <sup>2</sup> )	配線こう長 (m)	配線用しゃ断器 定格電流
7A以下	2	21	20A
11A以下	3.5	21	20A
12A以下	5.5	33	20A
16A以下	5.5	24	30A
19A以下	5.5	20	40A
22A以下	8	27	40A
28A以下	8	21	50A

注 1. 表中のこう長は、室内ユニットを直列に接続した場合の値を示します。また、室内ユニット合計電流別に電圧降下を2%以内とした場合の配線太さとかう長を示しています。電流が左表の値を超える場合、内線規程に従い配線太さを見直してください。

注 2. サービス時 (電源OFF時) のため、別の冷媒配管システムの室内ユニットを同一電源とすることは避けてください。

漏電しゃ断器の定格感度電流は、下記計算式と判定方法を参照ください。

注 3. 下記に示す計算式は目安であり、現地設備、工事内容により異なる場合があります。漏電しゃ断器が頻繁に作動する場合は、現地設備、工事内容に適した漏電しゃ断器を選定してください。

<計算式> 必要感度電流 = (各室内ユニットの機種係数×台数) の合計値 + (配線係数×配線長[km])

<機種係数>

機種	係数
GT	3.5
GTW, GTS, GR, GU, GE, GK, GU-F	2.5
その他	1

<配線係数>

電源配線径	係数
2.0mm <sup>2</sup>	50
3.5mm <sup>2</sup>	60
5.5mm <sup>2</sup>	60
8.0mm <sup>2</sup>	60

<判定方法>

(i) 必要感度電流 ≤ 30

定格感度電流30mA (0.1s以下) 品をご使用ください。

(ii) 30 < 必要感度電流 ≤ 100

原則、必要感度電流が30mA以下となるよう漏電しゃ断器の系統分割をしてください。系統分割が難しい場合は、接地抵抗値が内線規程に基づいた値以下となる様確実に接地工事を行った場合に限り、定格感度電流100mA (0.1s以下) 品の使用が可能です。

(iii) 100 < 必要感度電流

漏電しゃ断器の系統分割 (追加) が必要です。

## ② アドレス設定

アドレス設定は、(1) 手動アドレス設定、(2) 自動アドレス設定の2方法ができます。

自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。

設定方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

### ③ リモコンの取付 (別売部品)

● 次の位置へ取付けないでください。

- 直射日光の当たる所
- 発熱器具に近い所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 取付面が発熱・結露する所
- 油の飛沫や蒸気が直接接触する所
- 取付面の凹凸がある所

#### リモコン取付・配線

- ① リモコンの取付は、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ② リモコン線は、 $0.3\text{mm}^2 \times 2$ 心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は1mm以上のものを使用してください。(現地手配)
- ③ リモコン線の総延長は600mです。  
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。ただし、リモコンケース内を通る配線は最大 $0.5\text{mm}^2$ 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

- 100～200m以内・・・ $0.5\text{mm}^2 \times 2$ 心
- 300m以内・・・ $0.75\text{mm}^2 \times 2$ 心
- 400m以内・・・ $1.25\text{mm}^2 \times 2$ 心
- 600m以内・・・ $2.0\text{mm}^2 \times 2$ 心

- ④ 誤動作する場合がありますので、多心ケーブルの使用は避けてください。
- ⑤ リモコン線はアース(建物の鉄骨部分または金属など)からできるだけ離してください。
- ⑥ リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません)

#### 1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

- ① 1つのリモコンで複数台のユニット(最大16台)をグループ制御できます。  
同一モード、同一室温設定で運転します。
- ② グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
- ③ 室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。  
○ 室内ユニット基板上のロータリスイッチSW1, SW2およびディップスイッチSW5-2により、室内No.を重複しないように設定してください。
- ④ 右図のように室外ユニットが複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。

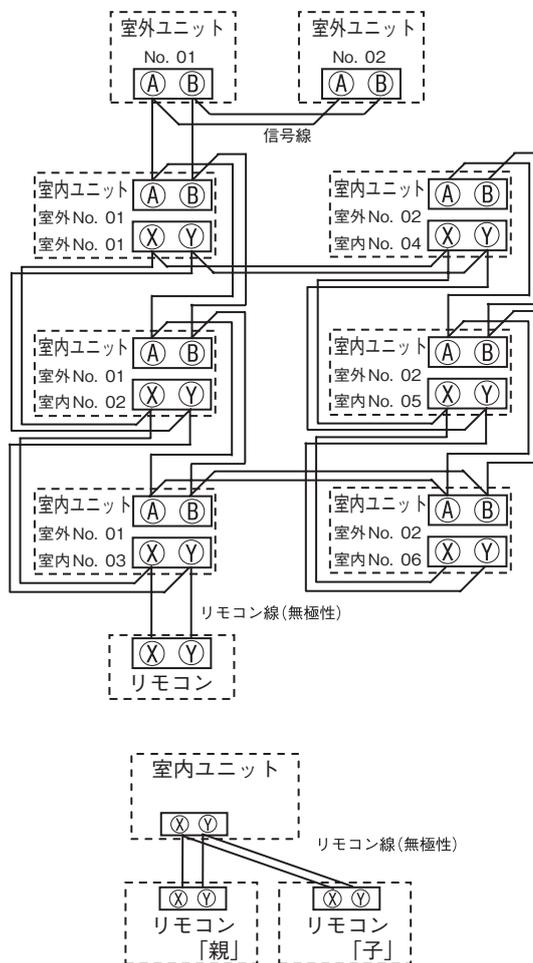
#### 複数リモコン使用時の親子設定

室内1台(または1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン+ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

- 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

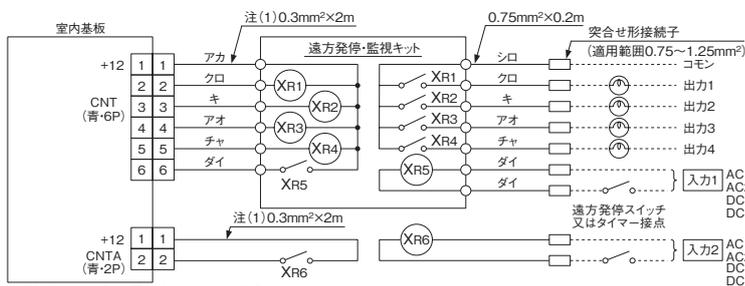


### ③ リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作(RC-D シリーズ)
1	リモコン系統内の接続ユニットの接続台数確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[エアコン No. 表示]	① エアコン No. を押してください。 ② ▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを1台ずつ確認してください。
2	リモコン系統内の接続室内ユニットの接続確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[エアコン No. 表示]⇒[個別送風運転]	① エアコン No. を押してください。 ② ▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③ [運転切換]を押してください。送風運転します。
3	親子リモコン設定	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[サービスパスワード]⇒[リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ(SW1)を「子」に設定してください。
4	運転データの確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[運転データ表示]	[点検]⇒運転データ表示▼⇒[セット]⇒データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[セット]⇒データ確認中⇒▲▼データ選択
5	点検表示の確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[点検表示]	[点検]⇒運転データ表示▼⇒[▼]⇒エラーデータ表示▲⇒[セット]⇒データ確認中⇒データ表示
6	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒[試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]	① [運転/停止]を押し、運転させてください。 ② [運転切換]により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転]を3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④ 「冷房試運転▼」の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
7	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒[試運転]⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[運転]	① [運転/停止]を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示:「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

### ④ 室内基板CNTコネクタの機能



- XR1~4はDC12Vリレー (オムロン製LY2F相当品)
- XR5は、DC12、24Vまたは100Vリレー (オムロン製MY2F相当品)
- CnTコネクタ (現地側) メーカー、形式  
コネクタ:モレックス製 5264-06  
端子:モレックス製 5263T  
別売品を準備しておりますのでご利用ください。

※FDTの場合

コネクタ:日本圧着端子JST製 ZNDP-06V-B-E  
端子:日本圧着端子JST製 SZND-002T-P0.5  
別売品を準備しておりますのでご利用ください。

- 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
- CnT Aコネクタは、FDT他に搭載<仕様書で確認願います> (現地側) メーカー、形式  
コネクタ:日本圧着端子JST製 XAP02V-1-E  
端子:日本圧着端子JST製 SXA-01T-P0.6  
別売品を準備しておりますのでご利用ください。

- 出力1~4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。

工場出荷時は下記のように設定されています。

出力

① 運転出力	⑧ ファン運転出力3
② 暖房出力	⑨ デフロスト、油戻し出力
③ コンブ ON 出力	⑩ 換気出力
④ 点検 (異常) 出力	⑪ ヒータ出力
⑤ 冷房出力	⑫ フリークーリング出力
⑥ ファン運転出力1	⑬ 室内過負荷異常出力
⑦ ファン運転出力2	

入力

① 運転 / 停止	⑤ 設定温度シフト
② 運転許可禁止	⑥ 強制サーモ OFF
③ 緊急停止	⑦ 一時停止
④ 冷房 / 暖房	⑧ 静音モード

工場出荷時の設定

CNT-2 出力1 運転出力	CNT-5 出力4 点検 (異常) 出力
CNT-3 出力2 暖房出力	CNT-6 入力1 運転 / 停止
CNT-4 出力3 コンブ ON 出力	CNTA 入力2 運転 / 停止

- 設定の方法は技術資料をご覧ください。

## ⑤ リモコンからの操作・設定

〈ecoタッチリモコンの凡例〉

A: eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。  
 B: eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。  
 C: インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。

〈標準リモコンの設定操作可否〉

○: eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。  
 △: eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。  
 空欄: 標準リモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目		詳細内容	RC-DX3C	RC-D4G	
1. リモコンネットワーク					
1	複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内ユニットを接続制御できます。室内ユニット側にアドレスを設定します。		○	
2	親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスリモコン)を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○	
2. TOP画面・SW操作					
1	メニュー	制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A		
2	運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○	
3	設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。	A	○	
4	風向	風向を設定します。おまかせ気流の有効/無効を設定します(GKの場合)。※2	A	△	
5	風量	風量を設定します。	A	○	
6	タイマー設定	タイマー運転を設定します。	A	○	
7	運転/停止SW	運転を開始します。/停止します。	A	○	
8	F1スイッチ ※1	F1スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A		
9	F2スイッチ ※1	F2スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A		
10	言語切換 ※2	リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語/日本語 ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/オランダ語/ トルコ語/ポルトガル語/ロシア語/ポーランド語/中国語	A		
3. 便利機能					
1	フリーフロー設定	各ルーバの可動範囲(上限位置—下限位置)を設定します。 GKの場合は左限位置-右限位置も設定します。 ※2	A	△	
2	エアフレックス(風よけ)設定※1 エアフレックスパネル組合せの場合※3	・詳細設定:各運転モード、各吹出口のエアフレックス(風よけ)機構動作の有効・無効を設定します。 ・ON/OFF切換:詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックスON/OFF(作動中/停止中)を切換えます。	A		
3	タイマー設定	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	
		時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。	A	△
		時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
		時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。	A	△
	タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A		
4	おこのみ設定 管理者パスワード ※1	おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定1、おこのみ設定2のそれぞれに設定が可能です。	A		
5	ウィークリータイマー	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1日最大8パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△	
6	るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温/低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A		
7	換気 換気機器組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。	A	○	

※1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。  
 ※2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。  
 ※3: RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

※4: RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。  
 ※5: 標準リモコンには、この機能はありません。

## ⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目		詳細内容	RC-DX3C	RC-D4G
8	言語切替設定	リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語 ※2	A	
9	室外静音設定	室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A	△
10	見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット—室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
11	消費電力量表示 ※1	今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット—室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
4. 省エネ設定		管理者パスワード		
1	切忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ~ 240 分 (10 分単位) まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	
2	ピークカットタイマー	能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0.40 ~ 80% (20%単位) から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	
3	設定温度自動復帰	設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ~ 120 分 (10 分単位) まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4	人感センサ制御 ※1	人感センサを使用の場合、パワーコントロールとオートオフの有効 / 無効を設定します。	A	
	人感センサがある場合	パワーコントロールの冷房時 / 暖房時設定温度を設定します。	A	
5. お手入れ				
1	フィルタサインリセット	フィルタサインの解除 次回清掃日の設定	A A	○ △
	2	グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合	A
降下長設定		グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ~ 4.0 m の範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m 単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
管理者パスワード		ダスト回収リセット お掃除パネル組合 せの場合	A	
3	お掃除パネル設定	お掃除自動設定	自動清掃の有効 / 休止を設定します。	A
		清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A
	管理者パスワード	清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A
		ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A
		ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A
		ブラシ移動速さ ※4	ブラシ移動速さを設定します。	A
ブラシ往復数 ※4	ブラシ往復数を設定します。	A		

※ 1 : RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 2 : RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 3 : RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 4 : RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 5 : 標準リモコンには、この機能はありません。

## ⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目		詳細内容	RC-DX3C	RC-D4G
6. ユーザ設定				
1 初期設定	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
	時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12 H / 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	
	サマータイム補正	現在時刻に対し、+1 時間の補正を行います。	A	
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
	バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	A	
	ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。	A	
	運転ランプ輝度 ※1	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	
2 管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定	・操作の許可/禁止を設定します。 [ 運転 / 停止 ] [ 設定温度切換 ] [ 運転モード切換 ] [ 風向切換 ] [ 風量切換 ] [ ハイパワー運転 ] [ 省エネ運転 ] [ 見てみて ] [ タイマー設定 ] [ 消費電力量表示 ] ※1 ※5 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [ フリーフロー設定 ] [ グリル降下長設定 ] [ ウィークリータイマー設定 ] [ 言語切換設定 ] [ エアフレックス (風よけ) 設定 ] ※1 ※5	A	△
	室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
	設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
	温度設定刻み切換	設定温度の刻み (0.5℃ / 1.0℃) を設定します。	A	
	設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切換えます。	A	
	リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり/なしを設定します。	A	△
	管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
	スイッチ機能変更 ※1	F1、F2 スwitchの機能を設定します。 設定できる機能 [ エアフレックス ON/OFF ] ※3 [ ハイパワー運転 ] [ 省エネ運転 ] [ 室外静音制御 ] [ るす番運転 ] [ おこのみ設定運転1 ] [ おこのみ設定運転 2 ] [ フィルターサインリセット ] [ グリル昇降 ] [ 消費電力量表示 ]	A	
7. サービス設定				
1 据付設定 サービスパスワード	据付日登録	据付日を登録した場合、点検表示を行います。	B	
	サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。	B	
	試運転	試運転の開始/停止を制御できます。	B	△
	冷房試運転	設定 5℃ 30 分間運転します。		
	ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみを運転します。		
	お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合	B	
	ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
	自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
	親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
	バックアップ制御	1 台のリモコンに室内ユニット 2 台 (2 グループ) は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効/無効が設定できます。	B	
人感センサ設定 ※1 人感センサ付パネルの組合せの場合	リモコンに接続された室内ユニットの人感センサ検知の有効/無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサ制御を行うことができません。	B		
グリル昇降操作	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○	

## ⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目		詳細内容	RC-DX3C	RC-D4G			
2	リモコン設定	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○		
	サービスパスワード	吸込センサー制御	1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込センサーを選択できます。 ・個別／親機／平均の選択が可能です。	B			
		リモコンセンサー	リモコンセンサーに切替えるモードを設定できます。 冷房／暖房で切替可能です。	B	△		
		リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房／暖房 別々に補正可能です。	B	△		
		運転モード選択	各運転モード毎に有効／無効を設定できます。	B	△		
		設定温度単位	設定温度の単位を設定します。 ・℃／°Fの選択が可能です。	B			
		ファン速度	ファン速度の選択が可能です。	B	○		
		外部入力設定	1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用範囲が設定されます。	B	○		
		上下ルーバ制御	上下ルーバの [4 位置停止] ／ [フリー停止] の切換ができます。	B	○		
		左右ルーバ制御 ※2	左右ルーバの [固定位置停止] ／ [フリー停止] の切換ができます。	B			
		換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○		
		停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○		
		設定温度自動設定	設定温度自動の有効／無効を選択できます。	B			
		風量自動設定	風量自動の有効／無効を選択できます。	B			
		3	室内設定	風速設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
			サービスパスワード	フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○
	外部入力 1 設定			外部入力 1 の制御内容を換えられます。	B	○	
外部入力 1 方式切換	外部入力 1 の信号方式を換えられます。			B	○		
外部入力 2 設定	外部入力 2 の制御内容を換えられます。			B			
外部入力 2 方式切換	外部入力 2 の信号方式を換えられます。			B			
暖房室温補正	暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃ の範囲で補正できます。			B	○		
吸込温度補正	吸込センサー検知温度を ± 2℃ の範囲で補正できます。			B	○		
冷房ファン制御	冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。			B	○		
暖房ファン制御	暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。			B	○		
フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。			B	○		
フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。			B	○		
ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。			B	○		
冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。			B	○		
暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。			B	○		
暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモ OFF ファン残留運転後のファン運転を設定できます。			B	○		
送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。			B			
外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。			B			
運転モード自動設定	運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。			B			
サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。			B			
風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。			B			
室内過負荷アラーム	運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力 (CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。			B			
外部出力設定 ※1	外部出力 1 ～ 4 に割り当てる機能を換えられます。		B				

※ 1 : RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 2 : RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 3 : RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 4 : RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 5 : 標準リモコンには、この機能はありません。

## ⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目		詳細内容	RC-DX3C	RC-D4G	
4	サービス・メンテナンス	エアコンNo. 表示	リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	○
	サービスパスワード	次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	A B	
		運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
		点検表示			
		異常履歴表示	過去の異常履歴 (点検コード・発生時間) を表示します。	B	△
		異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示します。		
		異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。		
		定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。		
		室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
	特殊操作	[ 室内アドレス消去 ][ CPU リセット ][ 初期化設定 ][ タッチパネル調整 ] の操作ができます。	B	△	
室内機容量表示 ※1	リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。	B			
お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B			
8. 困ったときは・・・					
1	連絡先表示	登録した連絡先・TEL 番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A		
	2 サービスを依頼される前に Q & A	Q & A が表示されます。	A		
9. 点検表示					
	点検表示確認	異常発生時の表示	A	△	
10. パソコン接続					
	USB 接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C		

◆ 組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

## 4. リモコンによる設定と操作

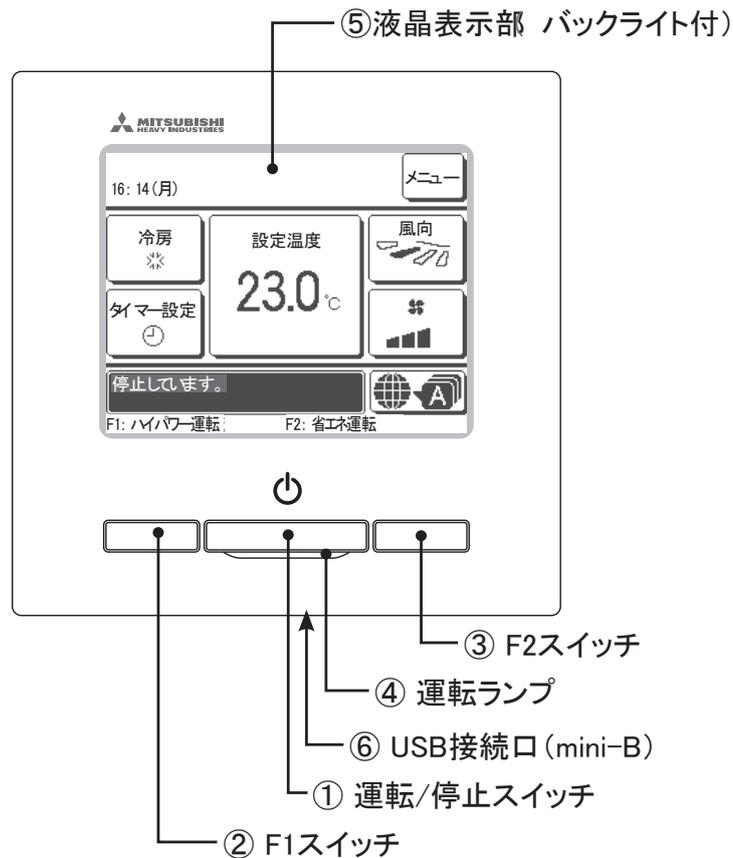
### 4-1 リモコンによる機能設定

#### (1) RC – DX3C リモコンの場合

- (a) 室内ユニットの機能や用途に合わせ、リモコンより機能設定をすることができます。  
リモコンより設定可能な項目は下記の通りです。
- (b) 機能設定のながれ(画面タッチ操作により行なう)  
TOP画面より → 「メニュー」 → 各項目へ
- (c) 機能設定のクリア  
TOP画面より → 「メニュー」 → 「サービス設定」 → 「サービス・メンテナンス」 → 「サービスパスワード」 → 「特殊操作」 → 「初期化設定」を選択することにより、  
接続されているリモコン・室内ユニットの設定データが初期値(工場出荷時)になります。
- (d) 詳細については、次ページ以降をご覧ください。

(i) リモコンの各部の名前とはたらき

(操作部)



①運転/停止、②F1、③F2 スイッチ以外の操作は、液晶表示部を指で押すタッチパネル方式となっています。

① 運転/停止スイッチ

1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

② F1スイッチ ③ F2スイッチ

スイッチ機能変更で設定された機能操作を行います。

④ 運転ランプ

運転中、緑色(黄緑色)に点灯します。異常発生時は赤色(橙色)に点滅します。運転ランプの輝度は、調整可能です。

⑤ 液晶表示部(バックライト付)

液晶表示部にふれると、バックライトが点灯します。一定時間操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は設定可能です。

バックライト有効設定時、バックライトが消灯している状態で画面をタッチするとバックライトのみ点灯します。(①、②、③のスイッチ操作は除く)

⑥ USB接続口

USBコネクタ(mini-B)によりパソコンとの接続ができます。

使用方法は、パソコン側ソフト(ecoタッチリモコンユーティリティソフト)に付属している取扱説明書を参照ください。

お願い

- ・パソコンと接続する場合、他のUSB機器と同時に接続しないでください。また、ハブ等を経由せず、直接パソコンと接続してください。

## (表示部)

※説明のため全てのアイコンを表示しています。



### ①時計・リモコン名称表示部

現在の時刻、およびリモコン名称を表示します。

### ②アイコン表示部

各アイコンは以下の設定が行われている場合に表示します。

デマンド制御中に表示します。

子リモコン設定すると表示します。

集中管理機器(別売)で管理されているときに表示します。

グリル昇降操作が有効に設定されているときに表示します。

定期点検の時期になると表示します。

換気運転中に表示します。

フィルターの清掃・ダストボックスの回収時期になると表示します。

操作制限設定が設定されているときに表示します。

ウィークリータイマーが設定されているときに表示します。

ピークカットタイマーが設定されているときに表示します。

### ③メニューボタン

右記の④～⑧以外の設定・変更を行う場合は、メニューボタンをタッチし、表示されたメニュー項目の中から各々の設定を行ってください。

### ④運転モード切替ボタン

現在設定されている運転モードを表示します。運転モードを変更するときは、このボタンをタッチしてください。

### ⑤設定温度切替ボタン

現在設定されている設定温度を表示します。設定温度を変更するときは、このボタンをタッチしてください。

### ⑥風向切替ボタン

現在設定されている上下風向を表示します。おまかせ気流運転が有効時には、おまかせ表示を行います。風向を変更するときは、このボタンをタッチしてください。

### ⑦風量切替ボタン

現在設定されている風量を表示します。風量を変更するときは、このボタンをタッチしてください。

### ⑧タイマー設定ボタン

現在設定されているタイマーの内容を簡易表示します。(複数タイマー設定している場合は、作動が近いタイマー内容を表示します。)タイマー設定を行うときは、このボタンをタッチしてください。

### ⑨言語切替ボタン

リモコンに表示する言語を選択します。

### ⑩メッセージ表示部

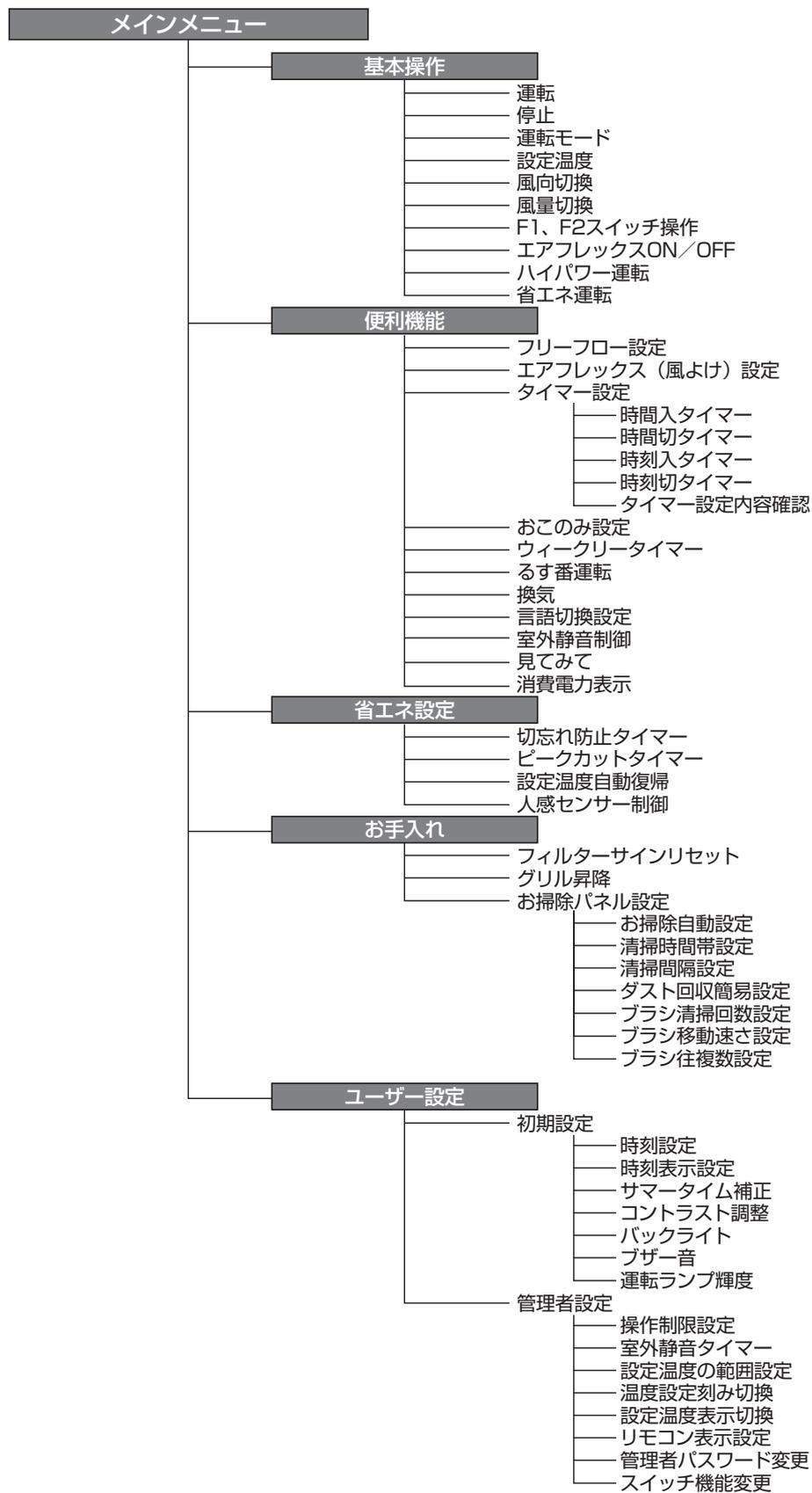
エアコンの運転状態やリモコン操作のメッセージなどを表示します。

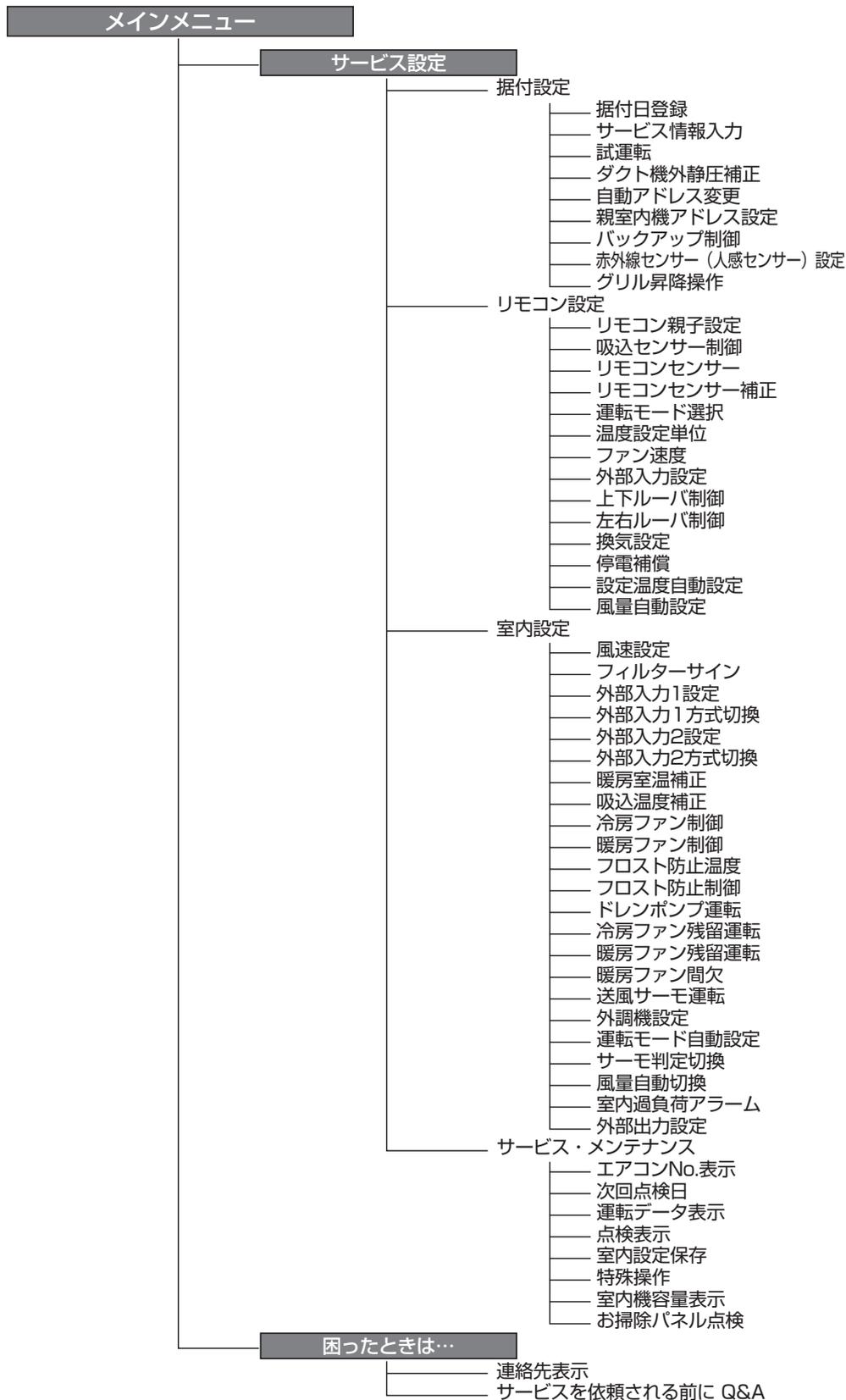
### ⑪ F1, F2スイッチ機能表示部

現在 F1, F2スイッチに設定された機能を表示します。スイッチ機能変更でF1, F2スイッチ機能を変更することができます。

(ii) 画面の流れ

● RC-DX3C の場合





(iii) 機能設定一覧

2-23 ページをご覧ください。

## 1. 電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。

- ・親子が設定されていない場合⇒(1) ・親子が設定されている場合⇒(2)

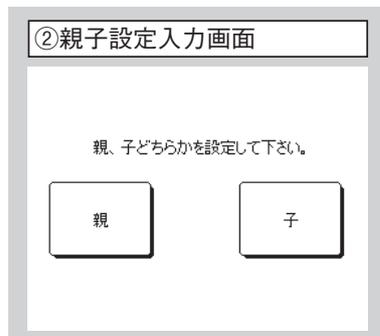
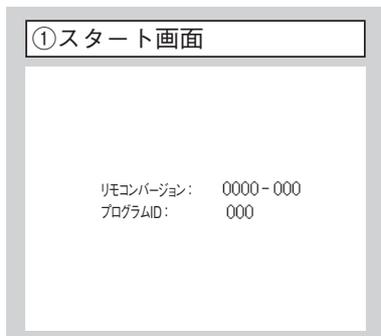
### (1) 親子が設定されていない場合

①⇒②親子入力画面を表示します。

枠で囲まれた「親」「子」どちらかをタッチしてください。初期設定作業を開始します。

誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。(9. リモコン機能設定②)

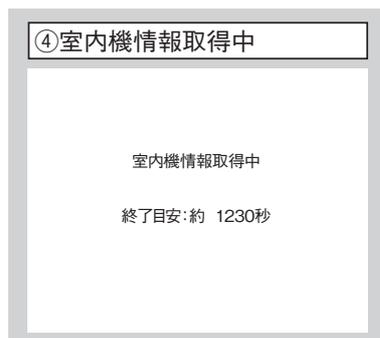
室内ユニット1台または、1グループに、2個のecoタッチリモコンが接続されている場合、1個目を「親」で設定開始すると2個目は自動で「子」になります。



**で注意**  
リモコン1台の場合は、「親」をタッチしてください。  
初期状態では、どちらが選択されるまで、待ち続けます。

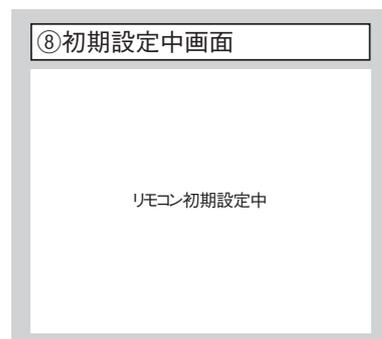
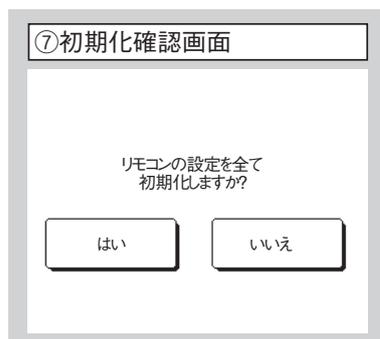
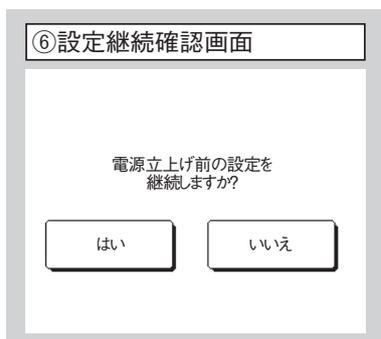
「親」を選択した場合 ③⇒④⇒⑤で画面が遷移します。

「子」を選択した場合 ①⇒⑧⇒⑤で画面が遷移します。



通信が10分間確定しない場合、赤LEDが点滅します。

### (2) リモコンの親子設定がされている場合



「はい」 ⑧⇒⑤で画面が遷移します。

「いいえ」 ⑦に画面が遷移します。

表示が15秒間タッチされない場合は「はい」継続を認識して⑤画面に変わります。

「はい」 ①⇒②で画面が遷移します。

「いいえ」 ⑥に画面が遷移します。

初期化すると出荷状態に戻ります。

## 2. 据付設定 試運転

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [サービスパスワード]

①据付設定メニュー # 1

据付設定

据付日登録 ←③

サービス情報入力 ←④

試運転 ←⑦

ダクト機静圧補正 ←⑪

自動アドレス変更 ←⑫

次ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

②据付設定メニュー # 2

据付設定

親室内機アドレス設定 ←⑭

バックアップ制御 ←⑮

人感センサー設定 ←⑰

グリル昇降操作 ←⑱

前ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

③据付日登録

据付日登録

▲ ▲ ▲

年 月 日

2010 / 1 / 1

▼ ▼ ▼

年月日を設定してください。 セット 戻る

▲▼で設定してください。  
[セット]で登録されます。

④サービス情報入力

サービス情報入力

連絡先名 ←⑤

連絡先TEL ←⑥

戻る

操作を選択してください。

お客様がサービスを依頼される際の連絡先を入力してください。

⑤連絡先名登録

連絡先名 [セット]

数字 英字 キリルлица

カナ 漢字 汉字

A B C D E F G H I

J K L M N O P Q R

削除 次 戻る

名称を入力してください。

連絡先名を半角26文字相当以内で入力し、[セット]ボタンをタッチしてください。

⑥連絡先 TEL 登録

連絡先TEL

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - 削除 セット

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 削除 セット

電話番号を入力してください。 戻る

連絡先電話番号を13文字以内で入力し、[セット]ボタンをタッチしてください。

⑦試運転

試運転

冷房試運転 ←⑧

ドレンポンプ試運転 ←⑨

周波数固定運転

お掃除試運転 ←⑩

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑧冷房試運転

冷房試運転

開始

開始をタッチすると  
冷房5℃で30分間試運転します。  
30分経過及び、TOP画面で運転/停止、  
運転モード、設定温度を変更すると  
試運転を終了します。

戻る

停止中に操作可能です。室温が低く冷房試運転ができない場合、設定を30分間5℃にして運転します。

⑨ドレンポンプ試運転

ドレンポンプ試運転

運転 停止

操作を選択してください。 戻る

ドレンポンプのみで運転が可能です。

⑩お掃除試運転

お掃除試運転

フィルター清掃

ブラシ清掃①

ブラシ清掃②

戻る

操作を選択してください。

FDTお掃除ラクリーナパネルを組合せる場合に操作できます。詳細は、お掃除ラクリーナパネルの説明書をご覧ください。(RC-DX3Cのみ)

⑪ダクト機静圧補正

ダクト機静圧補正

▲

10 Pa

▼

セット

▲▼で補正値の変更ができます。 戻る

機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニットを組合せる場合に操作できます。機外静圧を選択し、[セット]ボタンをタッチしてください。

## 2. 据付設定 試運転 (つづき)

**⑫自動アドレス変更**

確定 III

自動アドレス変更	
室内機No.	室外機No.
000 ⇒ 001	00 ⇒ 01
001	00 ⇒ 01
002	00
003 ⇒ 004	00
004	01
005	01

変更 I    次ページ    戻る

変更する機器を選択してください。

**⑬自動アドレス変更**

自動アドレス変更

室内機  
No.2

003

▲▼

接続室外機  
No.0

01

▲▼

セッ II    戻る III

▲▼でアドレスを選択してください。

**⑭親室内機アドレス設定**

親室内機アドレス設定

127

▲▼

解除    セット

戻る II

▲▼でアドレスを選択してください。

個別発停マルチシリーズで使用の際に自動アドレス設定で登録されている場合に操作できます。室内ユニット毎の室内外アドレスを変更するための機能です。室内ユニットを選択して

① **変更** をタッチすると⑬に画面が遷移します。

② **セッ** をタッチすると⑫に画面が遷移し、新アドレスが表示されます。

③ **確定** をタッチすると登録されます。

個別発停マルチシリーズで親室内ユニットのみ、冷房・暖房運転モードの選択を許可します。子とする室内ユニットに対し、親室内機アドレスを設定します。親室内機アドレスが設定された子室内ユニットは、親室内ユニットの設定に追従します。

**⑮バックアップ制御**

バックアップ制御

ローテーション	無効	詳細設定 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">16</span>
キャパシティバックアップ	無効	詳細設定 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">17</span>
フォルトバックアップ	無効	

登録    戻る

操作を選択してください。

- 1台のリモコンに室内ユニット2台（2グループ）が接続されている時に、以下の制御が可能です。
- ローテーション：2台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
  - キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を1台⇄2台へ切替えます。
  - フォルトバックアップ：室内ユニット2台中1台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう1台の室内ユニットが運転を開始します。
- 有効** / **無効** 選択し（**無効** をタッチすると **有効** に変わります。）、**登録** ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。

**⑯ローテーション詳細設定**

運転切替時間設定

100

時間    セット

▲▼

戻る

▲▼で時間を選択してください。

ローテーションの運転を切替える時間を設定します。1～999時間の間で1時間刻みで設定可能です。時間切替後、**セッ** で仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って**登録** をタッチしてください。

**⑰キャパシティバックアップ詳細設定**

運転開始温度差設定

5

℃    セット

▲▼

戻る

▲▼で温度の変更ができます。

キャパシティバックアップの1台⇄2台を切替える設定温度と室温の温度差を設定します。2～5℃の間で1℃刻みで設定可能です。温度切替後、**セッ** で仮設定してください。仮設定後バックアップ制御画面に戻って**登録** をタッチしてください。

### バックアップ制御の制約条件

- 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切り換わります。
- ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
- キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
- フォルトバックアップ制御を単独で有効に設定することも可能です。
- るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
- ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内ユニット2台（2グループ）の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
- いずれの制御も、室内アドレスの若い室内ユニットが先に運転開始します。

## 2. 据付設定 試運転 (つづき)

⑱ 人感センサー設定

人感センサー

無効

有効

設定を選択してください。

戻る

リモコンに接続されている室内ユニットの赤外線センサーの [有効] / [無効] を選択します。

### ご注意

- ・ 人感センサーを採用のお客様は上記の設定を行ってください。人の活動量を検知させたい室内ユニットを有効にしてください。赤外線センサー（人感センサー）設定が無効の場合には、人の活動量を検知しないため赤外線センサー制御（パワーセーブ、オートオフ）を行いません。
- ・ 4形以前の室内ユニットは、赤外線センサー（人感センサー）設定を有効にできません。赤外線センサー（人感センサー）設定をタッチとすると、「操作無効です」と表示されます。

⑲ グリル昇降操作設定

グリル昇降操作

無効

有効50Hz

有効60Hz

操作を選択してください。

戻る

ラクリーナパネルを組合せる場合は、据付場所の電源周波数をタッチしてください。

### ご注意

ラクリーナパネルを採用のお客様は、上記の設定を行ってください。

## 3. リモコン機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [サービスパスワード]

① リモコン設定メニュー

リモコン設定

リモコン親子設定 ← ②

吸込センサー制御 ← ③

リモコンセンサー ← ④

リモコンセンサー補正 ← ⑤

運転モード選択 ← ⑥

次ページ 戻る

操作を選択してください。

リモコン設定

温度設定単位 ← ⑦

ファン速度 ← ⑧

外部入力設定 ← ⑨

上下ルーバ制御 ← ⑩

左右ルーバ制御 ← ⑪

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

リモコン設定

換気設定 ← ⑫

停電補償 ← ⑬

設定温度自動設定 ← ⑭

風量自動設定 ← ⑮

前ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

② リモコン親子設定

リモコン親子設定

親

子

操作を選択してください。

戻る

リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。

③ 吸込センサー制御

吸込センサー制御

個別

親機

平均

操作を選択してください。

戻る

室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。

1. [個別]: 各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。ブルーラル接続されている場合はブルーラル親機の吸込温度を基準とします。
2. [親機]: 接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。1台のリモコンに、ブルーラル接続が複数接続されている場合は、ブルーラル親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
3. [平均]: 接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

### 3. リモコン機能設定 (つづき)

④ リモコンセンサー

リモコンセンサー

無効

有効

有効(暖房のみ)

有効(冷房のみ)

操作を選択してください。

戻る

室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。

**無効** 室温表示は、本体側センサーになります。

**有効** 室温表示は、リモコン側センサーになります。

**有効(暖房のみ)** 室温表示は、暖房中のみリモコン側センサーになります。

**有効(冷房のみ)** 室温表示は、暖房以外で運転中にリモコン側センサーになります。

設定温度

23.0℃

室温 22℃

本体側センサー温度を表示した場合

設定温度

23.0℃

室温(リモコン) 22℃

リモコン側センサー温度を表示した場合

⑤ リモコンセンサー補正

リモコンセンサー補正

冷房時補正

暖房時補正

操作を選択してください。

戻る

冷房時補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1℃

▲

▼

セット

戻る

リモコンセンサー検知温度の補正ができます。

冷房、暖房共に-3～+3の範囲で設定します。(図は冷房時の場合)

⑥ 運転モード選択

運転モード選択

自動

無効

有効

冷房

無効

有効

暖房

無効

有効

除湿

無効

有効

設定を選択してください。

セット

戻る

各運転モード毎に**有効**・**無効**を設定可能です。冷房または暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

⑦ 温度設定単位

温度設定単位

℃

°F

操作を選択してください。

戻る

設定温度の単位を設定します。

⑧ ファン速度

ファン速度

4速

3速

2速(急-弱)

2速(急-強)

1速

操作を選択してください。

戻る

ファン速度選択の変更が可能です。室内ユニットにより対応できない場合があります。

⑨ 外部入力設定

外部入力設定

個別

全台

操作を選択してください。

戻る

1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、運転/停止に対してCnT入力の範囲を設定できます。

**個別** CnT入力された室内ユニットのみに適用されます。

**全台** リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

⑩ 上下ルーバ制御

上下ルーバ制御

4位置停止

フリー停止

操作を選択してください。

戻る

**4位置停止** 上下吹出ルーバを4段階で設定可能。

**フリー停止** リモコンスイッチ操作直後の位置に停止します。

⑪ 左右ルーバ制御

左右ルーバ制御

固定位置停止

フリー停止

操作を選択してください。

戻る

**固定位置停止** 左右吹出ルーバを8パターンで設定可能。

**フリー停止** リモコンスイッチ操作直後の位置に停止します。

⑫ 換気設定

換気設定

無効

連動

単独操作

操作を選択してください。

戻る

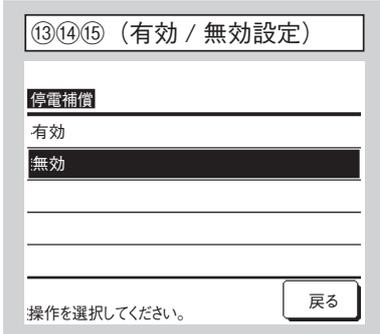
換気機器組合せの設定ができます。

**無効** 接続無し。

**連動** エアコン運転/停止に連動し、換気出力(CnT)に出力します。

**単独操作** メニューから換気を選択により換気単独で運転/停止出力を行います。

### 3. リモコン機能設定 (つづき)



(図は停電保障の場合)

#### ⑬停電保障

運転中に停電した場合、

- 有効** 停電復旧 (電源投入後の制御終了) したい、停電前の状態に戻ります。
- 無効** 停電復旧後、停止します。

#### ⑭設定温度自動設定

- 有効** 室温設定画面から自動の選択が可能になります。
- 無効** 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

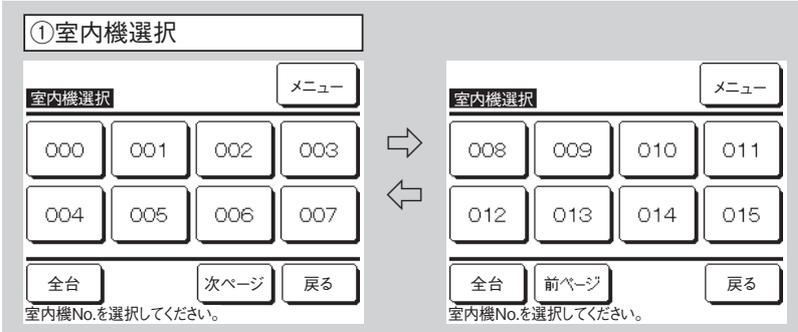
#### ⑮風量自動設定

- 有効** 風量設定画面から自動の選択が可能になります。
- 無効** 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

### 4. 室内機能設定

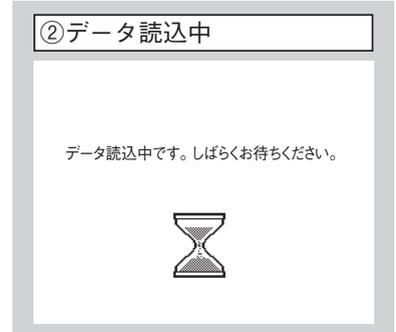
お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP画面 **メニュー** ⇒ **サービス設定** ⇒ **室内設定** ⇒ **サービスパスワード**

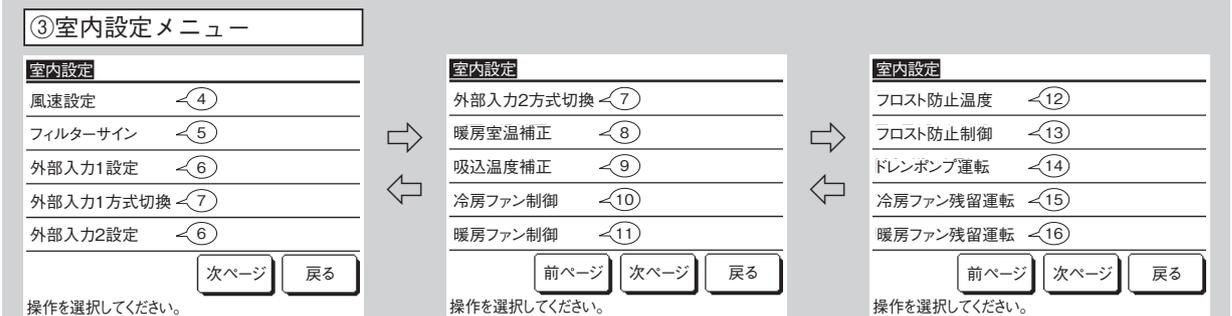


複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。

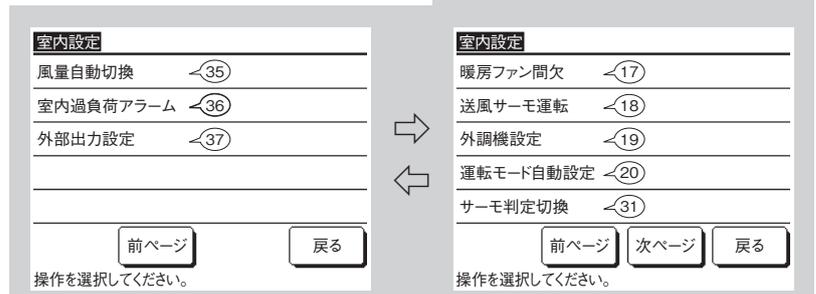
- 000** ~ **015** 各室内ユニット毎に個別設定されます。
- 全台** 全台同一設定されます。



室内ユニットからデータ受信後に③に画面が切り替わります



選択した画面に移ります。





## 4. 室内機能設定 (つづき)

### ⑫ フロスト防止温度

#### フロスト防止温度

温度 低

温度 高

操作を選択してください。

戻る

フロスト防止制御温度の切換ができます。

### ⑬ フロスト防止制御

#### フロスト防止制御

有効

無効

操作を選択してください。

戻る

フロスト防止制御後、ファン速度が

**有効** アップします。

**無効** 変化しません。

### ⑭ ドレンポンプ運転

#### ドレンポンプ運転

通常

暖房時連動運転

暖房/送風時連動運転

送風時連動運転

操作を選択してください。

戻る

**通常** 冷房・除湿時に運転

**暖房時連動** 通常+暖房

**暖房/送風時連動** 全運転中

**送風時連動** 通常+送風

### ⑮⑯ (ファン残留運転)

#### 冷房ファン残留運転

なし

設定1

設定2

設定3

操作を選択してください。

戻る

### ⑮冷房ファン残留運転/⑯暖房ファン残留運転

冷房/暖房の停止またはサーモOFF後のファン残留運転時間を設定します。

**なし** ファン残留運転なし

**設定1** 0.5時間

**設定2** 2時間

**設定3** 6時間

※残留時間が異なる場合があります。

### ⑰暖房ファン間欠

#### 暖房ファン間欠

非連動

20分停止5分送風

5分停止5分送風

操作を選択してください。

戻る

暖房運転、停止またはサーモOFF後のファン制御を設定します。

**非連動** 停止

**20分停止 5分送風** 25分毎に条件チェックして5分送風

**5分停止 5分送風** 10分毎に条件チェックして5分送風

### ⑱送風サーモ運転

#### 送風サーモ運転

無効

有効

操作を選択してください。

戻る

サーキュレーター運転として使用する場合

**無効** 送風時連続運転

**有効** 送風時リモコンと本体の温度差を見て送風運転/停止します。

### ⑲外調機設定

#### 外調機設定

圧力制御標準

圧力制御切換

操作を選択してください。

戻る

マルチシステムにて、外調機の場合に設定します。

**圧力制御標準** 通常

**圧力制御切換** 運転中の室内ユニットが全て、この設定の場合、圧力制御値が変わります。

### ⑳運転モード自動設定

#### 運転モード自動設定

自動1・2・3切換 <21

自動1関連設定 <22

自動2関連設定 <23

自動3関連設定 <24

操作を選択してください。

戻る

### ㉑自動1・2・3切換

#### 自動1・2・3切換

自動1

自動2

自動3

操作を選択してください。

戻る

**自動1** 設定温度と室温の温度差で、冷房/暖房が切替わります。

**自動2** 設定温度と室温の温度差および外気温度で冷房/暖房が切替わります。

**自動3** 室温および外気温度で、冷房/暖房が切替わります。

運転モード自動での冷房/暖房切換方式を3方式から選択できます。



## 4. 室内機能設定 (つづき)

②⑤～③① 運転モード自動に関する温度設定

冷房切換温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲

▼

セット

戻る

(図は冷房切換温度の場合)

### ②⑤冷房切換温度／②⑥暖房切換温度

自動1、自動2で冷房／暖房の切換温度を下記の範囲で設定します。

冷房：1～4℃

暖房：1～4℃

### ②⑦冷房室外温度／②⑧暖房室外温度

自動2、自動3で冷房／暖房の室外温度を下記の範囲で設定します。

冷房：10～30℃

暖房：10～22℃

### ②⑨冷房室内温度／③①暖房室内温度

自動3で冷房／暖房の室内温度を下記の範囲で設定します。

冷房：18～30℃

暖房：10～30℃

③① サーモ判定切換

サーモ判定切換

通常制御/室外温度制御 ←③②

室外温度\_冷房補正 ←③③

室外温度\_暖房補正 ←③④

戻る

操作を選択してください。

③② 通常制御／室外温度制御

通常制御/室外温度制御

通常制御

室外温度制御

戻る

操作を選択してください。

室温制御、サーモ ON / OFF 切換方式・条件を設定します。

**通常制御** 室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。

**室外温度制御** 室外温度±補正值と室内温度でサーモ判定します。

室温設定は無効となります。

③③④ (室外温度\_補正)

室外温度\_冷房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です

2℃

▲

▼

セット

戻る

### ③③室外温度\_冷房補正／③④室外温度\_暖房補正

冷房／暖房のサーモ判定する補正值を下記の範囲で設定します。

冷房：0～10℃ 室内温度 > (室外温度 - 冷房補正值)

暖房：0～5℃ 室内温度 < (室外温度 + 暖房補正值)

③⑤ 風量自動切換

風量自動切換

自動1

自動2

戻る

操作を選択してください。

風量自動の切換範囲を設定

**自動1** 急⇄強⇄弱

**自動2** P 急⇄急⇄強⇄弱

③⑥ 室内過負荷アラーム

室内過負荷アラーム

キャンセル

▲

▼

7℃

セット

戻る

▲▼で温度の変更ができます。

運転開始30分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力 (CnT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。

## 4. 室内機能設定 (つづき)

③7 外部出力設定

外部出力設定 出力先選択

外部出力1
外部出力2
外部出力3
外部出力4

操作を選択してください。

戻る

⇄

外部出力設定 機能選択

運転出力
暖房出力
コンプON出力
点検(異常)出力
冷房出力

操作を選択してください。

次ページ 戻る

設定できる機能

運転出力
暖房出力
コンプ ON 出力
点検 (異常) 出力
冷房出力
ファン運転出力 1
ファン運転出力 2
ファン運転出力 3
デフロスト、油戻し出力
換気出力
ヒータ出力
フリークーリング出力
室内過負荷アラーム出力
冷媒漏洩出力

変更する出力先を選択後、選択した出力に割当てる機能を選択します。  
各出力のコネクタと初期設定は下記です。

外部出力 1	CnT -2 運転出力
外部出力 2	CnT -3 暖房出力
外部出力 3	CnT -4 コンプ ON 出力
外部出力 4	CnT -5 点検 (異常) 出力

詳細は2-11ページを参照願います。

## 5. サービス・メンテナンス方法

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [サービス・メンテナンス] ⇒ [サービスパスワード]

① サービス・メンテナンス メニュー

サービス・メンテナンス

エアコンNo.表示	②
次回点検日	③
運転データ表示	④
点検表示	⑤
室内設定保存	⑩

操作を選択してください。

次ページ 戻る

⇄

サービス・メンテナンス

特殊操作	⑬
室内機容量表示	⑮
お掃除パネル点検	⑯

操作を選択してください。

前ページ 戻る

選択した画面に移ります。

② エアコン No. 表示

エアコンNo.表示

室内機No.	室内機名称	室外機No.
000		
001		
002		
003		
004		
005		
006		

操作を選択してください。

次ページ 戻る

⇄

個別送風運転

送風運転

動作を選択してください。

戻る

8台以上接続の場合は、次ページ以降に表示が出来ます。

室内ユニット選択後 [個別送風] ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。

## 5. サービス・メンテナンス方法（つづき）

### ③次回点検日

次回点検日

▲	▲	▲
年	月	日
2010	/	1
▼	▼	▼

設定なし
セット
戻る

年月日を設定してください。

ご使用期間 0年7ヶ月  
 次回の点検 2020年10月頃  
 連絡先名 ミジビ  
 連絡先TEL 000-000-0000  
 サービスフロントセンター  
 0120-975-365（フリーコール）

次回点検日を入力すると、点検月の運転開始／停止時にメッセージが表示されます。  
 表示は、次回点検日を更新するとリセットされます。  
**設定なし** をタッチするとメッセージは表示されません。

### ④運転データ

運転データ 全更新

室内機 000	室外機	データ	表示
01 運転モード	冷房		✓
02 設定温度	28°C		✓
03 吸込温度	26°C		✓
04 リモコン温度	29°C		✓
05 室内熱交温度1	10°C		

選択表示
次ページ
戻る

表示項目を6つ選択してください。

運転データ

運転モード	冷房
設定温度	28°C
吸込温度	29°C
リモコン温度	28°C
室内熱交温度1	10°C
室内熱交温度2	15°C

戻る

運転データが表示されます。**全更新** タッチで全データが更新されます。  
 データを自動更新させて表示したい場合、6項目まで選択できます。  
 6項目選択後、**選択表示** ボタンをタッチすると画面が変わります。  
 表示する運転データの項目は右表のとおりです。

表示する運転データ

番号	項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
04	リモコン温度
05	室内熱交温度 1
06	室内熱交温度 2
07	室内熱交温度 3
08	室内ファン速度
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内 EEV 開度
12	室内運転時間
13	吹出
14	吸込相对湿度
21	外気温度
22	室外熱交温度 1
23	室外熱交温度 2
24	コンプレッサ回転数
25	高圧圧力
26	低圧圧力
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	電流
30	SH 制御
31	SH
32	TDSH
33	保護制御
34	室外ファン速度
35	63H1
36	デフロスト
37	コンプレッサ運転時間
38	室外 EEV1 開度
39	室外 EEV2 開度

### ⑤点検表示

点検表示

- 異常履歴表示 ⑥
- 異常時運転データ表示 ⑦
- 異常時運転データ消去 ⑧
- 定期点検リセット ⑨

戻る

操作を選択してください。

### ⑥異常履歴表示（例）

異常履歴表示 消去

時刻	室内機	異常コード
2011/01/19 PM 8:57	014	E18
2011/01/19 PM 8:57	015	E15
2011/01/19 PM 8:57	012	E14

戻る

異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。  
**消去** ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

4-51

## 5. サービス・メンテナンス方法 (つづき)

### ⑦ 異常時運転データ表示

異常時運転データ表示	
室内機	000 異常コード E09 室外機
項目	データ
01 運転モード	冷房
02 設定温度	28°C
03 吸込温度	28°C
05 室内熱交温度1	10°C
06 室内熱交温度2	10°C

異常発生直前の運転データが表示されます。表示する運転データの項目は前頁のとおりです。

### ⑧ 異常時運転データ消去

異常時運転データ消去

はい

操作を選択してください。

異常時運転データが消去されます。

### ⑨ 定期点検リセット

定期点検リセット

定期点検をリセットしますか?

はい

設定を選択してください。

定期点検リセット操作により、時間カウントがリセットされます。

### ⑩ 室内設定保存

室内設定保存

室内設定を保存

室内設定自動保存  ⑪

保存データの転送  ⑫

操作を選択してください。

**室内設定を保存** リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。

**室内設定自動保存** 毎日の自動保存時刻を設定します。

**保存データの転送** リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

### ⑪ 室内設定自動保存

室内設定自動保存

設定時刻に室内設定を自動保存します。

▲ AM 0:00 ▼

セット

▲▼で時間を選択し、セットを押してください。

毎日の自動保存時刻を設定します。  
 を選択すると、自動保存は行いません。

### ⑫ 保存データの転送

室内機選択

000	001	002	003
004	005	006	007

室内機No.を選択してください。

転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

### ⑬ 特殊操作

特殊操作

室内機アドレス消去

CPUリセット

初期化設定

タッチパネル調整  ⑭

操作を選択してください。

**室内機アドレス消去** マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。

**CPUリセット** 接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。

**初期化設定** 接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。

**タッチパネル調整** 表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

選択した画面に移ります。

#### お知らせ

室内ユニット基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか？  
 リモコンに室内設定を保存しておく、  
 [保存データの転送]により、保存されたデータが室内ユニットに書込まれます。

## 5. サービス・メンテナンス方法 (つづき)

### ⑭ タッチパネル調整

#### タッチパネル調整

調整開始

調整開始をタッチしてください。

戻る



右下の「+」をタッチしてください。



表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。  
画面の指示にそって、「+」マーク中心をタッチしてください。  
[確定]で終了します。



左上の「+」をタッチしてください。



「+」をタッチして位置を確認してください。



キャンセル

やり直し

確定



### ⑮ 室内機容量表示

#### 室内機容量表示

室内機No.	容量
000	40
001	71
002	80
003	112
004	224
005	280

次ページ

戻る

リモコンに接続されている室内ユニットの容量を表示します。

室内ユニット—室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。

※

### ⑯ お掃除パネル点検

#### お掃除パネル点検

個別点検

位置認識指令

位置合わせ制御

点検お掃除運転

戻る

操作を選択してください。

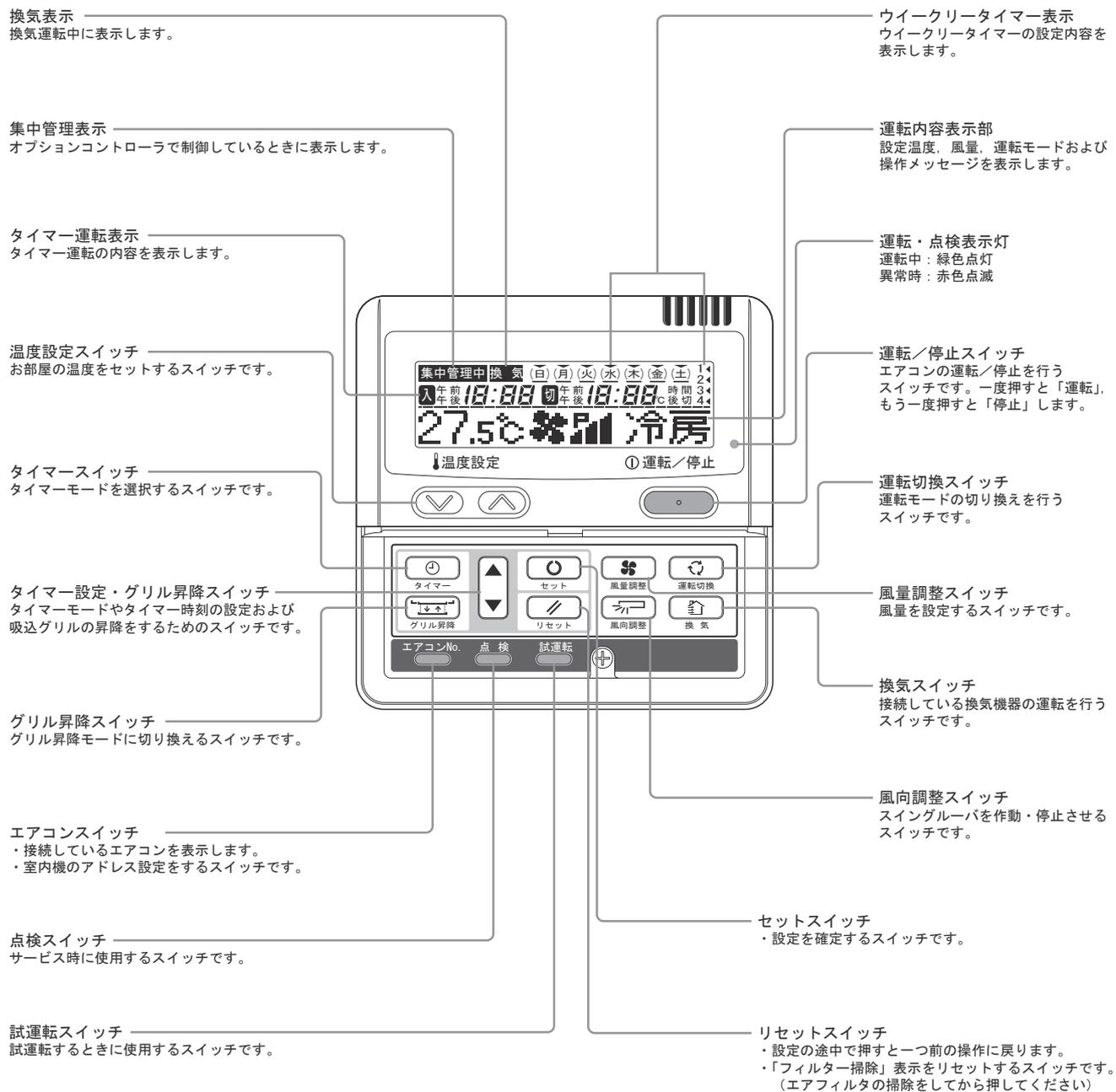
FDTお掃除パネルを組合せる場合に操作できません。詳細は、5-45ページを参照ください。  
(RC-DX3Cのみ)

## (2) RC-D4G リモコンの場合

### (a) リモコンの各部の名前とはたらき

#### ワイヤードリモコン

・下図はカバーを開けた状態を示します。また、液晶表示部は説明のため全表示内容を記載してあります。  
ドット液晶表示部の表示文字は、簡略文字です。  
カバーはつまみを手前に引くと下に開きます。



(b) 機能設定一覧

- (i) 室内ユニットの機能や用途に合わせ、リモコンより機能設定をすることができます。  
 リモコンより設定可能な項目は下記の通りです。  
 「○」印の設定内容が工場出荷時の設定です。  
 「※」印の項目は接続する室内ユニットおよび室外ユニットにより工場出荷時に自動設定されます。
- (ii) 機能設定のながれ  
 開始：エアコン停止状態で [セット] + [運転切換] ボタンを同時に3秒押します。  
 確定： [セット] ボタンを押します。  
 戻る： [リセット] ボタンを押します。  
 選択： [▲] [▼] ボタンを押します。  
 終了： [運転/停止] ボタンを押します。

注(1) 設定の途中で終了しますが、設定が完了していない場合は無効になります。

①【リモコン機能】

機能番号A	機能内容B	設定内容C	出荷時設定	
01	クルル昇降設定	昇降無効	○	
		有効50Hz地区		←50Hz地区で使用の場合。
		有効60Hz地区		←60Hz地区で使用の場合。
02	自動運転設定	自動運転有効	※	←自動運転不可
		自動運転無効		
03	温度設定	温度設定有効	○	
		温度設定禁止		←温度設定ボタンの操作禁止
04	運転切換	運転切換有効	○	
		運転切換禁止		←運転切ボタンの操作禁止
05	運転/停止	運転/停止有効	○	
		運転/停止禁止		←運転/停止ボタンの操作禁止
06	風量切換	風量切換有効	※	←風量調整ボタンの操作禁止
		風量切換禁止		
07	風向切換	風向切換有効	※	←風向調整ボタンの操作禁止
		風向切換禁止		
08	タイマー	タイマー有効	○	
		タイマー禁止		←タイマー操作禁止
09	リモコンセンサ設定	リモコンセンサ無効	○	
		リモコンセンサ有効		
		リモコンセンサ+3.0℃		←リモコンセンサ有効かつ+3.0℃温度補正する。
		リモコンセンサ+2.0℃		←リモコンセンサ有効かつ+2.0℃温度補正する。
		リモコンセンサ+1.0℃		←リモコンセンサ有効かつ+1.0℃温度補正する。
		リモコンセンサ-1.0℃		←リモコンセンサ有効かつ-1.0℃温度補正する。
10	停電補償設定	停電補償無効	○	
		停電補償有効		
11	換気設定	換気なし	○	
		換気連動		←室内基板CNDに換気機器を接続すると、室内ユニットの運転に連動し、換気機器の運転/停止を行います。
		換気連動なし		←室内基板CNDに換気機器を接続すると、換気ボタンの操作により、換気機器が単独で運転/停止を行います。
12	温度範囲設定	表示変更有り	○	←温度設定範囲を変更した場合、設定温度表示は制御に追従し変化します。
		表示変更無し		←温度設定範囲を変更した場合、設定温度表示は制御に追従せず、設定した温度のままとなります。
13	室内ファン	3速HI-ME-LO	※	←ファン風量が、急-強-弱の3速、またはP急-急-強-弱の4速となります。
		2速HI-LO		←ファン風量が、急-弱の2速となります。
		2速HI-ME		←ファン風量が、急-強の2速となります。
		1速		←ファン風量が1速のみで固定されます。
14	ルーバ制御設定	ルーバ4位置停止	※	←ルーバの停止位置は、4位置より選択します。
		ルーバフリー停止		←ルーバの停止位置は、任意の位置に停止します。
15	冷専/ヒーボン	ヒーボン	※	
		冷専		
16	外部入力設定	一台運転	○	←室内基板CnTに外部入力すると、その室内ユニットが単独で外部入力に従い運転します。
		全台同一運転		←室内CnTに外部入力すると、同一リモコンネットワークの全台が、外部入力に従い運転します。
17	室温表示設定	室温表示無し	○	
		室温表示有り		←通常の運転表示において、風量表示の代わりに室温を表示します。
18	暖房準備表示	表示有り	○	
		表示無し		←暖房準備表示を出さないようにします。

注(1) ルーバ制御設定を変更する場合は、②室内機能04番「ルーバ制御設定」も変更してください。

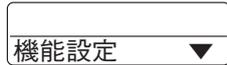
②【室内機能】

機能番号 A	機能内容 B	設定内容 C	出荷時設定	
02	高天井設定	標準	※	←機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。
		高天井1		
		高天井2		
03	フィルターサイン設定	表示なし	○	←180時間でフィルターサインを表示します。 ←600時間でフィルターサインを表示します。 ←1000時間でフィルターサインを表示します。 ←1000時間でフィルターサインを表示し、その後24時間経過したら強制停止します。
		設定1		
		設定2		
		設定3		
		設定4		
04	ルーバ制御設定	ルーバ4位置停止	※	←ルーバの停止位置は、4位置より選択します。 ←ルーバの停止位置は、任意の位置で停止します。
		ルーバフリー停止		
05	外部入力切換	レベル入力	○	
		パルス入力		
06	運転許可/禁止	無効	○	
		有効		←運転許可/禁止制御を有効にします。
07	緊急停止	無効	○	
		有効		←同一室外ユニットに接続された全室内ユニットを緊急停止させる時に使用します。遠方発停端子「CnT-6」から停止信号が入った場合、全室内ユニットが緊急停止します。
08	暖房室温補正	補正なし	○	
		室温補正+1.0℃		←暖房時の設定温度を+1.0℃補正します。
		室温補正+2.0℃		←暖房時の設定温度を+2.0℃補正します。
		室温補正+3.0℃		←暖房時の設定温度を+3.0℃補正します。
09	吸込温度補正	吸込補正+2.0℃		←室内ユニットの吸込温度を+2.0℃補正します。
		吸込補正+1.5℃		←室内ユニットの吸込温度を+1.5℃補正します。
		吸込補正+1.0℃		←室内ユニットの吸込温度を+1.0℃補正します。
		補正なし	○	
		吸込補正-1.0℃		←室内ユニットの吸込温度を-1.0℃補正します。
		吸込補正-1.5℃		←室内ユニットの吸込温度を-1.5℃補正します。
		吸込補正-2.0℃		←室内ユニットの吸込温度を-2.0℃補正します。
10	暖房ファン制御	弱風	○	←暖房サーモOFF時、弱風で運転します。
		設定風量		←暖房サーモOFF時、設定風量で運転します。(電気集塵機を取付けた場合は「設定風量」に設定してください。)
		間欠		←暖房サーモOFF時、間欠運転します。
		停止		←暖房サーモOFF時、ファンは停止します。(リモコンセンサ有効時は、自動的に「停止」に設定されます。本体サーモの時は、設定しないでください。)
11	フロスト防止温度	温度 高	○	
		温度 低		
12	フロスト防止制御	ファン制御有効	○	←フロスト防止制御時に、室内ファンタップを上げます。
		ファン制御無効		
13	ドレンポンプ	標準	○	←冷房・除湿時ドレンポンプON
		暖房		←冷房・除湿+暖房時ドレンポンプON
		暖房 送風		←冷房・除湿+暖房+送風時ドレンポンプON
		送風		←冷房・除湿+送風時ドレンポンプON
14	冷房ファン運転	連動なし	○	←冷房停止または冷房サーモOFF後、ファン残留運転なし。
		0.5時間		←冷房停止または冷房サーモOFF後、0.5時間ファン残留運転する。
		1時間		←冷房停止または冷房サーモOFF後、1時間ファン残留運転する。
		6時間		←冷房停止または冷房サーモOFF後、6時間ファン残留運転する。
15	暖房ファン運転	連動なし	○	←暖房停止または暖房サーモOFF後、ファン残留運転なし。
		0.5時間		←暖房停止または暖房サーモOFF後、0.5時間ファン残留運転する。
		2時間		←暖房停止または暖房サーモOFF後、2時間ファン残留運転する。
		6時間		←暖房停止または暖房サーモOFF後、6時間ファン残留運転する。
16	暖房ファン間欠	連動なし	○	
		20休5送風		←暖房停止または暖房サーモOFF後、ファンは20分OFF5分弱風の間欠運転。
		5休5送風		←暖房停止または暖房サーモOFF後、ファンは5分OFF5分弱風の間欠運転。
17	外機制御	圧力制御標準	※	←吸気処理室内ユニットを接続すると、圧力制御切換に自動的に設定されます。
		圧力制御切換		

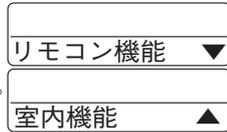
注(1)ルーバ制御設定を変更する場合は、①リモコン機能14番「ルーバ制御設定」も変更してください。

### (iii) 機能設定の仕方

- 1) エアコンを停止させて、**セット**と**運転切換**ボタンを同時に長押しする。  
表示が「機能設定 ▼」となります。



- 2) **セット** ボタンを押す。  
3) 設定したい内容が【リモコン機能】か【室内機能】かを確認する。  
4) **▲**または**▼**ボタンを押す。  
【リモコン機能▼】または【室内機能▲】を選びます。



- 5) **セット** ボタンを押す。

- 6) 【リモコン機能】を選んだ場合

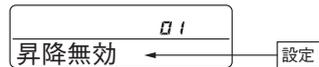
- ① 「データ確認中」(約2秒間点滅表示)

「01 グリル昇降設定」と表示が切り替わります。

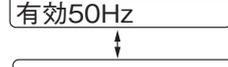


- ② **▲**または**▼**ボタンを押す。  
リモコン機能一覧表の「番号と機能」が順番に表示されますので、機能を選びます。

- ③ **セット** ボタンを押す。  
選択した機能の、現在の設定が表示されます。  
(例)「昇降無効」 ← 「01 グリル昇降設定」を選択した場合。



- ④ **▲**または**▼**ボタンを押す。  
設定を選びます。



- ⑤ **セット** ボタンを押す。  
「設定完了」が表示され、設定が完了します。その後、「番号と機能」の表示に戻りますので、続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。  
終了する場合は、7)へお進みください。

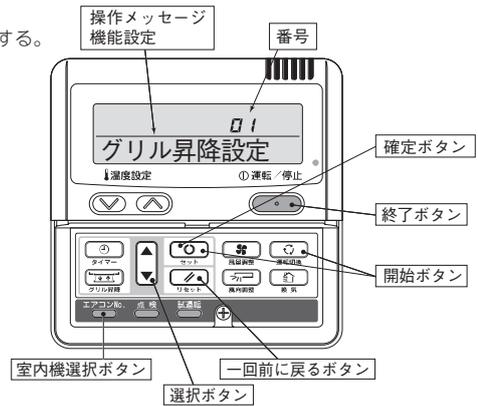


- 7) **運転/停止** ボタンを押します。  
設定を終了します。

- ・設定の途中で、**運転/停止**ボタンを押しても終了します。ただし、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- ・設定途中で、**リセット**ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。
- ・セット内容は、コントローラ内部に記憶され停電しても保存されています。

#### 《現在設定の確認方法》

上記操作により、「番号と機能」を選び、**セット** ボタンを押した時に、最初に表示される「設定」が、現在設定されている内容です。  
(ただし、「全台▼」を選んだ場合は、室内番号の最も若い機種の設定が表示されます。)



- 6) 【室内機能】を選んだ場合

- ① 「データ確認中」(データを読み込む間約2~23秒点滅)

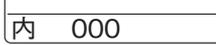
「01 お掃除自動」と表示が切り替わります。

② へお進みください。

(注意)

(1) 室内ユニットをリモコンに複数台接続している場合は、下記表示となります。

「内 000」(点滅) ← 接続されている室内ユニットの最も若い番号を表示。

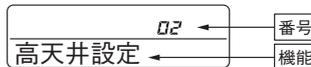


- (2) **▲**または**▼**ボタンを押す。  
設定したい室内ユニットの番号を選びます。  
「全台▼」を選択すると、全台同一の設定ができます。

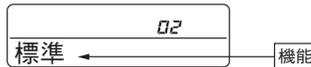
- (3) **セット** ボタンを押す。

- ② **▲**または**▼**ボタンを押す。  
室内機能一覧表の「番号と機能」が順番に表示されますので、機能を選びます。

(例)

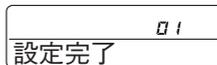


- ③ **セット** ボタンを押す。  
選択した機能の、現在の設定が表示されます。  
(例)「標準」 ← 「02 高天井設定」を選択した場合。



- ④ **▲**または**▼**ボタンを押す。設定を選びます。

- ⑤ **セット** ボタンを押す。  
「設定完了」が表示され、設定が完了します。その後、「番号と機能」の表示に戻りますので、続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。終了する場合は、7)へお進みください。



※室内ユニット複数台接続時、**エアコンNo.**ボタンを押すと室内ユニット選択表示(例「内 000」)に戻りますので、室内ユニットを換えて設定する場合は、同じ要領で設定してください。

#### (iv) リモコン設定温度範囲の変更

工場出荷時の設定温度範囲は、運転モードによって異なり下記のようになっています。

暖房時：18～28℃

暖房以外(冷房、送風、除湿、自動)：20～30℃

##### 1) リモコンから、設定温度の上限および下限を設定することができます。

- ・ 上限値設定…暖房運転時に有効。20～30℃の範囲で設定可能です。
- ・ 下限値設定…暖房以外(自動、冷房、送風、除湿)時に有効。18～26℃の範囲で設定可能です。

本機能により、上限および下限を設定した場合、下記制御となります。

##### a) 機能設定モードの【リモコン機能】⑫温度範囲設定が<表示変更有り>のとき(工場出荷時設定)

[上限値を設定すると]

###### ① 暖房時、リモコンから上限値より高い温度が設定された場合:

30分間設定値温度で運転し、その後自動的に上限値温度を送信します。リモコン表示もそれに付随します。

###### ② 暖房時、上限値以下の温度が設定された場合:

設定温度を送信します。

[下限値を設定すると]

###### ① 暖房以外の運転モードのとき、リモコンから下限値より低い温度が設定された場合:

30分間設定温度で運転し、その後自動的に下限値温度を送信します。リモコン表示もそれに付随します。

###### ② 暖房以外の運転モードのとき、下限値以上の温度が設定された場合:

設定温度を送信します。

##### b) 機能設定モードの【リモコン機能】⑫温度範囲設定が<表示変更無し>のとき

[上限値を設定すると]

###### ① 暖房時、リモコンから上限値より高い温度が設定された場合:

上限値を送信します。ただし、リモコン表示はそれに付随せず、設定した温度のままです。

###### ② 暖房時、上限値以下の温度が設定された場合:

設定温度を送信します。

[下限値を設定すると]

###### ① 暖房以外の運転モードのとき、リモコンから下限値より低い温度が設定された場合:

下限値を送信します。ただし、リモコン表示はそれに付随せず、設定した温度のままです。

###### ② 暖房以外の運転モードのとき、下限値以上の温度が設定された場合:

設定温度を送信します。

##### 2) 上限値、下限値の設定方法

##### a) エアコンを停止させて、**セット**と**運転切換** ボタンを同時に3秒以上押します。

表示が「機能設定▼」となります。

##### b) **▼** ボタンを一度押し、「温度範囲▲」表示に切替えます。

##### c) **セット** ボタンを押して、温度範囲設定モードに入ります。

##### d) **▲▼** ボタンにより、「上限設定▼」または「下限設定▲」を選びます。

##### e) **セット** ボタンを押して確定します。

##### f) 「上限設定▼」を選んだ場合(暖房時に有効となります)

① 表示:「▼▲で設定」→「上限28℃▼▲」

② 温度設定 **▲▼** ボタンにより、上限値を選びます。表示例:「上限26℃▼▲」(点滅)

③ **セット** ボタンを押して確定します。表示例:「上限26℃」(2秒間点灯)

確定した上限値を2秒間点灯後、表示は「上限設定▼」に戻ります。

##### g) 「下限設定▲」を選んだ場合(冷房、除湿、送風時に有効となります。)

① 表示:「▼▲で設定」→「下限20℃▼▲」

② 温度設定 **▲▼** ボタンにより、下限値を選びます。表示例:「下限24℃▼▲」(点滅)

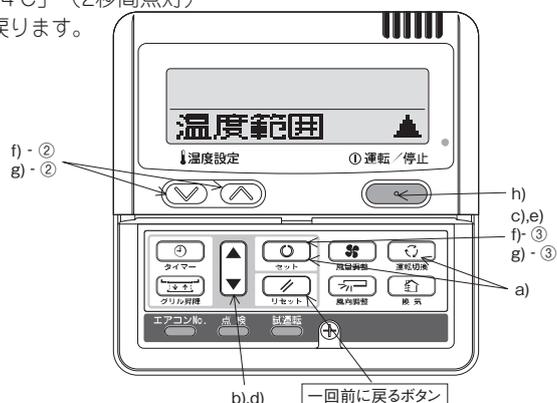
③ **セット** ボタンを押して確定します。表示例:「下限24℃」(2秒間点灯)

確定した下限値を2秒間点灯後、表示は「下限設定▲」に戻ります。

##### h) **運転/停止** ボタンを押して、終了します。

設定の途中で**運転/停止** ボタンを押しても終了します。ただし、設定が完了していない内容は無効となりますので、ご注意ください。

設定の途中で、**リセット** ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。



## 4-2 主な設定操作

### (1) ドレンポンプ強制運転

ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。

リモコンを次の手順で操作してください。

#### (a) RC-DX3C リモコンの場合

##### 1) ドレンポンプ試運転の開始

- ① TOP画面の「メニュー」→「サービス設定」→「据付設定」を選択し、「サービスパスワード」を入力します。
- ② 「据付設定メニュー#1」より「試運転」を選択し、「ドレンポンプ試運転」と順に選択すると「運転」/「停止」画面が表示されます。
- ③ 「運転」を選択するとドレンポンプ試運転を開始します。

##### 2) ドレンポンプ運転の解除

画面の「停止」を選択または、リモコンの「運転/停止」ボタンを押すとドレンポンプ試運転を解除し、エアコンは停止状態となります。

注(1) リモコンの設定画面については、4-41ページの2項据付設定試運転をご覧ください。

#### (b) RC-D4G リモコンの場合

##### 1) ドレンポンプ強制運転の開始

- ① 「試運転」ボタンを3秒以上押し、「冷房試運転 ▼」となります。
- ② ▼ ボタンを一度押し、「ドレンポンプ運転 ▲」を表示させます。
- ③ 「セット」ボタンを押すと、ドレンポンプ運転を開始します。  
表示：「セットで停止」

##### 2) ドレンポンプ運転の解除

- ① 「セット」ボタン又は、「運転/停止」ボタンを押すと、ドレンポンプ強制運転を解除します。  
エアコンは停止状態となります。

注(1) リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作は出来ません。)

### (2) ポンプダウン運転

運転停止中に、ポンプダウンスイッチ(SW1)によりポンプダウン運転が可能です。

ポンプダウン運転を行う場合、下記の手順で行ってください。

- 1) 運転が停止していることを確認し、液側操作弁を閉めてください。この時、ガス側操作弁が開いていることを確認してください。
- 2) ポンプダウンスイッチをONに設定することでポンプダウン運転をはじめます。室外基板上の赤・緑LEDが連続点滅します。
- 3) 約5分後運転が停止しますので、その後ガス側操作弁を閉めてください。ポンプダウン運転が終了すると、赤LEDは消灯、緑LEDは点滅に変わります。  
再度ポンプダウン運転を行う場合は、上記1)～3)の手順で行ってください。

ご注意：ポンプダウンスイッチを押すと、室内ユニットとの通信をキャンセルするため、室内ユニットおよびリモコンには「伝送異常・E5」が表示されますが、異常ではありません。

### (3) ラクリーナパネルの設定〔ラクリーナパネルのみ〕

#### (a) グリル自動昇降の設定

##### 1) ワイヤードリモコンの場合

##### a) RC-DX3C リモコンの場合

#### ご注意

ワイヤードリモコンでラクリーナパネル使用時は、取付時に必ず「グリル昇降操作」で有効を行ってください。工場出荷時はグリル昇降の設定が未設定となっていますので、グリル昇降ができません。据付地域の電源周波数に合わせ、50Hz地区または60Hz地区のどちらかを選ことにより有効設定となります。

TOP画面の「メニュー」より→「サービス設定」より→「据付設定」を選択し、「サービスパスワード」入力→「据付設定メニュー#2」より「グリル昇降操作」を選択し、「有効50Hz」または「有効60Hz」を選択してください。これでグリル昇降の有効設定は完了です。

b) RC-D4Gリモコンの場合

**ご注意**

ワイヤードリモコンでラクリーナパネル使用時は、取付時必ずグリル昇降有効設定を行ってください。工場出荷時はグリル昇降「無効」になっていますので、グリル昇降ができません。据付地域の電源周波数に合わせて、50Hz 地区または 60Hz 地区のどちらかを選んで設定してください。

- ① エアコン停止状態で、**セット** ボタンと **グリル昇降** ボタンを同時に長押ししてください。
- ② **▼** または **▲** ボタンにより設定を選択してください。  
表示：「昇降無効」⇔「有効 50Hz」⇔「有効 60Hz」
- ③ **セット** ボタンを押す。  
表示が「設定完了」となります。その後リモコンは停止状態になります。



2) ワイヤレスキットの場合

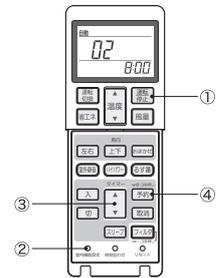
**ご注意**

ワイヤレスキットでラクリーナパネル使用時は、電源周波数の設定をワイヤレスリモコンを用いて必ず行ってください。(初期設定は 60Hz)

**室内機能設定**

a) 室内機能設定のしかた

- ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
- ② 室内機能設定スイッチを押しながら、b) 項に示すボタンを押す。
- ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
- ④ 予約ボタンを押す。  
リモコン信号受信部より、ピピッと 2 回ブザーが鳴り、LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



b) 設定内容

ボタン	番号表示部	機能設定
運転 / 停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

(b) **グリル降下長さの設定**

1) RC-DX3Cリモコンの場合

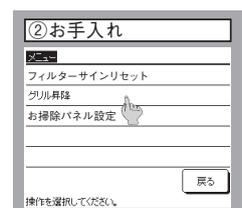
ワイヤードリモコンを用いて0.1m刻みに4mまで昇降長を設定することができます。ラクリーナパネル取付時昇降長さを下記方法で設定してください。

〔操作方法〕

- ① TOP画面の「メニュー」より → 「お手入れ」 → 「グリル昇降」を選択します。

**運転中のエアコンは自動的に停止します。**

リモコンに接続している室内ユニットが1台の場合は、③ 項へお進みください。

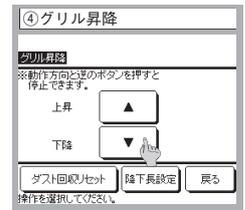


- ② リモコンに接続している室内ユニットが複数台の場合、「室内機選択」画面が表示されますので、グリル昇降させる室内ユニットNo.をタッチしてください。接続している室内ユニット全台を同じ設定にする場合は、**全台** ボタンをタッチしてください。

注(1) 室内ユニット選択画面には、8台まで表示します。9台以上接続している場合は、**次ページ** ボタンをタッチしてください。9台目以降の室内ユニットが表示されます。



- ③ ▼ ボタンをタッチしてください。  
 ▼ ボタンをタッチすると、吸込グリルが降下します。降下を途中で止めるときは、▲ ボタンをタッチしてください。  
 吸込グリルの降下長を設定するときは、**降下長設定** ボタンをタッチしてください。  
 吸込グリル収納時は、▲ ボタンをタッチしてください。収納後、自動的に停止します。上昇を途中で止めるときは、▼ ボタンをタッチしてください。



- ④ 吸込グリルの降下長を設定します。  
 ▲ ▼ ボタンにより、降下長を0.1m単位で設定できます。  
 降下長設定範囲：0.1m～4.0m  
 注(1) 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。



- ⑤ 降下長設定後、**セット** ボタンをタッチしてください。設定が完了します。



## 2) RC-D4G リモコンの場合

ワイヤードリモコンを用いて 10cm 刻みに 4m まで昇降長さを設定することができます。  
 ラクリーナパネル取付時、昇降長さを下記方法で設定してください。(工場出荷時 2.0m 設定)

### [操作方法]

- ① **グリル昇降** ボタンを押す。  
 リモコンに接続されている室内ユニットが一台の場合、表示が「◆で昇降する」となります。⑤項へお進みください。
  - ② リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレスが表示されます。[例]「室内機選択◆」→「内 000 ▲」(点滅)
  - ③ ▲ ▼ ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
  - ④ **セット** ボタンにより確定します。(室内アドレスが点滅から点灯に変わります。)  
 「全台▼」を選択すると、接続されている室内ユニット全台が、同一の設定となります。  
 「内 001」(選択した室内アドレスを 2 秒間点灯)
- ↓
- 「◆で昇降する」
- ⑤ 「◆で昇降する」表示の時に、**セット** ボタンを押すと、「データ確認中」と表示されます。  
 「データ確認中」(データを読み込む間、点滅表示)
- ↓
- 「降下 2.0m ◆」(現在の設定値を表示)
- ⑥ ▲ ▼ ボタンにより降下長を選びます。
  - ⑦ **セット** ボタンにより確定します。  
 選択した降下長を室内ユニットへ送信する間点灯し、「◆で昇降する」表示に戻ります。  
 [例]「降下 1.5m」(室内ユニットへ送信する間点灯)
- ↓
- 「◆で昇降する」
- ⑧ **運転/停止** ボタンを押すと、降下長設定モードを終了します。(設定の途中で、**運転/停止** ボタンを押しても終了します。ただし、設定が完了していない内容は無効となりますので、ご注意ください。)
- ・設定の途中で、**リセット** ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。ただし、設定が完了していない内容は無効となりますので、ご注意ください。
  - ・設定内容は、コントローラに記憶されていますので、停電しても保存されます。
- ◎リモコン 1 台で 2 台以上の室内ユニットを運転する場合は、室内ユニット毎に設定が必要です。  
 ◎リモコン 2 台で室内ユニットを運転する場合は、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

#### (4) 風向設定のしかた

- ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると、ルーバは、設定された上限位置と下限位置の間で動作します。

注(1) 風向設定は機種によって表示や操作が変わります。

- FDTシリーズを使用の場合、各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

##### (a) RC-DX3Cリモコンの場合

各吹出口のルーバの動作範囲（上限位置・下限位置）を、ご希望の範囲に設定します。

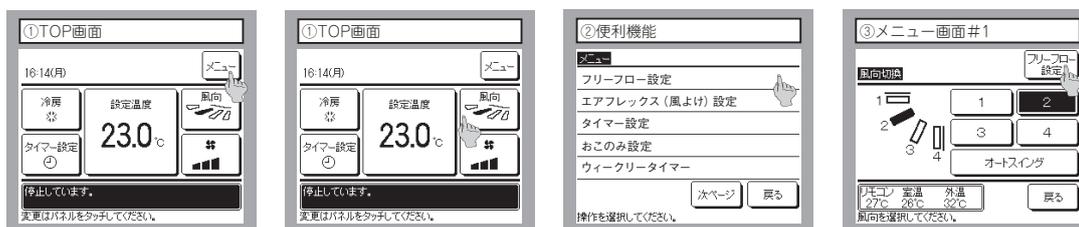
- リモコンが子リモコンに設定されている場合、フリーフロー設定はできません。
- フリーフロー設定の内容を変更する場合は、エアコンを停止させてください。

〔操作方法〕

- TOP画面の「メニュー」→「便利機能」または「風向」より「フリーフロー設定」を選択し「風向切換」画面を表示させます。「風向切換」画面で「フリーフロー設定」ボタンをタッチしてください。

リモコンに接続している室内ユニットが1台の場合は、3) 項へお進みください。

注(1) 管理者パスワード入力画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力してください。



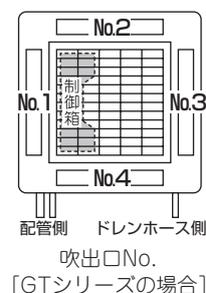
- リモコンに接続している室内ユニットが複数台の場合、「室内機選択」画面が表示されますので、グリル昇降させる室内ユニットNo.をタッチしてください。接続している室内ユニット全台を同じ設定にする場合は、「全台」ボタンをタッチしてください。

注(1) 室内機選択画面には、8台まで表示します。9台以上接続している場合は、「次ページ」ボタンをタッチしてください。9台目以降の室内ユニットが表示されます。



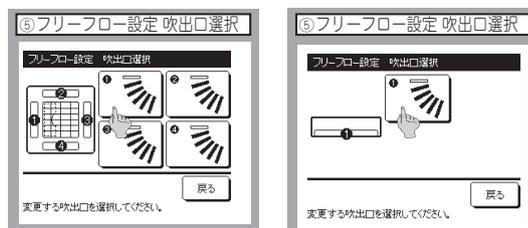
- ルーバの動作範囲を変更する吹出口No.を選択してください。

- GTシリーズのように吹出口のルーバが複数あり、設定したい吹出口No.がわからない場合は、仮に、任意の吹出口のルーバの上下限位置を設定してください。設定完了後、設定した吹出口のルーバが停止位置から下限位置まで1度動きますので、吹出口位置が確認できます。吹出口位置確認後、再度、設定したい吹出口No.を選択してください。
- GE, GKシリーズのように吹出口のルーバが1つ場合、設定可能なルーバのみ表示されます。



GTシリーズ

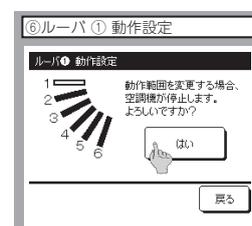
GE, GKシリーズ



- エアコンが運転中の場合、運転停止の確認画面が表示されます。

「はい」をタッチしてユニットを停止させてください。

注(1) エアコン運転中に「フリーフロー設定」を変更することができません。エアコンを停止できない場合は、「運転/停止」スイッチを押すか、「戻る」ボタンでフリーフロー設定を解除してください。



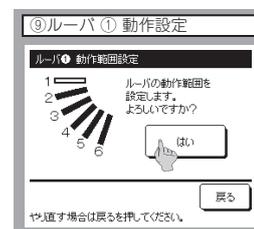
- 5) ルーバ動作範囲の上限位置 [1]～[6] を選択してください。  
画面上には、選択した上限位置を表示します。選択後、**セット** ボタンをタッチしてください。



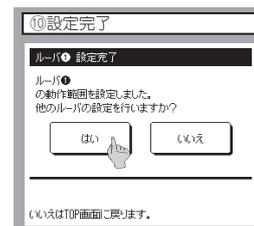
- 6) ルーバ動作範囲の下限位置 [1]～[6] を選択してください。  
画面上には、選択した上限位置と下限位置から動作範囲を表示します。選択後、**セット** ボタンをタッチしてください。



- 7) ルーバ動作範囲の確認画面が表示されます。  
設定内容に変更がない場合は、**はい** ボタンをタッチしてください。変更がある場合は、**戻る** ボタンをタッチしてください。



- 8) 設定完了の確認画面を表示します。  
i) 他の吹出口ルーバの動作範囲を変更する場合は、**はい** ボタンをタッチして (c)項より再度、他の吹出口ルーバの動作範囲を変更してください。  
ii) 設定を終了する場合は、**いいえ** ボタンをタッチしてください。  
TOP画面へ戻ります。



### お知らせ

- ・ 上限位置と下限位置を同じ位置に設定すると、ルーバはその位置で固定され、オートスイングをしても動きません。
- ・ 設定の途中で、**戻る** ボタンをタッチすると、1回前の表示に戻ります。また、設定の途中で、**運転/停止** スイッチを押すと、本モードを終了し元の表示に戻ります。ただし、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。

注(1) 親・子リモコンを接続時、風向の設定は親リモコン側から設定してください。子リモコン側からの風向設定はできません。  
注(2) ワイヤレスリモコンを使用する場合は、風向設定の変更ができませんので、ワイヤードリモコンを接続して行なってください。

(b) RC-D4G リモコンの場合

- 1) エアコンを停止させて、**セット** ボタンと **風向調整** ボタンを同時に 3 秒以上押す  
リモコンに接続されている室内ユニットが 1 台の場合、下記の表示がでます。その後、4) 項へお進みください。

「データ確認中」



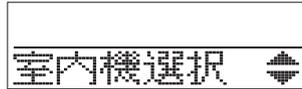
「ルーバ No.1 ▲」

- リモコンに接続されている室内ユニットが複数の場合、下記の表示がでます。風向設定をする室内ユニットを選択します。2) 項へお進みください。

「室内機選択◆」



「内 000 ▲」



- 2) ▲ または ▼ ボタンを押す (室内機選択)  
風向設定する室内ユニットを選択してください。

【例】

「内 000 ▲」⇔「内 001 ◆」⇔「内 002 ◆」⇔「内 003 ◆」

- 3) **セット** ボタンを押す (室内機決定)

選択した室内ユニットが確定します。

【例】

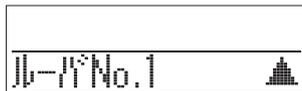
「内 001」(2 秒間点灯)



「データ確認中」



「ルーバ No.1 ▲」



- 4) ▲ または ▼ ボタンを押す (ルーバ No. 選択)  
右図を参照して、設定するルーバ No. を選択してください。

【例】

「ルーバ No.1 ▲」⇔「ルーバ No.2 ◆」⇔「ルーバ No.3 ◆」  
⇔「ルーバ No.4 ▼」

注(1) GE シリーズの場合は「ルーバ No.1 ▲」を選んでください。その他のルーバ No. を設定しても無効となります。

- 5) **セット** ボタンを押す (ルーバ No. 決定)

ルーバ作動範囲の上限位置を選択します。

【例】 No.1 のルーバを選択した場合

「No.1 上位置 2 ◆」 ←現在の上限位置を表示します。

- 6) ▲ または ▼ ボタンを押す (上限位置選択)

ルーバの上限位置を選択します。

「位置 1」が最も水平で、「位置 6」が最も下向きとなります。

「位置 --」は、出荷時の位置に戻すための番号です。出荷時状態に戻す場合は、「位置 --」を選択してください。

「No.1 上位置 1 ▼」(最も水平)

⇔「No.1 上位置 2 ◆」

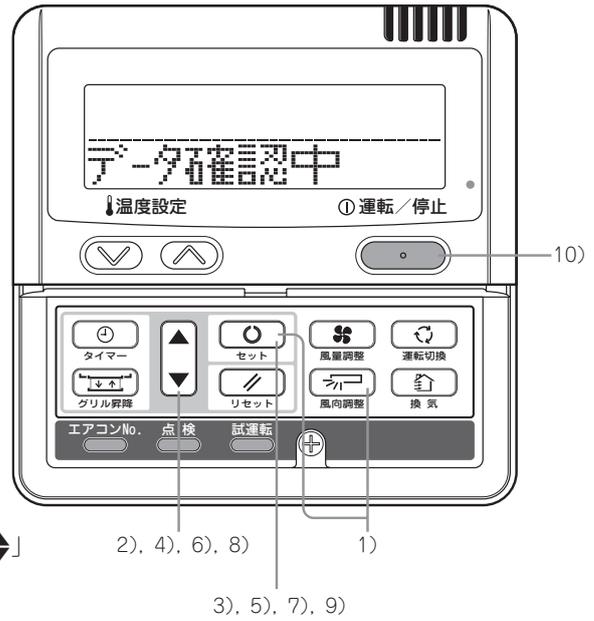
⇔「No.1 上位置 3 ◆」

⇔「No.1 上位置 4 ◆」

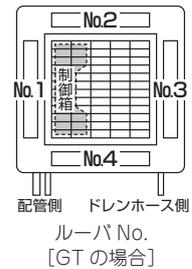
⇔「No.1 上位置 5 ◆」

⇔「No.1 上位置 6 ◆」(最も下向き)

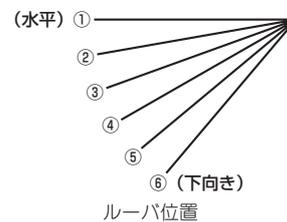
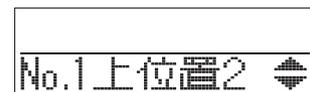
⇔「No.1 上位置 -- ▲」(出荷時の位置へ戻る)



- GT シリーズにおいて、設定したいルーバ No. がわからない場合は、仮に、任意のルーバの上下限位置を設定してください。設定完了後、設定したルーバが停止位置から下限位置まで 1 度動きますので、ルーバ位置が確認できます。ルーバ位置確認後、再度、設定したいルーバ No. を選択してください。



- GE シリーズの場合は、ルーバ No.1 を設定してください。その他のルーバ No. を設定しても無効となります。



- 7) **セット** ボタンを押す (上限位置決定)  
 上限位置が確定し、設定位置を 2 秒間表示します。その後、  
 下限位置選択表示となります。

[例]

「No.1 上 2」 ← 確定内容を 2 秒間表示



「No.1 下位置 5」 ← 現在の下限位置を表示します。

- 8) **▲** または **▼** ボタンを押す (下限位置選択)

ルーバの下限位置を選択します。

「位置 1」が最も水平で、「位置 6」が最も下向きとなります。

「位置 --」は、出荷時の位置に戻すための番号です。出荷時状態に戻す場合は、「位置 --」を選択してください。

「No.1 下位置 1 ▼」(最も水平)

⇔ 「No.1 下位置 2 ◆」

⇔ 「No.1 下位置 3 ◆」

⇔ 「No.1 下位置 4 ◆」

⇔ 「No.1 下位置 5 ◆」

⇔ 「No.1 下位置 6 ◆」(最も下向き)

⇔ 「No.1 下位置 -- ▲」(出荷時の位置へ戻る)

- 9) **セット** ボタンを押す (下限位置決定)

上限位置、下限位置が確定し、設定位置を 2 秒間点灯し、設定完了となります。

・設定完了後、設定したルーバ No. のルーバが、停止位置から下限位置まで移動し、その後停止位置に戻ります。(ただし、リモコンが停止モードであっても、ファン残留運転等で、室内ユニットが運転している場合は、本動作はしません。)

[例]

「No.1 上 2 下 6」 ← 確定内容を 2 秒間表示



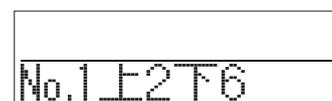
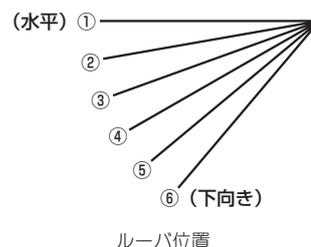
「設定完了」



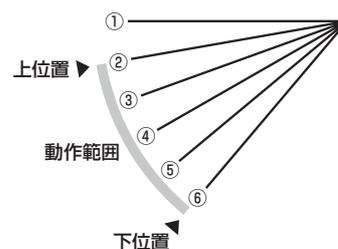
「ルーバ No.1 ▲」 ← 選択したルーバ No. 表示へ戻る。

- 10) **運転/停止** ボタンを押す

風向設定モードを終了し、元の表示に戻ります。



[例] 上位置 2 下位置 6 の場合



(注) 上限値と下限値を同じ位置に設定すると、ルーバはその位置で固定され、オートスイングをしても動きません。

### お知らせ

- 上限値と下限値を同じ位置に設定すると、ルーバはその位置で固定され、オートスイングをしても動きません。
- 設定の途中で、**リセット** ボタンを押すと、1 回前の表示に戻ります。また、設定の途中で、**運転/停止** ボタンを押すと、本モードを終了し元の表示に戻ります。ただし、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- リモコンが親子接続されている場合、子リモコンでは、風向設定操作はできません。
- ワイヤレスキット、ワイヤレスリモコンで操作する場合は、風向設定の変更ができませんので、ワイヤードリモコンを接続して行なってください。(ワイヤレスリモコンでの風向設定の変更はできません。)

## 5 別売部品編の目次

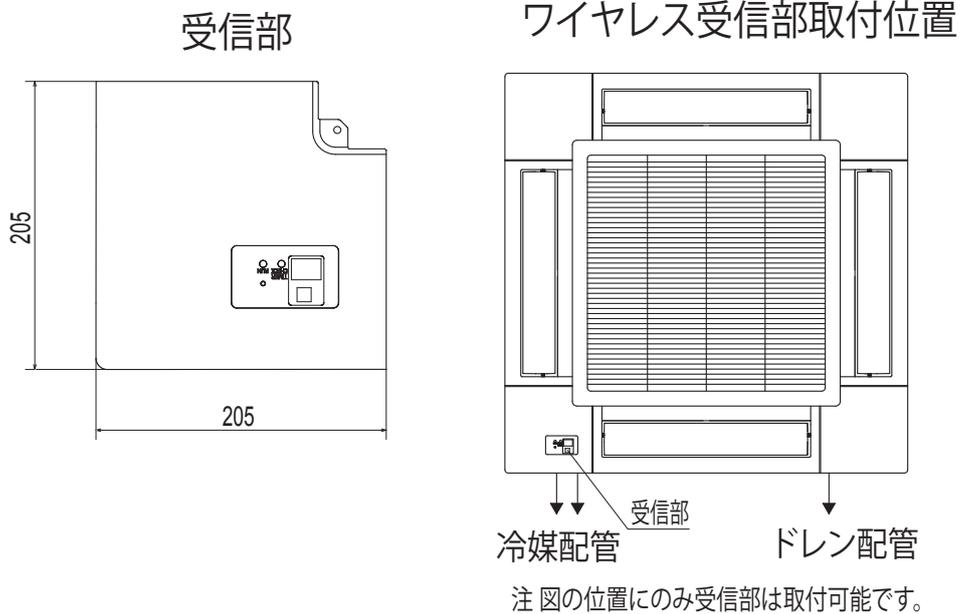
1. ワイヤレスキット .....	5-2
2. ワイヤレスキット (別置) (RCN-KIT4) .....	5-12
3. 人感センサキット (別置) (LB-KIT2) .....	5-22
4. コンパクトリモコン (RCH-D3) .....	5-32
5. ラクリーナ用リモコン (CRC-L) .....	5-36
6. スーパーリンクアダプタ (SC-ADNA) .....	5-36
7. お掃除ラクリーナパネル (T-PSCLS-5BW/D) .....	5-38

# 1. ワイヤレスキット

ワイヤレスリモコン (RCN-D5) ・ ワイヤレス受信部 (LA-T-5BW1, LA-T-5SB1)

(1) 仕様

PJF000Z631



受信部基板上のスイッチ設定

SW 1	複数台設置時の 混信誤動作防止	<input type="checkbox"/> ON:通常	<input type="checkbox"/> OFF:切換
SW 2	受信部の親子切換	<input type="checkbox"/> ON:親	<input type="checkbox"/> OFF:子
SW 3	ブザー音	<input type="checkbox"/> ON:有り	<input type="checkbox"/> OFF:無し
SW 4	停電補償	<input type="checkbox"/> ON:有効	<input type="checkbox"/> OFF:無効

出荷時設定:  で囲まれた設定

- お願い
- ワイヤレスリモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
  - 操作距離は受信部照明度、部屋壁面の反射状態により変化します。
  - 受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。

### ワイヤレス受信部の据付

ワイヤレス受信部を下記場所に設置しないでください。  
ワイヤレス受信部の故障や変形の原因になることがあります。

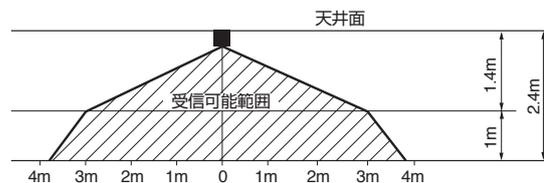
- (1) 直射日光の当たる場所
- (2) 発熱器具の近く
- (3) 湿気の多い所・水の掛る所
- (4) 取付面が発熱・結露する場所
- (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
- (6) 取付面に凹凸がある所
- (7) 室内ユニットの吹出し空気が当たる場所
- (8) 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近く  
あるいは、直接日光が受信部に当たる場所
- (9) 他の赤外線通信機器の光線が受信部に当たる場所
- (10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

### ワイヤレスリモコンの操作距離

#### ① 標準的な受信距離

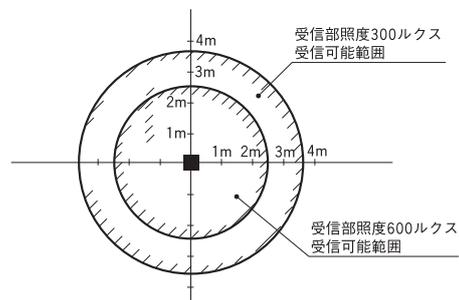
[条件] 受信部照度300ルクス

(一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合)



#### ② 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係

[条件] 天井高さ2.4m、床面より1mの高さより、ワイヤレスリモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係を右図に示します。照度が2倍になると受信距離は2/3となります。



#### ③ 複数台近接設置時の注意

[条件] 受信部照度300ルクス

(一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合)

[複数台近接設置]ワイヤレスリモコン使用時の同一動作を防止できる  
最小距離は5mです。

## 安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

△注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
---	--------------	---	------------------

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 警告

-  ●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。  
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
-  ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。  
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
-  ●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。  
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
-  ●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。  
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。
-  ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
-  ●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。  
感電、故障や動作不良の原因になります。
-  ●改造は絶対にしない。  
感電、火災、故障の原因になります。
-  ●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。  
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。
-  ●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。  
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。
-  ●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。  
感電、火災、故障の原因になります。
-  ●洗濯室など水のかかる所では使用しない。  
感電、火災、故障の原因になります。
-  ●ぬれた手で操作しない。  
感電の原因になることがあります。

## ⚠ 警告



●本機を水洗いしない。  
感電、火災、故障の原因になります。



●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。  
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。  
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。



●基板のケースを取外したまま放置しない。  
水分・ホコリ・虫などが混入すると、感電・火災・故障の原因になります。

## ⚠ 注意



●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。  
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

(1) 直射日光の当たる場所	(8) 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近く
(2) 発熱器具の近く	あるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
(3) 湿気の多い所・水のかかる所	(9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
(4) 取付面が発熱・結露する場所	(10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所
(5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所	
(6) 取付面に凹凸がある所	
(7) 室内ユニットの吹出空気が当たる場所	

## ① 付属品

次の付属品を確かめてください。

### ワイヤレス受信部

① 受信部		1
② 据付説明書(本紙)		1

### ワイヤレスリモコン(別売品) RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダ		1
③ 同上用木ねじ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

## ② 取付前の準備

### 現地設定

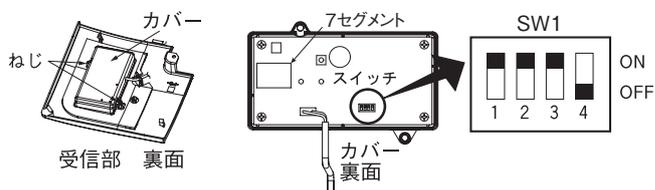
受信部基板上のスイッチの設定は右記の通りです。  
なお、出荷時の設定は  で囲まれた設定になっています。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	ON: <input type="checkbox"/> 通常	OFF: <input type="checkbox"/> 切換え
SW1-2	受信部の親子切換え	ON: <input type="checkbox"/> 親	OFF: <input type="checkbox"/> 子
SW1-3	ブザー音	ON: <input type="checkbox"/> 有効	OFF: <input type="checkbox"/> 無効
SW1-4	停電補償	ON: <input type="checkbox"/> 有効	OFF: <input type="checkbox"/> 無効

## ② 取付前の準備の続き

### 現地設定の変更方法

1. 受信部裏面のねじ(2本)を外し、カバーを取外してください。
2. カバー裏面の基板上的のスイッチを変更してください。



3. SW1-1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。

設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の **混信防止設定** をご覧ください。

※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

### 複数リモコン使用時の親子設定

1つのグループに対して最大2個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。

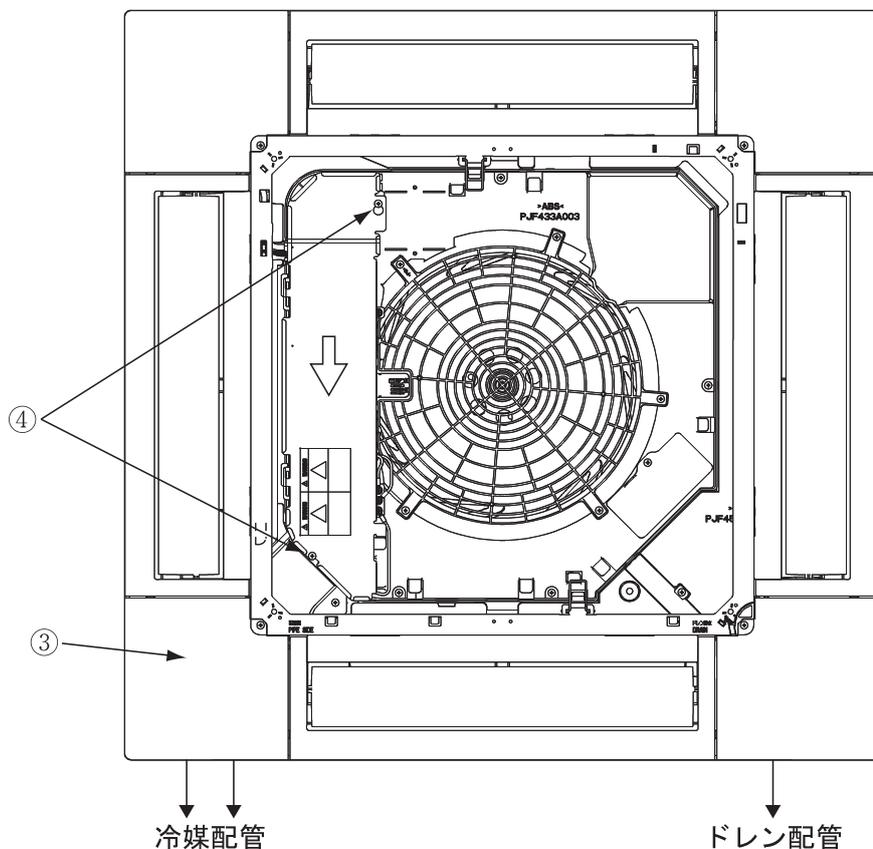
その際は2つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。

ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

## ③ 受信部の取付

### 取付前の準備

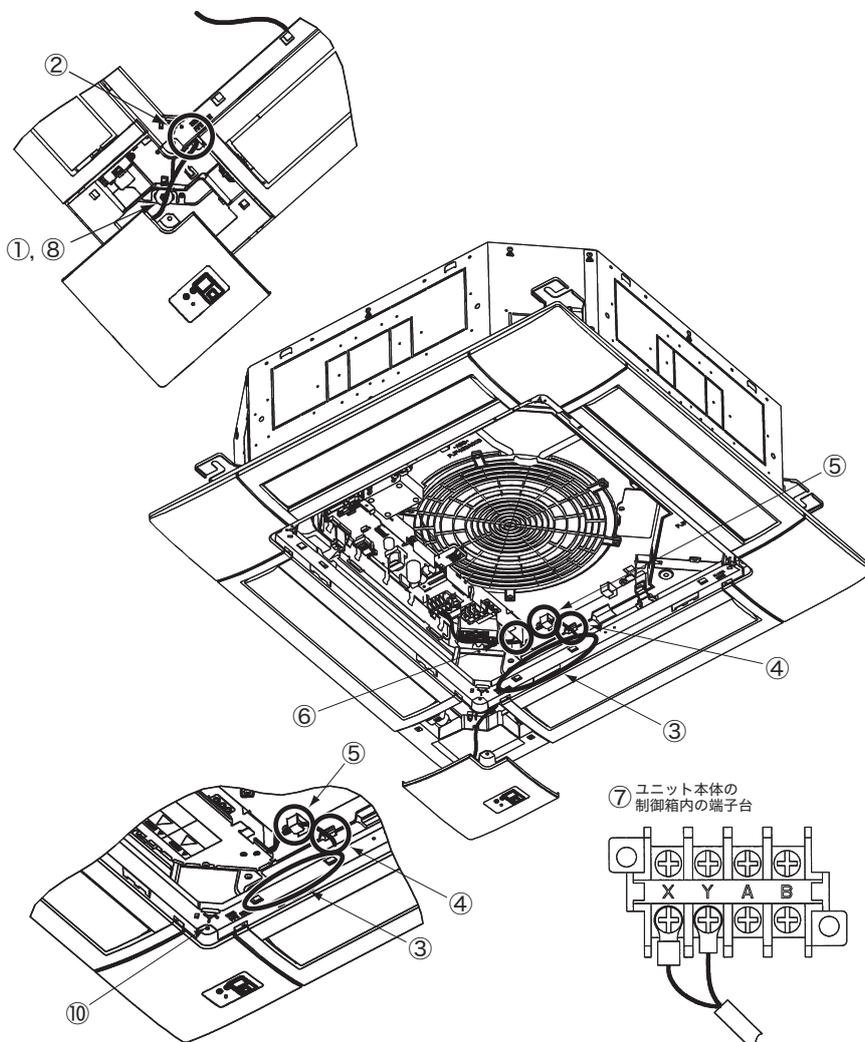
- ①パネルに付属の据付説明書に従って、パネルをユニット本体に取付けてください。
- ②吸込グリルを取外してください。
- ③冷媒配管部のコーナリッドを取外してください。
- ④ユニット本体の制御箱の蓋のねじ(2本)を緩め、図の矢印方向に蓋をスライドさせて取外してください。



### ③ 受信部の取付の続き

#### 受信部の取付

- ① パネル固定用ボルトを緩めて、パネルとユニット本体との隙間を開けてください。
- ② 受信部の配線を開口部に通してください。
- ③ パネルのユニット側にあるフックに配線を引掛けてください。
- ④ 図の位置より配線を引出してください。
- ⑤ 配線をユニット本体のフックに引掛けてください。
- ⑥ 図の位置より配線を制御箱の中に通してください。
- ⑦ 配線の丸端子を制御箱内の端子台 (X、Y) に接続してください。配線に極性はありません。
- ⑧ パネル固定用ボルトを締付けてください。
- ⑨ 受信部をパネルに取付けてください。
- ⑩ パネルに付属のねじで受信部を固定してください。
- ⑪ 配線を噛まないように、ユニット本体の制御箱の蓋を取付け、ねじ (2本) を締付けてください。



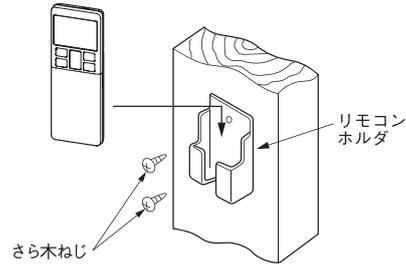
## ④ ワイヤレスリモコン

### リモコンホルダの据付

リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

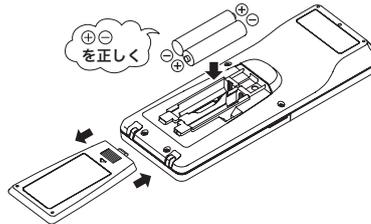
※ホルダ取付時の注意

- ・垂直になるよう調節してください。
- ・ねじ頭が出ないようにしてください。
- ・土壁等へは取付けないでください。



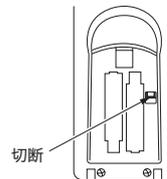
### 電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取付けます。



### 混信防止設定

1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換え線をニッパ等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



### リモコンの設定変更

自動運転の設定変更のしかた

ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は自動運転ができません。

これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。

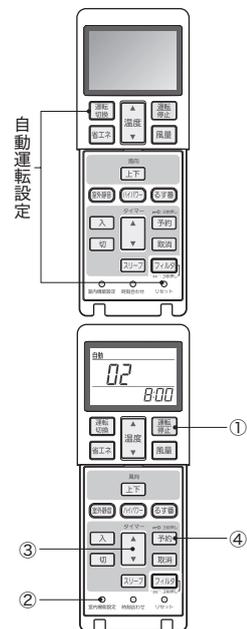
**運転切換**ボタンを押しながら**リセット**スイッチを押すか、**運転切換**ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取外すと初期設定 (工場出荷時設定) へ戻ります。  
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。

### 室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた

- ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
- ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
- ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
- ④ 予約ボタンを押す。  
リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



## ④ ワイヤレスリモコンの続き

### 2. 設定内容

機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定:標準
	01	風速設定:設定1 ※
	02	風速設定:設定2 ※
運転切換	00	暖房室温補正:無効
	01	暖房室温補正:+1°C
	02	暖房室温補正:+2°C
	03	暖房室温補正:+3°C
フィルター	00	フィルターサイン表示:なし
	01	フィルターサイン表示:180時間
	02	フィルターサイン表示:600時間
	03	フィルターサイン表示:1000時間
	04	フィルターサイン表示:1000時間後運転停止
上/下	00	ドラフト防止設定(エアフレックス設定):無効
	01	ドラフト防止設定(エアフレックス設定):有効
室外静音	00	赤外線センサー設定(人感センサー設定):無効
	01	赤外線センサー設定(人感センサー設定):有効
ハイパワー	00	赤外線センサー制御(人感センサー制御):無効
	01	赤外線センサー制御(人感センサー制御):パワーコントロールのみ
	02	赤外線センサー制御(人感センサー制御):オートオフのみ
	03	赤外線センサー制御(人感センサー制御):パワーコントロール+オートオフ
入	00	冷房ファン残留運転:無効
	01	冷房ファン残留運転:0.5時間
	02	冷房ファン残留運転:2時間
	03	冷房ファン残留運転:6時間
切	00	暖房ファン残留運転:無効
	01	暖房ファン残留運転:0.5時間
	02	暖房ファン残留運転:2時間
	03	暖房ファン残留運転:6時間
るす番	00	リモコン信号受信部LED:輝度明
	01	リモコン信号受信部LED:輝度暗
	02	リモコン信号受信部LED:消灯
省エネ	0.1	グリル自動昇降降下長:0.1m
	0.2	グリル自動昇降降下長:0.2m
	.	.
	.	.
	2.0	グリル自動昇降降下長:2.0m
	.	.
	.	.
	3.9	グリル自動昇降降下長:3.9m
4.0	グリル自動昇降降下長:4.0m	
運転/停止	50	グリル自動昇降周波数:50Hz
	60	グリル自動昇降周波数:60Hz

※ 詳細は2-11ページを参照ください。

## ⑤ 受信部

### 1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

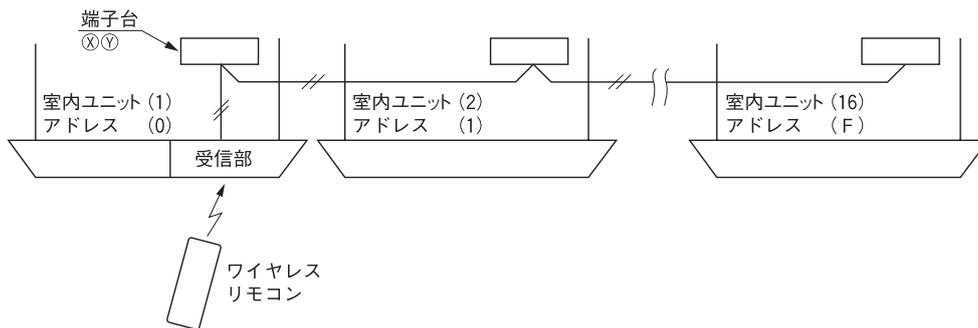
- 1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。  
同一モード、同一室温設定で運転します。
- グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限（最大600m）

標準	0.3 mm <sup>2</sup> × 100m 以内
	0.5 mm <sup>2</sup> × 200m 以内
	0.75mm <sup>2</sup> × 300m 以内
	1.25mm <sup>2</sup> × 400m 以内
	2.0 mm <sup>2</sup> × 600m 以内

### 店舗シリーズの場合

室内基板上的ロータリスイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

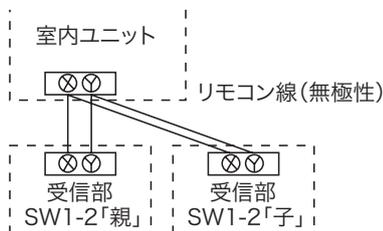


### ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。  
室内ユニット基板上的ロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

### 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台（または1グループ）に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



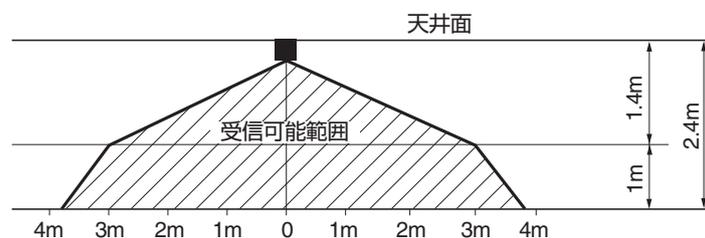
スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

### ワイヤレスリモコンの操作距離

- 標準的な受信距離

〔条件〕受信部照明度300ルクス

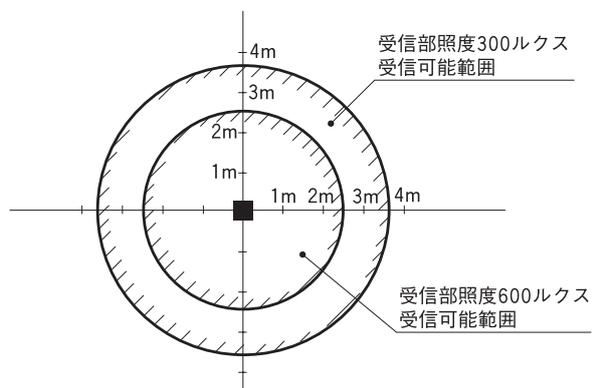
（一般事務所で受信部周辺1m以内の天井面に照明がない場合）



## ⑤ 受信部の続き

### 2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係

[条件] 天井高さ 2.4m、床面より 1.0m の高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係。照度が 2 倍になると受信距離は  $2/3$  となる。



### 3. 複数台近接設置の注意

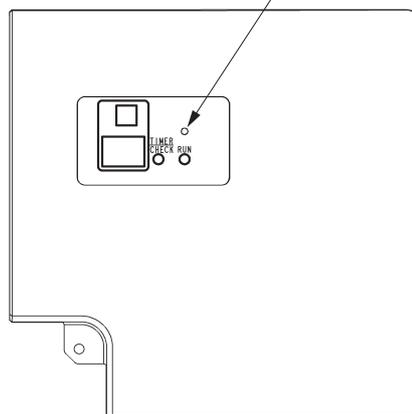
[条件] 受信部照度 300 ルクス  
(一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)  
[複数台近接設置] リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5m です。

#### バックアップスイッチ操作

受信部の表面にバックアップスイッチを装備しています。  
ワイヤレスリモコンで操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に急应的に使用してください。操作は手で直接してください。

1. 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。  
風量「急」温度設定「23°C」ルーバ「水平」
2. 運転中に押すことにより「停止」します。
3. 2 秒以上押し続けてから離れた場合、ラクリーナパネル上昇となります。

バックアップスイッチ



#### 冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘銀の点検表示を参照し、点検してください。

#### 2桁表示の見方

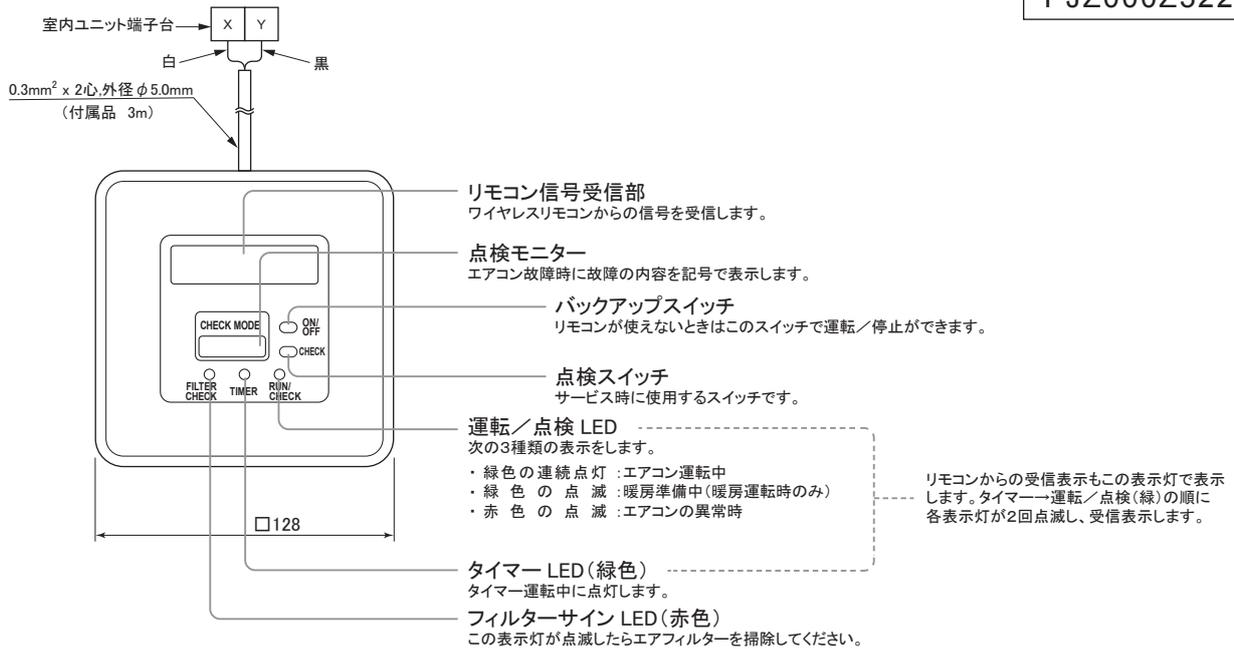
受信部は 2 桁表示（7 セグメント）を装備しています。

1. 表示は電源投入後 1 時間表示します。
2. リモコンから「停止」送信または、バックアップスイッチ「停止」操作後 3 分間表示します。
3. 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
4. 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
5. 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
6. 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。

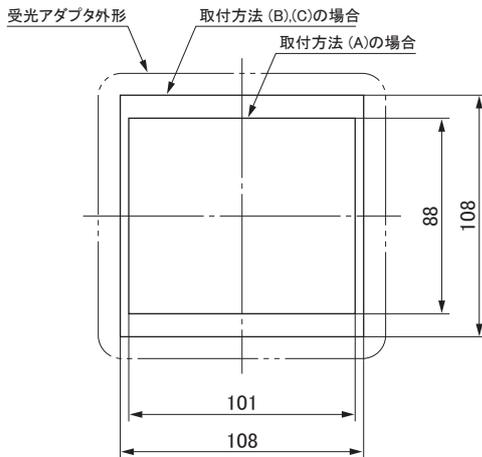
# 2. ワイヤレスキット (別置) (RCN-KIT4)

## (1) 仕様

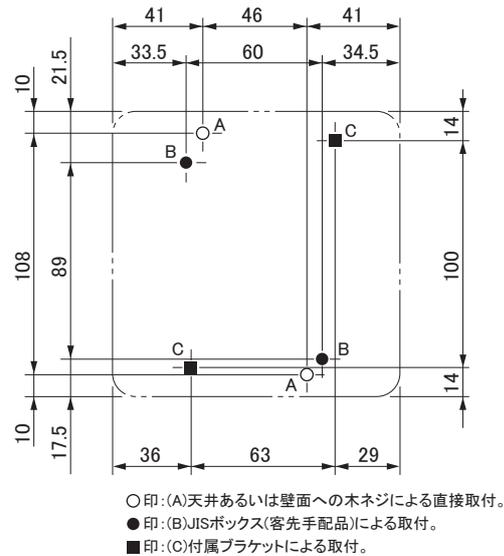
PJZ000Z322



### 天井あるいは壁面の開口寸法



### 受光アダプタ取付寸法

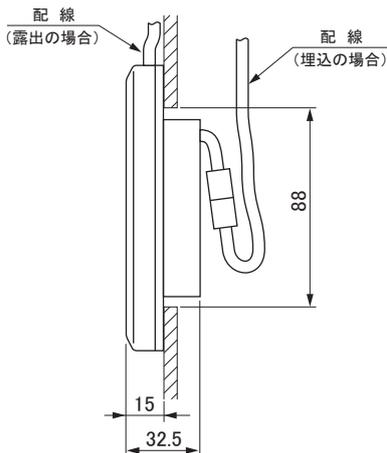


単位: mm

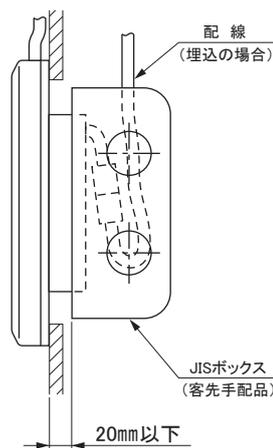
### 受光アダプタ取付方法

(天井あるいは壁面への取付方法として下図に示す3種類の取付が可能です。)  
設置場所に応じて選んでください。

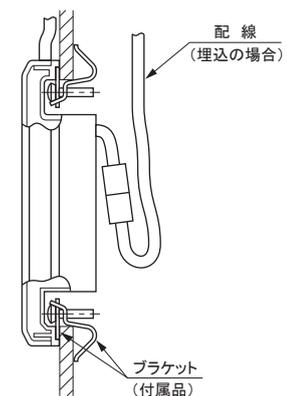
#### (A)木ねじによる直接取付



#### (B)JISボックス(客先手配)による取付



#### (C)付属ブラケットによる取付



## ワイヤレスキットの据付

ワイヤレスキットを下記場所に設置しないでください。  
ワイヤレスキットの故障や変形の原因になることがあります。

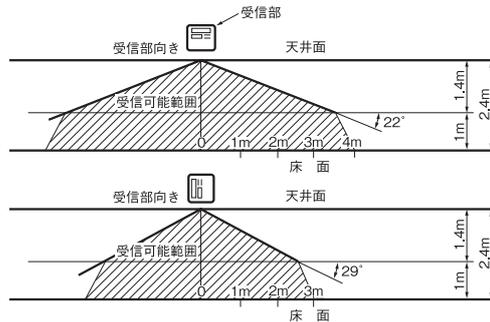
- |                     |                                      |
|---------------------|--------------------------------------|
| (1) 直射日光の当たる場所      | (7) 室内ユニットの吹出し空気が当たる場所               |
| (2) 発熱器具の近く         | (8) 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近く               |
| (3) 湿気の多い所・水の掛る所    | あるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所               |
| (4) 取付面が発熱・結露する場所   | (9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所        |
| (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所 | (10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所 |
| (6) 取付面に凹凸がある所      |                                      |

## ワイヤレスリモコンの操作距離

### 天井面に取付けた場合

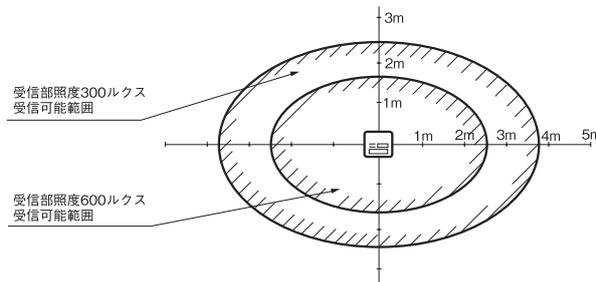
#### ① 標準的受信距離

**条件** 受信部照度 300ルクス (一般事務所で受信アダプタ周辺1m以内の天井面に照明がない場合)



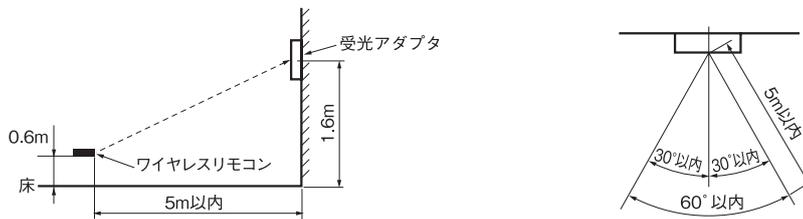
#### ② 平面から見た時の受信部照度と受信距離の関係

**条件** 天井高さ2.4m、床面より1mの高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係。照度が2倍になると受信距離は2/3となる。

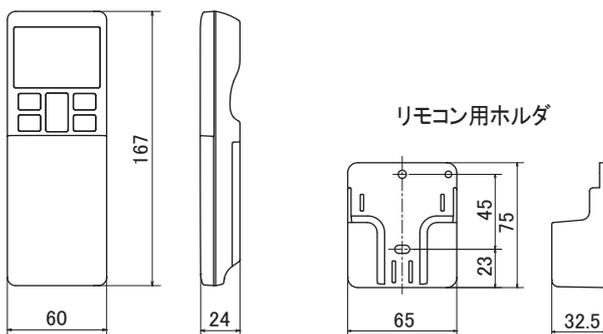


### 壁面に取付けた場合

**条件** 受信部照度 800ルクス



## リモコン



注) リモコン用として単4乾電池が2個付属しています。

お願い

- リモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
- 操作距離は受信部照度、部屋壁面の反射状態により変化します。
- 受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小や受信不良が起こる場合があります。

## 安全上のご注意

- 工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ⚠ **警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
- ⚠ **注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。
- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
--	--------------	--	------------------

- お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## ⚠ 警告

- ⚠ ● **据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**  
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
- ⚠ ● **据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**  
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
- ⚠ ● **据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**  
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
- ⚠ ● **据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**  
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。
- ⚠ ● **電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- ⚠ ● **据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**  
感電、故障や動作不良の原因になります。
- ⊘ ● **改造は絶対にしない。**  
感電、火災、故障の原因になります。
- ⚠ ● **修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**  
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。
- ⊘ ● **特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**  
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● **大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**  
感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● **洗濯室など水のかかる所では使用しない。**  
感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● **ぬれた手で操作しない。**  
感電の原因になることがあります。

## ⚠ 警告



●本機を水洗いしない。  
感電、火災、故障の原因になります。



●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。  
インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。  
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。



●基板のケースを取外したまま放置しない。  
水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

## ⚠ 注意



●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。  
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。

- (1) 直射日光の当たる場所
- (2) 発熱器具の近く
- (3) 湿気の多い所・水のかかる所
- (4) 取付面が発熱・結露する場所
- (5) 油の飛沫や蒸気が直接接触する場所
- (6) 取付面に凹凸がある所
- (7) 室内ユニットの吹出空気が当たる場所
- (8) 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近く  
あるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
- (9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
- (10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

## ① 付属品

次の付属品を確かめてください。

① 受光アダプタ		1	① ワイヤレスリモコン (RCN-D5)		1
② 配線 (3m)		1	② リモコン用ホルダ		1
③ パーツセット (A)		1	③ 同上用木ねじ		2
④ パーツセット (B)		1	④ リモコン用電池		2
⑤ パーツセット (C)		1	⑤ 取扱説明書		1
⑥ 据付説明書 (本紙)		1	① 受光アダプタ用ねじ		2
			② バンド		1
			③ クランプ		5
			④ 同上用ねじ		5
			① 受光部取付用ブラケット		1
			② 同上用ねじ		2
			③ 取付金具		2
			④ JISボックス取付用ねじ		2

## ② 取付前の準備

### 現地設定

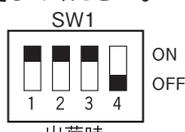
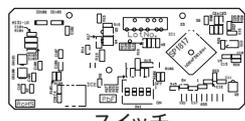
受信基板上のスイッチの設定は右記の通りです。

SW1-1	複数台設置時の混信誤動作防止	ON: 通常	OFF: 切換(2ch)
SW1-2	受信部の親子切換	ON: 親	OFF: 子
SW1-3			
SW1-4	停電補償	ON: 有効	OFF: 無効

## ② 取付前の準備の続き

### 現地設定の変更方法

1. 受信部下面のねじ(1本)を外し、基板を取外してください。
2. 基板上(7セグメント表面側)のスイッチを変更してください。



3. SW1-1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。  
設定変更は、本説明書 **④ワイヤレスリモコン** の **混信防止設定** をご覧ください。

※受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** をご覧ください。

### 複数リモコン使用時の親子設定

1つのグループに対して最大2個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。  
その際は2つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。  
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

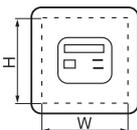
## ③ 受信部の取付

天井あるいは、壁面(以後あわせて壁面と呼ぶこととします)への取付方法として下記3種類の取付が可能です。設置場所に依りて選んでください。

- 〈取付け方法〉 (A) 壁面への木ねじによる直接取付  
(B) JIS ボックス(現地手配)による取付  
(C) 付属ブラケットによる取付

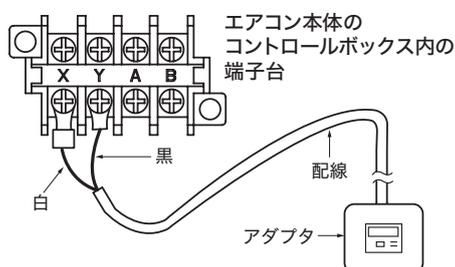
### (1) 壁面への穴あけ(壁面開口)

取付用の穴を付属配線(3m)で接続可能な壁面位置に、右表の寸法にてあけてください。



(A) 壁面への木ねじによる直接取付	88mm(H)×101mm(W)
(B) JIS ボックスによる取付	108mm(H)×108mm(W)
(C) 付属ブラケットによる取付	

### (2) 受光アダプタ用配線



### ⚠ 注意

配線を端子台 200V に接続しないこと。  
プリント基板が焼損します。

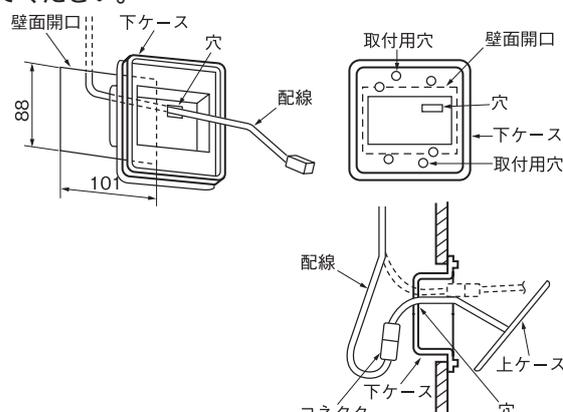
### (3) 受光アダプタ取付

側面についているねじをはずし、上ケースと下ケースに分割してください。  
下記4種(A~D)のうちのいずれかの方法により取付けてください。

#### (A) 壁面への木ねじによる直接取付

▷ 壁面が木製などのもので、直接木ねじにより取付けても強度的に問題のない場合にこの方法で取付けてください。

- ① 配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
- ② 下ケースを壁面開口にはめてください。この時、下ケース後面凸部と壁面開口とのすきまは両側ともできるだけ等しくなる様にしてください。
- ③ 上図2か所の取付用穴を用いて付属の木ねじにより下ケースを壁に固定してください。(他の4か所の穴は使用しません。)
- ④ 配線と上ケースから出ている配線とをコネクタにより接続してください。



### ③ 受信部の取付の続き

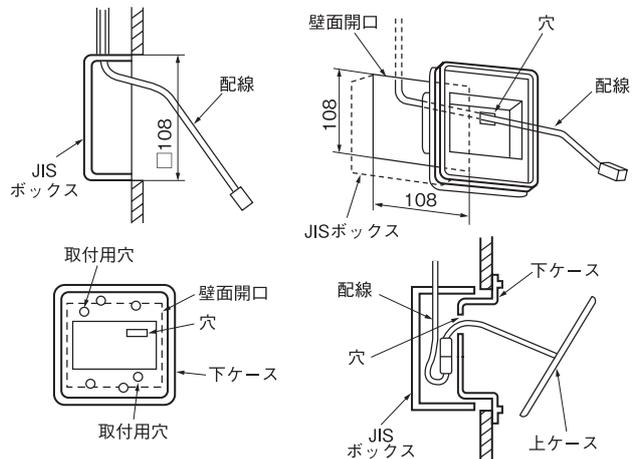
- ⑤ 接続したコネクタを①項にて配線を通した下ケースの穴より裏側へ出してください。
- ⑥ 上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ねじをしめてください。

#### (B) JIS ボックスによる取付 (JIS ボックス：現地手配)

- ① JIS ボックスと配線をあらかじめ設置しておきます。

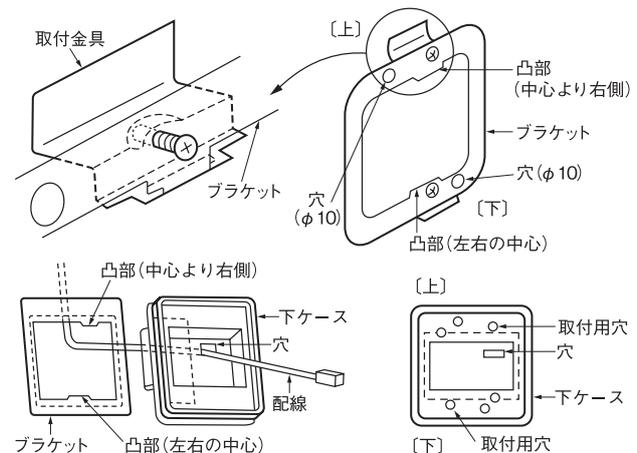
(使用可能 JIS ボックス)  
 JIS C 8435  
 埋込用四角アウトレットボックス中浅形  
 JIS C 8340  
 中形四角アウトレットボックス

- ② 配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
- ③ 右図 2 か所の取付用穴を用いて付属しているねじにより下ケースは JIS ボックスに固定してください。(他の 4 か所の穴は使用しません。)
- ④ 配線と上ケースから出ている配線とをコネクタにより接続してください。
- ⑤ 接続したコネクタを②項にて配線を通した下ケースの穴より、下ケースと JIS ボックスの間へ入れてください。
- ⑥ 上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ねじをしめてください。



#### (C) 付属ブラケットによる取付

- ① 上図の様に付属ブラケットの凸部 (2 か所) に取付金具を引掛け、ねじにより仮止めしてください。(ブラケットには上下および表裏があります。上下凸部の位置およびブラケットにあるφ10の穴と取付金具の取付面との位置関係を上図にてご確認ください。)
- ② 壁面開口より取付金具の端部を壁面裏側へ入れ、さらにねじを締めてブラケットを壁面に固定してください。
- ③ 配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
- ④ 下ケースをブラケットにはめ込み、上図 2 か所の取付用穴を用いて下ケースをブラケットに固定してください。(他の 4 か所の穴は使用しません。)
- ⑤ 以降 (A) の①～⑥を参照して取付けてください。

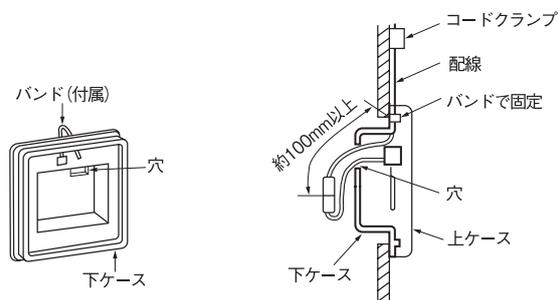


### ③ 受信部の取付の続き

#### (D) 配線露出取付

配線を露出させて取付ける場合は下記の通りに行なってください。

- ① 上ケース側面の薄肉部をニッパー、ナイフ等で切取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。(この部分に配線を通します。)
- ② 下ケースの配線取出部の穴に付属のバンドを通します。
- ③ 3項の受光アダプタ取付方法(A～C)のいずれかの方法に従い、下ケースを壁面に固定してください。ただし、配線は下ケースの穴に通さないでください。
- ④ バンドでの固定部から配線のコネクタの先端までの長さを100mm以上とした状態でバンドにより配線を固定してください。(ただし、JISボックスにより下ケースを取付けた場合は約100mmとしてください。)
- ⑤ 配線と上ケースより出ている配線をコネクタにより接続してください。
- ⑥ 接続したコネクタおよび不要な配線を下ケースの穴より裏側へ出してください。
- ⑦ 上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ねじを締めてください。
- ⑧ 配線は付属のコードクランプで適宜固定してください。



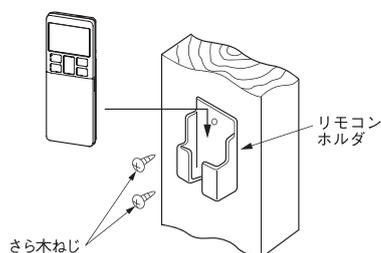
### ④ ワイヤレスリモコン

#### リモコンホルダの据付

1. リモコンホルダを付属のねじで固定してください。

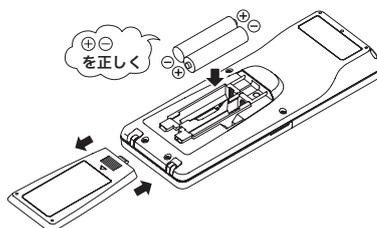
※ホルダ取付時の注意

- ・ 垂直になるよう調節してください。
- ・ ねじ頭が出ないようにしてください。
- ・ 土壁等へは取付けないでください。



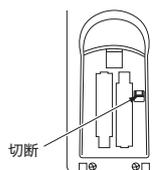
#### 電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2本)
3. 裏蓋を取付けます。



#### 混信防止設定

1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取外す。
2. 乾電池横の切換線をニッパー等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取付ける。



## ④ ワイヤレスリモコンの続き

### リモコンの設定変更

自動運転の設定変更のしかた  
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ（除く冷暖フリーマルチ）は自動運転ができません。  
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。  
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

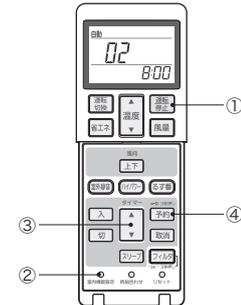
※注意：一度電池を取外すと初期設定（工場出荷時設定）へ戻ります。  
電池を取外した時は、再度上記操作を行ってください。



### 室内機能設定

#### 1. 室内機能設定のしかた

- ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
- ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
- ③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
- ④ 予約ボタンを押す。  
リモコン信号受信部より、ピピッと2回ブザーが鳴り、LEDは2秒毎に4回点滅します。



#### 2. 設定内容

機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定	ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定 標準	入	00	冷房ファン残留運転 無効
	01	風速設定 設定1 ※		01	冷房ファン残留運転 0.5時間
	02	風速設定 設定2 ※		02	冷房ファン残留運転 2時間
運転切換	00	暖房室温補正 無効	切	03	冷房ファン残留運転 6時間
	01	暖房室温補正 +1°C		00	暖房ファン残留運転 無効
	02	暖房室温補正 +2°C		01	暖房ファン残留運転 0.5時間
フィルター	03	暖房室温補正 +3°C	るす番	02	暖房ファン残留運転 2時間
	00	フィルターサイン表示 なし		03	暖房ファン残留運転 6時間
	01	フィルターサイン表示 180時間		00	リモコン信号受信部LED 輝度明
	02	フィルターサイン表示 600時間		01	リモコン信号受信部LED 輝度暗
上下	03	フィルターサイン表示 1000時間	省エネ	02	リモコン信号受信部LED 消灯
	04	フィルターサイン表示 1000時間後運転停止		0.1	グリル自動昇降降下長 0.1m
室外静音	00	ドラフト防止設定(エアフレックス設定) 無効	運転/停止	0.2	グリル自動昇降降下長 0.2m
	01	ドラフト防止設定(エアフレックス設定) 有効		.	.
ハイパワー	00	人感センサー設定 無効		.	.
	01	人感センサー設定 有効		2.0	グリル自動昇降降下長 2.0m
	00	人感センサー制御 無効		.	.
	01	人感センサー制御 パワーコントロールのみ		.	.
	02	人感センサー制御 オートオフのみ	3.9	グリル自動昇降降下長 3.9m	
	03	人感センサー制御 パワーコントロール+オートオフ	4.0	グリル自動昇降降下長 4.0m	
			50	グリル自動昇降周波数 50Hz	
			60	グリル自動昇降周波数 60Hz	

※ 詳細は2-11ページを参照ください。

## ⑤ 受信部

### 1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

- ① 1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。  
同一モード、同一室温設定で運転します。
- ② グループ制御用に各室内ユニット間で2心のリモコン線にて渡り配線してください。

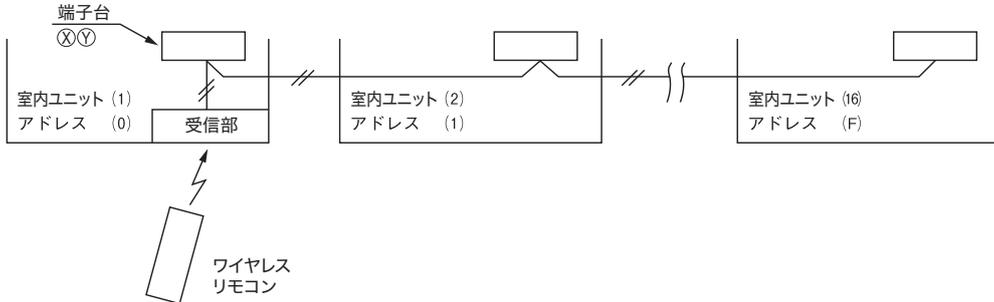
渡り配線の太さと長さの制限（最大600m）

標準	長さ
0.3 mm <sup>2</sup>	100m 以内
0.5 mm <sup>2</sup>	200m 以内
0.75mm <sup>2</sup>	300m 以内
1.25mm <sup>2</sup>	400m 以内
2.0 mm <sup>2</sup>	600m 以内

## ⑤ 受信部の続き

### 店舗シリーズの場合

- ③ 室内基板上的ロータリスイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

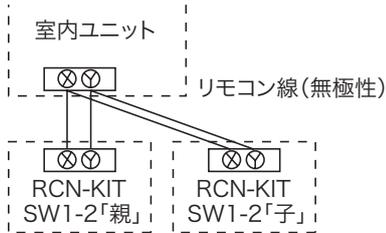


### ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

- ④ 室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。  
室内ユニット基板上的ロータリスイッチSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

### 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台（または1グループ）に対して最大2個までのリモコンを接続できます。

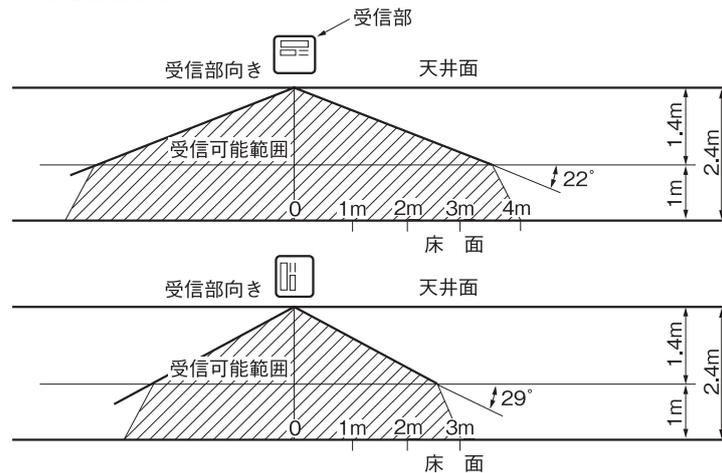


スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

### 天井面に取付けた場合

- ① 標準的受信距離

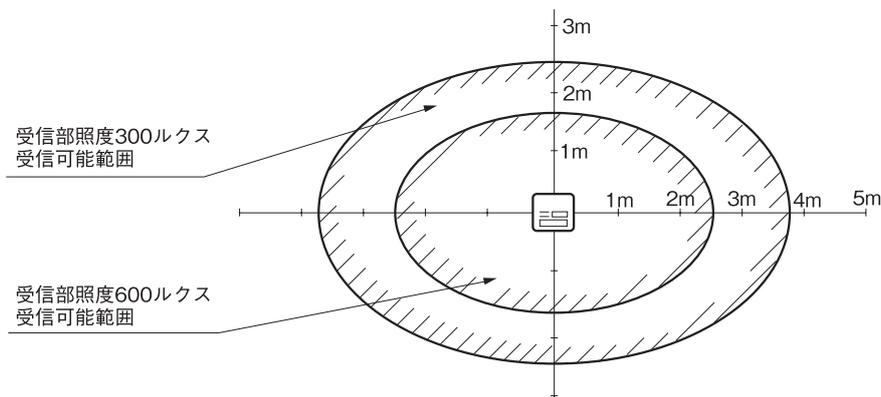
**条件** 受信部照度 300ルクス（一般事務所で受信アダプタ周辺1m以内の天井面に照明がない場合）



- ② 平面から見た時の受信部照度と受信距離の関係

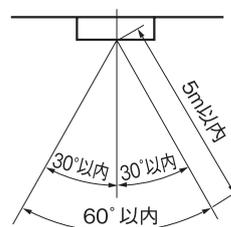
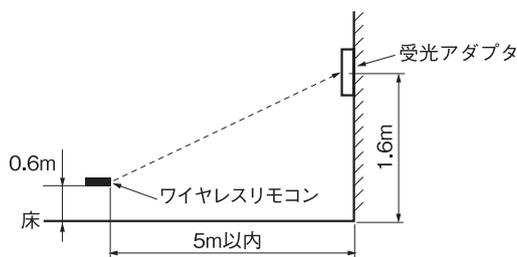
**条件** 天井高さ2.4m、床面より1mの高さより、リモコン操作をした場合の受信部照度と受信距離との関係。照度が2倍になると受信距離は2/3となる。

## ⑤ 受信部の続き



### 壁面に取付けた場合

**条件** 受信部照度 800ルクス



### バックアップスイッチ操作

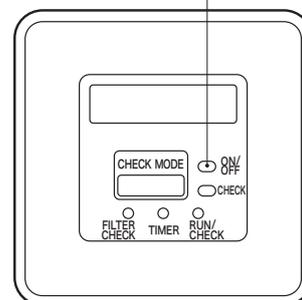
表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。  
ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に  
応急的に使用してください。  
操作は手で直接操作してください。

- (1) 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。  
風量「急」 温度設定「23°C」 ルーバ「水平」
- (2) 運転中に押すことにより「停止」します。

### 冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付の結線銘鈹の点検表示を参照し、点検してください。

バックアップスイッチ



### 6桁表示の見方

受信部は6桁表示（7セグメント）を装備しています。

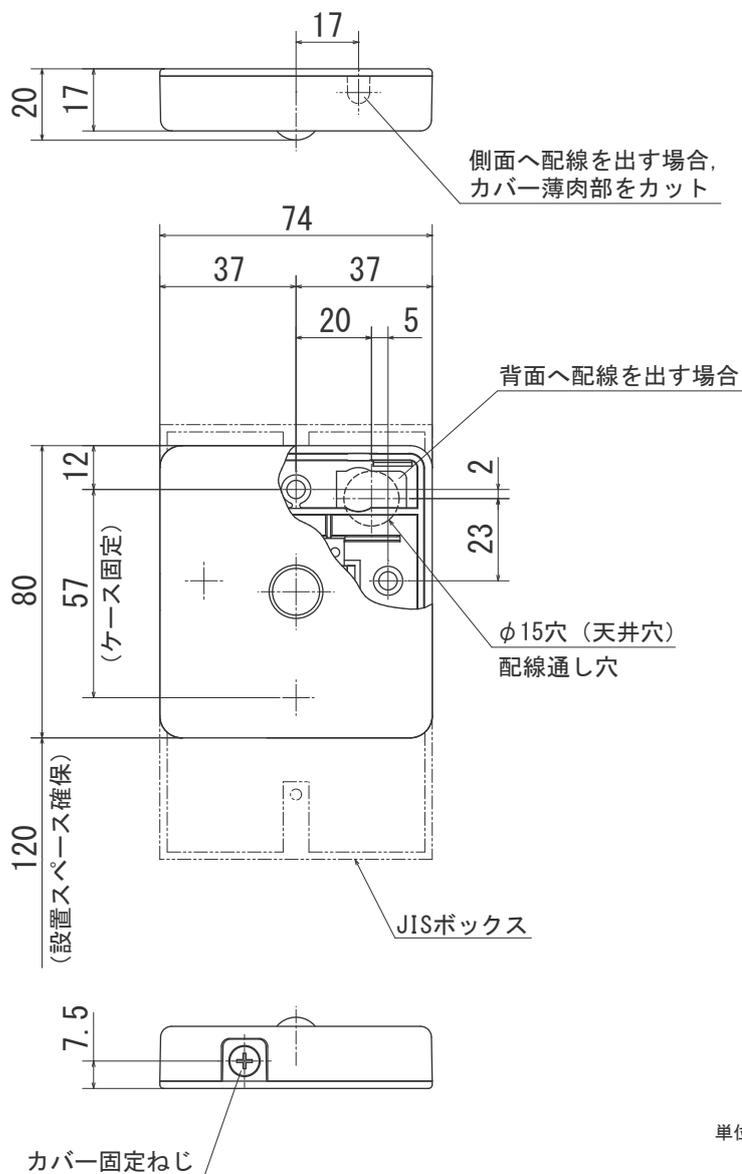
- (1) 表示は電源投入後1時間表示します。
- (2) エアコン停止中に、ワイヤレスリモコン「停止」信号送信により3.5秒間表示します。
- (3) 上記の表示は、運転開始により消灯します。
- (4) 異常履歴がない場合は、接続台数分のアドレスを表示します。
- (5) 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
- (6) 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらワイヤレスリモコン「停止」信号送信によりクリアされます。

### 3. 人感センサキット（別置）（LB-KIT2）

#### (1) 仕様

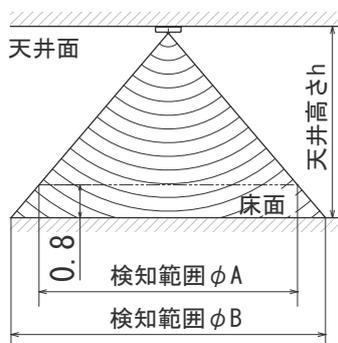
外形図

PJZ000Z340



単位:mm

検知範囲



#### 記事

1. 据付高さは4m以内としてください。  
センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
2. 接続配線（現地調達）は $0.2\text{mm}^2 \times 3$ 心以上（赤、白、黒）の信号用配線を使用してください。配線長さは最大8mです。
3. 本製品は壁面にも設置可能ですが、天井面設置を推奨します。
4. 壁面設置の場合、検知範囲は正面で5m、左右約 $100^\circ$ です。
5. 詳細は据付説明書を参照してください。

天井高さ $h$ [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲 $\phi A$ [m]	4.5	6.4	7.6
検知範囲 $\phi B$ [m]	6.4	8.3	9.5

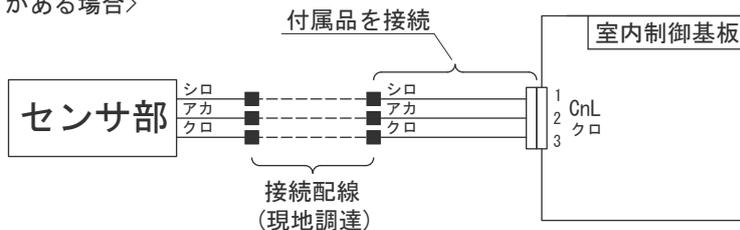
## 人感センサの据付

人感センサを下記場所に設置しないでください。  
人感センサの故障や変形の原因になることがあります。

- (1) 直射日光の当たる場所
- (2) 発熱器具の近く
- (3) 湿気の多い所・水の掛る所
- (4) 取付面が発熱・結露する場所
- (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
- (6) 取付面に凹凸がある所
- (7) 室内ユニットの吹出し空気が当たる場所
- (8) 蛍光灯（特にインバータタイプ）の近く  
あるいは、直接日光がセンサ部に当たる場所
- (9) 他の赤外線通信機器の光線がセンサ部に当たる場所
- (10) 長時間振動が加わる状態
- (11) 静電気や強い電磁波のある場所
- (12) 塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所
- (13) 電源配線などの強電圧線と並走させないこと

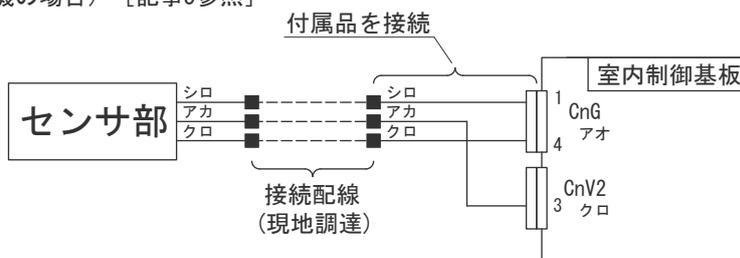
## 配線接続

〈CnLコネクタがある場合〉



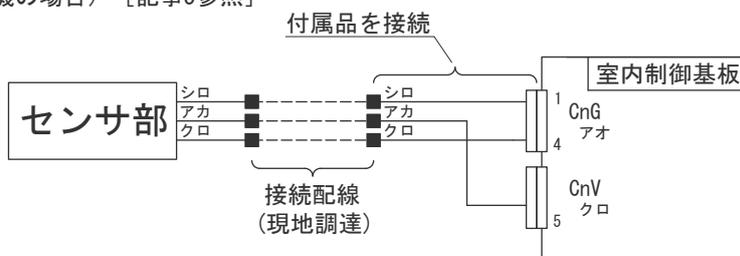
〈CnLコネクタがない場合〉

（DCモータ機の場合） [記事5参照]



〈CnLコネクタがない場合〉

（ACモータ機の場合） [記事5参照]



(2) 据付説明書

PJZ012D133

本説明書は、人感センサキットの据付方法を記載してあります。  
室内ユニット・リモコン・室外ユニット付属の説明書と合わせてご覧ください。

**⚠ 警告**

**!** ●室内ユニットのコントロールボックス内にあるプリント基板に配線を接続し、基板に負荷がかからないように、配線を確実に固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、異常発熱や火災の原因になります。

**!** ●電気配線作業の際は、必ず電源をOFFにすること。  
電気配線作業にあたって電源がONのままだと、感電・故障・誤作動の原因になります。

**⚠ 注意**

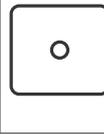
**⊘** ●人感センサキットを下記場所に設置しない。  
人感センサキット故障や変形の原因、誤検知・検知不能・特性劣化を招く恐れがあります。

(1) 直射日光の当たる場所	(8) 蛍光灯(特にインバータタイプ)の近くあるいは、直射日光が当たる場所
(2) 発熱器具の近く	(9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
(3) 湿気の多い所・水のかかる所	(10) 長時間振動が加わる場所
(4) 取付け面が発熱・結露する場所	(11) 静電気や強い電磁波のある場所
(5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所	(12) 塵埃の多い場所、レンズ面に汚れおよび損傷を与える恐れのある場所
(6) 取付け面に凹凸がある所	(13) 室内ユニットの電源線などの強電圧線と並走する場所
(7) 室内ユニットの吹出空気が当たる場所	

**⊘** ●人感センサをカバーを付けずに放置しない。  
カバーを取外す場合は、梱包や袋を使用して人感センサを保護してください。水やほこりとの接触をさけてください。

**① 取付前の準備**

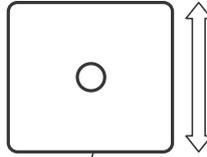
次の付属品を確かめてください。

受信部	配線〈1〉	配線〈2〉	配線〈3〉	木ねじ2本	説明書
	室内基板にCnLコネクタがある場合 (GT・GK) 	室内基板にCnV2コネクタがある場合 	室内基板にCnVコネクタがある場合 (GTSC・GFL・GFU) 		

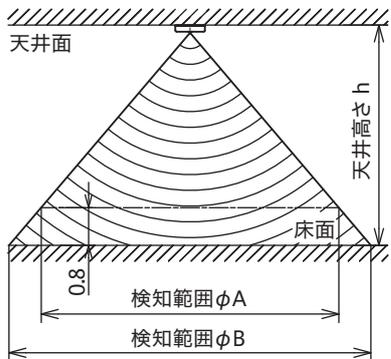
※受信部と室内ユニット間の中継配線は現地手配してください。(0.2mm<sup>2</sup>以上 3心(赤、白、黒) 通信用ケーブル 最大8m)

**② 人感センサ検知範囲・設置場所**

- 据付高さは床面より4m以内としてください  
センサ感度が鈍くなり、検知しにくくなります。
- 周囲との温度差のある物体が動くことにより、センサが検知します。
- ↔印方向の動きをより検知します。
- 小さな子供や動きの少ない乳児は検知できない場合があります。
- 本製品は壁面にも設置可能ですが、天井面設置を推奨します。
- 壁面設置の場合、検知範囲は正面で約5m、左右約100°です。



ケース固定ねじ側



天井面

床面

高さ h

検知範囲 φA

検知範囲 φB

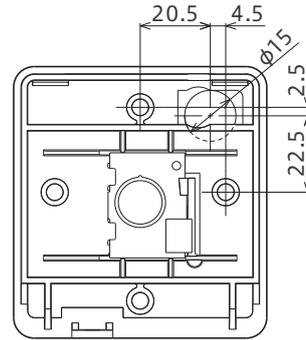
高さ	h (m)	2.7	3.5	4.0
検知範囲 φA (m)		4.5	6.4	7.6
検知範囲 φB (m)		6.4	8.3	9.5

### ③ 受信部の取付

天井面あるいは壁面（以後あわせて天井面と呼ぶこととします）への取付方法として、下記3種類の取付が可能です。設置場所に応じて選んでください。

〈取付方法〉

- (A) 天井面への木ねじによる直接取付、配線を天井面内に収める場合
- (B) 天井面への木ねじによる直接取付、配線を部屋内にはわせる場合
- (C) JISボックス（現地手配）による取付の場合

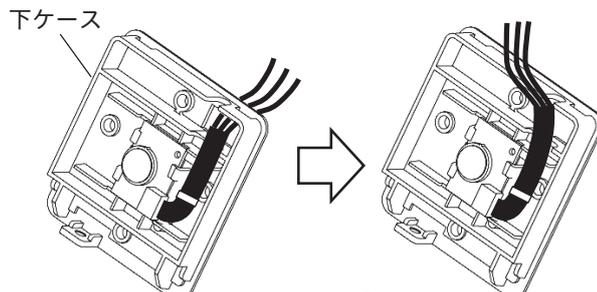
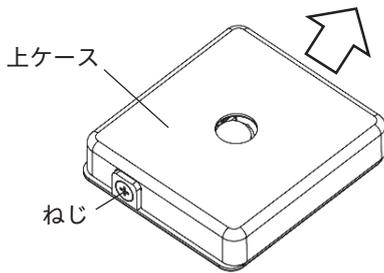
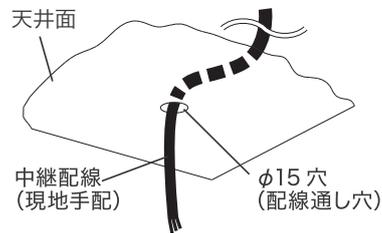


中継配線の取出穴とねじ取付穴との位置関係

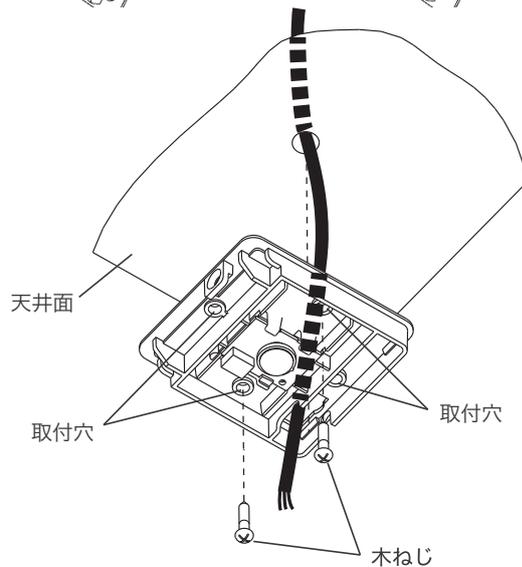
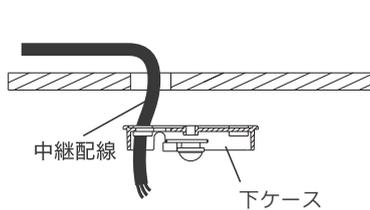
#### (A) の場合

▶天井面に、人感センサキットを直接木ねじで取付けても強度的に問題ない場合はこの方法で取付けてください。

- ① 現地手配の中継配線をあらかじめ設置しておきます。
- ② 受信部側面のねじを外し、上ケースを矢印の方向へスライドさせ取外します。
- ③ 受信部側の配線を下図のように手前へ取出してください。
- ④ 中継配線を下ケース穴に通してください。

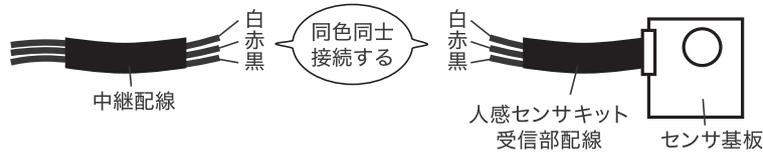


- ⑤ 下ケースを天井面に固定する際は、右図の取付穴（4か所）のうち、対辺2か所を付属の木ねじにより締付けてください。

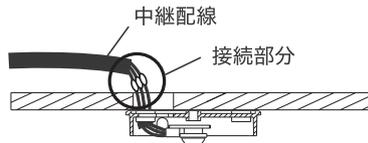


### ③ 受信部の取付の続き

⑥ 圧着端子等を用いて、現地手配の中継配線と受信部の配線を同色同士で接続してください。



- ⑦ 配線の接続部分を天井面の内側へ入れてください。
- ⑧ 下ケースの配線貫通穴をパテでシールしてください。
- ⑨ 配線をかみこまないよう注意しながら上ケースを下ケースにはめ込み、ねじを締めてください。

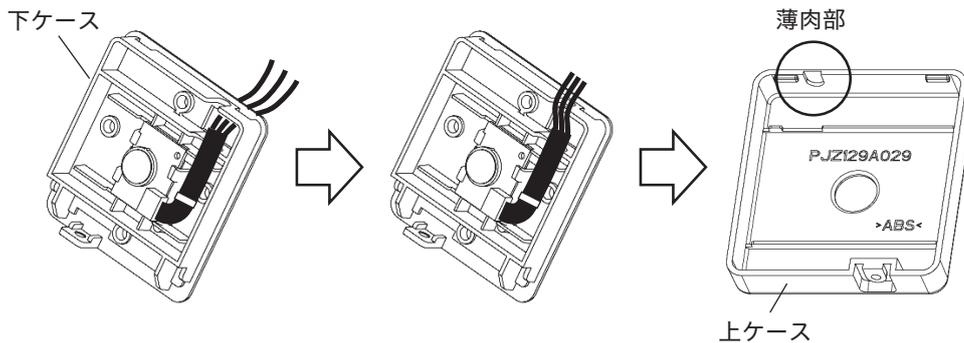


**注意：**トラッキング防止のため、接続部分にほこり等がつかないように施工してください。

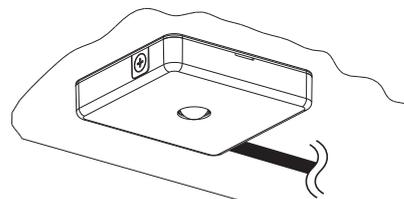
#### (B) の場合

▶ 天井面に、人感センサキットを直接木ねじで取付ても強度的に問題ない場合はこの方法で取付けてください。

- ① 受信部側面のねじを外し、上ケースを矢印の方向へスライドさせ取外します。(A ②と同じ)
- ② 受信部の配線を側面方向へ取出します。  
上ケースの薄肉部を削り取って使用してください。



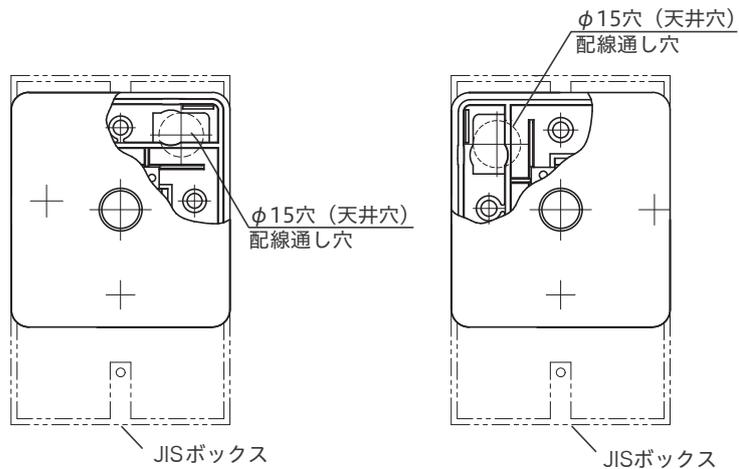
- ③ 下ケースを天井面に固定する際は、取付穴(4か所)のうち、対辺2か所を付属の木ねじにより締付けてください。((A) ⑤と同じ)
- ④ 圧着端子等を用いて現地手配の中継配線と受信部の配線を同色同士で接続してください。((A) ⑥と同じ)
- ⑤ 配線をかみこまないように注意しながら上ケースを下ケースにはめ込み、ねじを締めてください。((A) ⑨と同じ)
- ⑥ ②で切取った部分をパテでシールしてください。



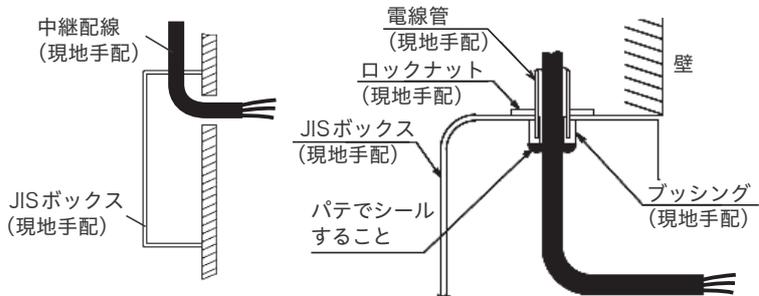
### ③ 受信部の取付の続き

#### (C) の場合

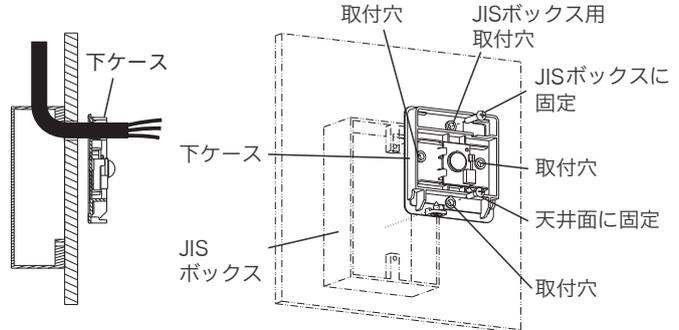
- ① JIS ボックスと現地手配の中継配線をあらかじめ設置しておきます。中継配線引入口はパテでシールしてください。(右図参照)



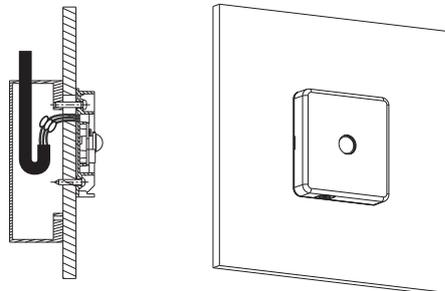
JISボックスと配線通し穴との位置関係



- ② 受信部側面のねじを外し、上ケースを矢印の方向へスライドさせ取外します。((A)②と同じ)
- ③ 受信部側の配線を手前へ取出してください。((A)③と同じ)
- ④ 中継配線を JIS ボックス側から下ケース穴に通してください。



- ⑤ 右図の取付穴 (1 か所) を用いて、下ケースを JIS ボックスに固定してください。
- ⑥ 現地手配の中継配線と受信部側の配線を同色同士で接続してください。((A)⑥と同じ)
- ⑦ 配線の接続部分を④項で配線を通した下ケースの穴より、下ケースと JIS ボックスとの間へ入れてください。
- ⑧ 配線をかみこまないように注意しながら上ケースを下ケースにはめ込み、ねじを締めてください。((A)⑧と同じ)



#### ④ 本体コントロールへの配線接続

注意：人感センサ付属配線は、室内ユニットの機種ごとに使用する配線が異なります。配線取付前に、確認してください。

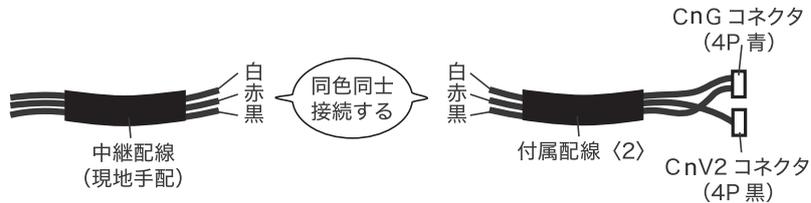
##### 〈室内基板に CnL コネクタがある場合 (GT・GK)〉

- ① 現地手配の中継配線と、人感センサ付属配線〈1〉を同色同士で接続してください。
- ② ユニット本体のコントロール BOX の蓋を外してください。
- ③ CnL コネクタ (3P 黒) を基板へ接続してください。



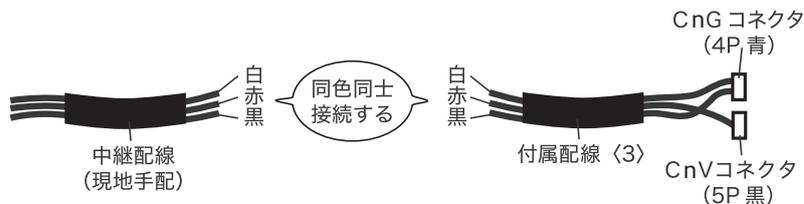
##### 〈室内基板に CnV2 コネクタがある場合〉

- ① 現地手配の中継配線と、人感センサ付属配線〈2〉を同色同士で接続してください。
- ② ユニット本体のコントロール BOX の蓋を外してください。
- ③ CnG コネクタ (4P 青) を制御基板へ接続してください。
- ④ CnV2 コネクタ (4P 黒) を制御基板へ接続してください。

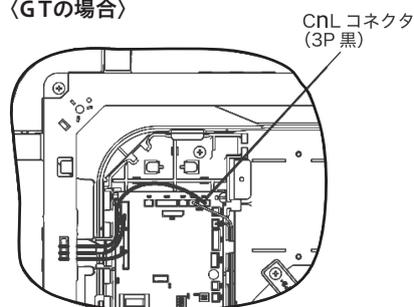


##### 〈室内基板に CnV コネクタがある場合 (GTSC・GFL・GFU)〉

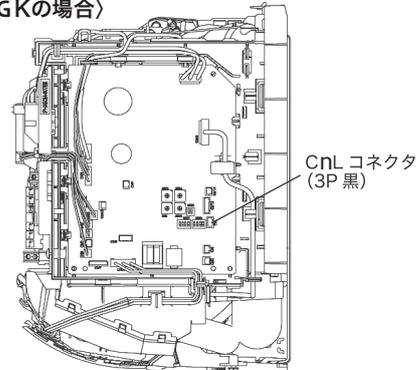
- ① 現地手配の中継配線と、人感センサ付属配線〈2〉を同色同士で接続してください。
- ② ユニット本体のコントロール BOX の蓋を外してください。
- ③ CnG コネクタ (4P 青) を制御基板へ接続してください。
- ④ CnV コネクタ (5P 黒) を制御基板へ接続してください。



〈GTの場合〉

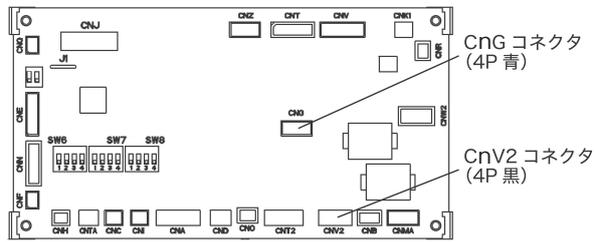


〈GKの場合〉

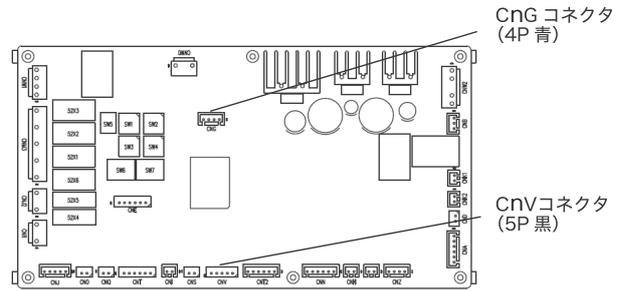


## ④ 本体コントロールへの配線接続の続き

〈室内基板にCnV2コネクタがある場合〉



〈GTSC・GFL・GFUの場合〉



### (3) 取扱説明書

この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。  
室内ユニット・リモコン付属の説明書と合わせてご覧ください。

## ご使用上のご注意

### ⚠ 警告



●子供・病気の方など 補助を必要とする人が使う場合、周囲の人が十分注意する。  
異常や人感センサ制御などにより空調機が停止した場合、体調不良や事故の原因になることがあります。

### お知らせ

- ・検知エリアの隅では人を検知しにくくなります。
- ・周囲と温度差のある物体が動く場所に据付けた場合「人がいる」と検知する場合があります。
- ・設定温度の補正に伴い、肌寒く感じる場合があります。

本品は、赤外線センサを利用して検知範囲内の人の活動量を検知し、エアコンの制御を補助するものです。  
リモコンからご希望の制御を設定して頂き、ご使用ください。

室内ユニット制御	検知状況	制御内容	エコタッチリモコン表示
①パワーコントロール	活動量が多い時	快適性を重視して室温設定を下げる。	パワーコントロール中
	活動量が少ない時	省エネ重視して室温設定を上げる。	パワーコントロール中
②オートオフ	検知無し 1 時間経過	運転停止 + 待機状態	オートオフ中
	検知無し 1 ~ 50 時間経過	運転停止	—
①+②	上記の組合せ	上記のいずれか	上記のいずれか
全て無効 (出荷時)	—	標準制御	—

センサ未接続・センサ不良の場合は活動量検知無し (少ない) 状況の制御になります。

設定方法は、次項を参照してください。



- ・パワーコントロール有効の場合  
人感センサにより人の活動量を検知し、設定温度を補正します。  
(リモコンの設定温度は補正された温度で表示されます。)  
冷房時 33 °C、暖房時 15 °Cまで設定温度を段階的に補正します。  
設定温度を補正中はメッセージ表示部に「パワーコントロール中」を表示します。
- ・冷房暖房設定温度 (RC-DX3C 以降)  
上記設定温度を 1 °C ぎざみで設定することができます。  
冷房：25 °C～ 35 °C (初期設定は 33 °C)  
暖房：10 °C～ 20 °C (初期設定は 15 °C)

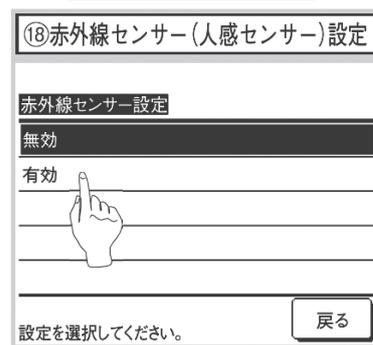
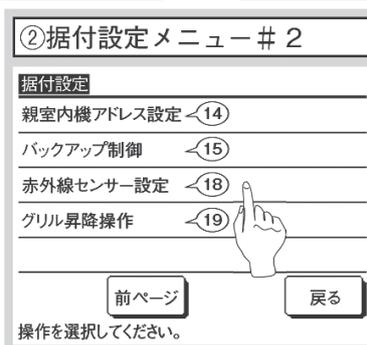


- ・オートオフ有効の場合  
人が不在となって、1 時間経過すると『運転待機』状態となります。  
運転待機時間が 1～50 時間経過すると『完全停止』します。  
『運転待機』…エアコンは停止しますが、人が戻ると運転を再開します。  
メッセージ表示部に「オートオフ中」を表示します。  
『完全停止』…エアコンを停止します。人が戻っても運転を再開しません。  
メッセージ表示部の「オートオフ中」表示が消え、運転ランプが消灯します。
- ・運転待機時間 (RC-DX3C 以降)  
冷房時、暖房時の運転待機時間 (初期設定は 12 時間) は 1～50 時間 (1 時間ぎざみ) で設定することができます。

## 制御設定 <エコタッチリモコンから設定する場合>

●エコタッチリモコン付属の据付説明書を参照して、赤外線センサ(人感センサ)を有効に設定する。

TOP 画面 **メニュー** ⇒ **サービス設定** ⇒ **据付設定** ⇒ **サービスパスワード**



●エコタッチリモコン付属の取扱説明書を参照して、制御モードを設定する。

■赤外線センサ(人感センサ) 制御

人感センサにより人の有無・活動量をセンサで判定し、各制御を行います。

■リモコンが子リモコン設定されている場合、赤外線センサ(人感センサ) 制御の設定はできません。

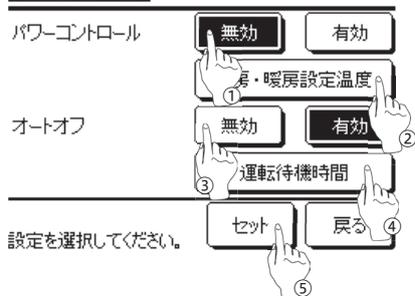
## 制御設定 <エコタッチリモコンから設定する場合>の続き

TOP画面 **メニュー** ⇒ **省エネ設定** ⇒ **管理者パスワード** ⇒ **赤外線センサー制御**

または **人感センサー制御** を選択してください。

赤外線センサー制御画面と現在の設定内容が表示されます。

### 人感センサー制御



設定を選択してください。

- ① パワーコントロールの有効 / 無効を設定します。
  - ② 冷房・暖房設定温度をタッチしてください。▲▼ボタンで設定温度を設定し、セットボタンをタッチしてください。設定温度が仮決定します。
  - ③ オートオフの有効 / 無効を設定します。
  - ④ 運転待機時間をタッチしてください。▲▼ボタンで待機時間を設定し、セットボタンをタッチしてください。運転待機時間が仮決定します。
  - ⑤ 各項目設定後、セットボタンをタッチしてください。人感センサー制御が決定し、省エネ設定メニュー画面に戻ります。
- ※②、④は RC-DX3C 以降のみ設定できます。  
※⑤を実施しないと本制御は実行されません。

## 制御設定 <ワイヤレスリモコンから設定する場合>

- ワイヤレスリモコン付属の据付説明書を参照して、**室内機能設定** の人感センサを有効に設定する。

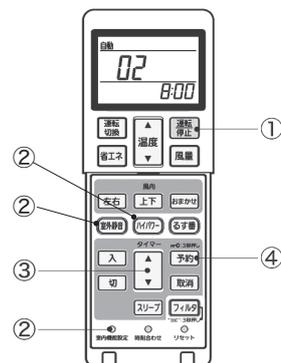
### 室内機能設定

#### 1. 室内機能設定のしかた

- ① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
- ② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
- ③ 選択ボタン▲、▼で設定番号を選択する。
- ④ 予約ボタンを押す。  
リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。

#### 2. 設定内容

ボタン	番号表示部	機能設定
室外静音	00	人感センサー設定：無効
	01	人感センサー設定：有効
ハイパワー	00	人感センサー制御：無効
	01	人感センサー制御：パワーコントロールのみ
	02	人感センサー制御：オートオフのみ
	03	人感センサー制御：パワーコントロール + オートオフ



# 4. コンパクトリモコン (RCH-D3)

PJZ012D068/A

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

**警告**

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。  
感電、故障や動作不良の原因になります。

**注意**

- 下記の様な所にリモコンを設置しない。  
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

(1) 直射日光の当たる場所	(4) 取付面が発熱・結露する場所
(2) 発熱器具の近く	(5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
(3) 湿気の多い所・水の掛る所	(6) 取付面に凹凸がある所

- リモコンの上ケースを取外したまま放置しない。  
上ケースを取外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱或いは梱包袋に入れて保護してください。

付属品	リモコン本体、木ねじ(φ3.5×16) 2本
客先手配品	リモコンコード (2心) (※2.リモコンコードを延長する場合の注意を参照ください) 〔埋込取付の場合〕 JIS ボックス、M4 ねじ (2本) 〔露出取付の場合〕 コードクランプ (適時)

**1. 取付要領**

**埋込取付の場合**

- リモコンの下面のねじを必ず外してください。
- リモコンの上ケースを外してください。  
リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。
- JIS ボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。  
〔使用可能 JIS ボックス〕  
JIS C 8336 1 個用スイッチボックス
- M4 ねじ 2 本 (推奨長さ 12~16mm) を用意して、下ケースを JIS ボックスに取付けてください。  
ねじ穴の周囲の壁の高さより、ねじ頭の大きなねじを、使用しないでください。
- リモコンコードを端子台に接続してください。  
リモコンの端子 (X, Y) と室内ユニットの端子 (X, Y) とを接続してください。  
(X, Y の極性はありません。)
- リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取付け、外したねじで固定してください。

**露出取付の場合**

- リモコンの下面のねじを必ず外してください。
- リモコンの上ケースを外してください。  
リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。

- リモコンコードの取出方向は、上部中央から可能です。  
リモコン上ケースの上方の薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。
- リモコンの下ケースを付属の木ねじ 2 本で平らな壁に取付けます。
- リモコンコードを端子台に接続してください。  
リモコンの端子 (X, Y) と室内ユニットの端子 (X, Y) とを接続してください。(X, Y の極性はありません。)  
配線経路は右図の通りとなります。

リモコンケース内を通る配線は、0.3mm<sup>2</sup> (推奨) ~ 最大 0.5mm<sup>2</sup> 以下としてください。  
また、シース部を皮むきしてください。  
各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

X 配線: 160mm
Y 配線: 150mm

シース部 皮むき長さ

- リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取付け、外したねじで固定してください。
- 露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないように、コードクランプ等で壁面に固定します。

**2. リモコンコードを延長する場合の注意** 最大総延長 600m

- リモコンコードは 0.3mm<sup>2</sup> × 2 心です。  
延長距離が 100m を超える場合は、下記サイズに変更してください。  
ただし、リモコンケース内を通る配線は 0.3mm<sup>2</sup> (推奨) ~ 最大 0.5mm<sup>2</sup> 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しない様な処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のない様確実に行ってください。

100~200m 以内	.....0.5mm <sup>2</sup> × 2 心
300m 以内	.....0.75mm <sup>2</sup> × 2 心
400m 以内	.....1.25mm <sup>2</sup> × 2 心
600m 以内	.....2.0mm <sup>2</sup> × 2 心

**3. 複数リモコン使用時の親子設定**

- 室内ユニット 1 台 (または 1 グループ) に対して最大 2 個までのリモコンを接続できます。

スイッチ	設定	機能内容
SW1-1	ON	子リモコン
	OFF	親リモコン

(2) 子リモコンの切換スイッチ SW1-1 を「子」(ON) に設定してください。工場出荷時は「親」(OFF) 設定です。  
(注) ・リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。  
・親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください  
・リモコンを複数接続した場合、エアコンの運転は、後操作したリモコンに従います。

#### 4. 電源投入時の表示

- (1) 電源投入時、最初の2秒間全点灯した後、下記表示となります。  
リモコンLCD上部に表示される番号は、ソフトウェアの管理番号を表示させているものであり、異常コードの表示ではありません。



ソフトウェア管理番号  
(左記記号は一例です。  
別の番号が出る場合もあります。)

- (2) その後、リモコンと室内ユニットの通信が確定するまで、リモコンには、「88.0℃」が点滅します。  
(3) 室内ユニット1台（または1グループ）に、1個のリモコンを接続する場合は、必ず親リモコン（出荷時設定）としてください。  
子リモコンにすると通信ができません。  
(4) リモコンと室内ユニットの通信ができない状態が30分程度続くと、「E」表示がでます。  
室内ユニットおよび室外ユニットの配線、およびリモコンの親子設定等をご確認願います。



#### 5. 吸込温度の確認方法

リモコン操作により、吸込温度の確認ができます。

- (1) **エアコンNo** ボタンを5秒以上押す。  
温度設定表示部に、「88」が点滅します。  
(データを読み込む間約2秒間点滅)



その後、吸込温度を表示します。

(例) 吸込温度：「27℃」(点灯)

(注) 吸込温度は、通常の場合室内ユニットの吸込温度を表示しますが、リモコンセンサ有効の場合は、リモコンセンサ検知温度が表示されます。

- (2) **運転/停止** ボタンを押す。  
終了します。

【リモコンセンサが無効で、一つのリモコンに複数台の室内ユニットが接続されている場合】

- (1) **エアコンNo** ボタンを5秒間押す。  
室内ユニットNo表示部：「U 000」(点滅)  
(接続されている室内ユニットの、最も若い番号を表示。)



- (2) **TEMP Δ** または **TEMP ▽** ボタンを押す。  
室内ユニットの番号を選びます。

- (3) **MODE** ボタンを押す。  
室内ユニットNoを確定します。

(例) 室内ユニットNo表示部：「U 000」

温度設定表示部に、「88」が点滅します。(データを読み込む間約2~10秒間点滅)

その後、吸込温度を表示します。**エアコンNo** ボタンを押すと、室内ユニット選択表示(例「U 000」)に戻ります。

- (4) **運転/停止** ボタンを押す。  
終了します。

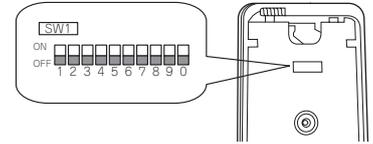
## 6. 機能設定

リモコンと室内ユニットの各機能は、リモコンと室内ユニットを接続した際に、標準的な使い方である初期設定に自動的に設定されます。標準的な使い方をする場合は、設定の変更はいりません。ただし、「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定を変更してください。設定内容は記録して保管してください。

### (1) 基板上の切換スイッチによる機能設定項目

スイッチNo	設定	設定内容	初期設定
SW1-1	ON	子リモコン	
	OFF	親リモコン	○
SW1-2	ON	リモコンセンサ有効	
	OFF	リモコンセンサ無効	○
SW1-3	ON	「運転切換」ボタン禁止	
	OFF	「運転切換」ボタン有効	○
SW1-4	ON	「運転/停止」ボタン禁止	
	OFF	「運転/停止」ボタン有効	○

スイッチNo	設定	設定内容	初期設定
SW1-5	ON	「温度設定」ボタン禁止	
	OFF	「温度設定」ボタン有効	○
SW1-6	ON	「風量調整」ボタン禁止	※注1
	OFF	「風量調整」ボタン有効	※注1
SW1-7	ON	停電補償有効	
	OFF	停電補償無効	○
SW1-8,9,0	ON	未使用	
	OFF	未使用	



- ・子リモコンはSW1-1以外は設定無効です。
- ・風量1速の室内ユニットは「風量調整」ボタン有効にはできません。

### (2) ボタン操作による機能設定項目

分類	機能番号	機能	設定番号	設定	初期設定	備考	
室内機能	01	室内ファン速度	01	ファン速度3速	※注1	ファン風量が、急-強-弱の3速となります。	
			02	ファン速度2速 (Hi-Lo)	※注1	ファン風量が、急-弱の2速となります。	
			03	ファン速度2速 (Hi-Me)		ファン風量が、急-強の2速となります。	
			04	ファン1速	※注1	ファン風量が1速のみで固定されます。	
	03	冷房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし		○	
			02	リモコンセンサ+3.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+3.0℃温度補正する。	
			03	リモコンセンサ+2.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+2.0℃温度補正する。	
			04	リモコンセンサ+1.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+1.0℃温度補正する。	
			05	リモコンセンサ-1.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、-1.0℃温度補正する。	
			06	リモコンセンサ-2.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、-2.0℃温度補正する。	
			07	リモコンセンサ-3.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、-3.0℃温度補正する。	
	04	暖房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし		○	
			02	リモコンセンサ+3.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+3.0℃温度補正する。	
			03	リモコンセンサ+2.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+2.0℃温度補正する。	
04			リモコンセンサ+1.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+1.0℃温度補正する。		
05			リモコンセンサ-1.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、-1.0℃温度補正する。		
06			リモコンセンサ-2.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、-2.0℃温度補正する。		
07			リモコンセンサ-3.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、-3.0℃温度補正する。		
05	換気設定	01	換気接続なし		○		
		02	エアコンと連動		シングル機は室内基板 CnT、マルチ機は室内基板 CND に換気機器を接続すると、室内ユニットの運転に連動し、換気機器の運転/停止を行います。		
06	「自動」運転設定	01	「自動」運転有効		※注1		
		02	「自動」運転無効		※注1	「自動」運転不可	
室内機能	07	運転許可/禁止	01	無効		○	
			02	有効			運転許可/禁止制御を有効にします。
	08	外部入力切替	01	レベル入力		○	
			02	パルス入力			
	09	高天井設定	01	標準		注2	
			02	高天井1		注2	
			03	高天井2		注2	
	10	冷房時 ファン残留運転	01	残留運転なし		○	冷房停止後、ファン残留運転なし。
			02	0.5時間			冷房停止後、0.5時間ファン残留運転する。
			03	1時間			冷房停止後、1時間ファン残留運転する。
			04	6時間			冷房停止後、6時間ファン残留運転する。
	11	暖房時 ファン残留運転	01	残留運転なし		○	暖房停止、または暖房サーモOFF後、ファン残留運転なし。
			02	0.5時間			暖房停止、または暖房サーモOFF後、0.5時間ファン残留運転する。
			03	2時間			暖房停止、または暖房サーモOFF後、2時間ファン残留運転する。
04			6時間			暖房停止、または暖房サーモOFF後、6時間ファン残留運転する。	
12	暖房室温補正	01	補正なし		○		
		02	室温補正+3.0℃			暖房時の設定温度を+3.0℃補正します。	
		03	室温補正+2.0℃			暖房時の設定温度を+2.0℃補正します。	
		04	室温補正+1.0℃			暖房時の設定温度を+1.0℃補正します。	
13	暖房ファン制御	01	弱風		○	暖房サーモOFF時、弱風で運転します。	
		02	設定風量			暖房サーモOFF時、設定風量で運転します。電気集塵機を取付けた場合は「設定風量」に設定してください。	
		03	間欠運転			暖房サーモOFF時、間欠運転します。	
		04	停止			暖房サーモOFF時、ファンは停止します。リモコンセンサ有効時は、自動的に「停止」に設定されます。本体サーモの時は、設定しないでください。	
14	吸込温度補正	01	補正なし		○		
		02	吸込温度補正+2.0℃			室内ユニットの吸込温度を+2.0℃補正します。	
		03	吸込温度補正+1.5℃			室内ユニットの吸込温度を+1.5℃補正します。	
		04	吸込温度補正+1.0℃			室内ユニットの吸込温度を+1.0℃補正します。	
		05	吸込温度補正-1.0℃			室内ユニットの吸込温度を-1.0℃補正します。	
		06	吸込温度補正-1.5℃			室内ユニットの吸込温度を-1.5℃補正します。	
		07	吸込温度補正-2.0℃			室内ユニットの吸込温度を-2.0℃補正します。	

注1：「※」印の初期設定は、接続される室内ユニットおよび室外ユニットにより異なり、下記の通り自動判別されます。

スイッチNo 機能番号	機能	設定	機種
SW1-6	風量調整	「風量調整」ボタン禁止	室内ファン風量切換えが1速のみの機種
		「風量調整」ボタン有効	室内ファン風量切換えが2速または3速の機種
リモコン機能 01	室内ファン速度	ファン速度3速	室内ファン風量3速の機種
		ファン速度2速 (Hi-Lo)	室内ファン風量2速の機種
		ファン1速	室内ファン風量切換えが1速のみの機種
リモコン機能 06	「自動」運転設定	「自動」運転有効	「自動」モード選択可能な機種
		「自動」運転無効	「自動」モードの無い機種

注2：高天井設定時のファンタップ

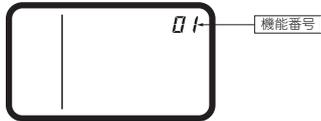
ファンタップ	室内風量設定		
	急-強-弱	急-弱	急-強
標準	Hi-Me-Lo	UHi-Lo	Hi-Me
高天井1・2	UHi-Hi-Me	UHi-Me	UHi-Hi

機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。

注3：ツイン・トリプル・ダブルツイン機の場合、室内機能設定は親室内ユニット・子室内ユニット各々設定してください。ただし、「07 運転許可/禁止」「08 外部入力切替」は親室内ユニットのみで設定可能です。

## 7. ボタン操作による機能設定の仕方

- (1) エアコンを停止させて、**[エアコンNo]**と**[MODE]**ボタンを同時に長押しする。  
右上に、機能番号「01」が点滅します



- (2) **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。  
機能番号を選択します。

- (3) **[MODE]**ボタンを押す。  
機能番号を確定する。

- (4) **【リモコン機能 (01~06) を選んだ場合】**

- ① 選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。  
(例)  
機能番号：「01」 (点灯)  
設定番号：「01」 (点滅)

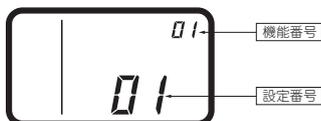


- ② **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。  
設定番号を選択します。

- ③ **[MODE]**ボタンを押す。

設定が完了します。  
確定した機能番号と、設定番号をデータを送信する間約  
3～20秒間点灯します。

- (例)  
機能番号：「01」 (3～20秒間点灯)  
設定番号：「01」 (3～20秒間点灯)



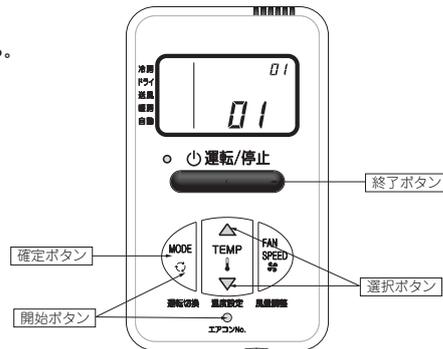
その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、  
続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。  
終了する場合は、(5)へお進みください。

- (5) **[運転/停止]**ボタンを押す  
設定を終了します。

- ・設定の途中で、**[運転/停止]**ボタンを押しても終了します。ただし、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- ・設定内容は、コントローラ内部に記憶され停電しても保存されています。

### 【現在設定の確認方法】

上記操作により、「機能番号」を選び、「MODE」ボタンを押した時に、最初に表示される「設定番号」が、現在設定されている内容です。  
(ただし、「U ALL」(全台)を選んだ場合は、室内ユニットNoの最も若い機種の設定番号が表示されます。)



### 【室内機能 (07~14) を選んだ場合】

- ① 温度設定表示部に、「88」が点滅します。

(データを読み込む間約2～10秒点滅)

↓

その後、選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。

- (例)  
機能番号：「07」 (点灯)  
設定番号：「01」 (点滅)

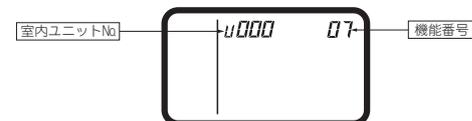


- ② へお進みください。

### 【注意】

- a. 一つのリモコンに、室内ユニットを複数台接続している場合は、  
下記表示となります。

室内ユニットNo表示部：「U 000」 (点滅)  
(接続されている室内ユニットの、最も若い番号を表示。)



- b. **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。  
設定したい室内ユニットの番号を選びます。

「U ALL」を選択すると、全台同一の設定ができます。

- c. **[MODE]**ボタンを押す。

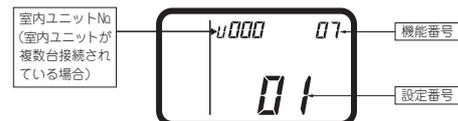
室内ユニットNoを確定します。  
温度設定表示部に、「88」が点滅します。(データを読み込む間2～10秒点滅)  
**[エアコンNo]**ボタンを押すと室内ユニット選択表示 (例「U 000」点滅)  
に戻ります。

- ② **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。  
設定番号を選択します。

- ③ **[MODE]**ボタンを押す。

設定が完了します。  
確定した室内ユニットNo、機能番号、設定番号をデータを送信する間約  
3～20秒間点灯します。

- (例)  
室内ユニットNo：「U 000」 (3～20秒間点灯)  
機能番号：「07」 (3～20秒間点灯)  
設定番号：「01」 (3～20秒間点灯)



その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、続けて設定する場合は、  
同じ要領で設定してください。終了する場合は、(5)へお進みください。

## 5. ラクリーナ用リモコン (CRC-L)

### 外観図



外形寸法：86×40×6.2(H×W×D)mm

適用形式 GT, GTW, GEシリーズ

〔備考〕ラクリーナ用リモコンを使用する場合は、必ず別売のワイヤレスキットを装着してください。

### 付属品

名 称	個数
リモコン	1
リチウムコイン電池 (CR2025)	1
ストラップ	1

コンパクトサイズでラクリーナパネルの昇降操作を手軽に行えます。

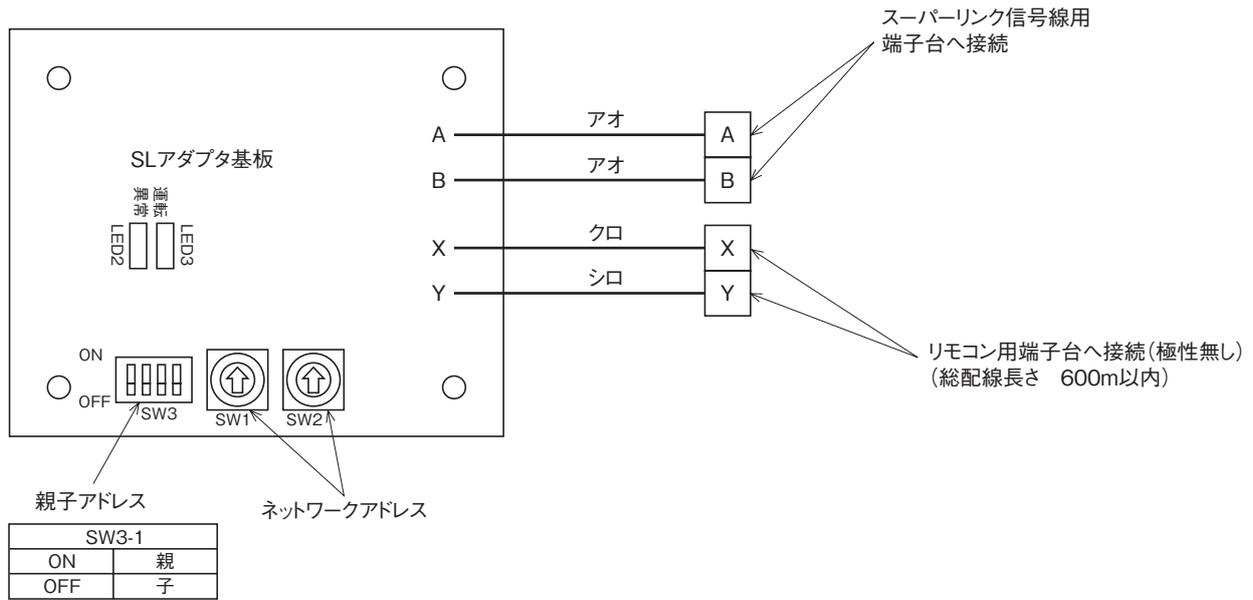
- リモコン通信線上に、ワイヤードリモコン、ワイヤレス受信部は、合計2セットまで接続可能です。但し、グリル昇降は「親」設定側のみ可能です。本機からグリル昇降させる時は、ワイヤレス受信部基板上的のSW2を「親」設定とし、ワイヤードリモコン側を「子」設定してください。
- 送信距離は最大で約5mです。受信部に垂直に送信できなかったり、また受信部照度が大きくなると送信距離は短くなる場合があります。
- グリル昇降中はエアコンを停止させてください。

## 6. スーパーリンクアダプタ (SC-ADNA)

仕 様		機 能
名 称	スーパーリンクアダプタ	
形 式	SC-ADNA	
適用機種	室外-室内 2心通信仕様	
外形寸法 (mm)	プリント基板 65×80×20 板金ボックス100×85×35	
制御可能な室内機台数	最大16台 (同一運転モード)	

- (1) スーパーリンクオプションからの設定内容を各室内ユニットに送信
- (2) スーパーリンクオプションからのデータ要求に対し優先室内ユニットのデータを返信
- (3) 接続室内ユニットの異常状態を点検コードでスーパーリンクオプションに送信

## 接続要領



### ● 信号線

0.75mm<sup>2</sup>~1.25mm<sup>2</sup>のシールド線 (MVVS 2心)

注(1) 線径が0.75mm<sup>2</sup>時で1500mまで、1.25mm<sup>2</sup>時で1000mまでとなります。  
2.0mm<sup>2</sup>は使用しないでください。誤動作となる場合があります。

注(2) シールド線は、両端をアースしてください。

### リモコンコードを延長する場合の注意

● コードは必ずシールド線を使用してください。

● 0.3mm<sup>2</sup>×2心

注(1) 延長距離が100mを超える場合は下記のサイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm<sup>2</sup>以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

100~200m以内…0.5mm<sup>2</sup>×2心

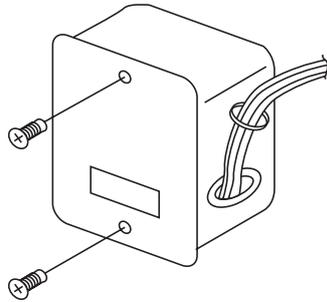
~300m以内…0.75mm<sup>2</sup>×2心

~400m以内…1.25mm<sup>2</sup>×2心

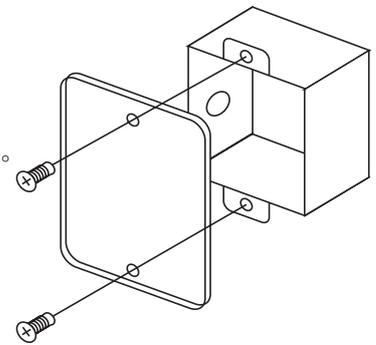
~600m以内…2mm<sup>2</sup>×2心

## 取付要領

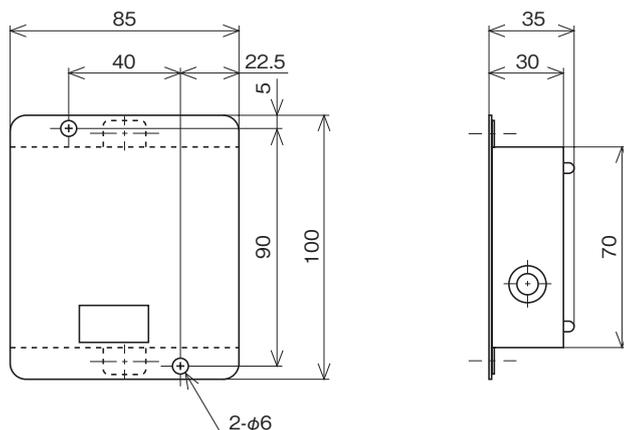
▶ 室内ユニット外へ設置する場合は、板金カバーを取付けてください。



▶ リモコン背面へ取付の場合は、直接リモコン下ケースへ取付けてください。



## 板金ボックス外形図



# 7. お掃除ラクリーナパネル (T-PSCLS-5BW/D)

## (1) 据付説明書

PJF012D052

本説明書は、お掃除ラクリーナパネルの据付方法を記載してあります。  
室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

### ⚠ 警告

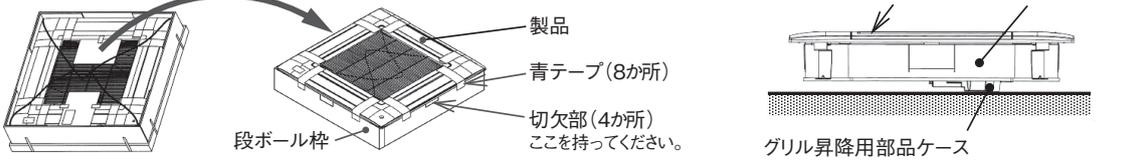
- 配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。また、ぬれた手で操作などしない。  
感電、故障や動作不良の原因になります。

### ⚠ 注意

- 次の場所への設置は避けてください。故障の原因になります。  
・油煙が発生する作業場や水蒸気の発生、湿気の多いところ  
・粉が浮遊する作業場や細かいホコリが大量に発生するところ  
・タバコの煙が多いところ  
・化粧品・特殊なスプレーを使用するところ
- 温度制御が重要なところへの設置は避けてください。トラブルの原因になります。  
エアコン運転中にフィルター清掃を開始すると、風量Lo・風向制御停止となります。

### 注意

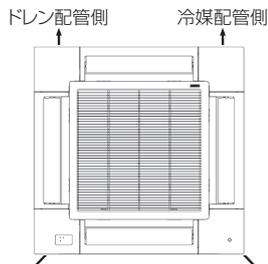
製品を梱包から取出す際は、段ボール枠と共に取出して、平らな場所に置いてください。  
段ボール枠は製品に青テープで固定されています。段ボール枠の切欠部を持って取出してください。  
グリル昇降用部品ケースが製品の面より突出しているため、段ボール枠なしに意匠面を上にして製品を置くと、  
グリル昇降用部品やそれを固定している発泡スペーサが破損します。



### お願い <ラクリーナ(グリル昇降)について>

- ・吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
- ・電源投入前にお掃除ラクリーナパネルを取付けた場合、リモコンによる吸込グリルの昇降動作はできません。
- ・電源投入前に吸込グリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定することができます。
- ・電源投入後は付属のクランプを外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
- ・吸込グリル取付け後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、吸込グリルを正規位置に収納してください。  
(マイコンが収納位置を記憶します。)
- ・ワイヤーは、折り曲げ、ねじり、噛み込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

### 1 据付の前に



#### 付属品

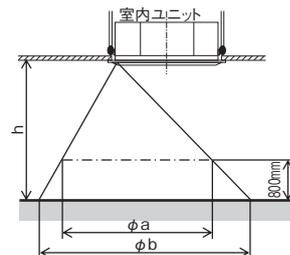
取扱説明書	1冊	
据付説明書	1枚	
ボルト	4本	室内ユニットへの固定用
ストラップ	4本	コーナリッド落下防止用
ねじ	4本	コーナリッド固定用 ※
クランプ	4本	吸込グリル仮固定用

※：電源投入前に吸込グリルを仮固定する際に使用するクランプを固定するためにも流用します。

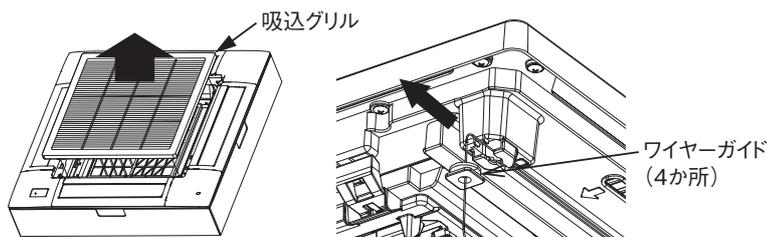
- ・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・付属品を確認してください。
- ・人感センサの検知範囲の目安は以下のとおりです。

#### 人感センサ検知範囲の目安

天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①	φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②	φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

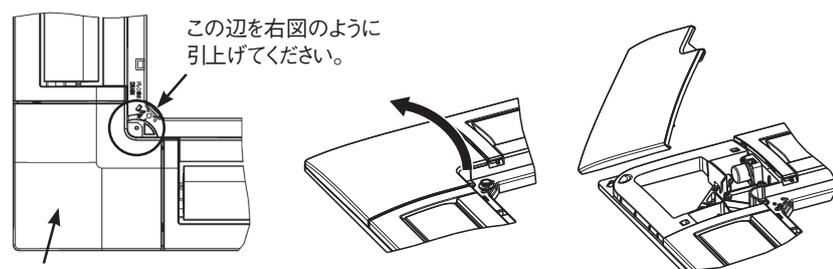


## ② 吸込グリルの取外し



1. 吸込グリルを持ち上げて、吸込グリルを開けます。
2. 吸込グリルのコーナに取付けてあるワイヤーガイドを外側にスライドして外してください。(4か所)
3. 吸込グリル内側のダストボックスの固定に使用している段ボールと青テープを取外してください。

## ③ コーナリッドの取外し

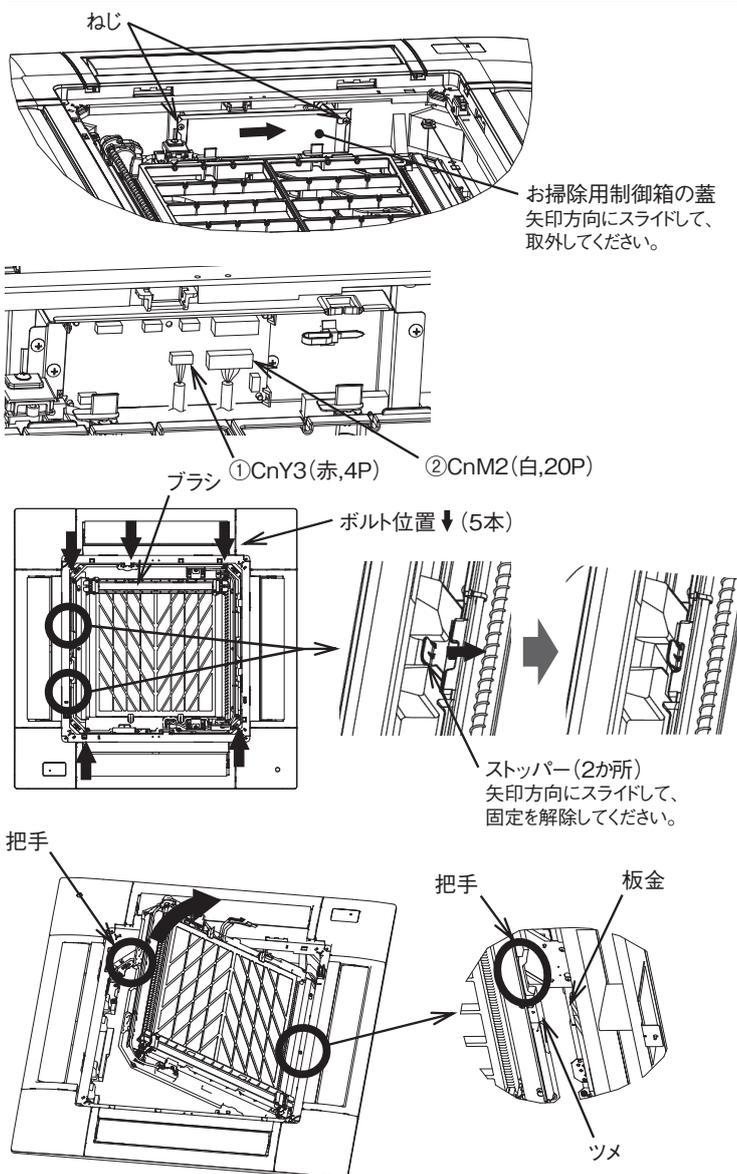


- ・コーナリッドを矢印の方向へ引上げて取外してください。(4 コーナとも)

### ご注意

表示部および人感センサ部は、コーナリッド内で配線が接続されています。

## ④ お掃除ユニットの取外し



1. お掃除用制御箱の蓋を取外してください。  
ねじ(2本)を緩め、蓋を図の矢印の方向にスライドして取外してください。

2. お掃除用制御箱内のコネクタを外してください。  
①CnY3 (赤, 4P) : ブラシ位置検知スイッチ線  
②CnM2 (白, 20P) : ブラシモータ線

3. ボルト(5本)を取外してください。

4. 仮固定ストッパー(2か所)を図の矢印の方向にスライドして、固定を解除してください。

5. 把手を持って、ストッパー側から引上げてください。  
反対側はお掃除ユニットのツメがパネル本体の板金に引掛かっています。

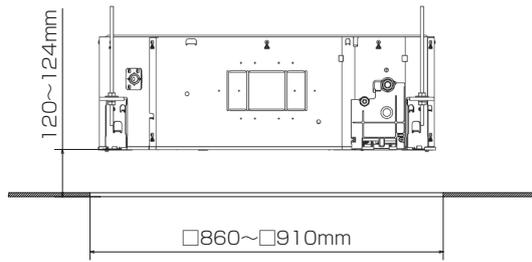
6. ツメを板金から外し、お掃除ユニットをパネル本体から取外してください。

### ご注意

シャフトやブラシを持たないでください。  
フィルター清掃が正常に動かなくなります。

7. お掃除ユニットは、フィルター側を上にして平らな場所に置いてください。  
平らな場所には置くことができます。

## 5 室内ユニットの取付レベルの確認



室内ユニット取付高さは、パネル取付後にコーナ開口部より微調整ができます。

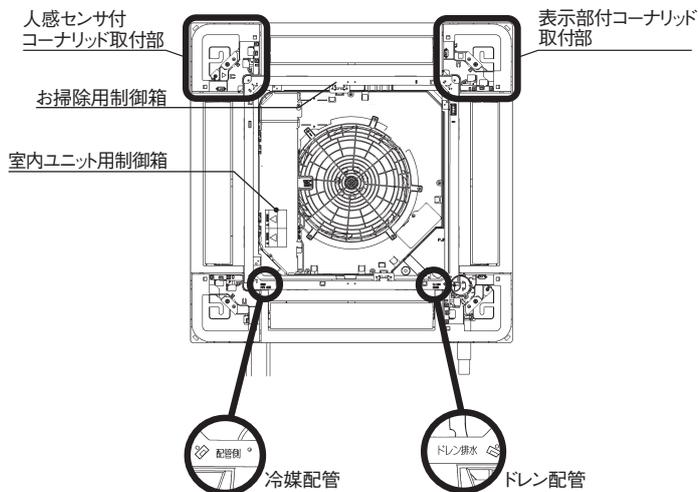
### 標準パネルよりも+110mm高く

- ・お掃除ラクリーナパネルの場合、標準パネルの据付に対し、天井裏高さが110mm増します。天井下面と室内ユニット下面の差は120~124mmの範囲内としてください。
- ・天井開口は標準パネルと同一の□860~□910mmの範囲にしてください。

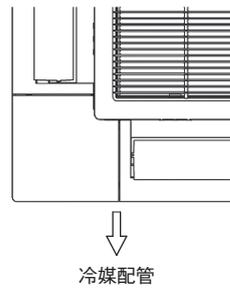
### ご注意

パネル本体取付の際、室内ユニットの天井からの高さはパネル本体に無理な荷重がかからない高さにしてください。フィルター清掃が正しくできなかつたり、吸込グリルが正しく閉じないことがあります。

## 6 パネル本体の取付方向

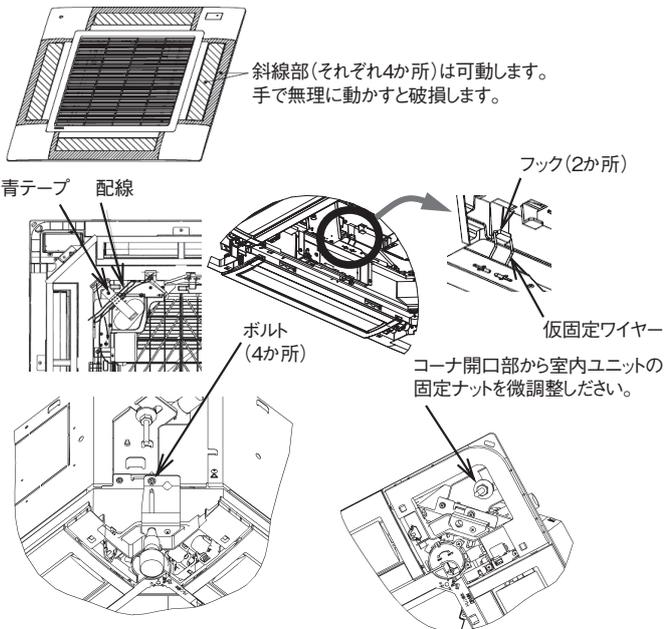


- ・パネル本体の取付方向は室内ユニットに対し方向性があります。
- ・パネル本体は、図に示す方向で取付けてください。
- ・パネル本体の「ドレン排水」と室内ユニットドレン配管の位置を合わせてください。
- ・パネル本体の「配管側」と室内ユニット冷媒配管の位置を合わせてください。



吸込グリルに方向性があります。一方にしか取付けられません。

## 7 パネル本体の取付



### ご注意

吹出口のルーバ(斜線部)と吹出口周囲のエアフレックス(斜線部)は可動する部品です。手で無理に動かすと破損します。パネル本体を持つ際は取扱に注意してください。

1. パネル本体の裏側で配線が青テープで固定されています。青テープを剥がしてください。
2. パネル本体の仮固定ワイヤーを室内ユニットのフック(2か所)に引掛けて、パネル本体を室内ユニットに吊ります。
3. 付属のボルト(4本)で、パネル本体と室内ユニットを固定してください。室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がなければ、パネル本体を取付けたまま室内ユニットの据付高さを微調整できます。

### ご注意

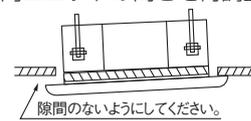
パネル本体取付の際、室内ユニットの天井からの高さはパネル本体に無理な荷重がかからない高さにしてください。フィルター清掃が正しくできなかつたり、吸込グリルやエアフレックスを閉じることができない恐れがあります。

### ご注意

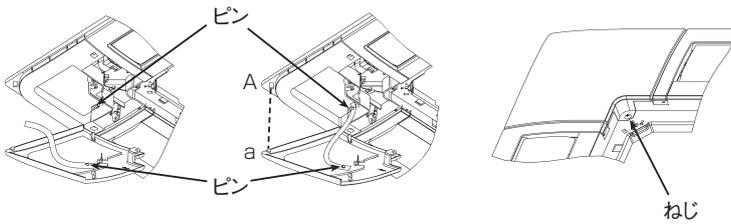
- ・吊りボルトの締込が不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締込んでください。



- ・吊りボルトを締込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。

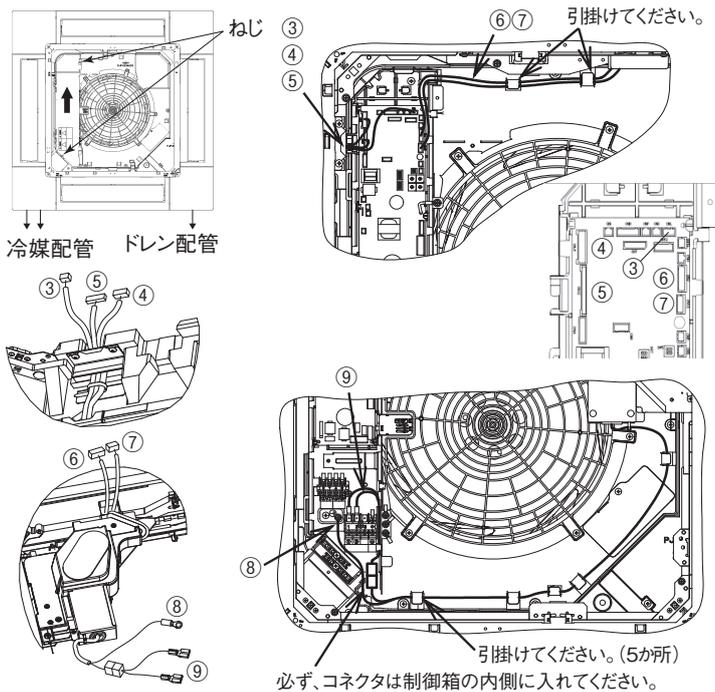


## 8 コーナリッドの取付



1. 付属のストラップをコーナリッドのピンに折り返して引掛けてください。
2. コーナリッドに取付けたストラップの反対側をパネル本体のピンに引掛けてください。
3. コーナリッドのa部をパネル本体のA部に挿入して、コーナリッドのツメ (2か所) をはめてください。
4. 付属のねじで固定してください。

## 9 電気配線工事 (パネルと室内ユニットとの接続)



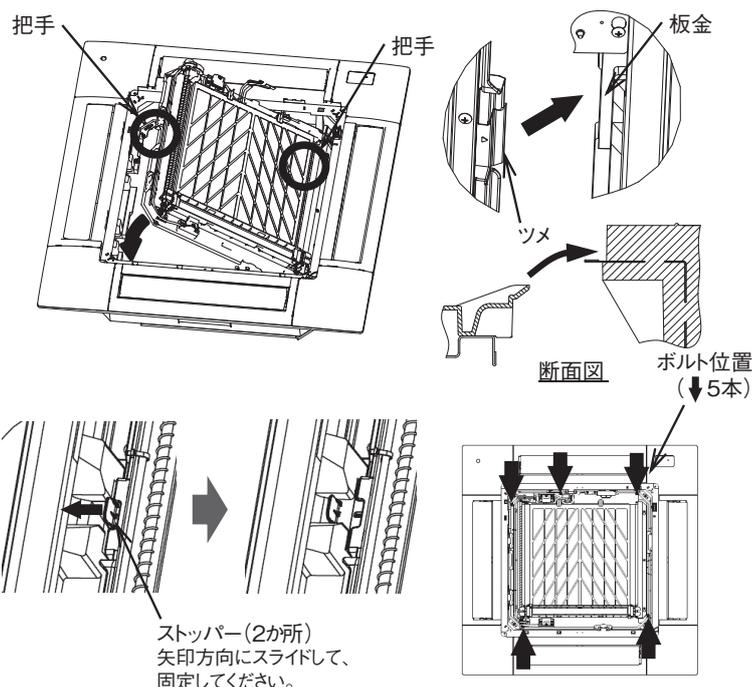
1. 室内ユニットの制御箱の蓋のねじ(2本)を緩め、蓋を図の矢印の方向にスライドして取外してください。
2. パネル本体の配線を室内ユニットに接続してください。  
<信号線>  
③CnL (黒, 3P) : 人感センサ線  
④CnJ1 (白, 20P) : ルーパモータ線  
⑤CnJ2 (白, 20P) : エアフレックスモータ線  
⑥CnV (白, 6P) : ラクリーナ基板線  
⑦CnV2 (黒, 4P) : お掃除基板線  
<電源線>  
⑧ファストン端子 (2個) : ラクリーナ電源線  
⑨丸端子 (1個) : アース線

### ご注意

アース線は、所定の箇所に接続してください。

3. 室内ユニットの制御箱の蓋を取付け、ねじ(2本)を締付けてください。
4. 室内ユニットの形式、製造号機を取扱説明書裏ページ等へ控えてください。  
(お掃除ユニットを取付けると室内ユニットの装置銘板が見え難くなります。)

## 10 お掃除ユニットの取付



1. お掃除ユニットの把手(2か所)を持って、取付けてください。

### ご注意

シャフトやブラシを持たないでください。  
フィルター清掃が正常に動かなくなります。

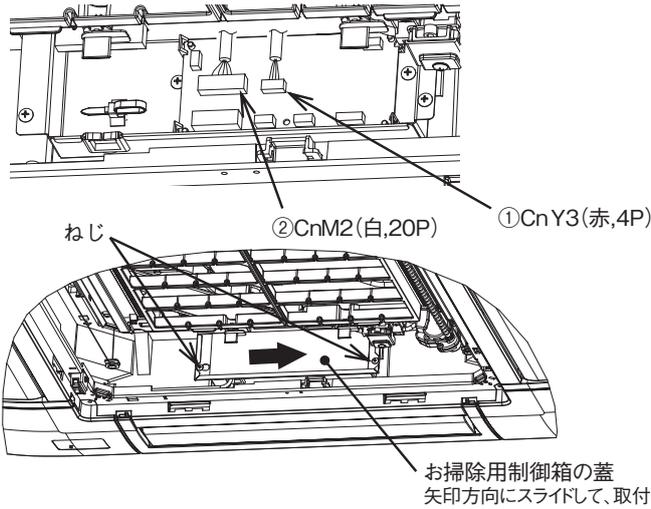
2. お掃除ユニットのツメをパネル本体の板金部に乗るように、お掃除ユニットをパネル本体に収めてください。
3. お掃除ユニットのシャフト側をパネル本体に収めてください。

### ご注意

お掃除ユニットをパネル本体に収める際、ワイヤを噛まないよう注意してください。

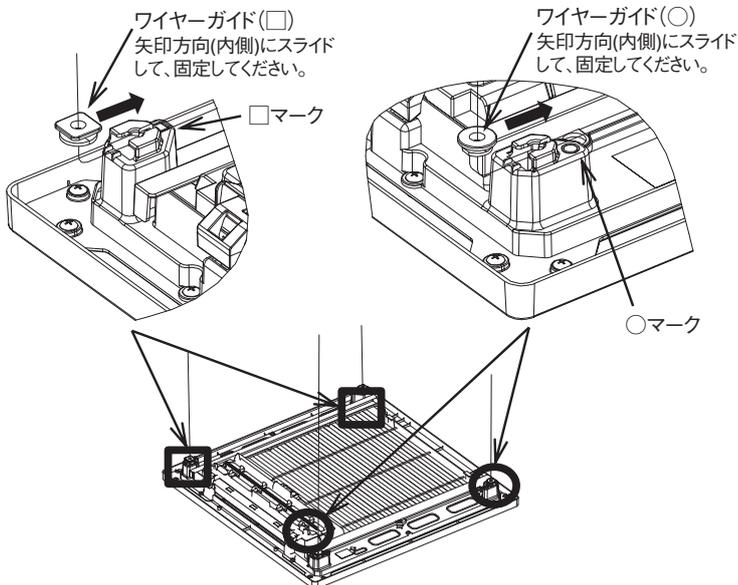
4. 仮固定ストッパー(2か所)を矢印の方向にスライドして、仮固定してください。
5. ボルト(5本)で固定してください。

## ⑪ 電気配線工事 (パネルとお掃除ユニットとの接続)



- お掃除用制御箱内の配線を接続してください。  
①CnY3(赤,4P):ブラシ位置検知スイッチ線  
②CnM2(白,20P):ブラシモータ線
- お掃除用制御箱の蓋を取付けてください。  
蓋を図の矢印の方向にスライドし、ねじ(2本)を締付けてください。

## ⑫ 吸込グリルの取付



- ワイヤーガイドを吸込グリルに取付けてください。  
ワイヤーガイドの形状と取付部のマークの形状を合わせてください。  
形状が異なる組合せでは取付けることができません。

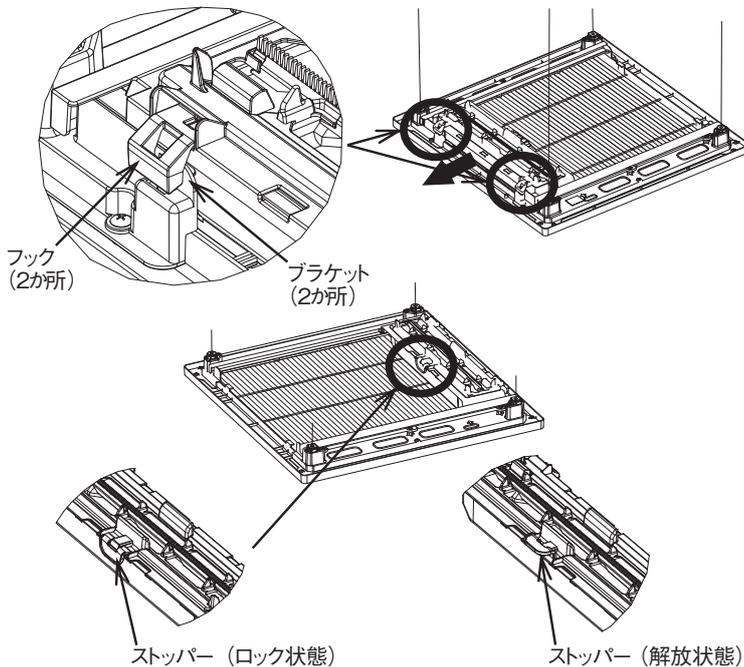
### ご注意

吸込グリルの取付には方向性があります。  
正しい方向に取付けないと、フィルター清掃ができません。

### ご注意

ワイヤーガイドは確実に取付けてください。また、ワイヤーが他の部品に絡まっていないか確認してください。  
吸込グリルの昇降ができなくなったり、吸込グリルが脱落する恐れがあります。

## ⑬ ダストボックスの確認



- ダストボックス蓋のフック(2か所)が吸込グリルのブラケットに引掛かっていることを確認してください。  
引掛かっていない場合は、ダストボックスを矢印の方向に移動し、フックを引掛けてください。

### ご注意

ダストボックス蓋のフックが引掛かっていない状態で吸込グリルを閉じると、正しくフィルター清掃できません。  
最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

- ダストボックス蓋のストッパー(1か所)がロックされ、ダストボックス(透明)が出てこないことを確認してください。

## 14 ecoタッチリモコンによる各種設定

フィルター清掃などお掃除ラクリーナパネルの機能や吸込グリルの昇降、人感センサを使用した制御を使用するには、ecoタッチリモコンでの設定が必要です。必ず、本項の設定をしてください。

<お掃除機能の設定> 詳細はecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

TOP画面 [メニュー] ⇒ [お手入れ] ⇒ [お掃除パネル設定] ⇒ 管理者パスワード入力

お掃除パネル設定	
お掃除自動	①
清掃時間帯設定	②
清掃間隔設定	③
ダスト回収設定	④
ブラシ清掃回数	使用しません
次ページ 戻る	

設定を選択してください。

お掃除パネル設定	
ブラシ移動速さ	⑤
ブラシ往復数	⑥
前ページ 戻る	

設定を選択してください。

### ご注意

必ず、①お掃除自動を有効に設定してください。  
フィルター清掃しません。

### ①お掃除自動

お掃除機能の有効/休止を設定します。

**休止を選択した場合、お掃除に関する全ての機能が使用できませんので、ご注意ください。**

制御有効：お掃除に関する全ての制御が有効になります。自動フィルター清掃などお掃除の機能を有効にします。

制御休止：お掃除に関する全ての制御が休止になります。

フィルター清掃しなくなり、お掃除の機能が全て使えなくなります。ecoタッチリモコンやバックアップスイッチでの操作も全てできなくなります。

### ②清掃時間帯設定

自動でフィルター清掃を開始する時間帯を設定します。

設定した時間帯のエアコンが停止しているときにフィルター清掃を開始します。

A：0:00～6:00

B：6:00～12:00

C：12:00～18:00

D：18:00～24:00

E：時刻指定… フィルター清掃を開始する時刻を5分単位で設定できます。設定した時刻にフィルター清掃を開始します。

### ③清掃間隔設定

フィルター清掃する間隔を設定します。

設定した期間中に1回もエアコンを運転していない場合、設定した間隔でフィルター清掃しません。

ただし、エアコンを運転していない期間が連続7日経過すると、自動でフィルター清掃します。

A：毎日… 1日1回、フィルター清掃します。

B：2日毎… 2日1回、フィルター清掃します。

C：3日毎… 3日1回、フィルター清掃します。

### ④ダスト回収設定

ダスト回収(ダストボックス内に溜まったホコリを廃棄)をお知らせする時期を設定します。

パネル表示部の表示灯(黄)が点灯し、ecoタッチリモコンにダスト回収の時期であることを表示します。

A：半年毎

B：1年毎

C：2年毎

D：日付指定… 設定した日にちにダスト回収時期をお知らせします。

### 参考

一般事務所1年分のホコリを想定しています。  
ホコリの多少により設定してください。

### ⑤ブラシ移動速さ設定

フィルター清掃するブラシの移動速さを設定します。(工場出荷時の設定はB：ふつう)

カッコ内の時間は、ブラシが1往復する時間です。

A：ゆっくり (約45分)

B：ふつう (約30分)

C：少し 早い (約17分)

D：はやい (約8分)

### 参考

ホコリがフィルターに残る場合、A：ゆっくりに  
設定すると改善される場合があります。

### ⑥ブラシ往復数設定

フィルター清掃1回にブラシが往復する回数を設定します。(工場出荷時の設定は1回)

1～3回で設定できます。

1回のフィルター清掃に要する時間は設定した⑤ブラシ移動速さの時間と⑥ブラシ往復数の積になります。

例) ブラシ移動速さ：ふつう(約30分)、ブラシ往復数：2回に設定した場合。

約30分 × 2往復 = 約60分 … フィルター清掃開始して完了するまでに要する時間(1回のフィルター清掃の時間)

### <吸込グリル昇降の設定>

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ [グリル昇降操作]

グリル昇降操作

無効

有効50Hz

有効60Hz

操作を選択してください。 戻る

据付場所の電源周波数をタッチしてください。

#### ご注意

必ず、設定してください。  
吸込グリルを昇降できません。

吸込グリル下降長さを設定する場合はecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。  
(工場出荷時の設定は2m)

### <人感センサーの設定>

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ [人感センサー設定]

人感センサー

無効

有効

設定を選択してください。 戻る

[有効]をタッチしてください。

#### ご注意

必ず、設定してください。  
人感センサーの機能が使えません。

人感センサーを使用した制御の設定はecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

### <エアフレックス(風よけ)について>

エアフレックス(風よけ)の設定は特に必要ありません。

ecoタッチリモコンのF1スイッチで、エアフレックス(風よけ)をON/OFFできます。

ただし、吹出口ごとや運転モードによりエアフレックス(風よけ)のON/OFFを変更する場合はecoタッチリモコンでの設定が必要です。ecoタッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

## 15 ecoタッチリモコンによる動作確認など

ecoタッチリモコンを使用して、フィルター清掃の実施や各動作の確認をすることができます。

### 1. 試運転

TOP画面 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ [試運転] ⇒ [お掃除試運転]

お掃除試運転

フィルター掃除 ①

ブラシ掃除① ②

ブラシ掃除② ③

操作を選択してください。 戻る



ブラシ清掃①

運転 停止

操作を選択してください。 戻る

#### ①フィルター清掃

フィルター清掃します。フィルター清掃中は吸込グリルの昇降ができません。

フィルター清掃を実施中、パネル表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。

表示灯(緑):点灯 / 表示灯(黄):消灯

#### ②ブラシ清掃①

ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルターに残っているホコリを除去するため、

ブラシが移動速さC:少し(はやく)でランダムに往復を繰り返します。(約12分)

ブラシ清掃①を実施中、パネル表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。

表示灯(緑):点灯 / 表示灯(黄):連続点滅

#### ③ブラシ清掃②

ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルターに残っているホコリを除去するため、

ブラシが設定した移動速さでランダムにブラシ清掃①より少ない往復数で往復を繰り返します。

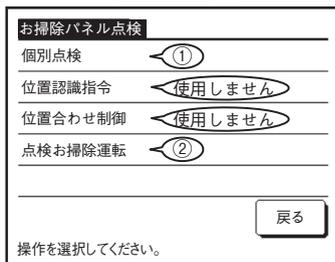
(所要時間はブラシ移動速さによる)

ブラシ清掃②を実施中、パネル表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。

表示灯(緑):点灯 / 表示灯(黄):連続点滅

## 2. 点検

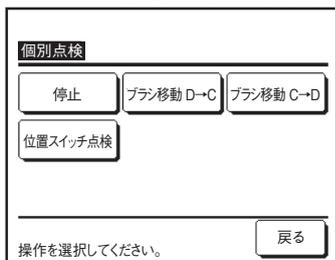
TOP画面 **メニュー** ⇒ **サービス設定** ⇒ **サービス・メンテナンス** ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ **お掃除パネル点検**



※位置認識指令と位置合わせ制御は本製品では使用しません。  
旧型のお掃除ラクリーナパネルで使用します。

### ① 個別点検

ブラシを移動させたり、位置検知スイッチの点検をすることができます。



ブラシ移動 D→C：ブラシがD側→C側に移動します。

ブラシがC側端に到達すると停止します。

また、**停止**をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。

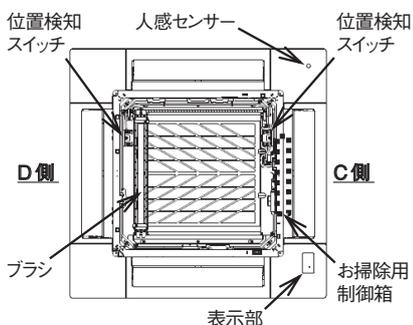
表示灯(緑)：1回点滅 / 表示灯(黄)：連続点滅

ブラシ移動 C→D：ブラシがC側→D側に移動します。

ブラシがD側端に到達すると停止します。

また、**停止**をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。

表示灯(緑)：2回点滅 / 表示灯(黄)：連続点滅



位置スイッチ点検：表示灯(緑)と表示灯(黄)が3秒間点滅します。その後、位置検知スイッチ(D側)をON中は表示灯(緑)が点灯します。位置検知スイッチ(C側)をON中は表示灯(黄)が点灯します。**停止**をタッチするか、5分経過すると終了します。

### ご注意

吸込グリルを開いた状態でブラシ移動した場合、移動の途中など、ブラシがD側端にない状態(表示灯(黄)：連続点滅)で吸込グリルを閉じないでください。正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

### ② 点検お掃除運転

フィルター清掃を開始します。フィルター清掃中に吸込グリルの昇降ができます。

また、お掃除ユニットの動作を点検する場合など、吸込グリルを開いた状態でフィルター清掃ができます。



表示灯(緑)：点灯 / 表示灯(黄)：連続点滅

### ご注意

吸込グリルを開いた状態で点検お掃除運転した場合、フィルター清掃の途中など、ブラシがD側端にない状態(表示灯(黄)：連続点滅)で吸込グリルを閉じないでください。正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

### ③ バックアップスイッチでの点検

バックアップスイッチで下記の点検動作ができます。動作内容はecoタッチリモコンを使用した場合と同じです。

バックアップスイッチのON時間	点検内容	表示灯(緑)	表示灯(黄)
3秒未満	点検お掃除運転	点灯	連続点滅
3～6秒	ブラシ移動D→C	1回点滅	連続点滅
6～10秒	ブラシ移動C→D	2回点滅	連続点滅
10秒以上	位置スイッチ点検	※	

※：表示灯(緑)と表示灯(黄)が3秒間点滅します。その後、位置検知スイッチ(D側)をON中は表示灯(緑)が点灯します。位置検知スイッチ(C側)をON中は表示灯(黄)が点灯します。再び、バックアップスイッチを押すか、5分経過すると終了します。

### ご注意

点検動作中は、ブラシがD側端部でない(表示灯(黄)：連続点滅)状態でグリルを昇降できます。(通常はできません。)  
**表示灯(黄)が連続点滅しているときは吸込グリルを閉じないでください。**

正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

**必ず、表示灯(黄)が消灯しているのを確認してから、吸込グリルを閉じてください。**表示灯(黄)が連続点滅している場合は、消灯してから吸込グリルを閉じてください。(個別点検の**ブラシ移動 C→D**をタッチしてください。)

ダスト回収時期に到達した場合は表示灯(黄)は点灯します。

ダスト回収し、フィルターサインをリセットした後、表示灯(黄)が連続点滅するか確認してください。

## 安全上のご注意

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。お掃除ラクリーナパネル関連事項を抜粋しています。必ずエアコンの取扱説明書「安全上のご注意」もお読みください。

■ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、誤った取扱をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「△警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■絵表示の例



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はアースを行なってください）が描かれています。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

### 据付上の注意事項

#### △警告

据付は、販売店または専門業者に依頼する。  
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、  
エアコン落下によるケガの原因になります。

#### △注意

次の場所への設置は避けてください。故障の原因になります。

- 油煙が発生する作業場
- 粉が浮遊する作業場
- タバコの煙が多いところ
- 水蒸気の発生、湿気が多いところ
- 化粧品・特殊なスプレーを使用するところ
- 細かいホコリが多いところ

温度制御が重要なところへの設置は避けてください。

トラブルの原因になります。

エアコン運転中にフィルター清掃を開始すると、風量 Lo・風向制御停止となります。24 時間運転等のところでは、フィルター清掃中運転状態（能力低下）が変わります。尚、フィルター清掃中は表示部に緑が点灯します。

### 使用上の注意事項

#### △警告

エアコンおよびリモコンを水洗いしない。  
エアコンおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になります。

可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）はエアコンの近くで使用しない。ベンジン・シンナーで室内ユニット、パネルをふかない。  
引火・感電・ひび割れの原因になります。

#### △注意

濡れた手でスイッチを操作しない。  
感電の原因になることがあります。

濡れたフィルターを使用しない。  
フィルターを洗った時は乾かしてから装着してください。

eco タッチリモコンの日付・時刻設定をする。  
日付・時刻設定をしないと制御タイマが正しく動作しません。

ダストボックスを外して使用しない。  
ダスト回収後の装着忘れにご注意ください。

特殊用途には使用しない。  
動植物の飼育や栽培などの用途に使用すると、微生物繁殖の原因になることがあります。

定期点検を行う。  
1 年 1 回以上、フィルタのホコリ取残し、ダストボックスが満杯でないか点検をしてください。

### 移設・修理時の注意事項

#### △警告

改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。

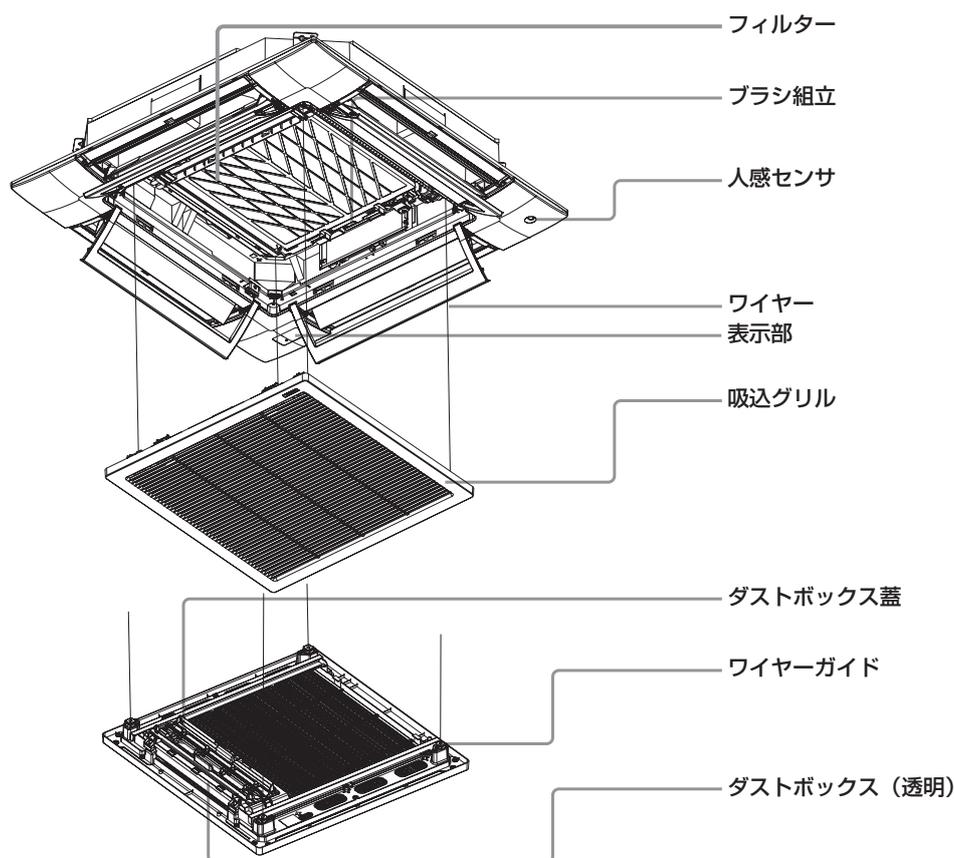
部品の交換は、お買い上げの販売店に相談してください。  
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。  
据付に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

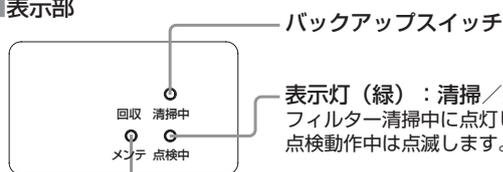
室内ユニットの修理・点検作業に際して「室内ユニット電源ブレーカ」を必ず落とす。  
点検・修理にあたって、室内ユニットの電源ブレーカが ON のままだと、感電および室内ユニットのファン回転による受傷の原因になります。

# ■各部のなまえ

• 下図は吸込グリルが下がった状態を示します。



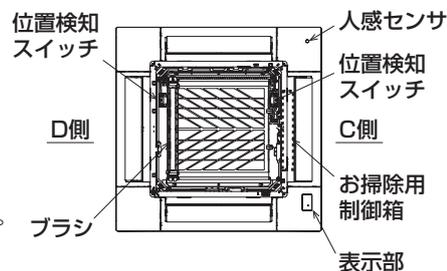
## ■表示部



バックアップスイッチ

**表示灯 (緑) : 清掃 / 点検**  
 フィルター清掃中に点灯します。  
 点検動作中は点滅します。

**表示灯 (黄) : ダスト回収 / メンテナンス**  
 ダストボックス内のホコリの回収時期に点灯します。  
 メンテナンスが必要ときに点滅します。  
 メンテナンスコードにより点滅回数が異なります。



## 表示内容

No.	表示灯 ( 緑 )	表示灯 ( 黄 )	eco タッチリモコンの表示	内 容
1	点灯	消灯	フィルター清掃中 ○○%	フィルター清掃 (お掃除運転) 中で、○○%完了しています。吸込グリルの昇降ができません。
2	成り行き	点灯	ダスト回収 ここをタッチしてください	ダスト回収時期になりました。ダスト回収をしてください。
3	点灯	連続点滅	フィルター清掃中 ○○%	点検お掃除運転を実施中で、○○%完了しています。吸込グリルの昇降ができます。
4	点灯	連続点滅		ブラシ清掃①を実施中です。吸込グリルの昇降ができます。
5	点灯	連続点滅		ブラシ清掃②を実施中です。吸込グリルの昇降ができます。
6	1回点滅	消灯	M01	D側→C側へのブラシの移動が正しく終了しませんでした。
7	2回点滅	消灯	M02	C側→D側へのブラシの移動が正しく終了しませんでした。
8	3回点滅	消灯	M03	C側→D側へブラシが移動中にC側の位置検知スイッチがONしました。
9	4回点滅	消灯	M04	D側→C側へブラシが移動中にD側の位置検知スイッチがONしました。
10	5回点滅	成り行き	M21	吸込グリルが正しくパネル本体に収納されていません。
11	6回点滅	消灯	M06	2つ位置検知スイッチが同時に ON になっています。

・ 空欄は成り行きの表示をします。

・ No.6～11の処置方法は5-60ページをご覧ください。

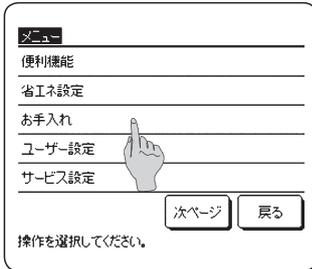
# ■ フィルター清掃運転の設定

eco タッチリモコンは液晶部をタッチすると画面が明るくなります。日付・時刻の両方を正しくセットしてください。セットされていないと制御タイマが正しく作動しません。

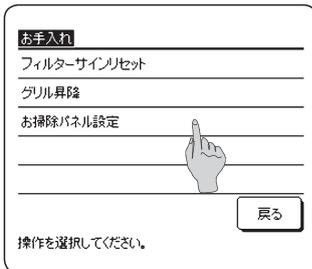
日付・時刻の設定は、eco タッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。「メニュー⇒初期設定⇒時刻設定」  
フィルター清掃運転に関する設定は、eco タッチリモコンから設定ができます。なお、本取扱説明書の eco タッチリモコンの表示は RC-DX3C の場合です。リモコンの形式が異なる場合はリモコンの取扱説明書をご覧ください。



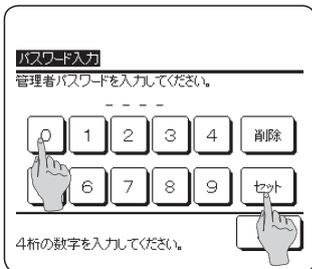
1 TOP画面上の「メニュー」をタッチしてください。



2 メニュー画面で「お手入れ」をタッチします。



3 お手入れ画面で「お掃除パネル設定」をタッチします。



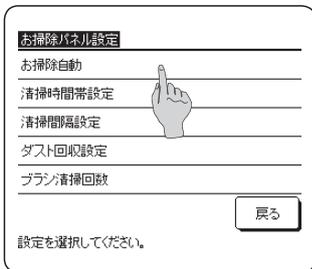
4 管理者パスワード入力画面を表示します。

管理者パスワード（数字4桁）入力後、「セット」をタッチしてください。

パスワードがわからない場合、異なった場合は、設定変更ができません。

## お知らせ

・工場出荷時に設定されている管理者パスワードは、据付工事説明書を参照ください。  
また管理者パスワードを忘れた場合も、据付工事説明書を参照し、管理者パスワードの初期化を行ってください。

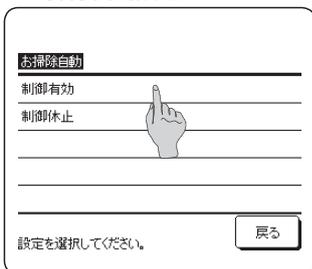


5 お掃除パネル設定メニュー画面を表示します。

設定する項目をタッチしてください。

- ①お掃除自動…………… お掃除機能の有効/休止を設定します。
- ②清掃時間帯設定…………… フィルター清掃を開始する時間帯を設定します。
- ③清掃間隔設定…………… フィルター清掃する間隔を設定します。
- ④ダスト回収設定…………… ダスト回収をお知らせする時期を設定します。
- ⑤ブラシ清掃回数…………… 本製品では使用しません。旧型のお掃除ラクリーナパネルで使用します。
- ⑥ブラシ移動速さ設定…………… フィルター清掃するブラシの移動速さを設定します。
- ⑦ブラシ往復回数設定…………… フィルター清掃1回にブラシが往復する回数を設定します。

## ■ お掃除自動設定のしかた



1 お掃除自動制御の有効/休止を設定します。

制御有効：お掃除に関する全ての制御が有効になります。フィルター清掃などお掃除の機能を有効にします。

制御休止：お掃除に関する全ての制御が休止になります。

フィルター清掃なくなり、お掃除の機能が全て使えなくなります。ecoタッチリモコンやバックアップスイッチでの操作が全てできなくなります。

**休止を選択した場合、お掃除に関する全ての機能が使用できませんので、ご注意ください。**

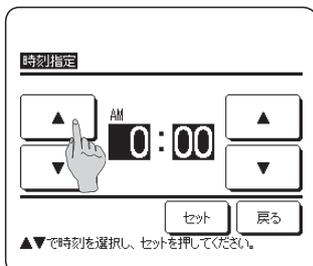
### ■清掃時間帯設定のしかた



#### 1 自動でフィルター清掃を開始する時間帯を設定します。

設定された時間帯内の任意の時刻に自動清掃を開始します。  
 エアコンの停止している時間を見計らって開始します。  
 エアコンが運転している場合は、風量を弱まで下げ、ルーバ停止し、フィルター清掃を行います。  
 フィルター清掃中はモータ音が発生します。  
 フィルター清掃が気にならない時間帯（通常不在の）を選択してください。  
 「E：時刻指定」を選択することにより、お掃除自動運転を開始する時刻を指定することができます。（※2へ）

#### 2 清掃時間帯設定において、時刻指定を選択すると、時刻設定画面を表示します。



▲▼で、ご希望の時刻（5分単位）に合わせてください。  
 ご希望の時刻に設定後、**セット** をタッチしてください。

### ■清掃間隔設定のしかた

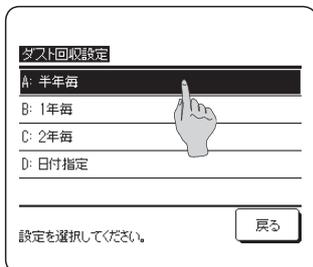


#### 1 フィルター清掃する間隔を設定します。

A：毎日 … 1日1回、フィルター清掃します。  
 B：2日毎 … 2日1回、フィルター清掃します。  
 C：3日毎 … 3日1回、フィルター清掃します。

設定した期間中に1回もエアコンを運転していない場合、設定した間隔でフィルター清掃しません。  
 ただし、エアコンを運転していない期間が連続7日経過すると、自動でフィルター清掃します。

### ■ダスト回収設定のしかた

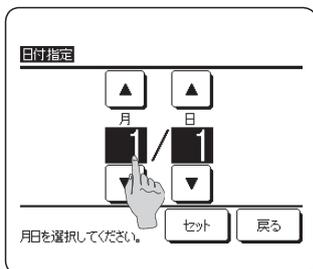


#### 1 ダスト回収をお知らせする時期を設定します。

設定された日になると、ecoタッチリモコンに「ダスト回収 ここをタッチしてください。」を表示し、表示部の表示灯（黄）が点灯します。  
 一般事務所1年分のホコリを想定しています。ホコリの多少により設定してください。

「D：日付指定」を選択することにより、ダスト回収時期を日付指定することができます。（※2へ）

#### 2 ダスト回収設定において、日付指定を選択すると、日付設定画面を表示します。



▲▼で、ご希望の日付に合わせてください。

ご希望の日付に設定後、**セット** をタッチしてください。

設定した日付になると、「ダスト回収 ここをタッチしてください。」を表示します。

### ■ブラシ移動速さの設定のしかた



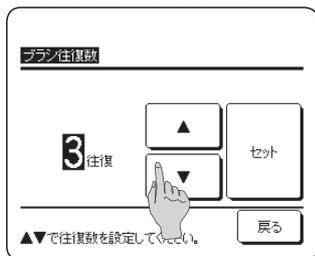
#### 1 フィルター清掃するブラシの移動速さを設定します。

A：ゆっくり（約45分）  
 B：ふつう（約30分）  
 C：少しはやい（約17分）  
 D：はやい（約8分）

カッコ内の時間は、ブラシが1往復する時間です。

ホコリがフィルターに残る場合、『A：ゆっくり』に設定すると改善される場合があります。

■ ブラシ往復数の設定のしかた



1 フィルター清掃 1 回にブラシが往復する回数を設定します。

1～3回で設定できます。  
 フィルター清掃する時間は設定した⑥ブラシ移動速さの時間と⑦ブラシ往復数の積になります。

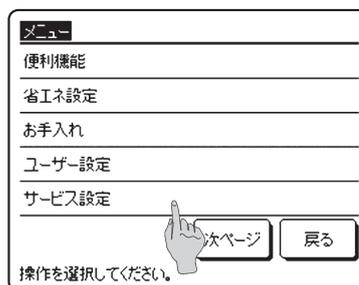
例) ブラシ移動速さ：ふつう（約30分）、ブラシ往復数：2回に設定した場合。

約30分 × 2往復 = 約60分 …フィルター清掃開始して完了するまでの時間（1回のフィルター清掃時間）

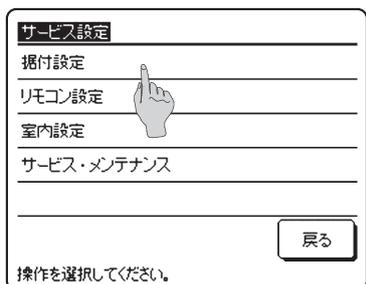
■ お掃除ラクリーナパネルの試運転



1 メニューをタッチする  
 メニュー設定画面に切り替わります。



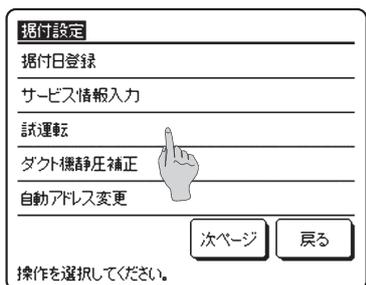
2 サービス設定をタッチする  
 サービス設定画面に切り替わります。



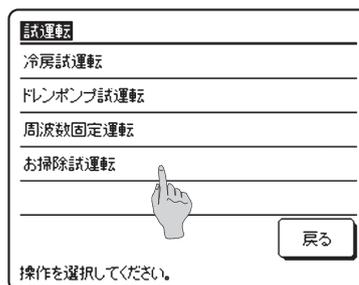
3 据付設定をタッチする  
 パスワード入力画面に切り替わります。



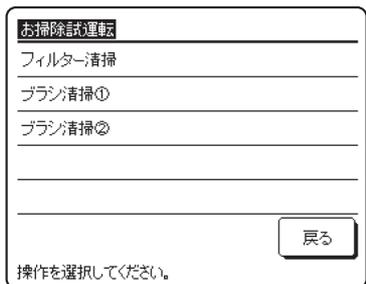
4 サービスパスワードを入力する



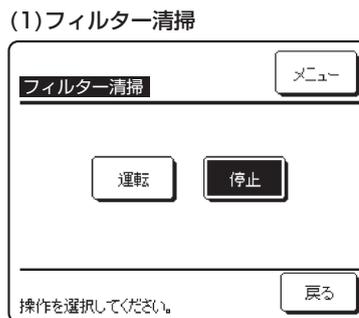
6 試運転をタッチする  
 試運転画面に切り替わります。



7 お掃除試運転をタッチする  
 お掃除試運転画面に切り替わります。

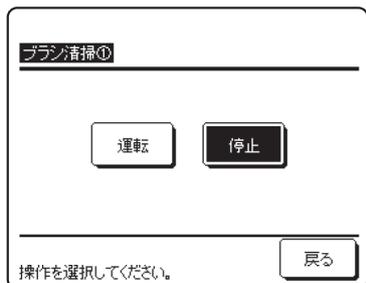


(1)  
 (2)



フィルター清掃をおこないます。

## (2) ブラシ清掃①またはブラシ清掃②



ブラシ清掃①または  
ブラシ清掃②を  
おこないます。

フィルター清掃：設定したブラシ移動速さでフィルター清掃します。フィルター清掃中は吸込グリルの昇降ができません。フィルター清掃中、表示部の表示灯は下記のように作動します。完了すると全て消灯します。

表示灯（緑）：点灯 / 表示灯（黄）：消灯

ブラシ清掃①：ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルターに残っているホコリを除去するため、ブラシが移動速さC：少しはやいでランダムに往復を繰り返します。（約12分）

表示灯（緑）：点灯 / 表示灯（黄）：連続点滅

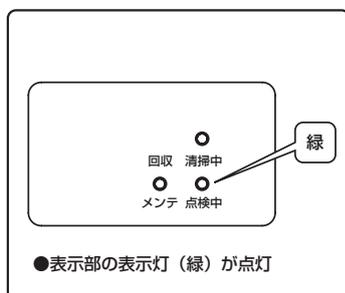
ブラシ清掃②：ブラシやクシに残っているホコリを除去したり、フィルターに残っているホコリを除去するため、ブラシが設定した移動速さでランダムにブラシ清掃①より少ない往復数で往復を繰り返します。

表示灯（緑）：点灯 / 表示灯（黄）：連続点滅

### お知らせ

フィルター清掃の時間は設定したブラシ移動速さとブラシ往復数により異なります。

## ■ フィルター清掃中

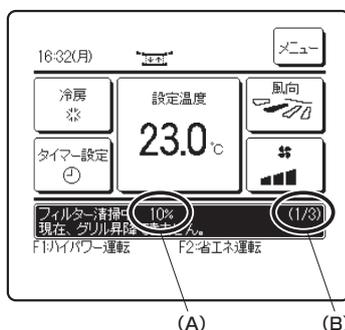


フィルター清掃中は、表示部の表示灯（緑）が点灯します。

フィルター清掃中もエアコン運転は可能ですが、風量はLoでの運転になります。

フィルター清掃中は、ルーバ制御が実行されません。  
（設定内容は記憶され、フィルター清掃終了後に実行されます）

フィルター清掃中は、モータやブラシの作動音が発生します。



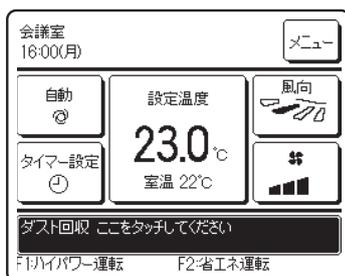
ecoタッチリモコンに、「フィルター清掃中 ○○%」と表示します。  
フィルター清掃が完了するまでグリル昇降はできません。

- A：フィルター清掃全工程の進捗率を表示します。  
100%になると完了し、グリル昇降ができるようになります。
- B：実施中のブラシ往復数 / 設定したブラシ往復数を表示します。  
"1"は1往復目、"3"は設定した往復数を表しています。

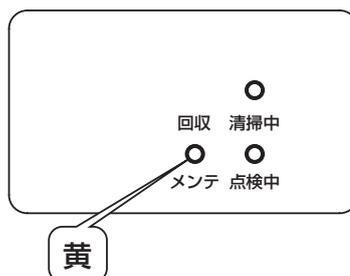
## ■ ダスト回収のしかた

ダスト回収時期をお知らせするため、設定時間に達すると表示がでます。

### ■ ecoタッチリモコン



### ■ 表示部の表示灯（黄）が点灯

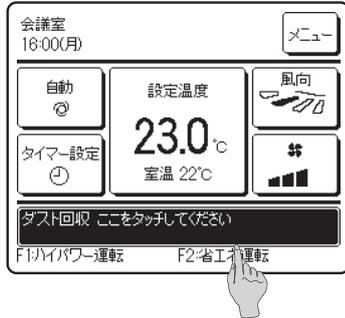


## ダスト回収のしかた

吸込グリルを下げた後からダスト回収してください。室内ユニットの下方に障害物がないことを確認してから、吸込グリルを下げてください。

ecoタッチリモコンに複数台の室内ユニットを接続している場合、室内機選択画面を表示します。ダスト回収する室内ユニットを選択してください。グリル昇降画面に切り替わります。

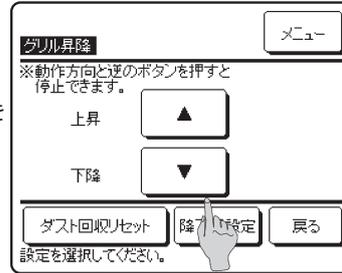
### 1) ダスト回収時期のお知らせが表示されたときに吸込グリルを下げる場合



#### 1 吸込グリルを下げる

“ここをタッチしてください。”を  
タッチする

▼ をタッチする



### 2) メニュー画面から吸込グリルを下げる場合



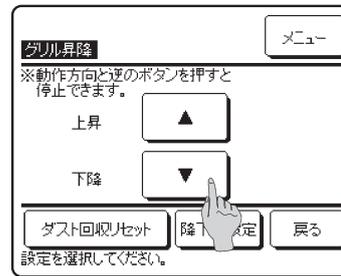
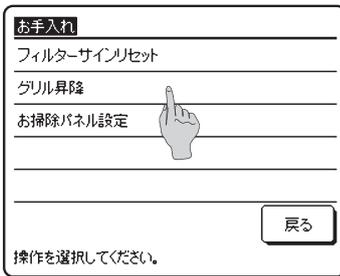
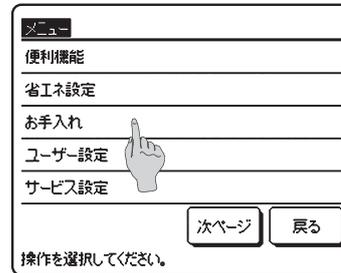
#### 1 吸込グリルを下げる

メニュー をタッチする

お手入れ をタッチする

グリル昇降 をタッチする

▼ をタッチする



### ご注意

- ・「グリル昇降」をタッチしてもグリル昇降画面に移行しない(「操作無効です。」が表示される)場合、グリル昇降操作が「無効」になっています。据付説明書に従い、吸込グリル昇降の設定をしてください。
- ・吸込グリルを下げている間は、ホコリ飛散防止のため弱风量、ルーバー1位置 (  ) にてファンが回転します。

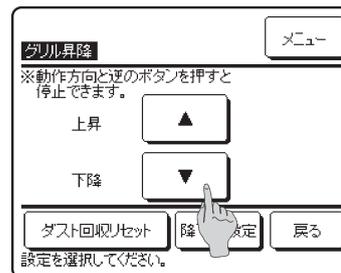
### 3) F1またはF2スイッチにグリル昇降を割当てたときに吸込グリルを下げる場合



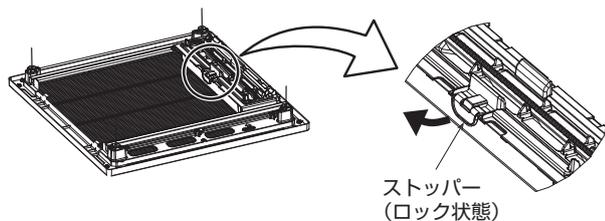
#### 1 吸込グリルを下げる

F1:スイッチを押す。

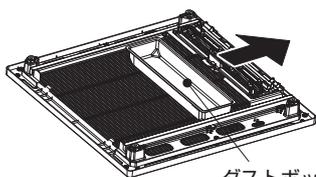
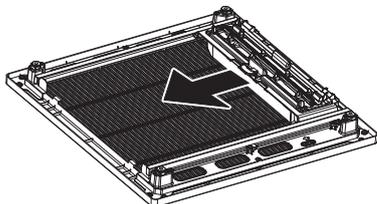
▼ をタッチする



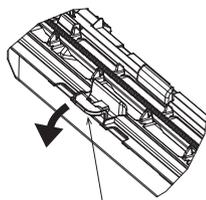
※F1スイッチにグリル昇降を割当てた場合



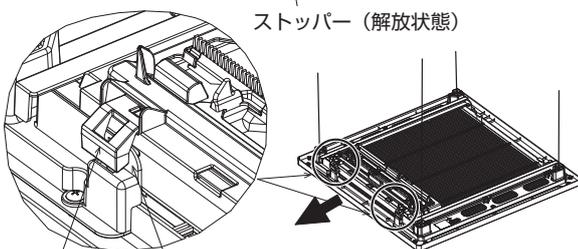
ストッパー  
(ロック状態)



ダストボックス (透明)



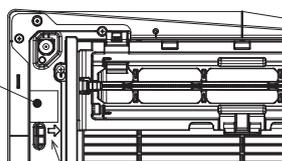
ストッパー (解放状態)



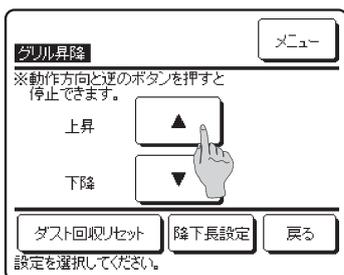
フック (2か所)    ブラケット (2か所)

**注意**  
ダストボックスの端が  
◀の位置にあり、  
ストッパー(2ヶ所)で  
固定されていることを  
確認してください。  
グリルが閉まらず、  
故障の原因となります。  
PJF011H005

注意ラベル



矢印 (両側)



## 2 ダストボックス蓋のストッパーのロックを外す

ダストボックス蓋のストッパー (1か所) のロックを外してください。

## 3 ダストボックスを取外す

ダストボックス (透明) を図の矢印の方向に引出して、吸込グリルから取外してください。

## 4 ホコリを回収する

ダストボックス (透明) 内のホコリを回収してください。

## 5 ダストボックスをセットする

ダストボックス (透明) を吸込グリルの上に置き、図の矢印の方向に押し、ダストボックス蓋にセットしてください。ダストボックス (透明) は、吸込グリルにセットする方向性はありません。

## 6 ダストボックス蓋のストッパーをロックする

ダストボックス蓋のストッパー (1か所) をロックしてください。

ダストボックス (透明) が出てこないことを確認してください。

## 7 ダストボックス蓋の位置と固定を確認する

ダストボックス蓋の端部が吸込グリルの矢印の位置になっていることを確認してください。

また、ダストボックス蓋のフック (2か所) が吸込グリルのブラケットに引掛かっていることを確認してください。引掛かっていない場合は、ダストボックス蓋を図の矢印の方向に移動し、端部が吸込グリルの矢印位置にして、フックを引掛けてください。

### ご注意

ダストボックス蓋のフックが引掛かっていない状態でグリルを閉じると、正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

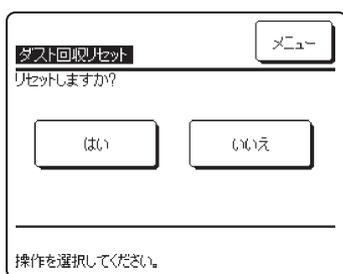
## 8 吸込グリルを上げる

▲ をタッチして、吸込グリルを閉じてください。

### ご注意

吸込グリルを閉じる前に、表示部の表示灯 (黄) が点滅していないことを確認してください。通常は表示灯 (黄) が点滅することはありません。表示灯 (黄) が点滅している場合、ブラシは所定の位置にありません。そのまま吸込グリルを閉じると正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

ダスト回収時期に到達した場合は表示灯 (黄) は点灯します。ダスト回収し、フィルターサインをリセットした後、表示灯 (黄) が連続点滅するか確認してください。



## 9 ダスト回収リセット

ダスト回収が終了したら、**ダスト回収リセット** をタッチしてください。

**はい** をタッチしてください。

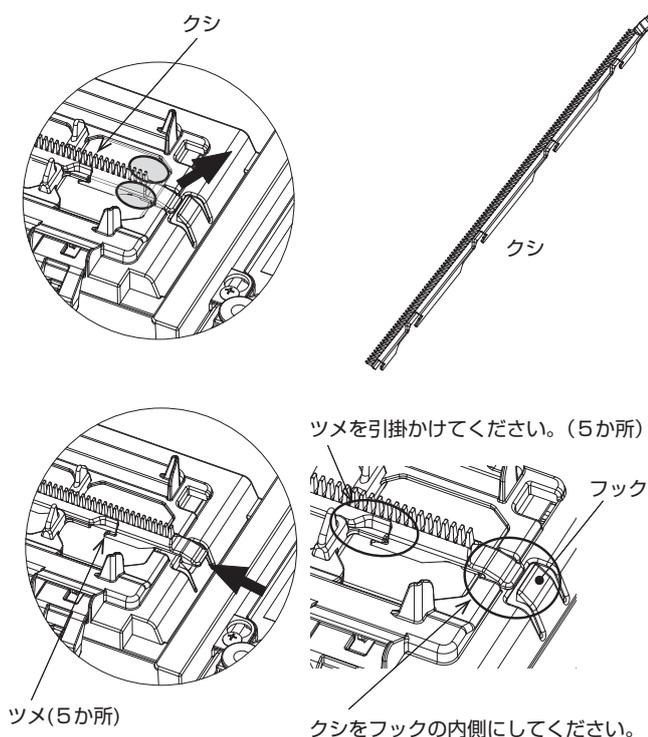
△ 注意 ダスト回収を行わずにエアコンの運転を続けると、エアコンが停止する場合があります。またホコリが落ちてきたり故障の原因になりますので必ずダスト回収を行ってください。

## ■ クシ、フィルタ、ブラシの取外し方・取付方

クシ、フィルタ、ブラシを取外す際は、吸込グリルを下げてください。吸込グリルの昇降方法は eco タッチリモコンの取扱説明書をご覧ください。

### 1) クシ

クシにホコリが堆積しているとブラシのホコリを除去できず、そのホコリをフィルターに再付着させることがあります。また、eco タッチリモコンに「M01」または「M02」が表示されたとき、クシとブラシ、ブラシとフィルタの抵抗により正常にフィルター清掃できない場合があります。そのようなときは、クシに付着しているホコリを除去してください。クシは水洗いもできます。



### 1 取外し方

図の○部分を持って、矢印の方向(斜め上方向)にブラシだけを上げるとダストボックス蓋からクシが外れます。

### 2 取付方

クシを図のようにダストボックス蓋の上に乗せ、矢印の方向にカチッと音がするまでスライドしてください。

クシのツメ(5か所)全てがダストボックス蓋に引掛かっていることを確認してください。また、クシがフックよりも内側にあるようにしてください。なお、クシを水洗いした場合は水分を十分に取除いてください。

#### ご注意

クシを濡れたまま取付けるとホコリが固着し、フィルター清掃に悪影響を与える可能性があります。

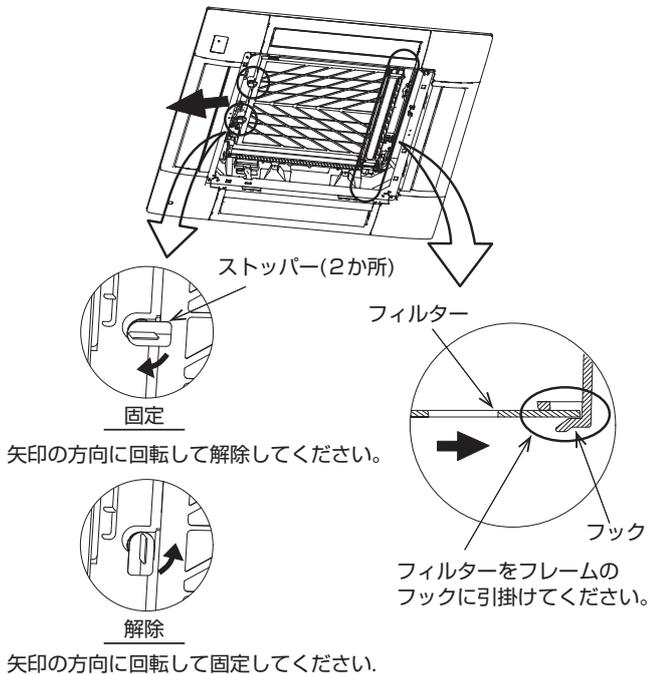
## 2) フィルター

自動のフィルター清掃で取りきれないホコリもあります。そのようなホコリが堆積すると、フィルターが室内ユニットに吸込空気を通さなくなり、エアコンがエラー停止する場合があります。

また、eco タッチリモコンに「M 01」または「M 02」が表示されたとき、ブラシとフィルターの抵抗により正常にフィルター清掃できない場合があります。

そのようなときは、フィルターに付着しているホコリを除去してください。フィルターは水洗いもできます。

フィルターの取外しは高所作業です。



### 1 取外し方

ストッパーを90度以上回転して、フィルターを図の矢印の方向に引き出してください。

(ストッパーの回転方向はどちらでも可)。

### 2 取付方

フィルターを図の矢印の方向に差し込んでください。(フィルターに方向性はありません)

フィルターがフックに引掛かっていることを確認してください。

ストッパーを図の位置まで回転して、フィルターが確実に引っ掛かるようにしてください。

なお、フィルターを水洗いした場合は水分を十分に取除いてください。

#### ご注意

フィルターを濡れたまま取付けるとホコリが固着し、フィルター清掃に悪影響を与える可能性があります。

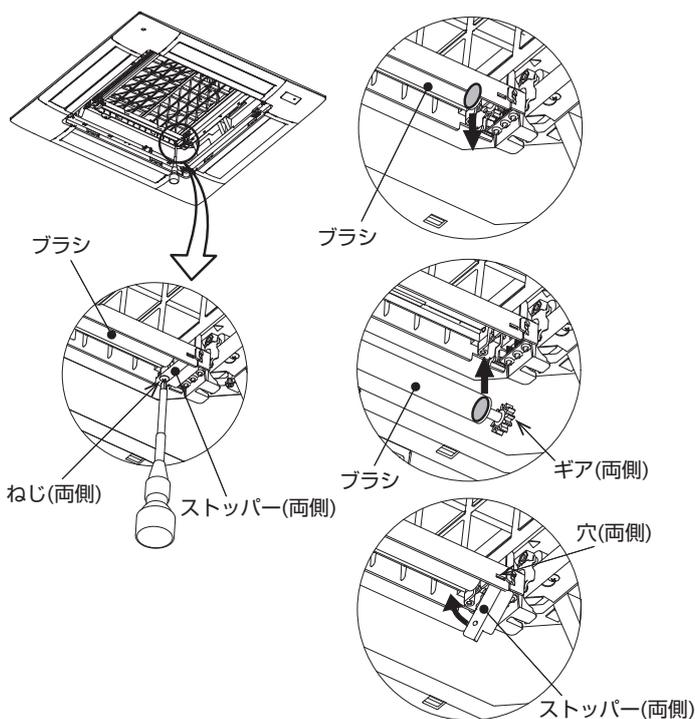
## 3) ブラシ

ブラシにホコリが堆積していると、そのホコリをフィルターに再付着させることがあります。

また、eco タッチリモコンに「M 01」または「M 02」が表示されたとき、ブラシとフィルターの抵抗により正常にフィルター清掃できない場合があります。

そのようなときは、ブラシに付着しているホコリを除去してください。ブラシは水洗いもできます。

ブラシの取外しは高所作業で、工具(ドライバー)が必要です。



### 1 取外し方

ストッパー(2個)を取外します。

ストッパーはねじ(1個)で固定されています。

ブラシの図の○(軸の根本)辺りを持って下方に引っ張って取外してください。

### 2 取付方

ブラシの図の○(軸の根本)辺りとギアを上方向に押し込んで、ギアの軸部をはめてください。

カクッという感触があります。ブラシは落下しません。

ストッパー(2個)を取付けてください。

ストッパーの凸部を穴に差込んでから、図の矢印の方向に倒してください。

ねじ(2個)で固定してください。

なお、ブラシを水洗いした場合は水分を十分に取除いてください。

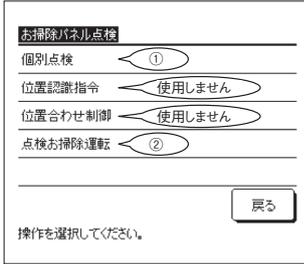
#### ご注意

ブラシを濡れたまま取付けるとホコリが固着し、フィルター清掃に悪影響を与える可能性があります。

# 動作確認など

本項の操作で動作確認などが可能です。

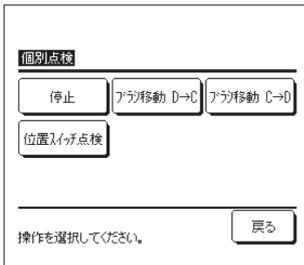
TOP画面 **メニュー** ⇒ **サービス設定** ⇒ **サービス・メンテナンス** ⇒ サービスパスワード入力 ⇒ **お掃除パネル点検**



※位置認識指令と位置合わせ制御は本製品では使用しません。  
旧型のお掃除ラクリーナパネルで使用します。

## ①個別点検

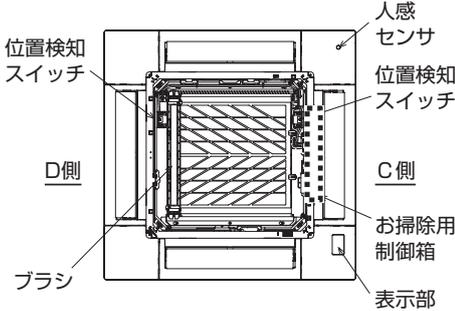
ブラシを移動させたり、位置検知スイッチの点検をすることができます。



ブラシ移動 D→C：ブラシがD側→C側に移動します。  
ブラシがC側端に到達すると停止します。  
また、「停止」をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。  
表示灯（緑）：1回点滅 / 表示灯（黄）：連続点滅

ブラシ移動 C→D：ブラシがC側→D側に移動します。  
ブラシがD側端に到達すると停止します。  
また、「停止」をタッチするとタッチした時点の位置で停止します。  
表示灯（緑）：2回点滅 / 表示灯（黄）：連続点滅

位置スイッチ点検：表示灯（緑）と表示灯（黄）が3秒間点滅します。その後、位置検知スイッチ（D側）をON中は表示灯（緑）が点灯します。  
位置検知スイッチ（C側）をON中は表示灯（黄）が点灯します。  
「停止」をタッチするか、5分経過すると終了します。

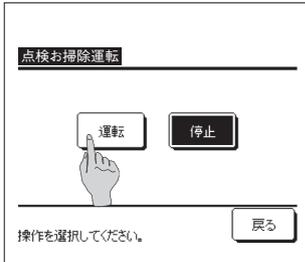


### ご注意

吸込グリルを開いた状態でブラシ移動した場合、移動の途中など、ブラシがD側端にない状態（表示灯（黄）：連続点滅）で吸込グリルを閉じないでください。正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

## ②点検お掃除運転

フィルター清掃を開始します。フィルター清掃中に吸込グリルの昇降ができます。  
また、お掃除ユニットの動作を点検する場合など、吸込グリルを開いた状態でフィルター清掃ができます。



### ご注意

吸込グリルを開いた状態で点検お掃除運転した場合、フィルター清掃の途中など、ブラシがD側端にない状態（表示灯（黄）：連続点滅）で吸込グリルを閉じないでください。正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。

## ③バックアップスイッチでの点検

バックアップスイッチで下記の点検動作ができます。動作内容はecoタッチリモコンを使用した場合と同じです。

バックアップスイッチのON時間	点検内容	表示灯(緑)	表示灯(黄)
3秒未満	点検お掃除運転	点灯	連続点滅
3～6秒	ブラシ移動D→C	1回点滅	連続点滅
6～10秒	ブラシ移動C→D	2回点滅	連続点滅
10秒以上	位置スイッチ点検	※	

※表示灯（緑）と表示灯（黄）が3秒間点滅します。その後、位置検知スイッチ（D側）をON中は表示灯（緑）が点灯します。位置検知スイッチ（C側）をON中は表示灯（黄）が点灯します。再度、バックアップスイッチを押すか5分経過すると終了します。

### ご注意

点検動作中は、ブラシがD側端にない（表示灯（黄）：連続点滅）状態でグリルを昇降できます。（通常はできません。）  
表示灯（黄）が連続点滅しているときは吸込グリルを閉じないでください。  
正しくフィルター清掃できません。最悪の場合、お掃除ユニットが破損します。  
必ず、表示灯（黄）が消灯しているのを確認してから、吸込グリルを閉じてください。表示灯（黄）が連続点滅している場合は、消灯してから吸込グリルを閉じてください。（個別点検の「アラ移動 C→D」をタッチしてください。）

ダスト回収時期に到達した場合は表示灯（黄）は点灯します。  
ダスト回収し、フィルターサインをリセットした後、表示灯（黄）が連続点滅するか確認してください。

# 保守点検について

本機は自動でエアフィルター清掃を行うため、普段のフィルターのお手入れは不要です。ただし、環境条件や使用条件によっては、想定している交換周期よりも早く消耗が進みフィルターの目詰まり等の影響がでる場合がありますので、下記の点検周期での保守点検を行ってください。

## ■点検と保全周期の目安について

保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

頻繁な発停のない通常の使用において、10時間/日、2,500時間/年と仮定した場合です。運転状況により異なりますので保守契約時にご確認ください。

主要部品	点検周期	保全周期 交換または修理	部品番号		
ルーパ用モータ	1年	20,000時間	SSA512T096		
エアフレックス用モータ			SSA512T049		
吸込グリル昇降用モータ			SSA511T029C		
ブラシ移動シャフト用モータ			SSA512T067		
ブラシ移動シャフト	1年	5年	PJF271A012		
ブラシ移動ナット			PJF914C001		
ブラシ移動シャフト用軸受			PJF935D001		
ブラシ移動シャフト用ギア			PJF273A004 PJF273A009		
ブラシ用ギア			PJF273J001		
ブラシストッパー			PJF129A103		
クシ			PJF129A105		
ダストボックス蓋			PJF112A004		
ダストボックス(透明)			PJF142A035		
表示基板			1年	25,000時間	PJA505A272
お掃除基板					PJA505A271H
吸込グリル昇降基板	PJZ505A033Z				

主要部品	点検周期	交換周期	部品番号
フィルター	1年	3年	PJF437A010A
ブラシ	1年	3年	PJF271A015

注意：部品番号は2020年4月現在のもので、予告なく変更することがあります。  
最新の部品番号は販売店にお問い合わせください。

この表は一般的な使用条件下における定期点検の周期（点検周期）および部品交換などの目安を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。建築物衛生法（ビル管法）の対象設備に該当する場合は、法規に従った保守点検も実施してください。「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い）や使用環境（高温・多湿・ホコリの量・油塵団気など）がきびしくなると短縮する必要があります。

## ■エラー表示

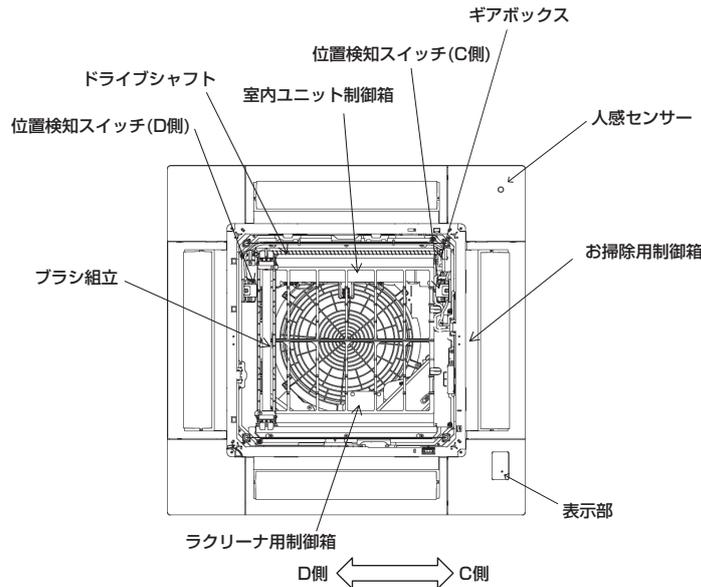
リモコン	制御内容	表示部	
		表示灯(緑)	表示灯(黄)
メンテナンス表示	M01 ブラシ組立のD→C移動中に規定時間内に位置検知スイッチ1(C側)を検知しない場合。	1回点滅	消灯
	M02 ブラシ組立のC→D移動中に規定時間内に位置検知スイッチ2(D側)を検知しない場合。	2回点滅	消灯
	M03 ブラシ組立のC→D移動中に位置検知スイッチ1(C側)がONした場合。	3回点滅	消灯
	M04 ブラシ組立のD→C移動中に位置検知スイッチ2(D側)がONした場合。	4回点滅	消灯
	M06 ブラシ組立が移動中、位置検知スイッチ1と位置検知スイッチ2が同時にONした場合。	6回点滅	消灯
	M21 1秒以上パネルスイッチが開を検知した場合。	5回点滅	消灯
—	グリル降下中にブラシ組立が移動している場合。(※) 位置検知スイッチがD側、C側どちらも押されていない場合。	消灯	連続点滅

### パネル表示部のバックアップスイッチ

バックアップスイッチON時間	制御	内容
3秒未満	点検お掃除運転	点検お掃除運転(点検)
3秒以上6秒未満	ブラシ移動(D→C)	ブラシ移動D→C(点検)
6秒以上10秒未満	ブラシ移動(C→D)	ブラシ移動C→D(点検)
10秒以上	位置検知スイッチ点検	位置検知スイッチ点検

※：表示灯(黄)が連続点灯中にグリルを閉じないでください。  
個別点検のブラシ移動(C→D)でブラシ組立をD側に移動させ、  
表示灯(黄)が消灯したのを確認後、グリルを閉じてください。

(3) サービス関連  
(a) 部品



(b) 制御

リモコン	制御内容	表示部		グリル昇降可否	
		表示灯(緑)	表示灯(黄)		
基準位置出し制御 表示なし	電源を投入後、ブラシ組立がD⇒C方向へ少し動いた後、C⇒D端へ位置検知スイッチを感知するまで移動する。(グリルが下がった状態で電源投入した場合、この制御は行わない。)	点灯	消灯	不可	
お掃除運転	設定した清掃間隔、ブラシ移動速さ、ブラシ往復数でお掃除運転を自動で行います。	点灯	消灯	不可	
②お掃除パネル設定	清掃間隔	1 清掃終了から次回のお掃除運転開始までの間隔。 A:毎日、B:2日毎、C:3日毎から選択可能。 エアコンの運転がない場合、1週間毎の清掃を行う。			
	ブラシ移動速さ	2 ブラシ組立の移動速さ(お掃除運転時間)。 A:ゆっくり(約45分) B:ふつう(約30分) C:すこしはやい(約17分) D:はやい(約8分) から選択。			
	ブラシ往復数	3 1回のお掃除運転の往復回数。 ブラシ往復回数を▲▼で1往復～3往復から選ぶ。			
③お掃除パネル点検	④個別点検	1 停止 個別点検の動作を停止させる。	消灯	消灯	可能
		2 ブラシ移動D⇒C ブラシ組立がD⇒C方向に移動する。位置検知スイッチ(C側)が検知すると、停止する。	1回点滅	連続点滅	
		3 ブラシ移動C⇒D ブラシ組立がC⇒D方向に移動する。位置検知スイッチ(D側)が検知すると、停止する。	2回点滅	連続点滅	
		4 位置スイッチ点検 検知している位置検知スイッチをLEDにより表示する。 (ブラシ組立のある方向をLEDにより表示する。)	3秒間連続点滅の後 位置検知スイッチ(C側)検知の場合、点灯	3秒間連続点滅の後 位置検知スイッチ(D側)検知の場合、点灯	
	④点検お掃除運転	5 開始/停止 点検お掃除運転が開始する。(設定往復数)	点灯	連続点滅	
③試運転	④お掃除試運転	1 [フィルター清掃](お掃除運転) お掃除試運転が開始する。(設定往復数)	点灯	消灯	不可
		2 ブラシ清掃① D⇒C方向へ少し移動し、C⇒D方向で少し動きを繰り返し1往復する。 ブラシ移動速さ:すこしはやい	点灯	連続点滅	可能
		3 ブラシ清掃② D⇒C方向へ少し移動し、C⇒D方向で少し動きを繰り返し1往復する。 ブラシ移動速さ:設定ブラシ移動	点灯	連続点滅	

※口数字はリモコン設定の階層を示します。

※[ ]はリモコン表示

- ・エアコン運転中の場合
- ・お掃除運転中でもエアコンの運転ができます。ただし、風量は自動的にLoに下がり、風向ルーバは上位置で停止します。
- ・お掃除運転中は、エアコンの性能が十分発揮できない場合があります。

(c) メンテナンス  
(i) エラー表示

リモコン	制御内容	表示部		記載ページ	
		表示灯(緑)	表示灯(黄)		
メンテナンス表示	M01	ブラシ組立のD→C移動中に規定時間内に位置検知スイッチ1(C側)を検知しない場合。	1回点滅	消灯	5-60ページ
	M02	ブラシ組立のC→D移動中に規定時間内に位置検知スイッチ2(D側)を検知しない場合。	2回点滅	消灯	5-61ページ
	M03	ブラシ組立のC→D移動中に位置検知スイッチ1(C側)がONした場合。	3回点滅	消灯	5-62ページ
	M04	ブラシ組立のD→C移動中に位置検知スイッチ2(D側)がONした場合。	4回点滅	消灯	5-63ページ
	M06	ブラシ組立が移動中、位置検知スイッチ1と位置検知スイッチ2が同時にONした場合。	6回点滅	消灯	5-64ページ
	M21	1秒以上パネルスイッチが開を検知した場合。	5回点滅	消灯	5-65ページ
—	グリル降下中にブラシ組立が移動している場合。(※) 位置検知スイッチがD側、C側どちらも押されていない場合。	消灯	連続点滅		

パネル表示部のバックアップスイッチ

バックアップスイッチON時間	制御	内容
3秒未満	点検お掃除運転	点検お掃除運転(点検)
3秒以上6秒未満	ブラシ移動(D→C)	ブラシ移動D→C(点検)
6秒以上10秒未満	ブラシ移動(C→D)	ブラシ移動C→D(点検)
10秒以上	位置検知スイッチ点検	位置検知スイッチ点検

※: 表示灯(黄)が連続点灯中にグリルを閉じないでください。  
個別点検のブラシ移動(C→D)でブラシ組立をD側に移動させ、表示灯(黄)が消灯したのを確認後、グリルを閉じてください。

(ii) 故障診断フロー  
1) 故障診断

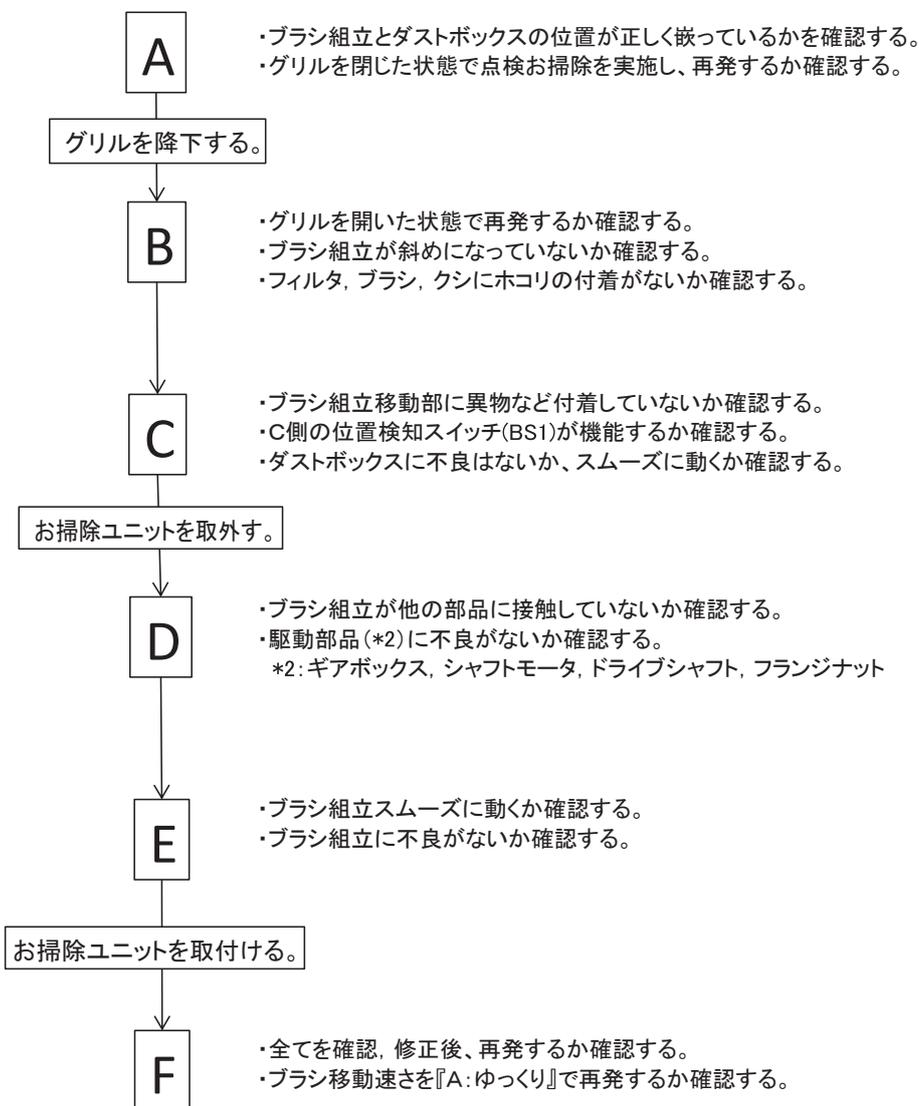
表示 リモコン:M01	パネル表示部	黄	緑	内容 ブラシ ( D→C ) 異常停止
		消灯	1 回点滅	

1. 対象機種  
T-PSCLS-5BW/D のみ

2. 異常検出  
・ ブラシ組立が D→C の移動中に異常停止した。  
・ C 側の位置検知スイッチが ON 検知しなかった。

3. 異常発生条件  
ブラシ組立が、D→C への移動が完了 (\*1) する前にシャフトモータ (BSM1) への出力パルスがカウントアップしたとき。  
\*1: C 側の位置検知スイッチ (BS1) が ON 検知したとき。

4. 予想原因  
・ ブラシ組立がダストボックスに正しく嵌っていない。  
(ブラシ組立がダストボックスと C 側の位置検知スイッチ (BS1) の間にある [BS1 を押せない])  
・ ブラシ組立が斜めになっている。  
・ フィルタ、ブラシ、クシにホコリが溜まっている。  
・ ブラシ組立移動部に異物が付着している。  
(ラックギア、ドライブシャフト、フィルタの両端など)  
・ C 側の位置検知スイッチ (BS1) の不良。  
・ ダストボックス不良。  
(組立不要、破損、欠品など)  
・ ダストボックス移動部に異物が付着している。  
・ ブラシ組立が他の部品に接触している。  
・ ギアボックス不良。  
(組立不良、ギアの破損、グリス不足など)  
・ シャフトモータ不良。  
・ フランジナット不良。  
(内側の歯の破損)  
・ ドライブシャフト不良。  
(異物噛み込み、ストッパ破損、スパイラルワイヤー変形など)  
・ ブラシ組立のローラー、豆滑車の不良。  
(組立不良、回転しない、破損など)  
・ ブラシ組立のグリス不足、異物混入。  
・ ブラシ組立のその他部品の不良。  
(ブラシストッパ、ピニオンギア、ホルダーなど)  
・ 各部品のバラツキによる抵抗大。



※診断 A ~ F の処置内容の詳細は、5-66 ページ以降を参照してください。

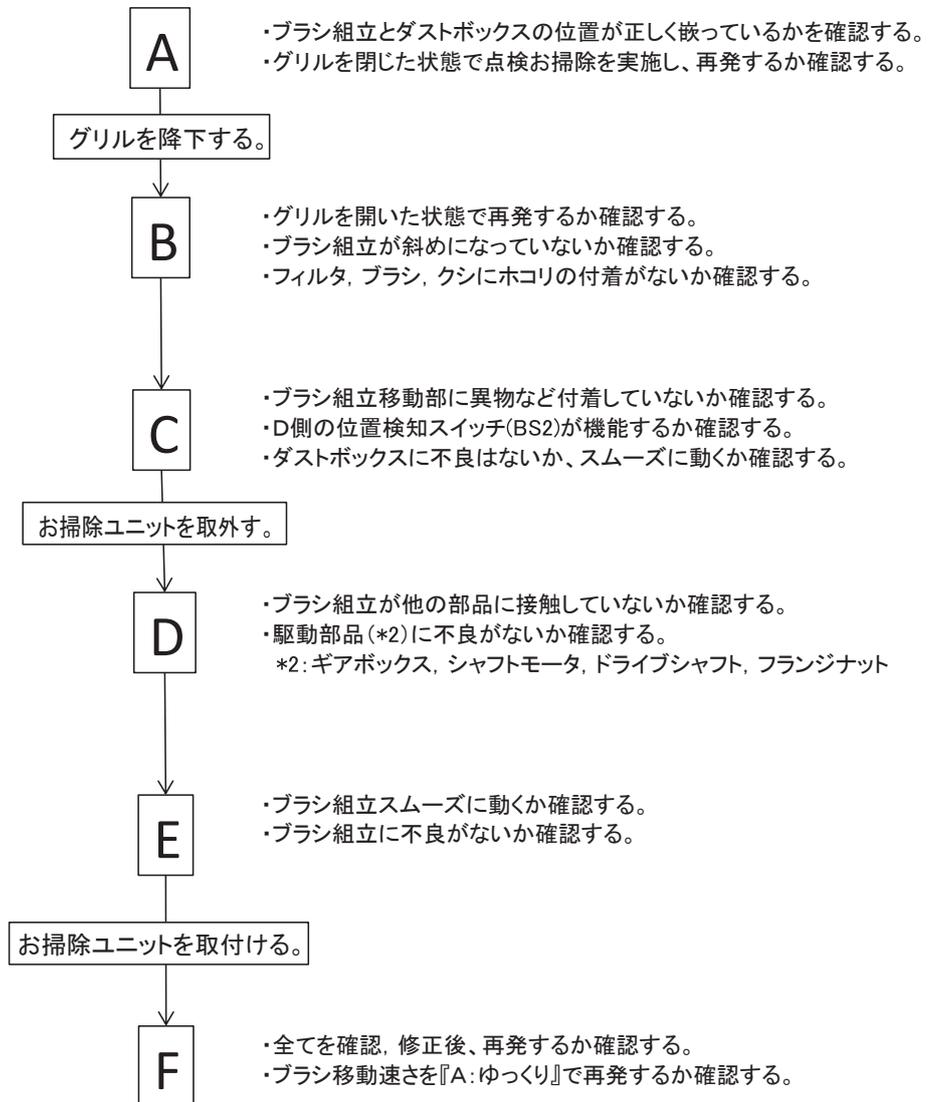
表示 リモコン:M02	パネル表示部	黄	緑	内容 ブラシ ( C → D ) 異常停止
		消灯	2 回点滅	

1. 対象機種  
T-PSCLS-5BW/D のみ

2. 異常検出  
・ ブラシ組立が C → D の移動中に異常停止した。  
・ D 側の位置検知スイッチが ON 検知しなかった。  
※ D → C 方向へのお掃除運転は正常に完了している。

3. 異常発生条件  
ブラシ組立が、C ⇒ D への移動が完了(\*3)する前にシャフトモータ (BSM1) への出力パルスがカウントアップしたとき。  
\*3: D 側の位置検知スイッチ (BS2) が ON 検知したとき。

4. 予想原因  
・ ブラシ組立がダストボックスに正しく嵌っていない。  
(ブラシ組立がダストボックスと D 側の位置検知スイッチ (BS2) の間にある [BS2 を押せない])  
・ ブラシ組立が斜めになっている。  
・ フィルタ、ブラシ、クシにホコリが溜まっている。  
・ ブラシ組立移動部に異物が付着している。  
(ラックギア、ドライブシャフト、フィルタの両端など)  
・ D 側の位置検知スイッチ (BS2) の不良。  
・ ダストボックス不良。  
(組立不要、破損、欠品など)  
・ ダストボックス移動部に異物が付着している。  
・ ブラシ組立が他の部品に接触している。  
・ ギアボックス不良。  
(組立不良、ギアの破損、グリス不足など)  
・ シャフトモータ不良。  
・ フランジナット不良。  
(内側の歯の破損)  
・ ドライブシャフト不良。  
(異物噛み込み、ストッパ破損、スパイラルワイヤー変形など)  
・ ブラシ組立のローラー、豆滑車の不良。  
(組立不良、回転しない、破損など)  
・ ブラシ組立のグリス不足、異物混入。  
・ ブラシ組立のその他部品の不良。  
(ブラシストッパ、ピニオンギア、ホルダーなど)  
・ 各部品のバラツキによる抵抗大。



※診断 A ~ F の処置内容の詳細は、5-66 ページ以降を参照してください。

表示 リモコン:M03	パネル表示部	黄	緑	内容 ブラシ (D → C) 移動中の 位置検知スイッチ (D 側) 検知
		消灯	3 回点滅	

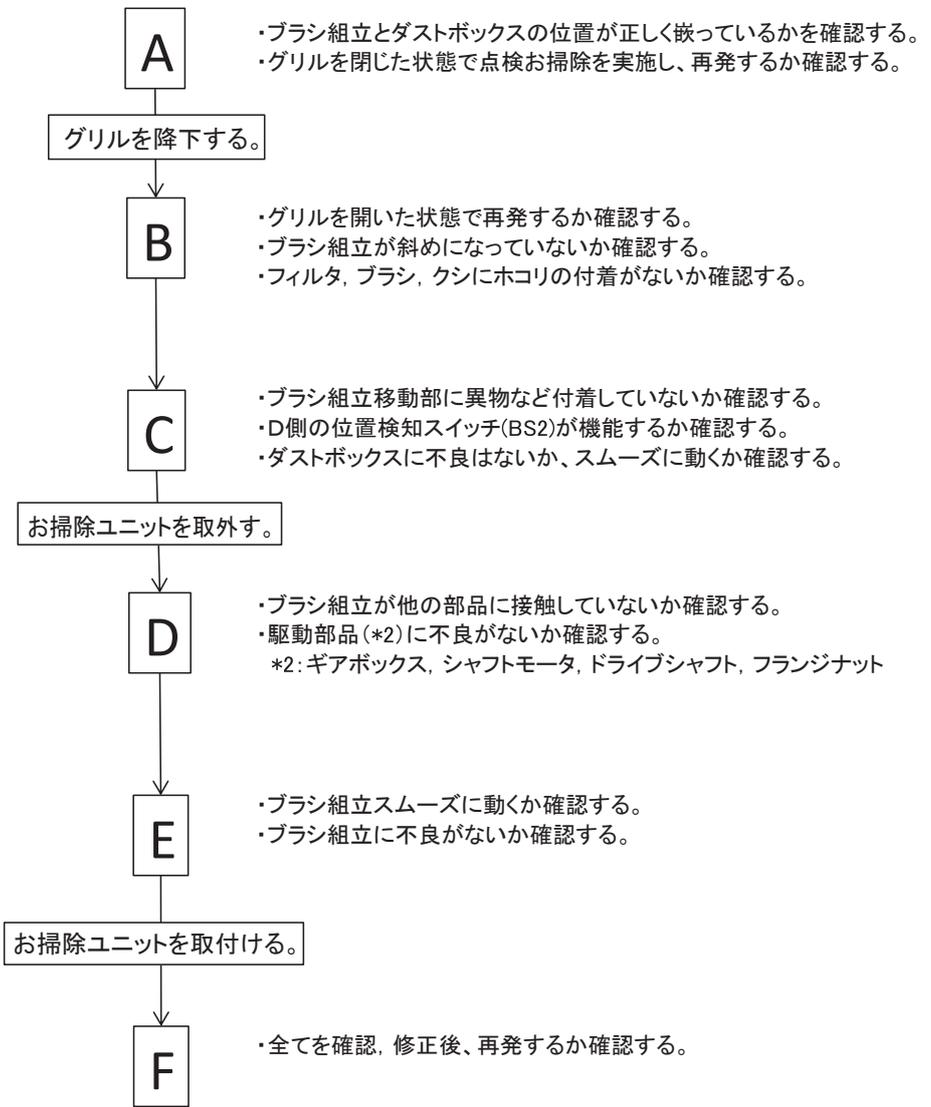
1. 対象機種  
T-PSCLS-5BW/D のみ

2. 異常検出  
ブラシ組立 (D → C) 移動中に D 側の位置検知スイッチ (BS2) を検知した。  
※本来、D⇒C 移動中に D 側の位置検知スイッチ (BS2) が ON することはない。

3. 異常発生条件  
ブラシ組立が、D ⇒ C への移動中に D 側の位置検知スイッチ (BS2) が ON 検知したとき。

4. 予想原因

- ・ブラシ組立がダストボックスに正しく嵌っていない。  
(ブラシ組立がダストボックスに嵌っていないため、ダストボックスが残っている [BS2 を押したまま])
- ・ブラシ組立が斜めになっている。
- ・フィルタ、ブラシ、クシにホコリが溜まっている。
- ・ブラシ組立移動部に異物が付着している。  
(ラックギア、ドライブシャフト、フィルタの両端など)
- ・D側の位置検知スイッチ (BS2) の不良。
- ・ダストボックス不良。  
(組立不要、破損、欠品など)
- ・ダストボックス移動部に異物が付着している。
- ・ブラシ組立が他の部品に接触している。
- ・ギアボックス不良。  
(組立不良、ギアの破損、グリス不足など)
- ・シャフトモータ不良。
- ・フランジナット不良。  
(内側の歯の破損)
- ・ドライブシャフト不良。  
(異物噛み込み、ストッパー破損、スパイラルワイヤー変形など)
- ・ブラシ組立のローラー、豆滑車の不良。  
(組立不良、回転しない、破損など)
- ・ブラシ組立のグリス不足、異物混入。
- ・ブラシ組立のその他部品の不良。  
(ブラシストッパー、ピニオンギア、ホルダーなど)



※診断 A ~ F の処置内容の詳細は、5-66 ページ以降を参照してください。

表示 リモコン:M04	パネル表示部	黄	緑	内容 ブラシ (C → D) 移動中の 位置検知スイッチ (C 側) 検知
		消灯	4 回点滅	

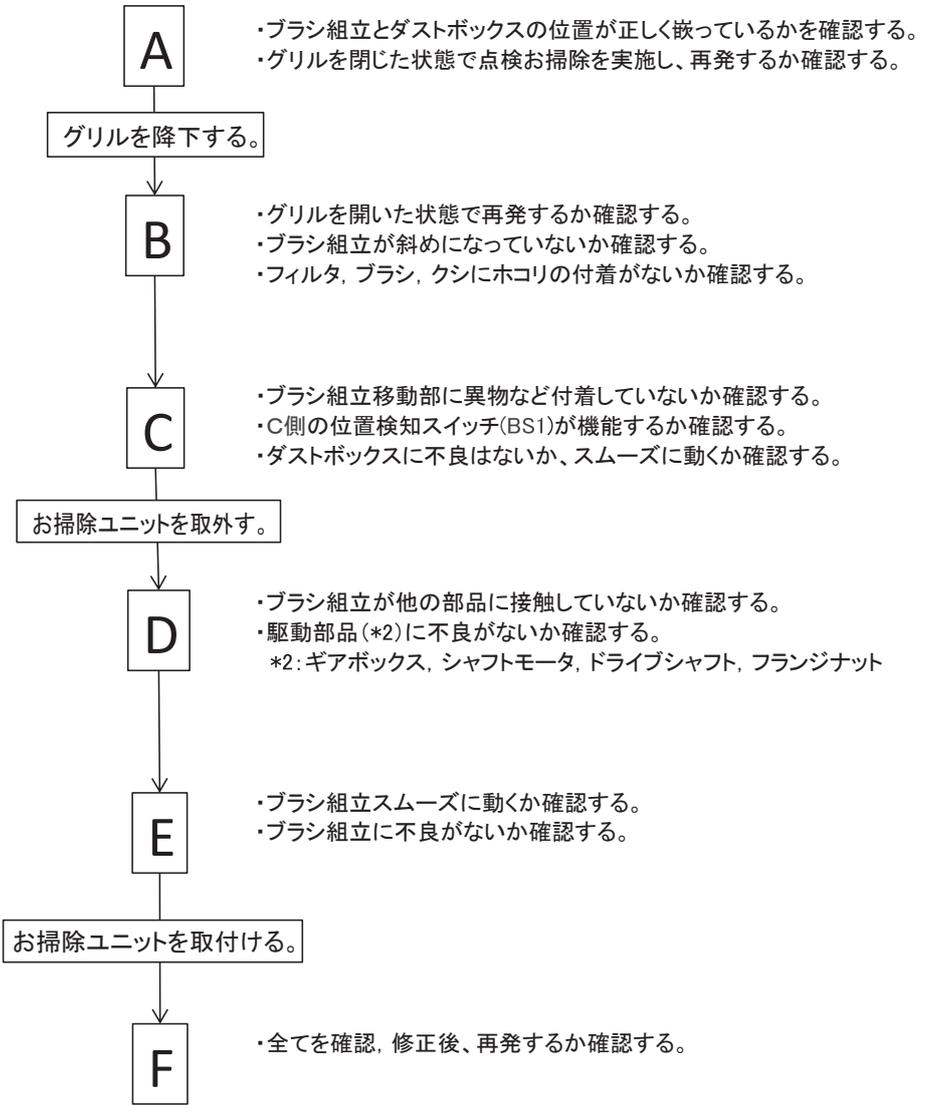
1. 対象機種  
T-PSCLS-5BW/D のみ

2. 異常検出  
ブラシ組立 (C → D) 移動中に C 側の位置検知スイッチ (BS1) を検知した。  
※本来、C ⇒ D 移動中に C 側の位置検知スイッチ (BS1) が ON することはない。

3. 異常発生条件  
ブラシ組立が、C ⇒ D への移動中に C 側の位置検知スイッチ (BS1) が ON 検知したとき。

4. 予想原因

- ・ブラシ組立がダストボックスに正しく嵌っていない。  
(ブラシ組立がダストボックスに嵌っていないため、ダストボックスが残っている [BS1 を押したまま])
- ・ブラシ組立が斜めになっている。
- ・フィルタ、ブラシ、クシにホコリが溜まっている。
- ・ブラシ組立移動部に異物が付着している。  
(ラックギア、ドライブシャフト、フィルタの両端など)
- ・C側の位置検知スイッチ (BS1) の不良。
- ・ダストボックス不良。  
(組立不要、破損、欠品など)
- ・ダストボックス移動部に異物が付着している。
- ・ブラシ組立が他の部品に接触している。
- ・ギアボックス不良。  
(組立不良、ギアの破損、グリス不足など)
- ・シャフトモータ不良。
- ・フランジナット不良。  
(内側の歯の破損)
- ・ドライブシャフト不良。  
(異物噛み込み、ストッパ破損、スパイラルワイヤー変形など)
- ・ブラシ組立のローラー、豆滑車の不良。  
(組立不良、回転しない、破損など)
- ・ブラシ組立のグリス不足、異物混入。
- ・ブラシ組立の他の部品の不良。  
(ブラシストッパ、ピニオンギア、ホルダーなど)



※診断 A ~ F の処置内容の詳細は、5-66 ページ以降を参照してください。

表示 リモコン:M06	パネル 表示部	黄	緑	内容 C側, D側の位置検知スイッチ 同時検知
		消灯	6回点滅	

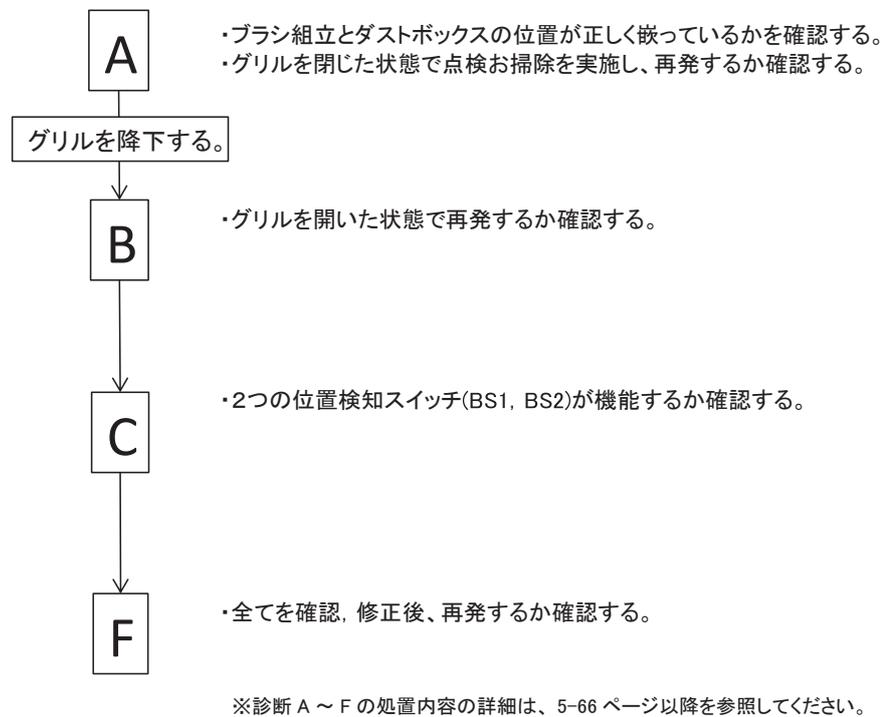
**1. 対象機種**  
T-PSCLS-5BW/D のみ

**2. 異常検出**  
ブラシ組立移動中に2つの位置検知スイッチが共にON検知した。  
※本来、2つの位置検知スイッチ (BS1, BS2) が同時にONすることはない。

**3. 異常発生条件**  
ブラシ組立移動 (D → C または C → D) 中に2つの位置検知スイッチが共にON検知したとき。

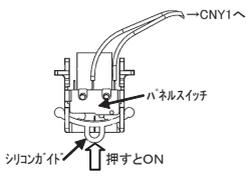
**4. 予想原因**

- ・ ブラシ組立がダストボックスに正しく嵌っていない。
- ・ 位置検知スイッチ (BS1 または BS2) の不良。



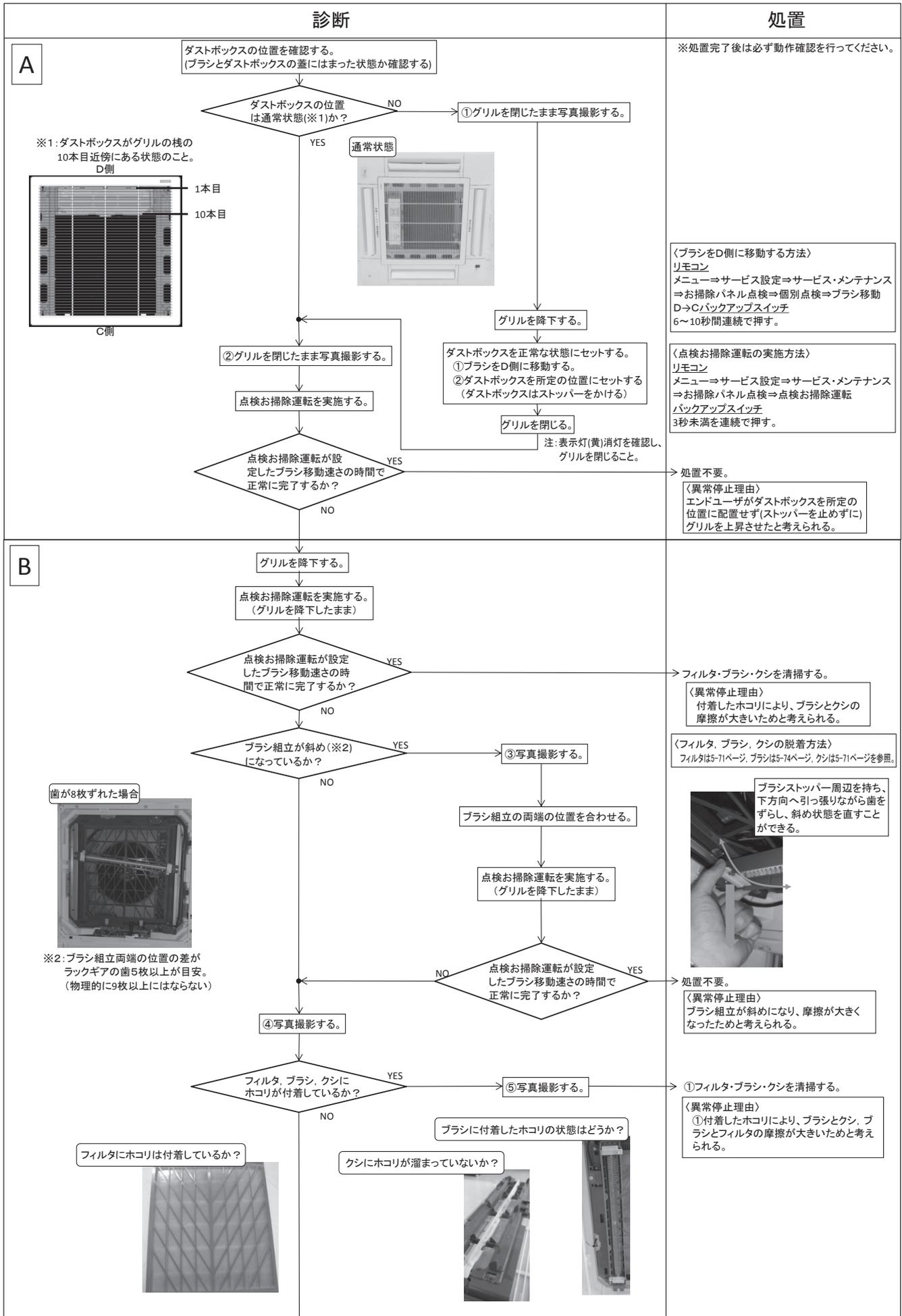
表示 リモコン:M21	パネル表示部	黄	緑	内容 ラクリーナパネル収納不良 ・パネルスイッチ動作不良 (GTシリーズ)
		消灯	5回点滅	

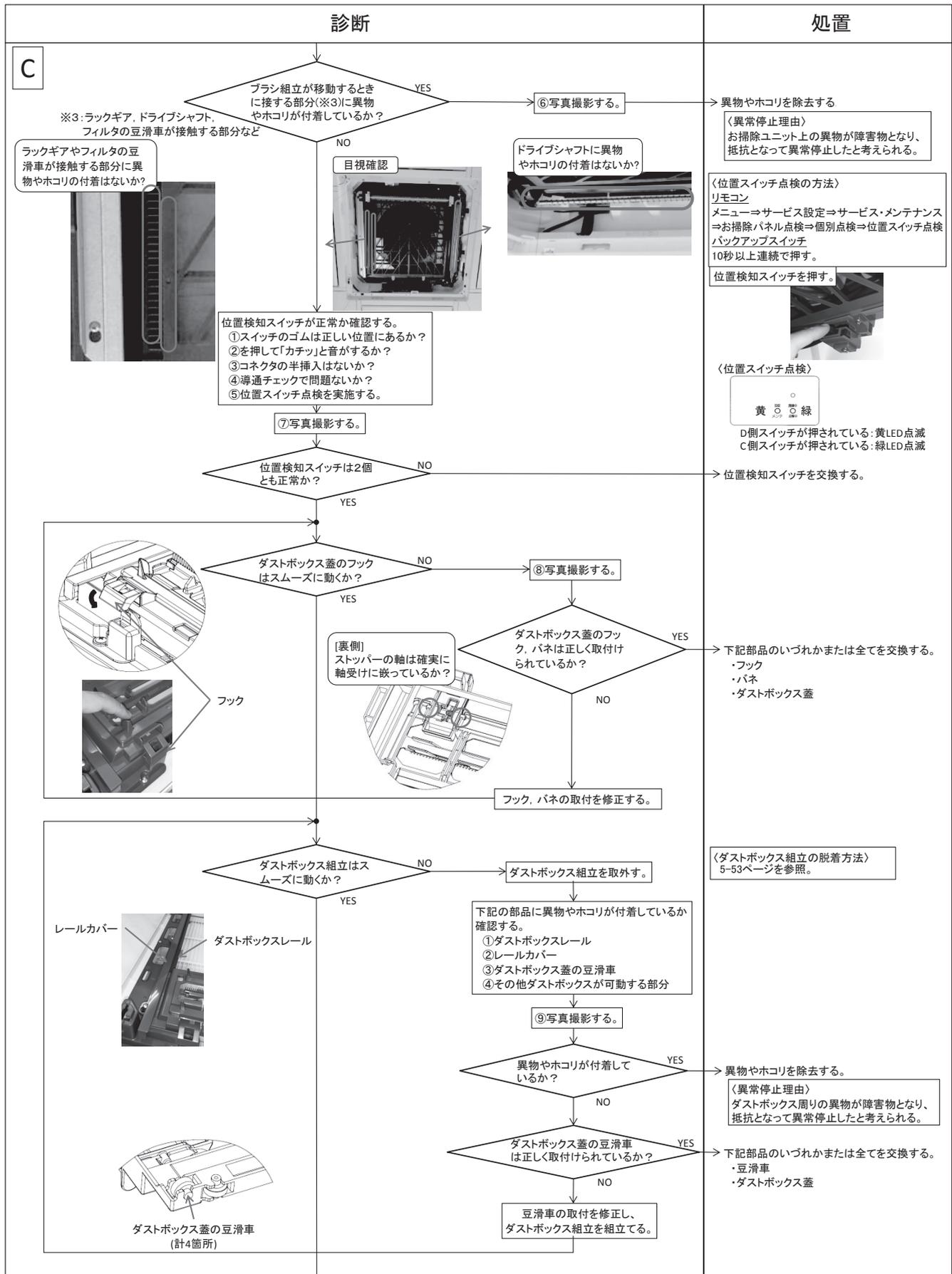
1. 対象機種	GTシリーズのみ
2. 異常検出	1秒以上パネルスイッチ(PS)が開を検知
3. 異常発生条件	同上
4. 予想原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルスイッチ(PS)不良</li> <li>・配線断線</li> <li>・パネル基板不良</li> <li>・室内ユニット基板不良</li> </ul>

5. 故障診断と処置	
診断	処置
<p>◇ グリルが下がった状態か？</p> <p>YES →</p> <p>NO →</p>	<p>エラー解除・グリル閉操作をする。</p> <p>エラー解除・グリル閉操作 &lt;リモコンがRC-DX3Cの場合&gt; ①エラーを解除する。(リモコンの運転/停止ボタンを押す。) ②[メニュー]→[お手入れ]→[グリル昇降]→[上昇▲]を押してグリルを閉める。</p>
<p>◇ エラーを解除した上で、パネルスイッチを強制的にON状態として、改善するか？</p> <p>YES →</p> <p>NO →</p>	<p>グリル内面でのパネルスイッチの押し込み量不足 →グリル内側のパネルスイッチの当たる部分に厚さ3mmのゴムシートを貼付けて、グリル閉の操作をする。</p> <p>&lt;パネルスイッチを強制的にON&gt; パネルスイッチのシリコン部を押しつけた状態でテープ貼付固定し、スイッチをON状態にする。</p>
<p>◇ 基板上の右記コネクタは差込み正常か？</p> <p>YES →</p> <p>NO →</p>	<p>コネクタの外れ、差込み不足 →きちんと差込み直す。</p> <p>&lt;基板上的コネクタ&gt; パネル基板:CNV1, CNV3 室内ユニット基板:CNV</p> 
<p>◇ パネルスイッチの動作チェックにより、パネル基板上的CNV1の1-2間は導通するか？</p> <p>YES →</p> <p>NO →</p>	<p>パネルスイッチまたはパネルスイッチ配線不良→交換</p> <p>&lt;パネルスイッチの動作チェック&gt; スイッチON/OFFによりコネクタ・基板の導通チェックする。 パネルスイッチON:閉、OFF:開</p>
<p>◇ パネルスイッチの動作チェックにより、パネル基板上的CNV3の1-4間は導通するか？</p> <p>YES →</p> <p>NO →</p>	<p>パネル基板不良→交換</p>
<p>◇ パネルスイッチの動作チェックにより、室内ユニット基板上的CNVの1-4間は導通するか？</p> <p>YES →</p> <p>NO →</p>	<p>パネル基板(CNV3)ー室内ユニット基板(CNV)間の配線断線。 →配線の修復または交換</p> <p>室内ユニット基板不良→交換</p>

注記：

## 2) 故障診断と処置の詳細





診断

処置

D

配線がブラシ組立に接触していないか？引っかけっていないか？



お掃除ユニットを取外す。  
可動するブラシ組立が他の部品に接触していないか。  
(1)ブラシ組立(ローラーホルダー)と板金レール  
(2)ブラシ組立と配線

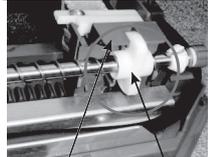


ブラシ組立が他の部品に接触した痕跡があるか？

YES → ⑩写真撮影する。

NO

フランジナットとローラーホルダーが突っ張っていないか？(通常状態ではフランジナットは、カタカタと動かせる余裕がある。)



YES → ⑪写真撮影する。

NO

ギアボックスを取外す。

ギアボックスのコネクタを接続し、点検お掃除運転などを実施する。

個別点検の「ブラシ移動D→C」, 「ブラシ移動C→D」でも可。

ギアを正しく取付け、ギアボックスを組立てる。

シャフトモータは駆動するか？

NO → ギアボックスを分解する。

⑫写真撮影する。

ギアは正しく取付けられているか？

NO → ギアを正しく取付け、ギアボックスを組立てる。

YES → シャフトモータ単品でコネクタを接続し、点検お掃除運転などを実施する。

個別点検の「ブラシ移動D→C」, 「ブラシ移動C→D」でも可。

シャフトモータは駆動するか？

NO → シャフトモータを交換する。

YES

コネクタを基板に接続し、点検お掃除運転などを実施し、シャフトモータは駆動するか？



ドライブシャフト、フランジナットを取外す。

フランジナットはスムーズに動くか？

NO → 下記の部品に異物やホコリが付着しているか確認する。  
(1)フランジナット内側  
(2)ドライブシャフト

⑬写真撮影する。

異物やホコリが付着しているか？

異物やホコリを除去する。

〈異常停止理由〉  
ドライブシャフトまたはフレアナットの異物が障害物となり、抵抗となって異常停止したと考えられる。

NO → 下記の部品に割れや欠けなどの異常がないか確認する。  
①フランジナット(特に内側の歯)  
②ドライブシャフト(特にスパイラルワイヤー)

⑭写真撮影する。

割れや欠けなどの異常があるか？

下記部品のいずれかまたは全てを交換する。  
・フランジナット  
・ドライブシャフト(またはスパイラルワイヤー)

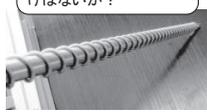
YES → 下記部品のいずれかまたは全てを交換する。  
・フランジナット  
・ドライブシャフト(またはスパイラルワイヤー)

NO

フランジナット内側の歯に異物挟まりや割れ、欠けはないか？

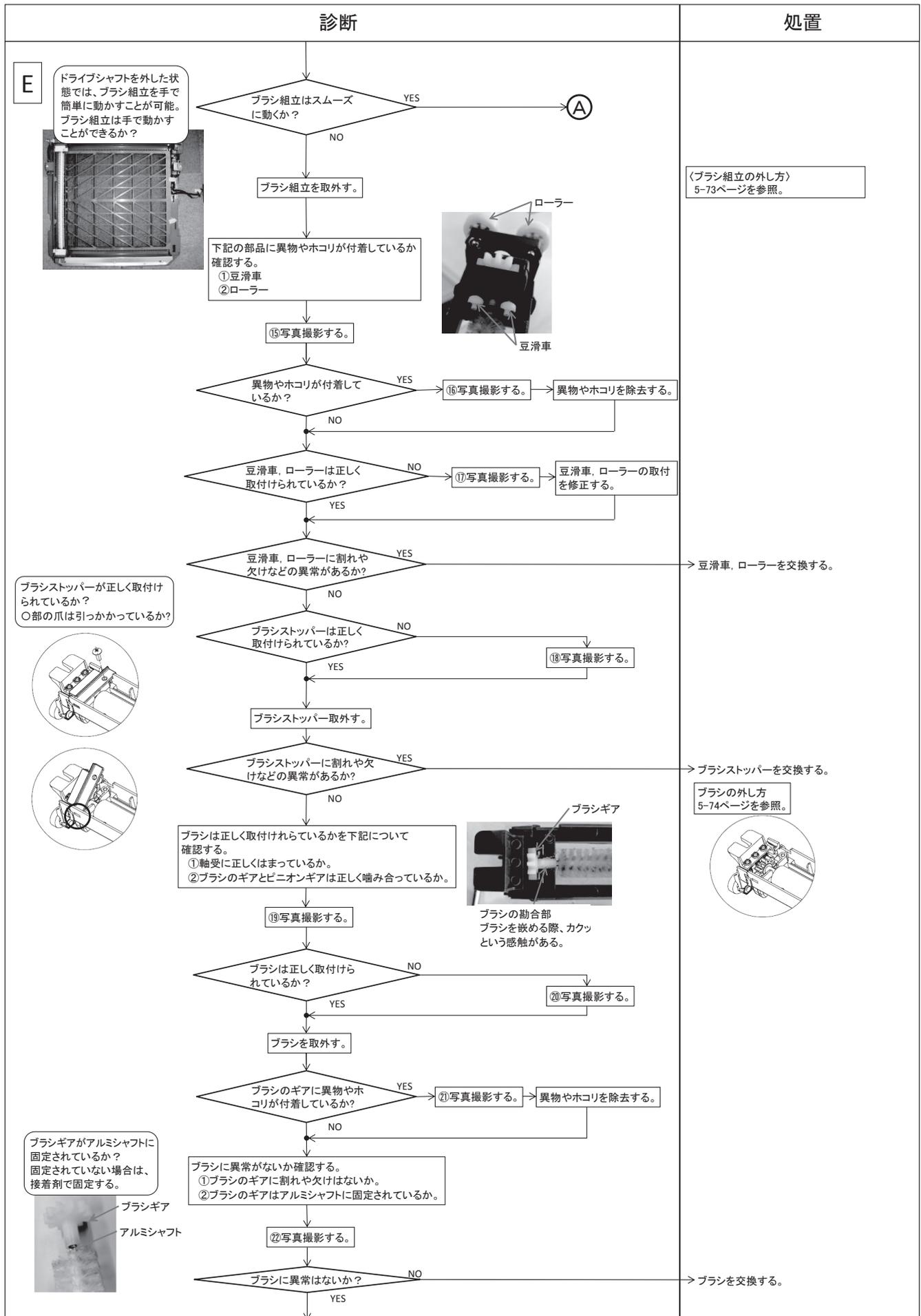


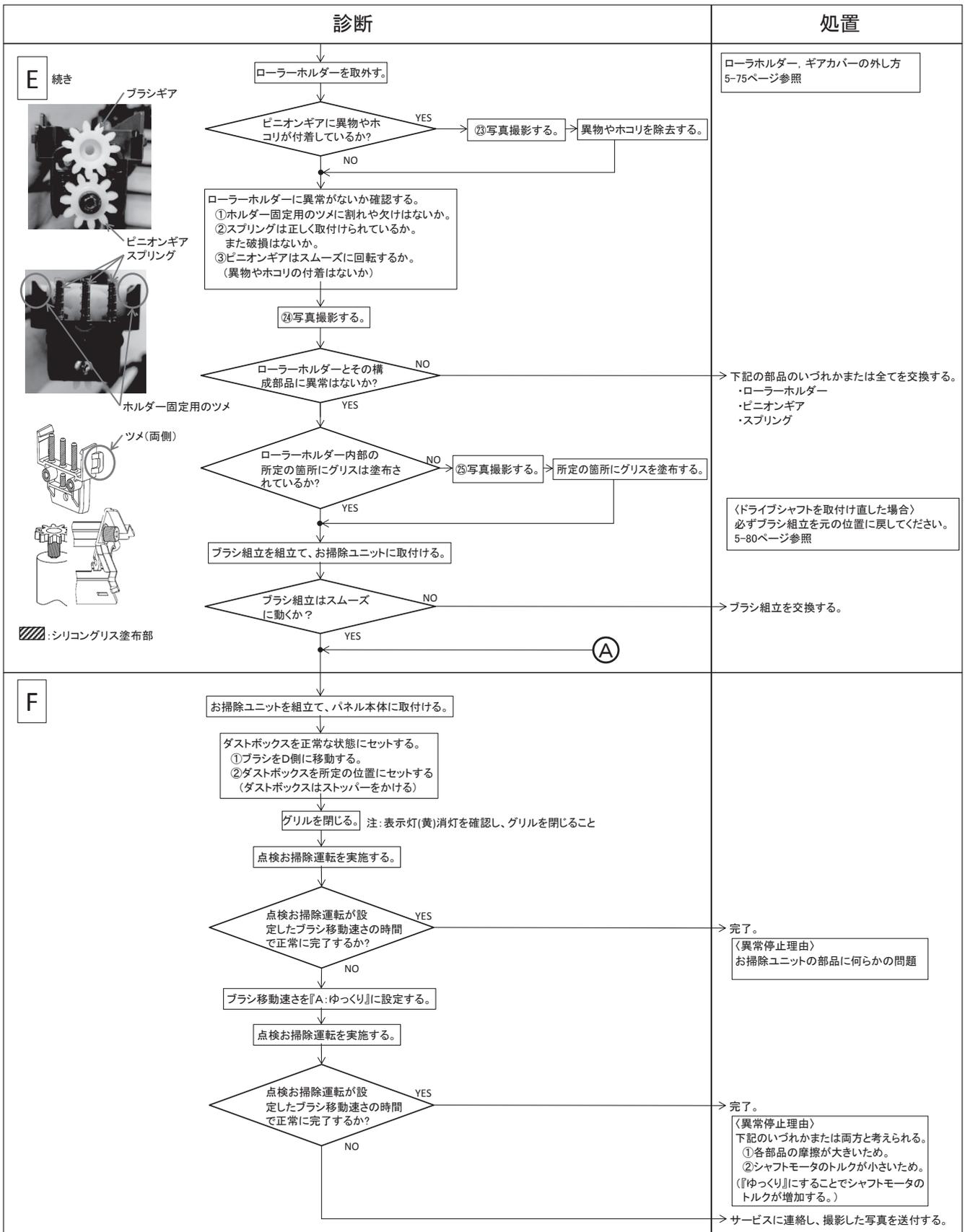
スパイラルワイヤーの間に異物挟まりや割れ、欠けはないか？



5-72ページギアボックスとシャフトの外し方、モータ(ギアボックス)の外し方参照

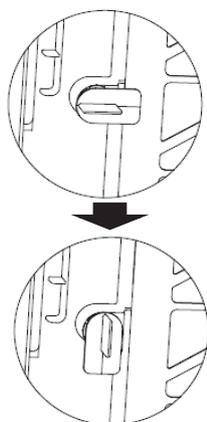




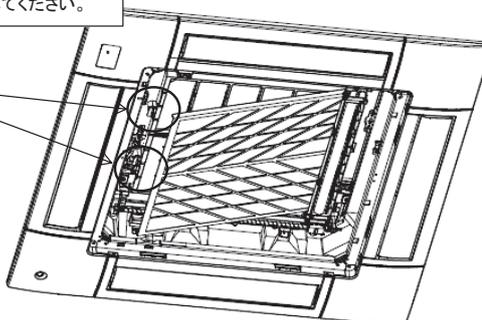


(d) ブラシ組立分解要領

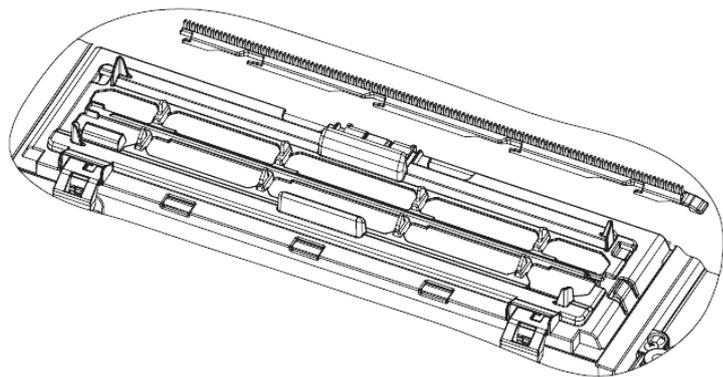
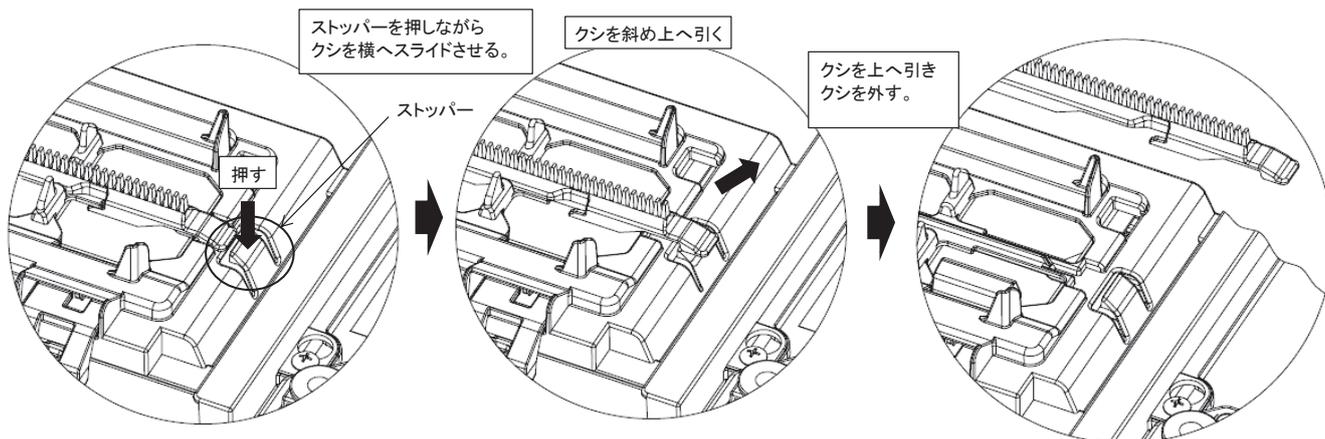
(i) フィルタの外し方



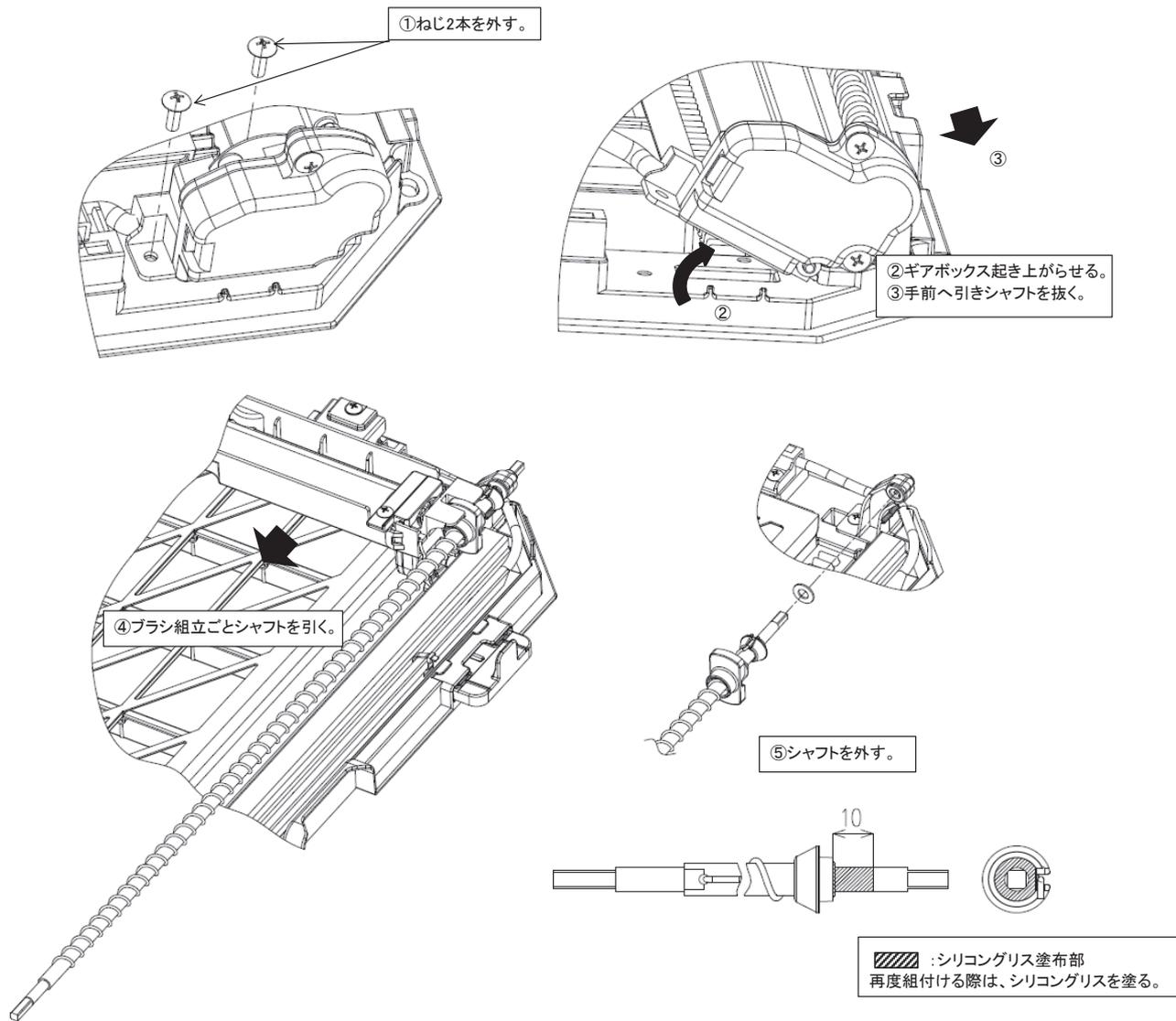
ストッパーを回し解除して、  
フィルタを外してください。



(ii) ゴミ箱のクシの外し方

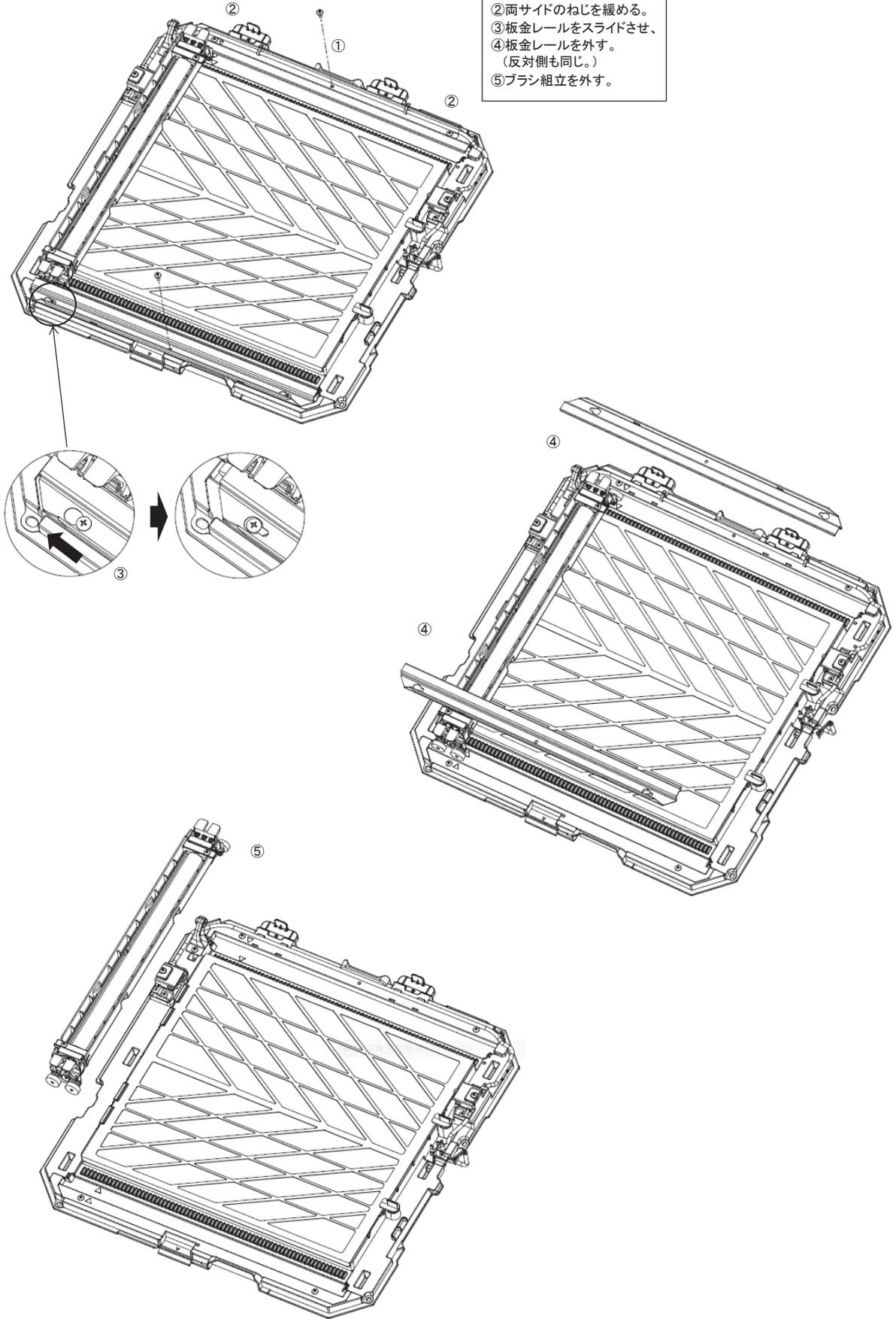


### (iii) ギアボックスとシャフトの外し方

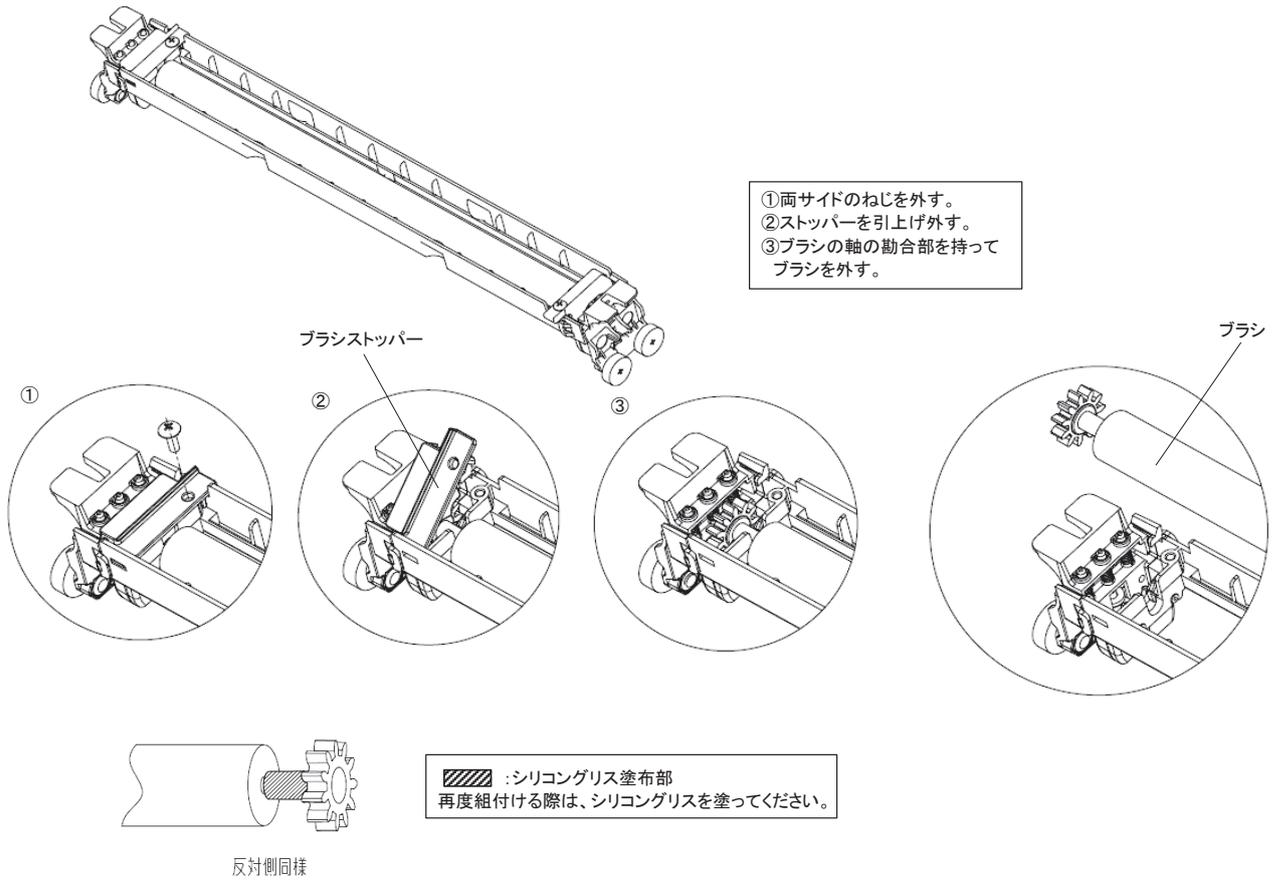


(iv) ブラシ組立の外し方

- ① 中心のねじを外す。
- ② 両サイドのねじを緩める。
- ③ 板金レーンをスライドさせ、
- ④ 板金レーンを外す。
- ⑤ ブラシ組立を外す。

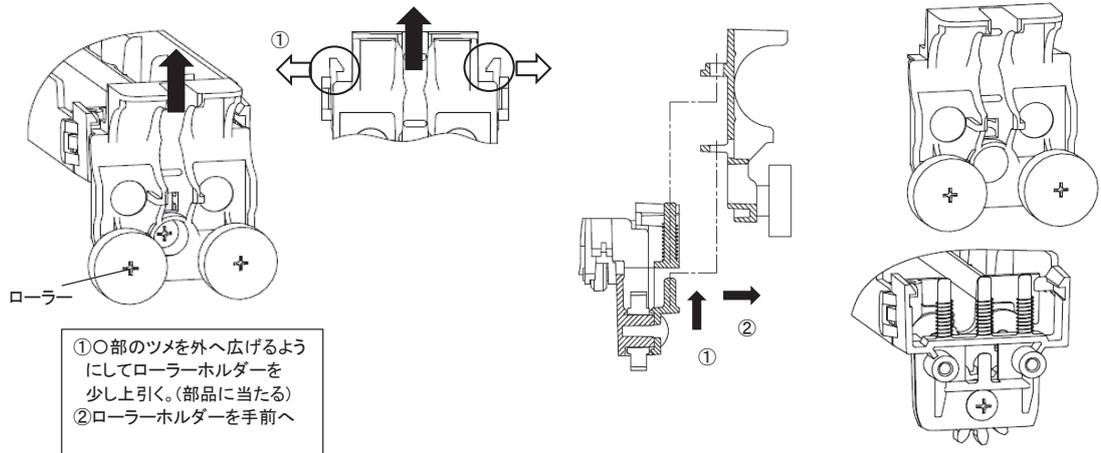


(v) ブラシの外し方

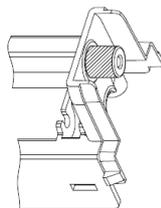
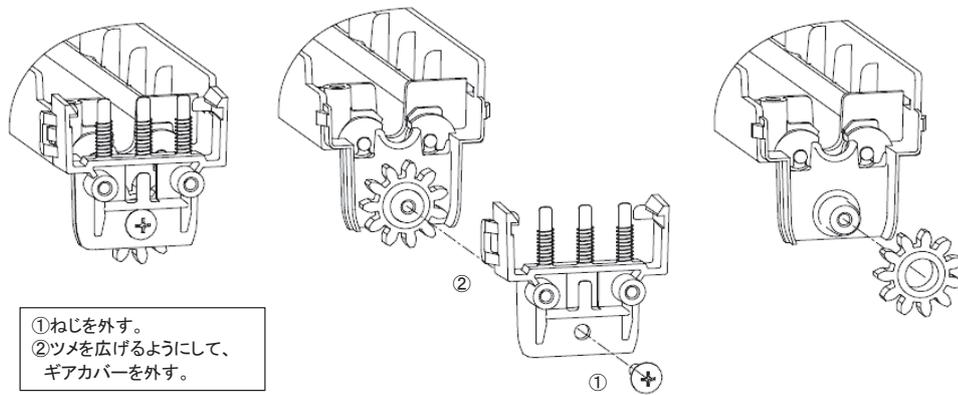


(vi) ブラシ組立の分解

1) ローラーホルダーの外し方



2) ギアカバー（ピニオンギア）の外し方

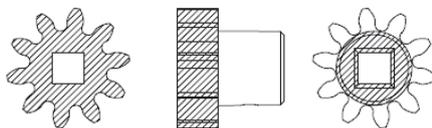
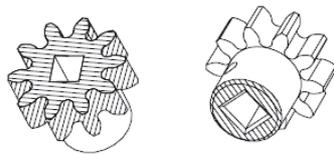
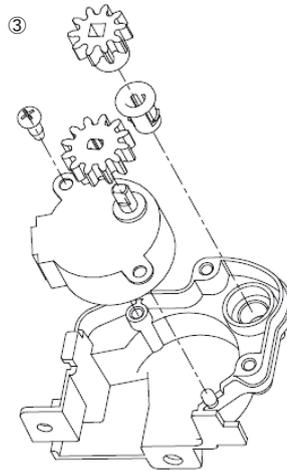
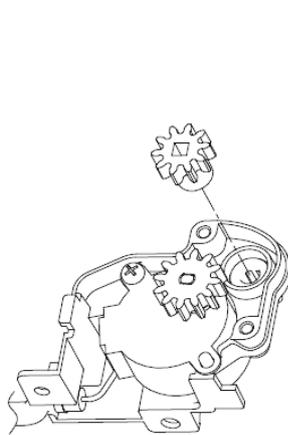
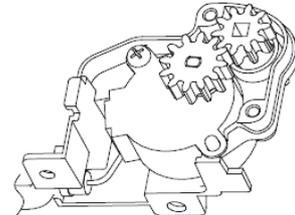
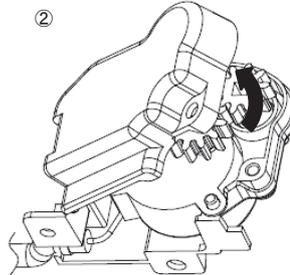
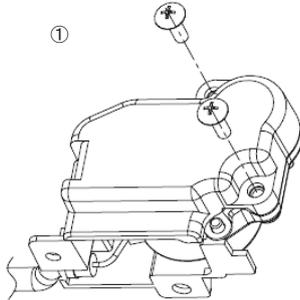
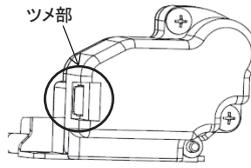


反対側同様

/// : シリコングリス塗布部  
再度組付ける際は、シリコングリスを塗ってください。

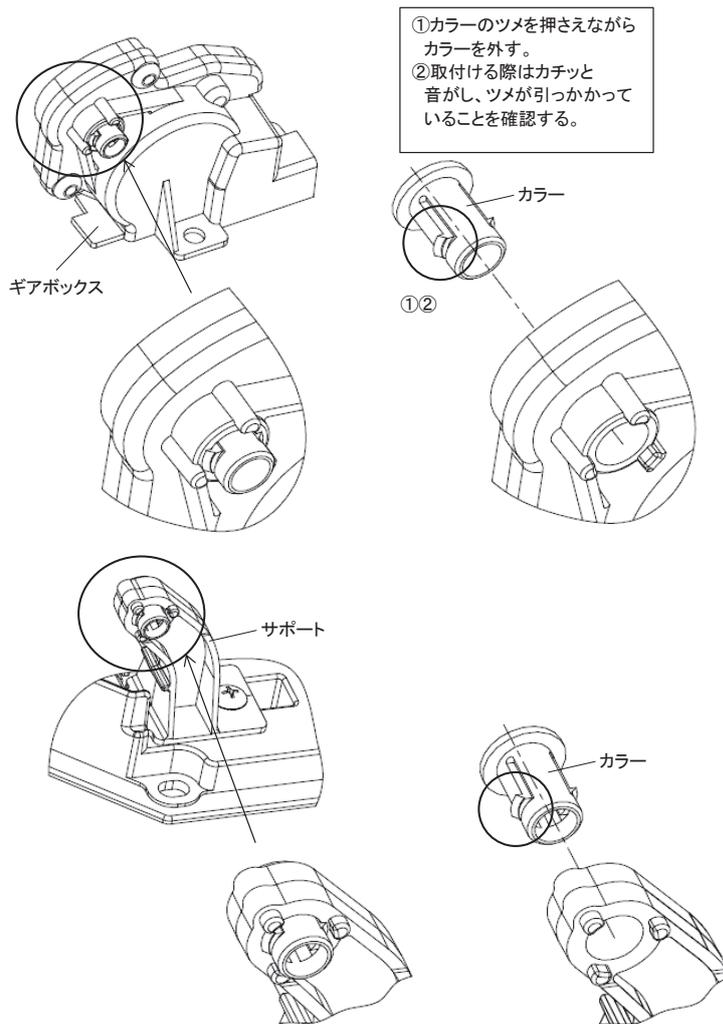
### 3) モーター（ギアボックス）の外し方

- ①ねじ(2か所)を外す  
 ②ツメ部を中心に開くように  
 モーターカバーを外す。  
 ③ねじを外しモーターを外す。

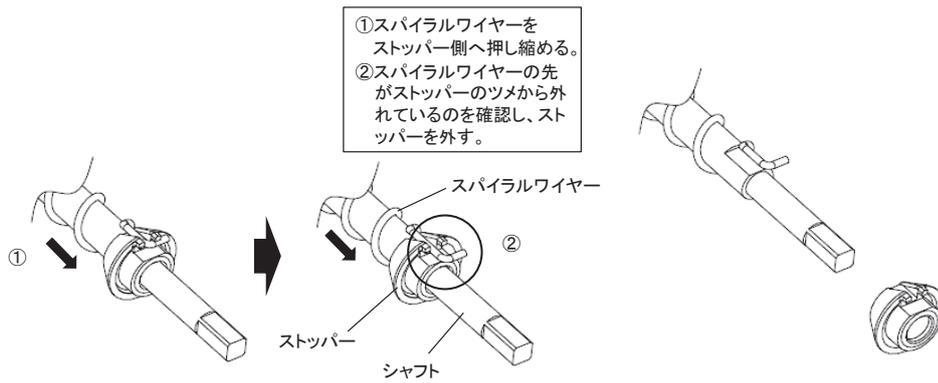


 :シリコングリス塗布部  
 再度組付ける際は、シリコングリスを塗ってください。

#### 4) ギアボックス、サポートのカラーの外し方

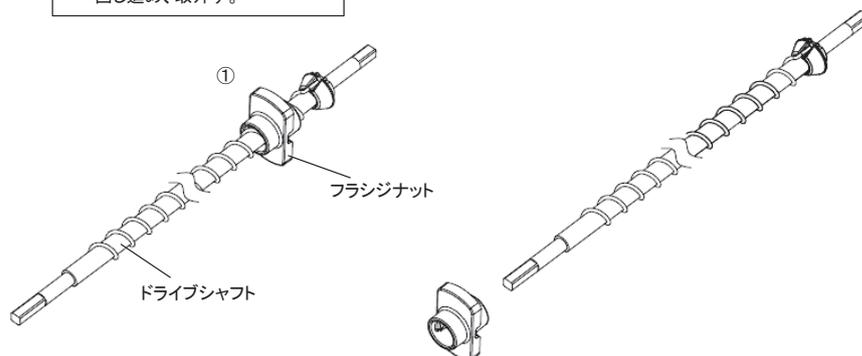


#### 5) ドライブシャフトのストッパーの外し方

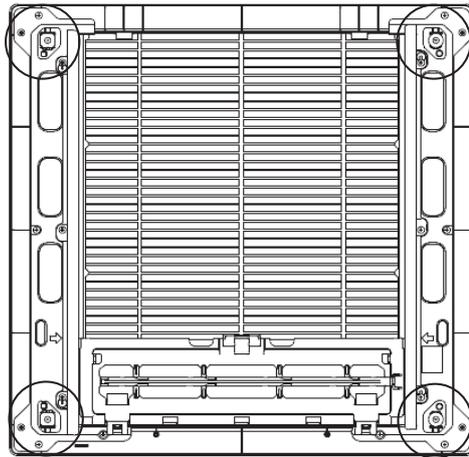


##### ・フラジナットの外し方

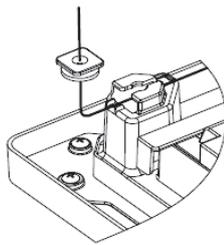
- ①フラジナットをストッパーの逆側へ回し進め、取外す。



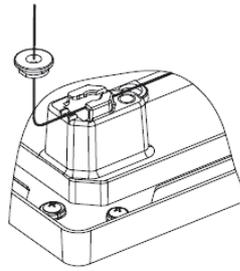
(vii) グリルのワイヤーガイドの取付方



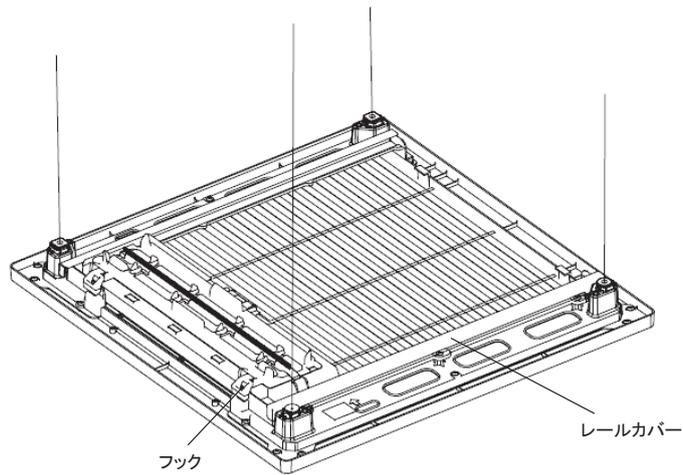
①4角の刻印(O×)に合せ、  
図のように、ワイヤーを通し  
ワイヤーガイドを取付ける。



ワイヤーガイド(□形状)  
ガイド取付部(□印)

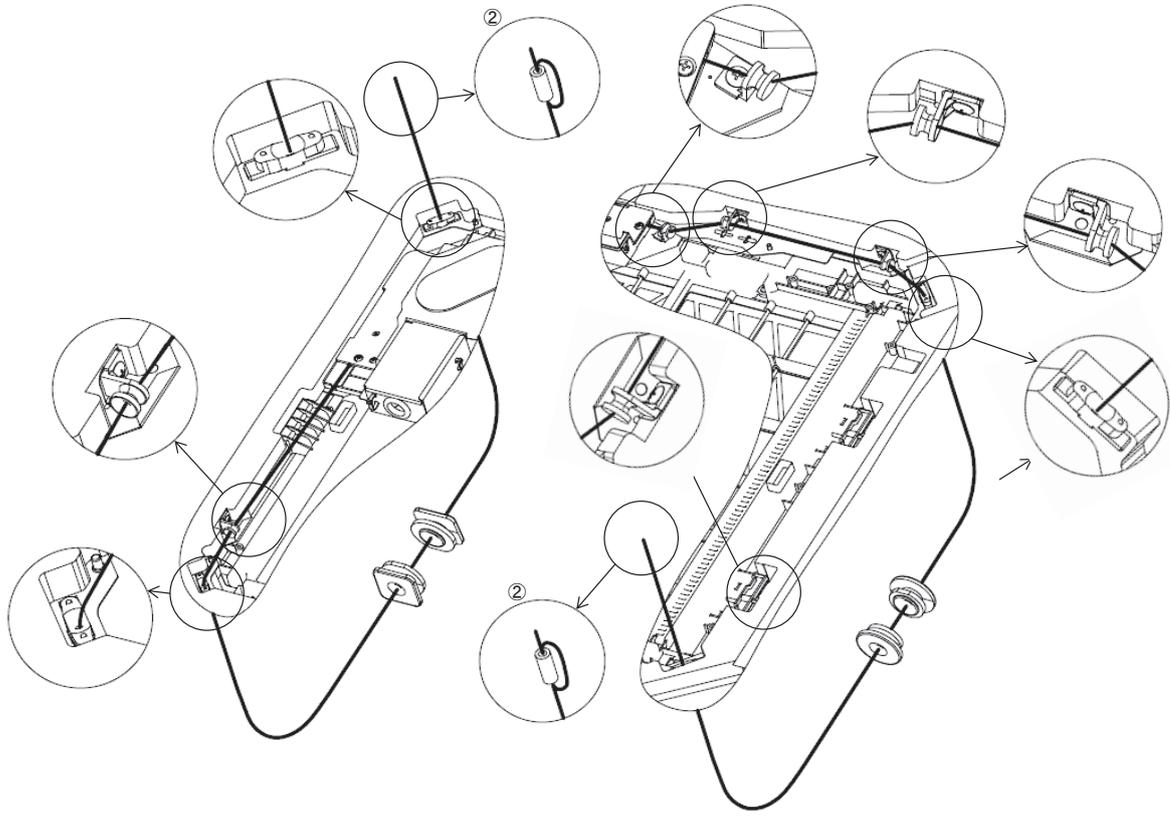
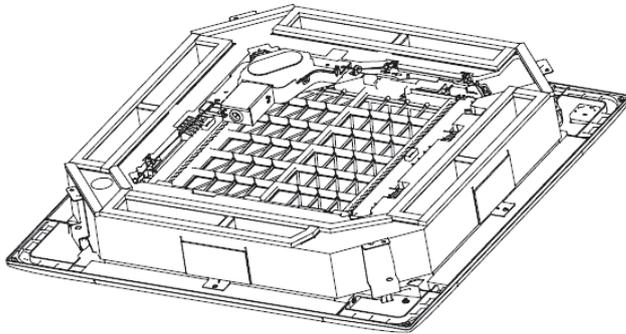


ワイヤーガイド(O形状)  
ガイド取付部(O印)



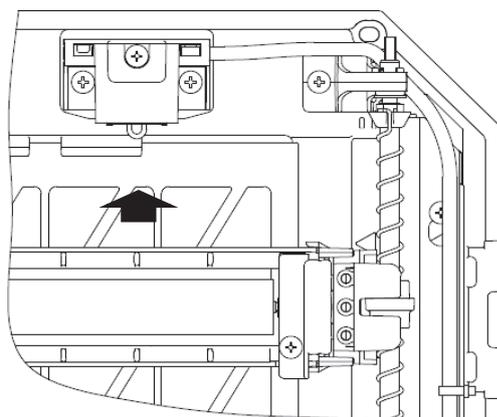
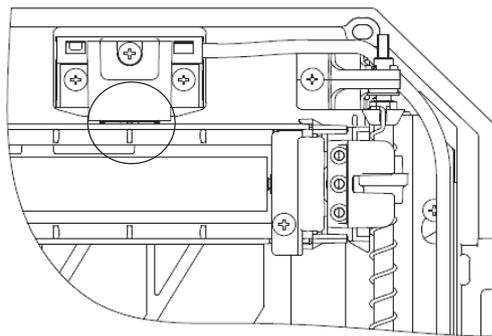
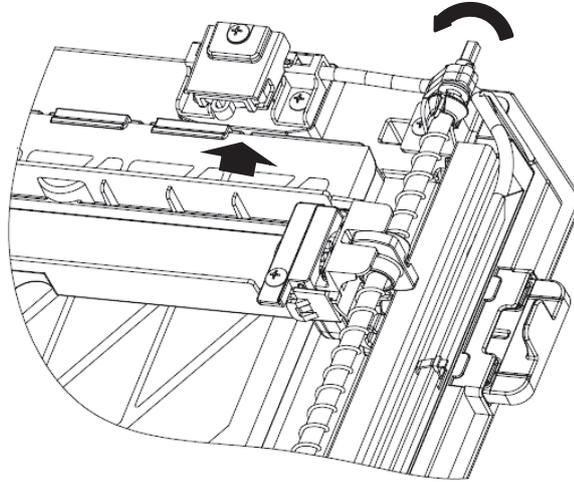
(viii) ワイヤの通し方

- ①図のようにワイヤーを  
通してください。  
②ワイヤー端部は図のよう  
にかしめてください



(ix) ドライブシャフトを取付直した場合

①ドライブシャフトを取付直した場合、ドライブシャフトを図の方向に回し、位置検知スイッチを押すまで、ブラシ組立を移動させてください。



**三菱重工サーマルシステムズ株式会社** 〒100-8332 東京都千代田区丸の内3-2-3  
**三菱重工冷熱株式会社** 〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。